



**2021年度 前期**  
**学生による授業改善アンケート集計結果**

**日本赤十字看護大学 看護学部（広尾）**

## 目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】	.....	3
2.	【演習】	.....	4
3.	【実習】	.....	5
4. 授業改善アンケート結果【講義】		.....	6
5. 教員からのコメント一覧【講義】		.....	120
6. 授業改善アンケート結果【演習】		.....	135
7. 教員からのコメント一覧【演習】		.....	149
8. 授業改善アンケート結果【実習】		.....	151
9. 教員からのコメント一覧【実習】		.....	153

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	赤十字概論	[1A0100]	学部	看護学部	履修者数	154	回答率
教員名	角田敦彦		授業形態	講義	回答数	111	72.1%

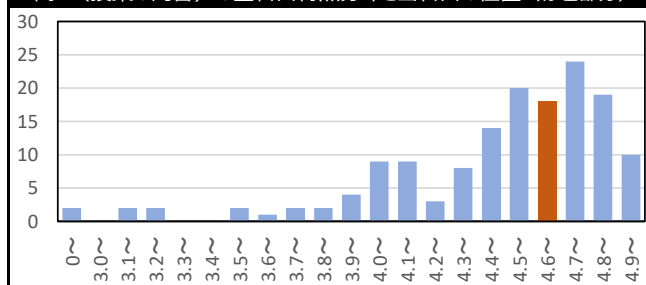
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 74% for 'Strongly agree' and 36% for 'Agree']						4.66	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 78% for 'Strongly agree' and 32% for 'Agree']						4.69	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 75% for 'Strongly agree' and 34% for 'Agree']						4.66	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 73% for 'Strongly agree' and 38% for 'Agree']						4.66	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 66% for 'Strongly agree' and 42% for 'Agree']						4.56	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 75% for 'Strongly agree' and 35% for 'Agree']						4.67	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 82% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree']						4.74	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 78% for 'Strongly agree' and 31% for 'Agree']						4.68	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 75% for 'Strongly agree' and 36% for 'Agree']						4.68	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 74% for 'Strongly agree' and 36% for 'Agree']						4.66	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 69% for 'Strongly agree', 37% for 'Agree', and 5% for 'Disagree']						4.58	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 82% for 'Strongly agree' and 27% for 'Agree']						4.72	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 104% for 'Strongly agree' and 7% for 'Disagree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 74% for 'Strongly agree' and 34% for 'Agree']						4.64	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.68</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較

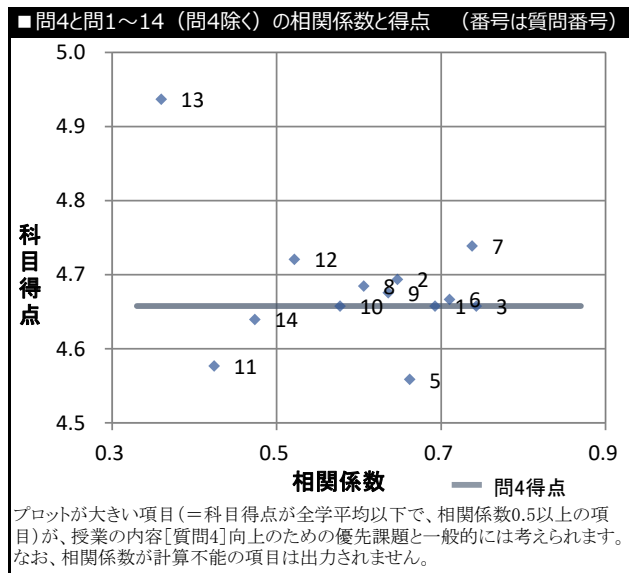


## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

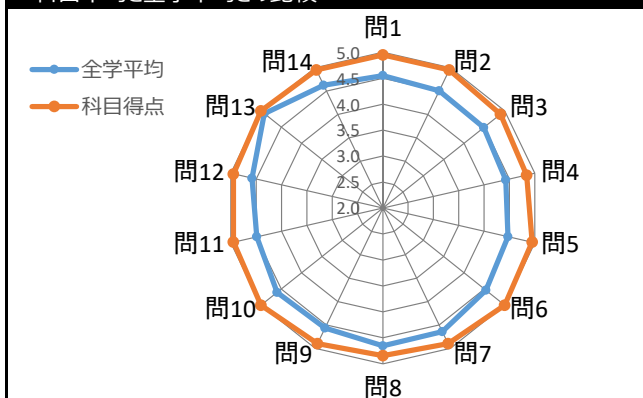
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	赤十字国際活動論	[1A0200]	学部	看護学部	履修者数	19	回答率
教員名	角田敦彦		授業形態	講義	回答数	19	100.0%

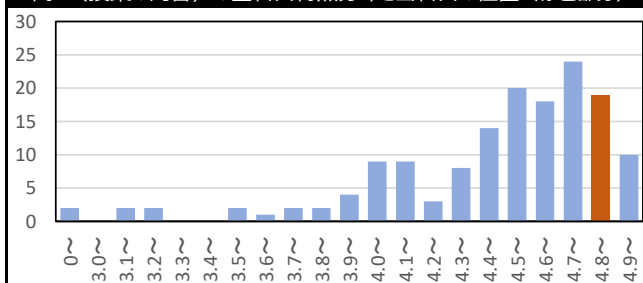
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 18 responses for rating 1]						1	4.95	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 18 responses for rating 1]						1	4.95	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 17 responses for rating 2]						2	4.89	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 16 responses for rating 3]						3	4.84	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 18 responses for rating 1]						1	4.95	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 19 responses for rating 1]							5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 17 responses for rating 2]						2	4.89	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 16 responses for rating 3]						3	4.84	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 17 responses for rating 2]						2	4.89	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 19 responses for rating 1]							5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 18 responses for rating 1]						1	4.95	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 18 responses for rating 1]						1	4.95	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 19 responses for rating 1]							5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 18 responses for rating 1]						1	4.95	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.93</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

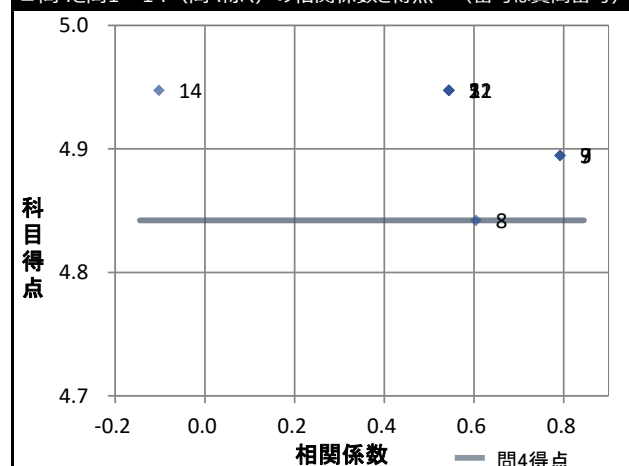


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

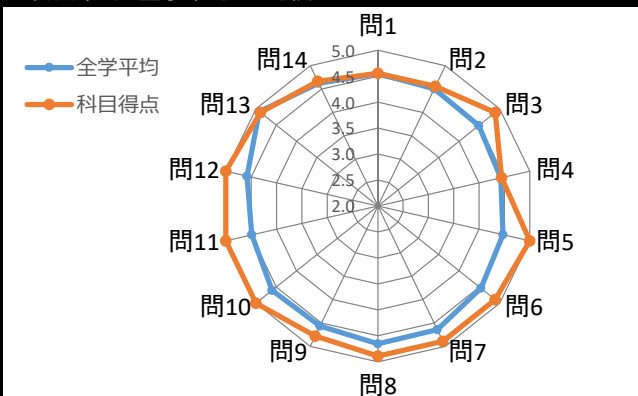
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	哲学と倫理	[1B0100]	学部	看護学部	履修者数	9	回答率
教員名	榎原哲也		授業形態	講義	回答数	9	100.0%

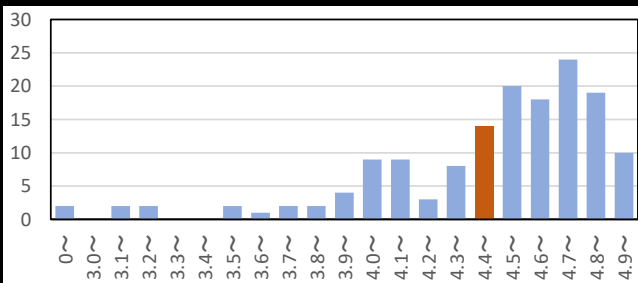
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[5:4]						4.56	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[6:2:1]						4.56	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[8:1]						4.89	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[4:5]						4.44	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[9]						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[8:1]						4.89	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[8:1]						4.89	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[8:1]						4.89	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[7:2]						4.78	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[9]						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[9]						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[8:1]						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[8:1]						4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[7:1:1]						4.67	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.82</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

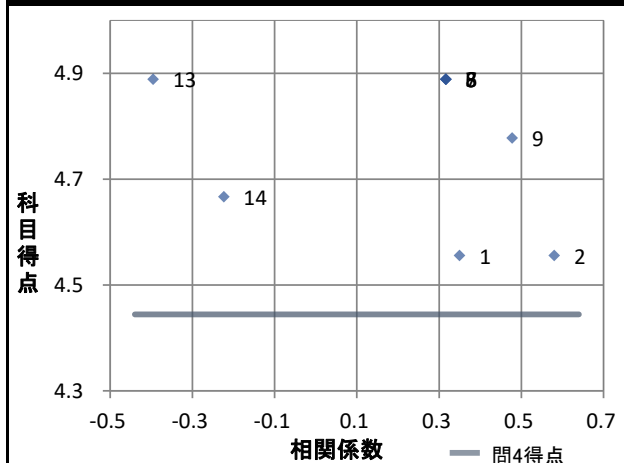


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

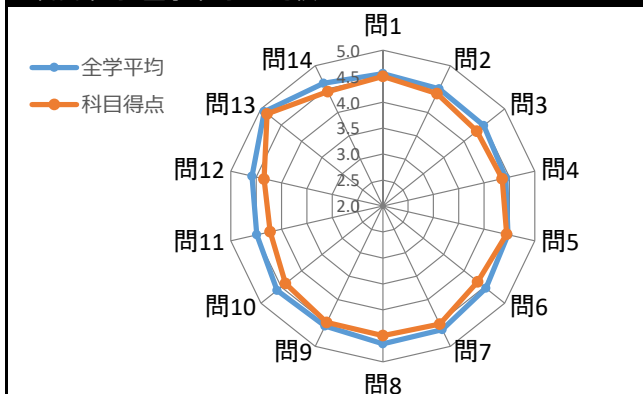
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	心理学 I	[1B0300]	学部	看護学部	履修者数	129	回答率	
教員名	遠藤 公久		授業形態	講義	回答数	99	76.7%	

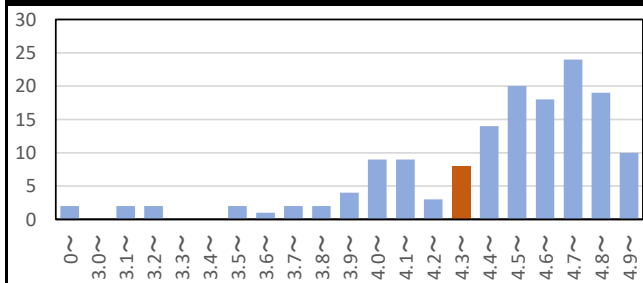
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.49	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.40	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.31	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.35	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.44	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.34	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.53	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.49	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.48	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.39	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.22	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.34	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.85	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.44	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.44</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

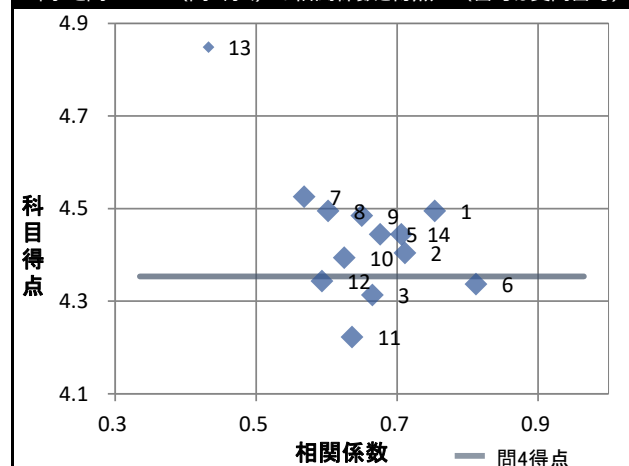


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3)未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

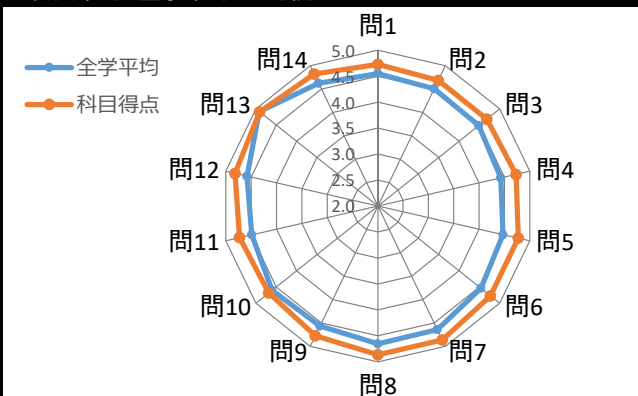
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	教育学概論	[1B0500]	学部	看護学部	履修者数	24	回答率	
教員名	渋谷真樹		授業形態	講義	回答数	22	91.7%	

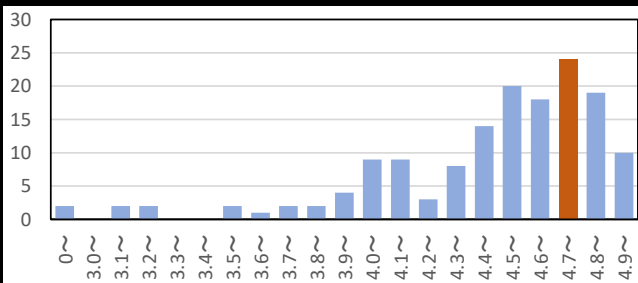
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 16 responses for 'strongly agree' and 6 for 'agree']						4.73	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 16 responses for 'strongly agree', 5 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.68	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 17 responses for 'strongly agree', 4 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.68	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 17 responses for 'strongly agree', 4 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.73	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 18 responses for 'strongly agree', 3 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.77	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 18 responses for 'strongly agree', 3 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.77	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 19 responses for 'strongly agree' and 3 for 'agree']						4.86	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 19 responses for 'strongly agree' and 3 for 'agree']						4.86	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 19 responses for 'strongly agree', 2 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.77	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 17 responses for 'strongly agree', 3 for 'agree', and 2 for 'neither']						4.68	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 18 responses for 'strongly agree', 2 for 'agree', and 2 for 'neither']						4.73	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 18 responses for 'strongly agree' and 4 for 'agree']						4.82	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 20 responses for 'strongly agree' and 2 for 'agree']						4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 18 responses for 'strongly agree' and 4 for 'agree']						4.82	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.77</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



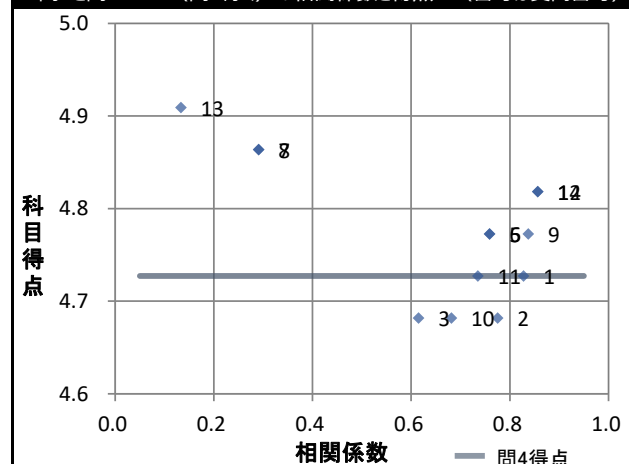
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



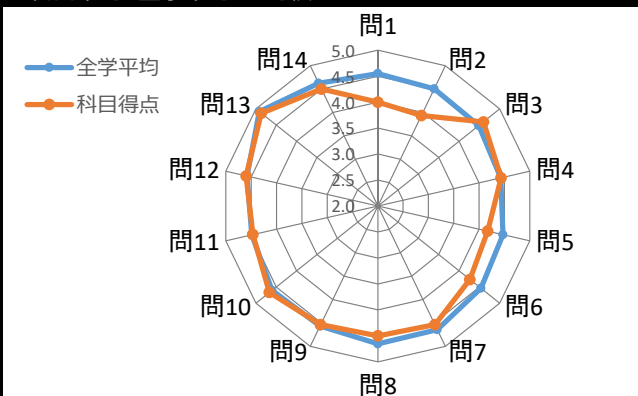
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	[1B0801]	学部	看護学部	履修者数	33	回答率
教員名	伊藤麻希		授業形態	講義	回答数	30	90.9%

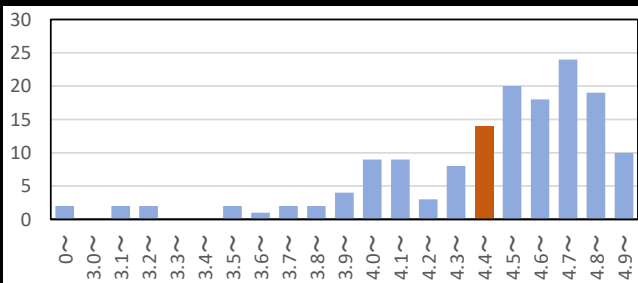
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8	15	6	1			4.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10	10	8	2			3.93	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19	10	1				4.60	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	17	10	2	1			4.43	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	14	11	2	2	1		4.17	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	14	12	2	2			4.27	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	18	11	1				4.53	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	11	2				4.50	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	18	11	1				4.53	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	20	10					4.67	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15	14	1				4.47	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	19	10	1				4.60	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	26	4					4.87	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19	8	2	1			4.50	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.43</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



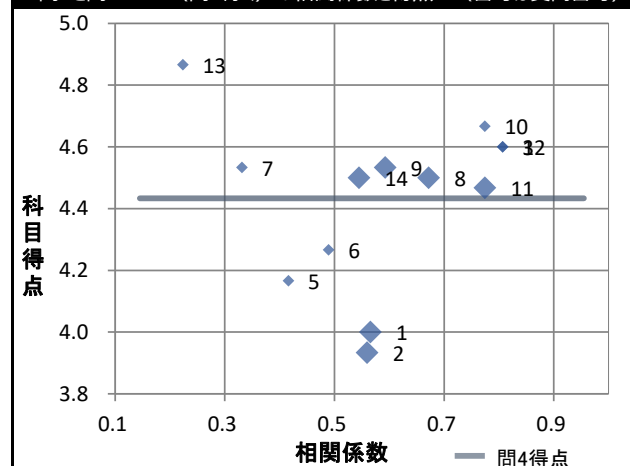
■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

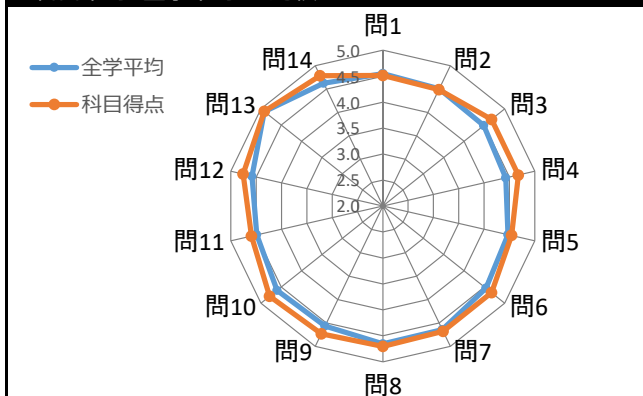
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	[1B0802]	学部	看護学部	履修者数	38	回答率
教員名	伊藤麻希		授業形態	講義	回答数	37	97.4%

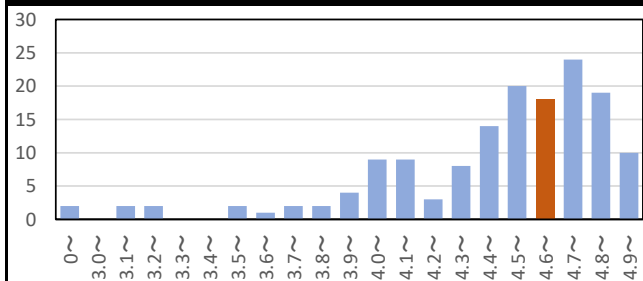
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 21 responses for 'strongly agree', 14 for 'agree', 2 for 'neither', 3 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.51	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 21 responses for 'strongly agree', 13 for 'agree', 3 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.49	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 26 responses for 'strongly agree', 10 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.68	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 26 responses for 'strongly agree', 10 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.68	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 24 responses for 'strongly agree', 10 for 'agree', 2 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.54	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 26 responses for 'strongly agree', 10 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.68	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 25 responses for 'strongly agree', 12 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.68	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 26 responses for 'strongly agree', 11 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.70	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 27 responses for 'strongly agree', 10 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.73	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 30 responses for 'strongly agree', 6 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.78	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 23 responses for 'strongly agree', 13 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.59	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 29 responses for 'strongly agree', 7 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.76	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 34 responses for 'strongly agree', 3 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 30 responses for 'strongly agree', 6 for 'agree', 4 for 'neither', 1 for 'disagree', 1 for 'strongly disagree']						4.78	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.68</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

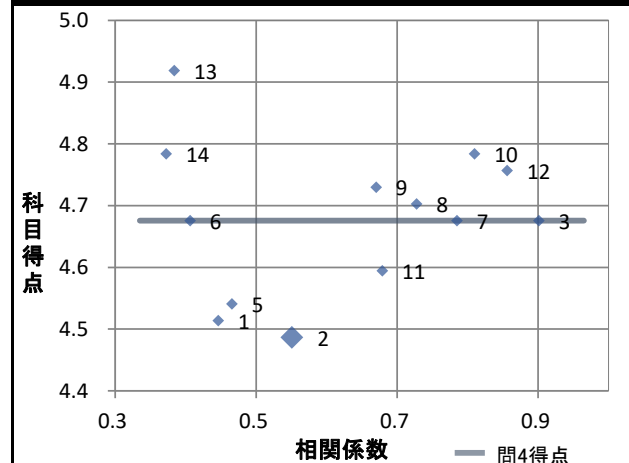


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

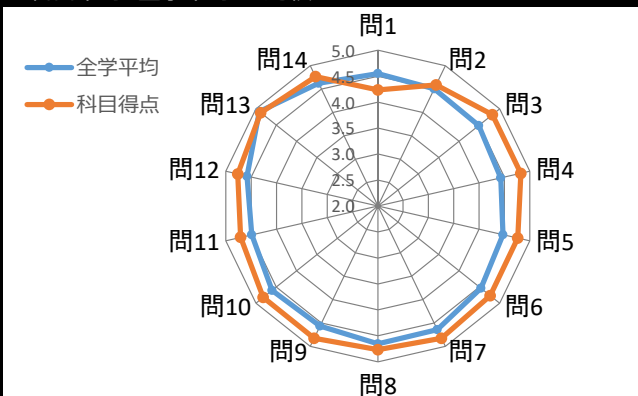
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	[1B0803]	学部	看護学部	履修者数	32	回答率 53.1%
教員名	伊藤麻希		授業形態	講義	回答数	17	

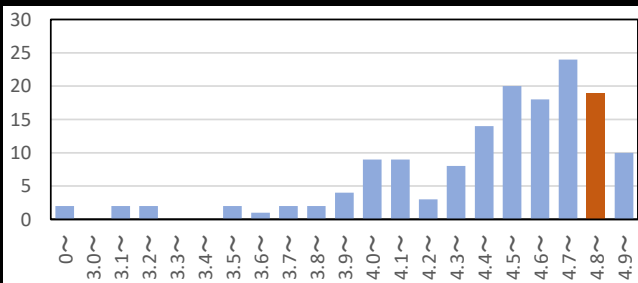
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing counts: 8 (blue), 5 (green), 4 (yellow)]						4.24	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing counts: 12 (blue), 3 (green), 2 (yellow)]						4.59	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing counts: 14 (blue), 3 (green)]						4.82	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing counts: 14 (blue), 3 (green)]						4.82	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing counts: 13 (blue), 4 (green)]						4.76	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing counts: 13 (blue), 4 (green)]						4.76	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing counts: 14 (blue), 3 (green)]						4.82	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing counts: 13 (blue), 4 (green)]						4.76	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing counts: 14 (blue), 3 (green)]						4.82	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing counts: 14 (blue), 3 (green)]						4.82	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing counts: 12 (blue), 5 (green)]						4.71	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing counts: 13 (blue), 4 (green)]						4.76	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing counts: 15 (blue), 2 (green)]						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing counts: 13 (blue), 4 (green)]						4.76	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.74</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

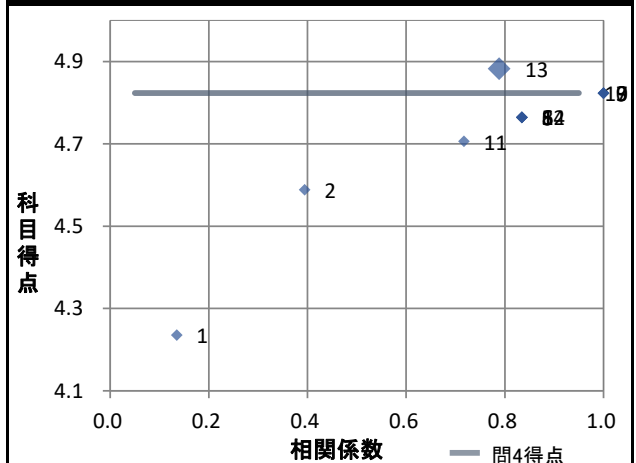


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

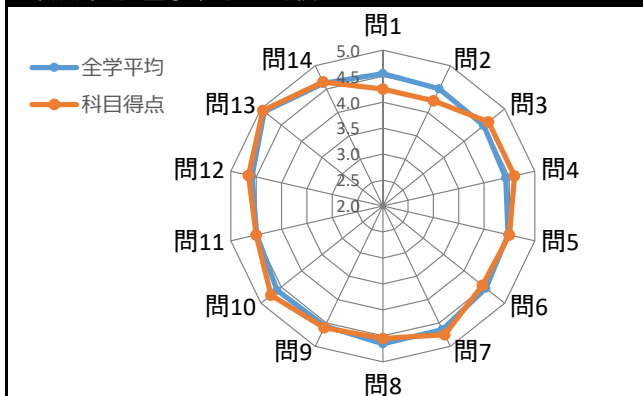
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	[1B0804]	学部	看護学部	履修者数	34	回答率
教員名	伊藤麻希		授業形態	講義	回答数	20	58.8%

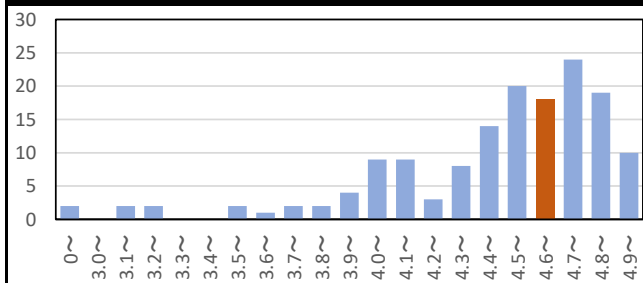
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 9 (blue), 7 (green), 4 (yellow)]						4.25	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 8 (blue), 9 (green), 3 (yellow)]						4.25	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 12 (blue), 8 (green)]						4.60	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 12 (blue), 8 (green)]						4.60	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 10 (blue), 10 (green)]						4.50	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 11 (blue), 7 (green), 2 (yellow)]						4.45	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 15 (blue), 5 (green)]						4.75	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 12 (blue), 7 (green), 1 (yellow)]						4.55	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 12 (blue), 8 (green)]						4.60	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 15 (blue), 5 (green)]						4.75	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 11 (blue), 8 (green), 1 (yellow)]						4.50	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 13 (blue), 7 (green)]						4.65	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 19 (blue), 1 (yellow)]						4.95	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 14 (blue), 5 (green), 1 (yellow)]						4.65	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.58</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

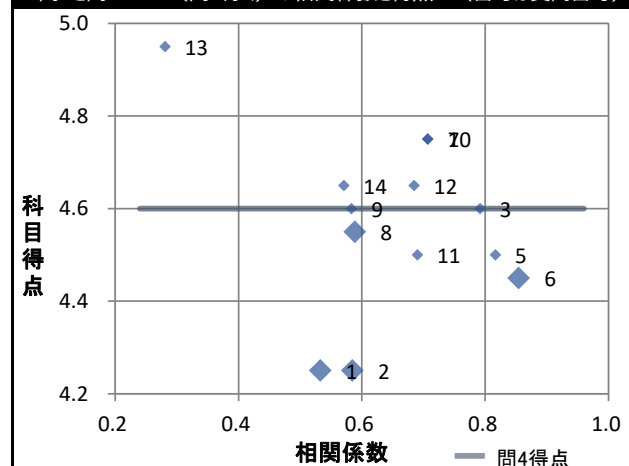


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

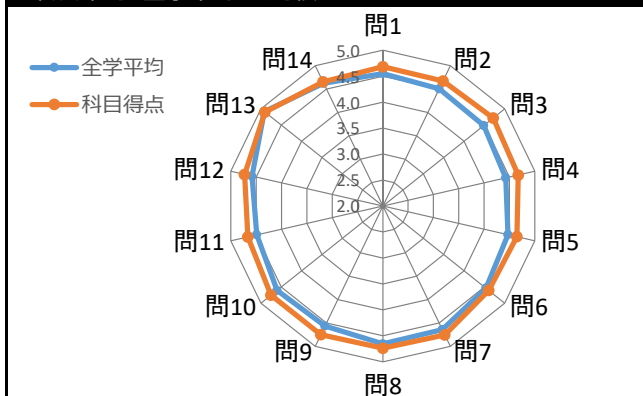
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	社会学 I	[1C0100]	学部	看護学部	履修者数	125	回答率
教員名	鷹田佳典		授業形態	講義	回答数	110	88.0%

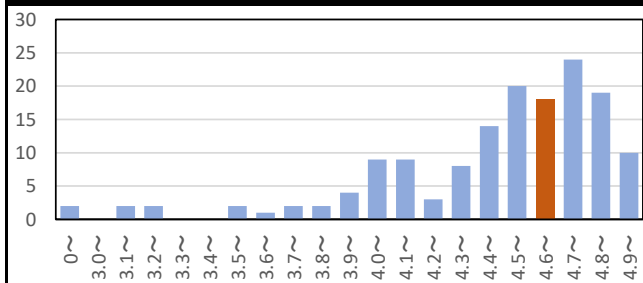
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	78 (Blue) 31 (Green)						4.68	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	76 (Blue) 33 (Green)						4.67	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	79 (Blue) 31 (Green)						4.72	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	77 (Blue) 30 (Green)						4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	74 (Blue) 33 (Green)						4.65	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	74 (Blue) 30 (Green) 5 (Yellow)						4.61	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	83 (Blue) 27 (Green)						4.75	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	82 (Blue) 27 (Green)						4.74	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	82 (Blue) 28 (Green)						4.75	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	83 (Blue) 27 (Green)						4.75	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	77 (Blue) 29 (Green) 4 (Yellow)						4.66	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	84 (Blue) 22 (Green) 4 (Yellow)						4.73	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	99 (Blue) 11 (Green)						4.90	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	79 (Blue) 25 (Green) 5 (Yellow)						4.65	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.71</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

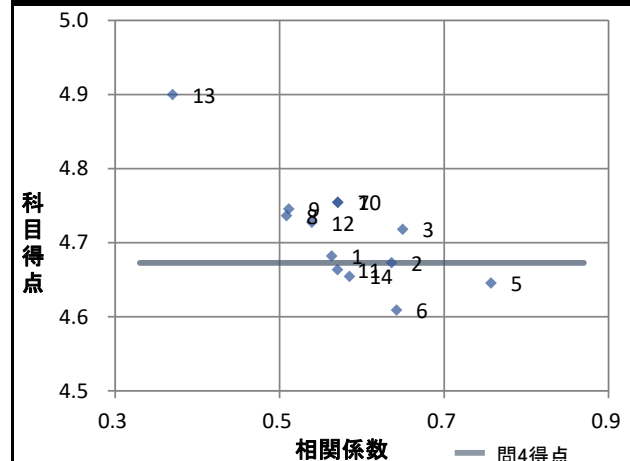


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	そう思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない

## ＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



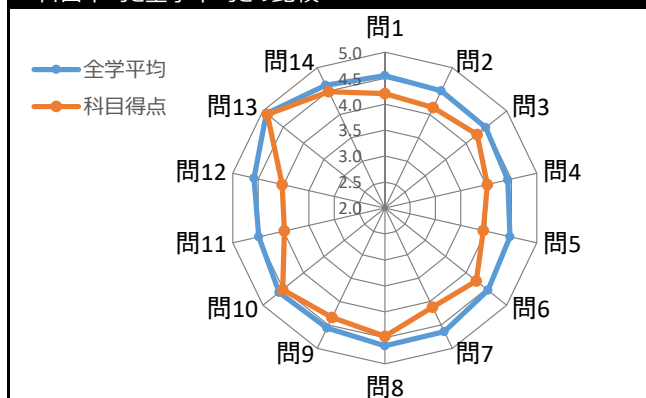
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	社会保障論	[1C0300]	学部	看護学部	履修者数	149	回答率
教員名	奥貴妃文		授業形態	講義	回答数	128	85.9%

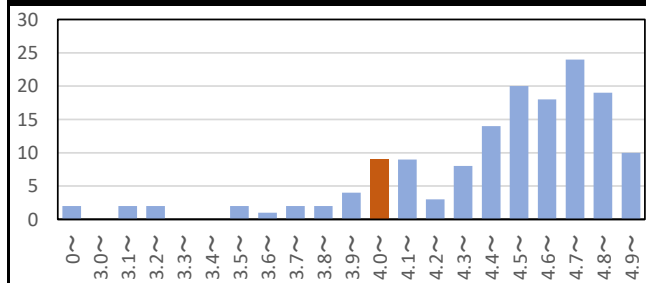
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	46	65	14				4.20	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	42	68	13	5			4.15	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	53	61	11				4.27	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	42	53	27	6			4.02	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	37	52	34	5			3.95	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	45	71	11				4.25	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	47	57	16	5			4.12	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	63	62					4.47	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	55	64	6				4.34	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	71	52	5				4.52	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	39	53	31	5			3.98	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	42	53	28	4			4.02	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	114	12					4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	70	50	8				4.48	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.26</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較

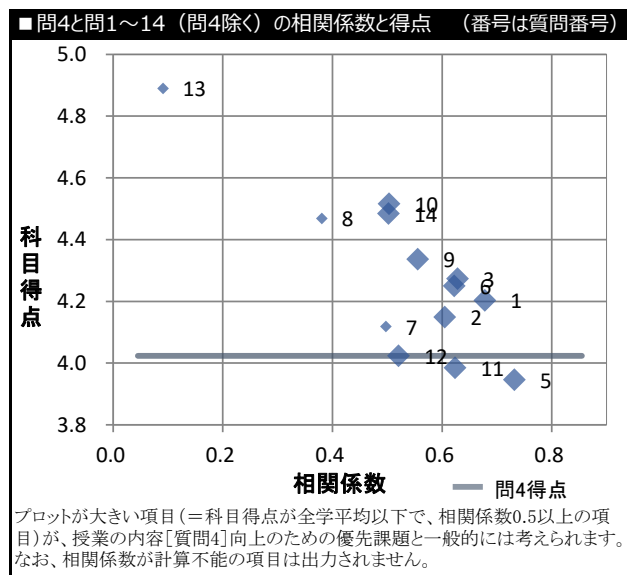


■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

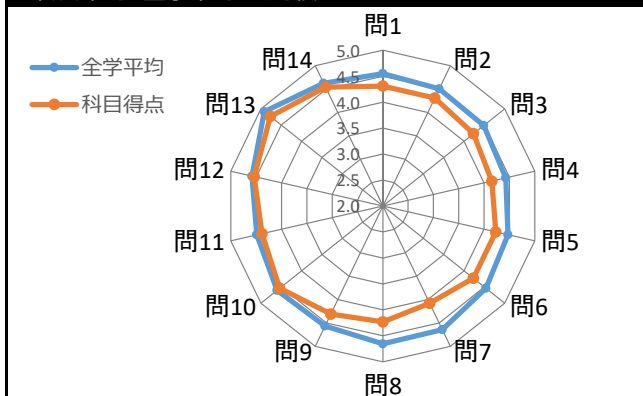


科目名	世界の文化と宗教 [1C0500]	学部	看護学部	履修者数	20	回答率	
教員名	佐藤眞	授業形態	講義	回答数	13	65.0%	

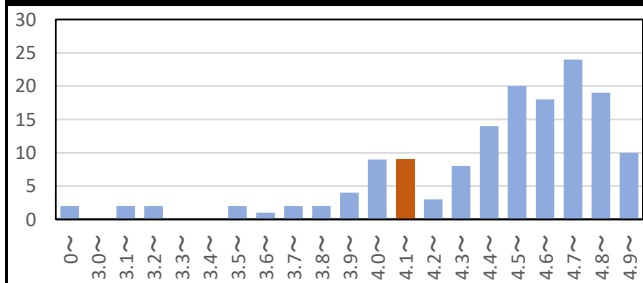
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5	7	1				4.31	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5	7	1				4.31	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	6	2				4.23	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	5	5	3				4.15	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6	5	1	1			4.23	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	6	5	1	1			4.23	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5	4	4				4.08	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	6	2				4.23	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	6	5	2				4.31	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	8	4	1				4.54	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6	6	1				4.38	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	4	1				4.54	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	11	1	1				4.77	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	2	2				4.54	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.35</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



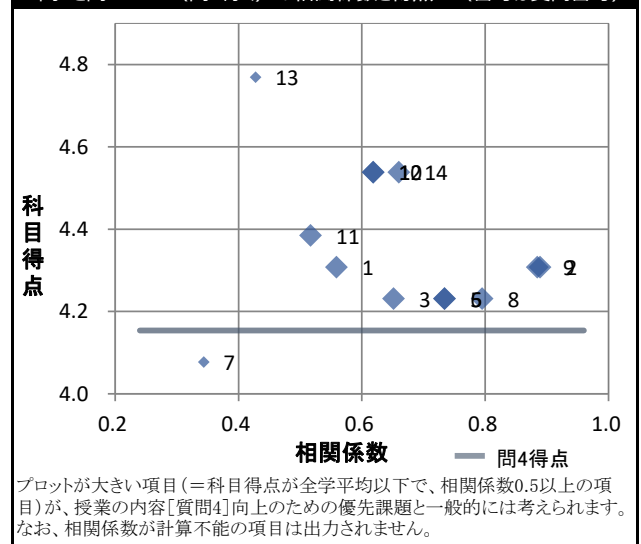
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

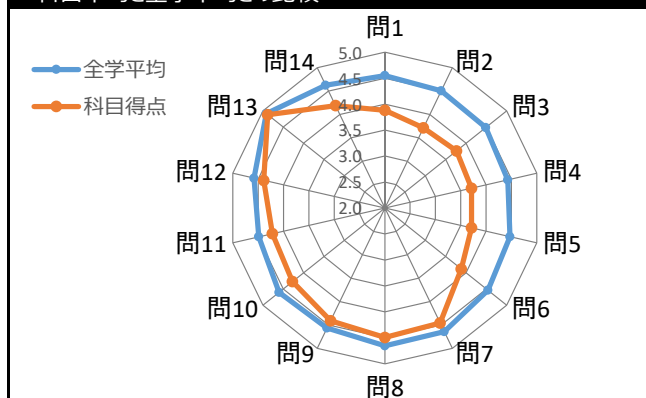
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	日本国憲法	[1C0700]	学部	看護学部	履修者数	74	回答率
教員名	吉田直正		授業形態	講義	回答数	59	79.7%

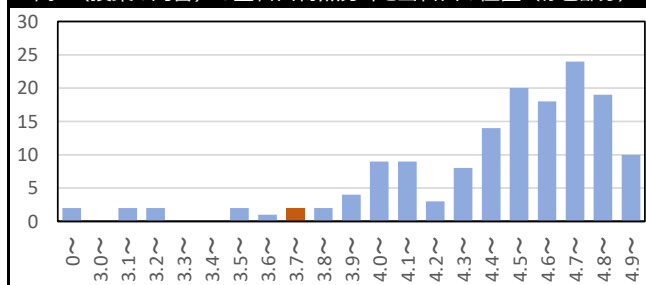
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	18	21	15	5			3.88	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17	20	12	8	2		3.71	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19	20	8	11			3.76	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	19	15	16	7	2		3.71	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	18	14	20	6			3.71	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	21	15	18	5			3.88	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	34	19	5				4.46	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	33	23	2				4.49	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	30	23	6				4.41	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	28	21	9				4.27	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	27	20	10	2			4.22	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	30	24	3	2			4.39	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	52	7					4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26	19	13				4.19	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.14</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

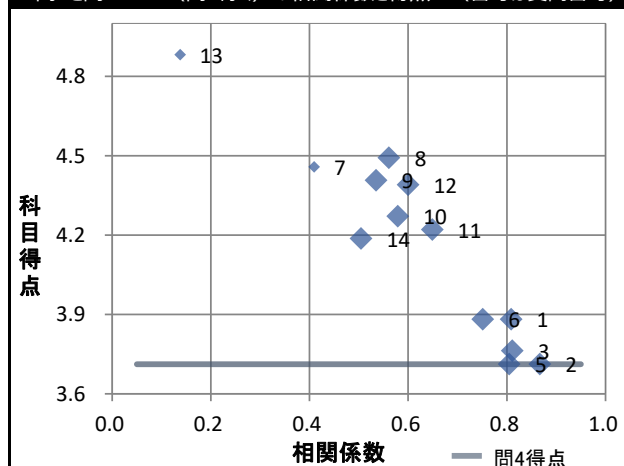


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

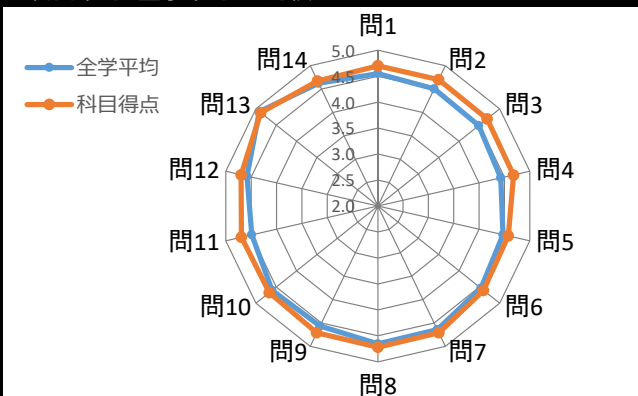
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	数学 I	[1D0100]	学部	看護学部	履修者数	106	回答率
教員名	山下龍生		授業形態	講義	回答数	103	97.2%

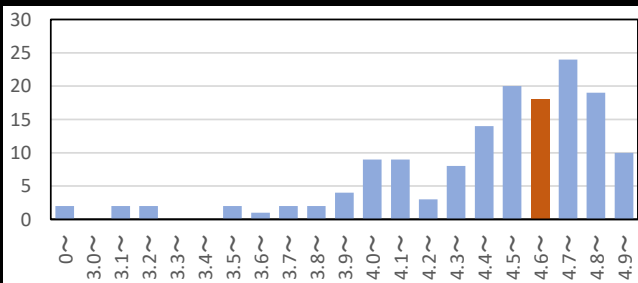
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 72% for 'Strongly agree' and 31% for 'Agree']						4.70	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 73% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree']						4.70	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 72% for 'Strongly agree' and 30% for 'Agree']						4.69	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 72% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree']						4.68	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 67% for 'Strongly agree', 29% for 'Agree', and 6% for 'Disagree']						4.57	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 67% for 'Strongly agree', 32% for 'Agree', and 1% for 'Disagree']						4.60	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 75% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.71	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 75% for 'Strongly agree' and 27% for 'Agree']						4.72	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 73% for 'Strongly agree' and 30% for 'Agree']						4.71	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 72% for 'Strongly agree' and 28% for 'Agree']						4.67	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 73% for 'Strongly agree' and 28% for 'Agree']						4.69	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 73% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree']						4.70	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 91% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 73% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', and 4% for 'Disagree']						4.67	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.69</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



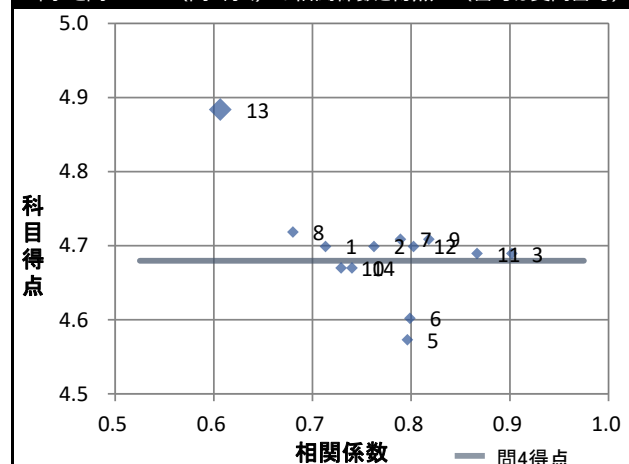
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



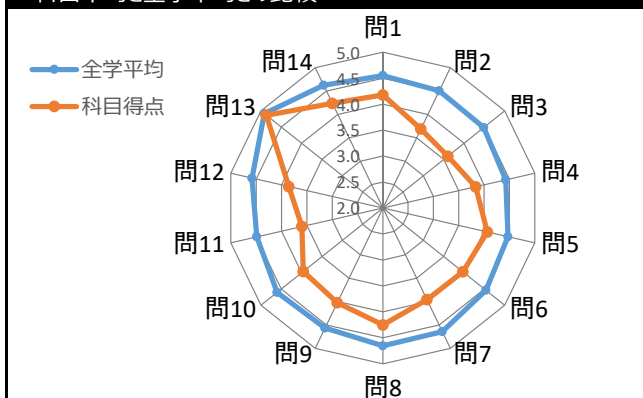
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	生物学 I	[1D0300]	学部	看護学部	履修者数	131	回答率
教員名	水野壮		授業形態	講義	回答数	97	74.0%

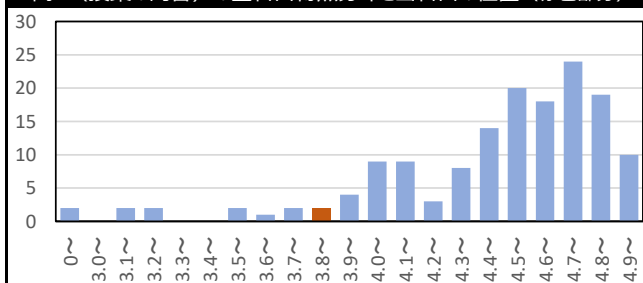
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	37	40	18				4.18	4.55	
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	28	30	21	17			3.69	4.50	
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	22	33	26	13	3		3.60	4.48	
4	授業の内容はわかりやすかった。	27	36	24	8	1		3.83	4.43	
5	授業の内容は興味のあるものだった。	31	46	16	3			4.06	4.47	
6	この授業は自分にとって価値があった。	31	42	17	4	3		3.97	4.54	
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	40	29	17	6	5		3.96	4.64	
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	39	45	9	3			4.25	4.65	
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	32	40	21	3			4.02	4.56	
10	教員の熱意が伝わってきた。	32	38	19	7			3.96	4.60	
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	26	27	27	13	4		3.60	4.49	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	29	35	26	4	3		3.86	4.58	
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	84						13	4.87	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	43	38	13				4.24	4.63	
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.01</b>	<b>4.57</b>	

■ 科目平均と全学平均との比較

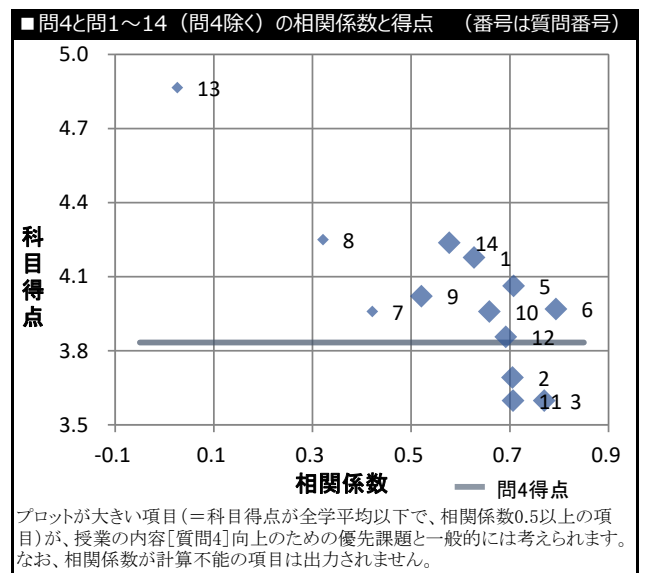


■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

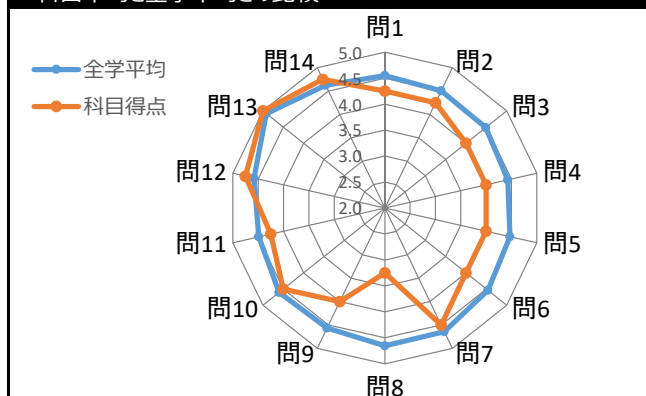
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	化学 I	[1D0501]	学部	看護学部	履修者数	4	回答率
教員名	三好洋		授業形態	講義	回答数	4	100.0%

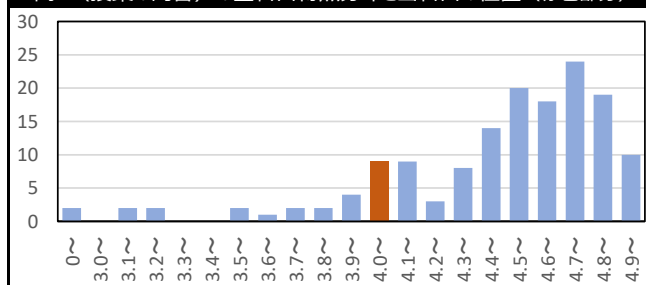
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 3 responses of 3 and 1 response of 5]						4.25	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 3 responses of 3 and 1 response of 5]						4.25	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart showing 2 responses of 3, 1 response of 4, and 1 response of 5]						4.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 2 responses of 3, 1 response of 4, and 1 response of 5]						4.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 2 responses of 3, 1 response of 4, and 1 response of 5]						4.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 2 responses of 3, 1 response of 4, and 1 response of 5]						4.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 3 responses of 3 and 1 response of 5]						4.50	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 1 response of 3, 2 responses of 4, and 1 response of 5]						3.25	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 1 response of 3, 2 responses of 4, and 1 response of 5]						4.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 3 responses of 3 and 1 response of 5]						4.50	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 2 responses of 3, 1 response of 4, and 1 response of 5]						4.25	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 3 responses of 3 and 1 response of 4]						4.75	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 4 responses of 5]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 3 responses of 3 and 1 response of 4]						4.75	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.25</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

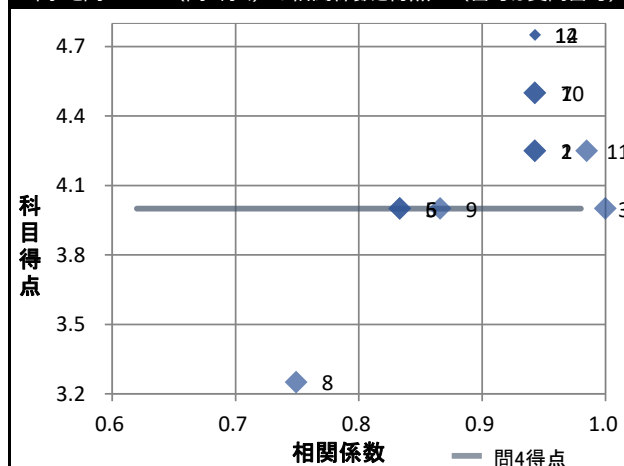


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

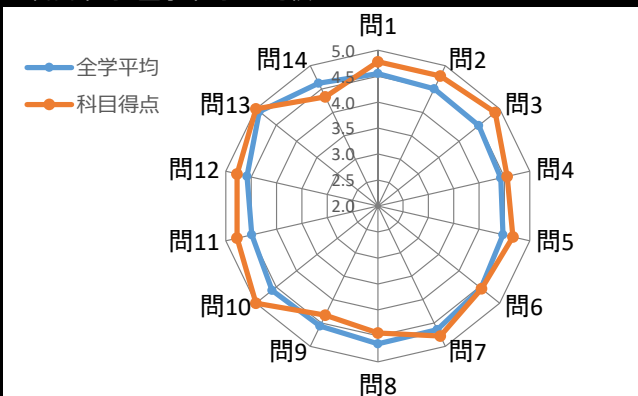
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	化学 I	[1D0502]	学部	看護学部	履修者数	9	回答率
教員名	三好洋		授業形態	講義	回答数	9	100.0%

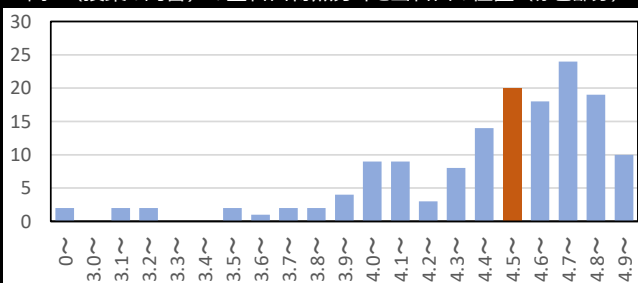
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 1 green]						4.89	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green, 1 orange]						4.56	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green, 1 orange]						4.67	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green, 1 orange]						4.56	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 5 blue, 3 green, 1 orange]						4.44	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 5 blue, 3 green, 1 orange]						4.33	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 9 blue]						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 9 blue]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 4 blue, 4 green, 1 orange]						4.33	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.69</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

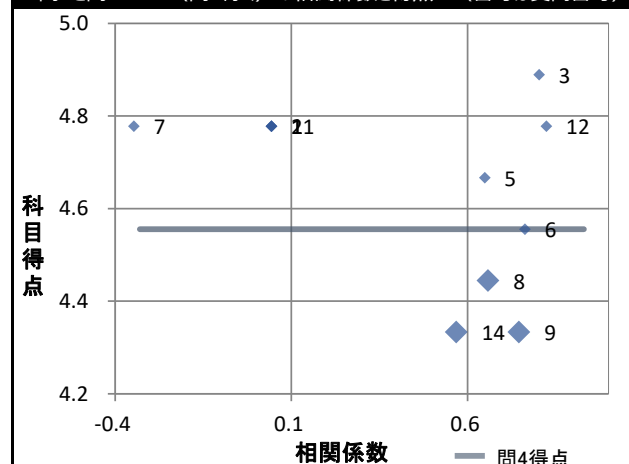


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

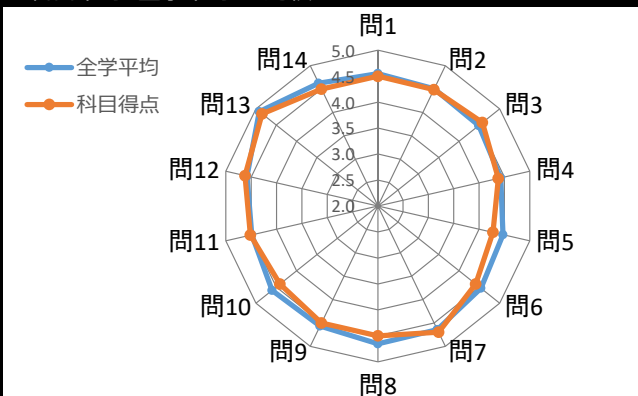
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	保健統計学	[1E0301]	学部	看護学部	履修者数	83	回答率
教員名	川崎洋平		授業形態	講義	回答数	66	79.5%

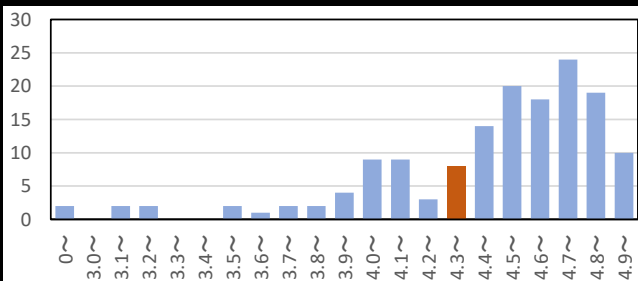
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree', 25% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 35% for 'Strongly disagree']						4.48	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 1% for 'Disagree', 35% for 'Strongly disagree']						4.58	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree', 25% for 'Agree', 8% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.38	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 19% for 'Agree', 10% for 'Disagree', 37% for 'Strongly disagree']						4.27	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 35% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 8% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.41	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.70	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 35% for 'Strongly disagree']						4.50	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 36% for 'Strongly disagree']						4.50	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 5% for 'Disagree', 35% for 'Strongly disagree']						4.41	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.52	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 1% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.62	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 56% for 'Strongly agree', 10% for 'Agree', 34% for 'Strongly disagree']						4.85	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 5% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.50	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.52</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

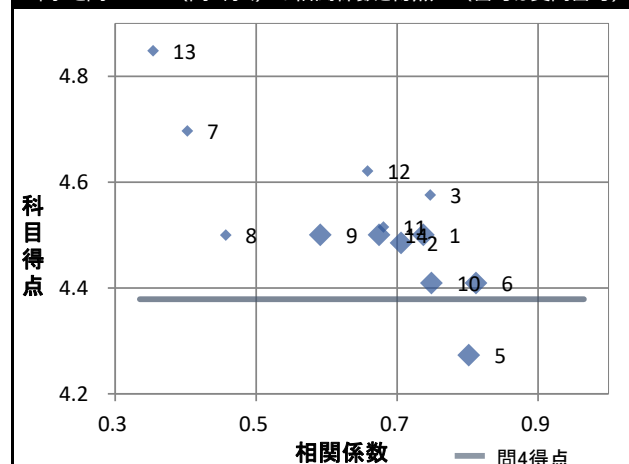


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

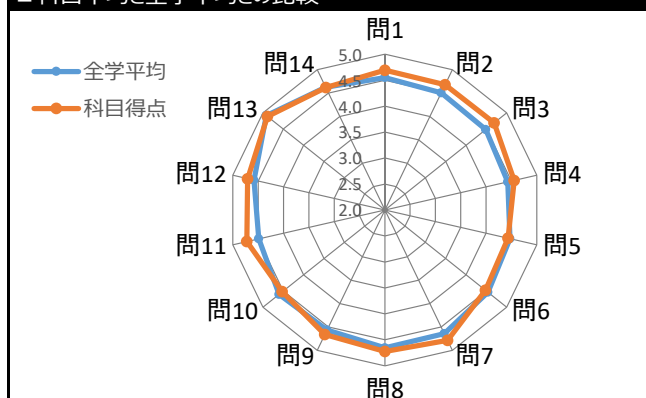
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	保健統計学	[1E0302]	学部	看護学部	履修者数	73	回答率
教員名	川崎洋平		授業形態	講義	回答数	65	89.0%

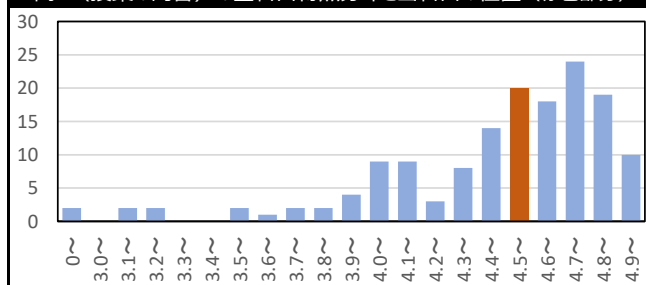
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 2% 'Disagree', 36% 'Strongly disagree']						4.69	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 3% 'Disagree', 35% 'Strongly disagree']						4.68	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 3% 'Disagree', 35% 'Strongly disagree']						4.69	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 7% 'Disagree', 36% 'Strongly disagree']						4.55	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree', 11% 'Agree', 8% 'Disagree', 38% 'Strongly disagree']						4.43	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 42% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 6% 'Disagree', 37% 'Strongly disagree']						4.48	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 2% 'Disagree', 35% 'Strongly disagree']						4.78	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 3% 'Disagree', 35% 'Strongly disagree']						4.72	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 5% 'Disagree', 35% 'Strongly disagree']						4.66	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 42% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 6% 'Disagree', 36% 'Strongly disagree']						4.52	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 2% 'Disagree', 35% 'Strongly disagree']						4.72	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 3% 'Disagree', 35% 'Strongly disagree']						4.71	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree', 5% 'Disagree', 36% 'Strongly disagree']						4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 6% 'Disagree', 35% 'Strongly disagree']						4.62	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.65</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



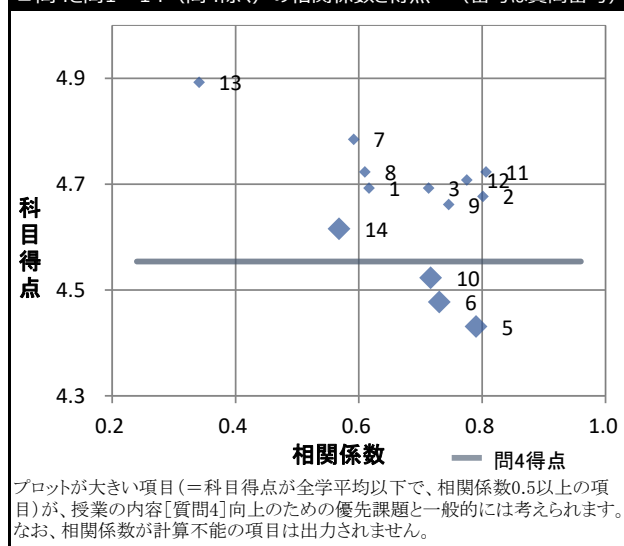
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

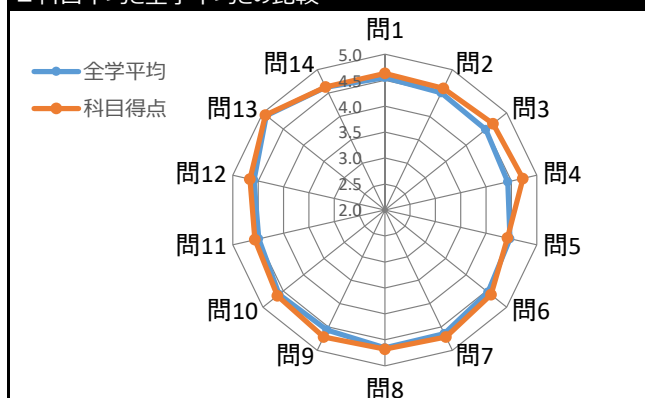
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	日本語の表現 [1F0101]	学部	看護学部	履修者数	65	回答率	
教員名	越後敬子	授業形態	講義	回答数	62	95.4%	

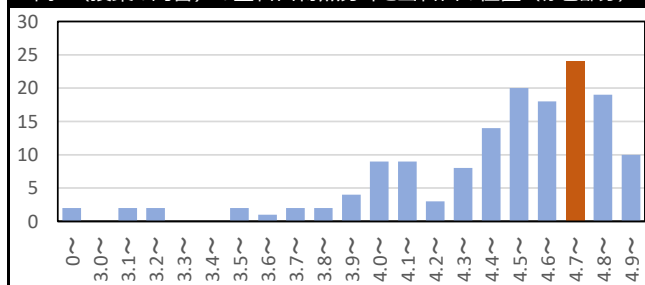
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 2% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 38% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 1% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.60	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 1% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.66	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 1% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.73	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 34% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 8% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.42	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 3% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.61	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 1% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.71	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 1% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.68	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 1% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.71	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 1% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.65	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 37% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 2% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.56	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 42% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 1% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.66	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree', 4% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 4% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.63	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.66</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



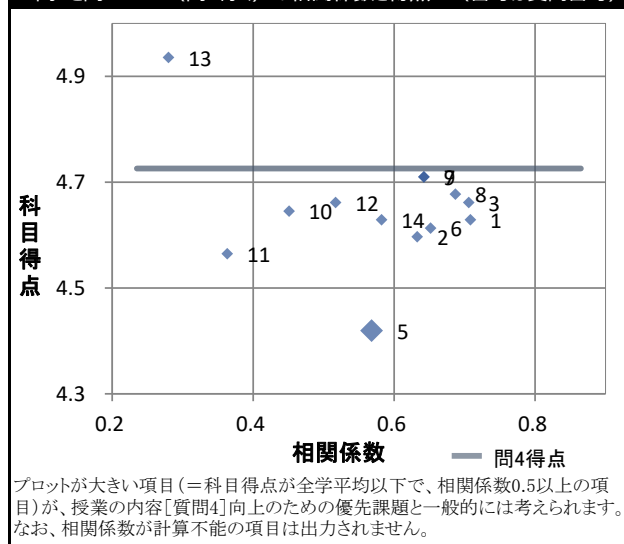
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

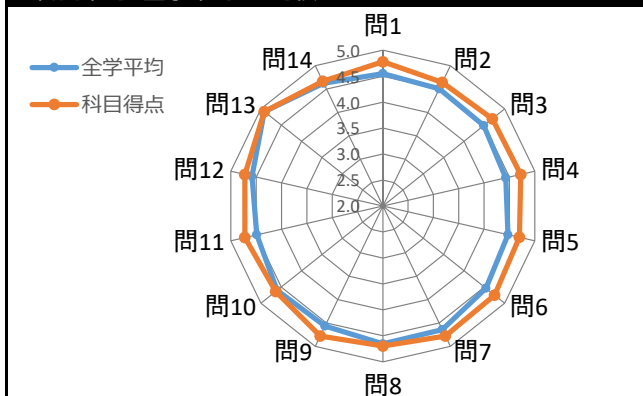
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	日本語の表現 [1F0102]	学部	看護学部	履修者数	65	回答率	
教員名	越後敬子	授業形態	講義	回答数	36	55.4%	

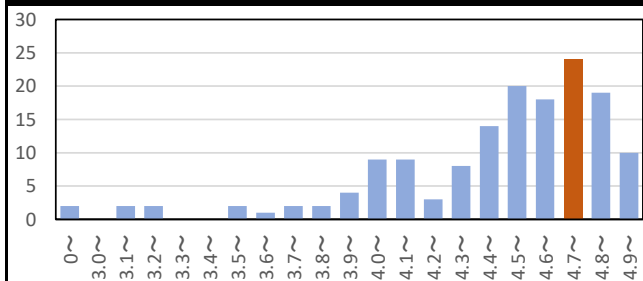
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 28 for 'Strongly agree' and 8 for 'Agree']						4.78	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree' and 11 for 'Agree']						4.64	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 11 for 'Agree']						4.69	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.72	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 11 for 'Agree']						4.69	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 27 for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.75	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 28 for 'Strongly agree' and 8 for 'Agree']						4.78	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 11 for 'Agree']						4.69	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 28 for 'Strongly agree' and 8 for 'Agree']						4.78	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree' and 11 for 'Agree']						4.64	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.72	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.72	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 33 for 'Strongly agree' and 3 for 'Agree']						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree' and 12 for 'Agree']						4.67	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.73</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

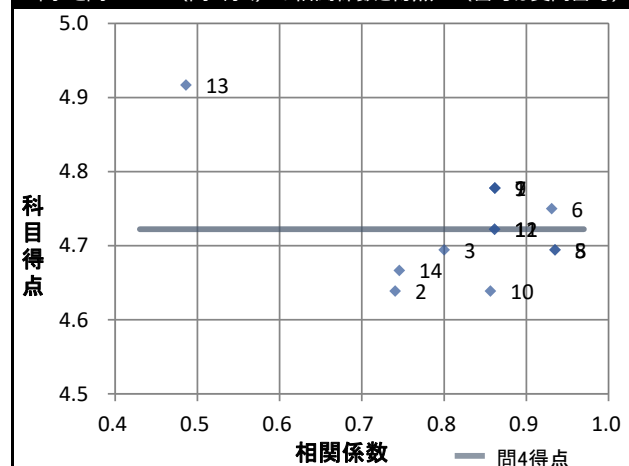


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

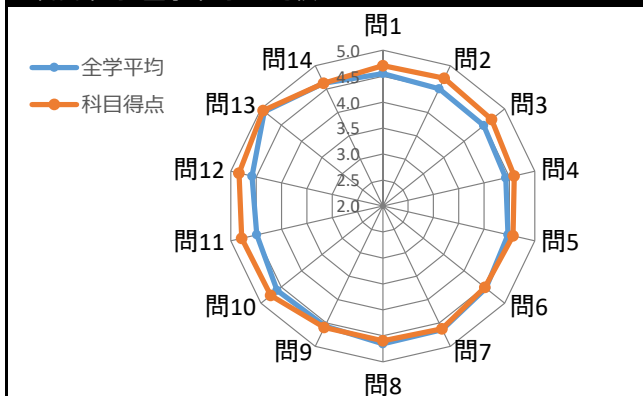
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語R1-1	[1F0201]	学部	看護学部	履修者数	37	回答率
教員名	川崎修一		授業形態	講義	回答数	37	100.0%

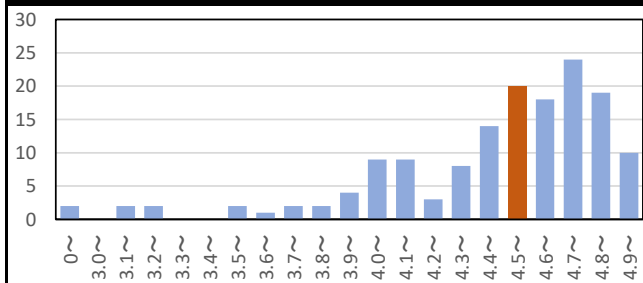
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 26% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.70	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 27% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.73	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.68	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 23% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.59	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 23% for 'Strongly agree', 12% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.57	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 21% for 'Strongly agree', 14% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.51	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 24% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.62	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 23% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.59	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 24% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.59	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 28% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.76	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 29% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.78	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 31% for 'Strongly agree' and 6% for 'Agree']						4.84	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 35% for 'Strongly agree' and 2% for 'Disagree']						4.95	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree', 10% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.62	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.68</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



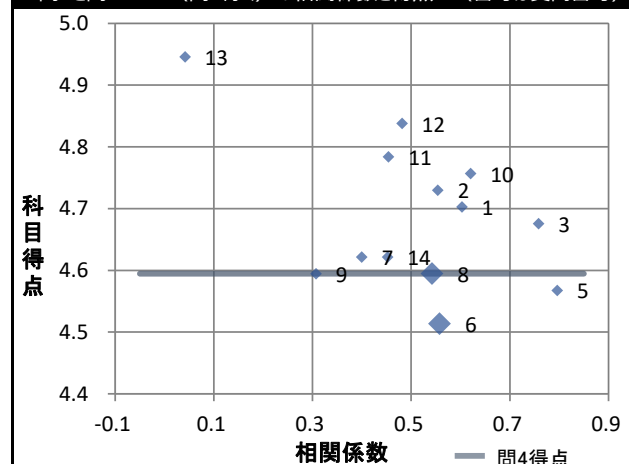
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

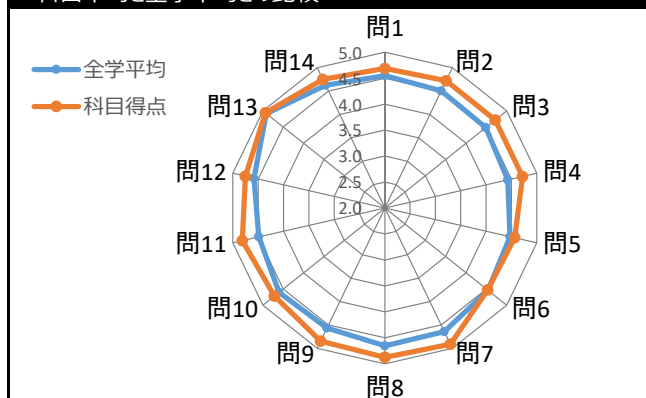
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語R1-1	[1F0202]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率
教員名	遠藤花子		授業形態	講義	回答数	32	91.4%

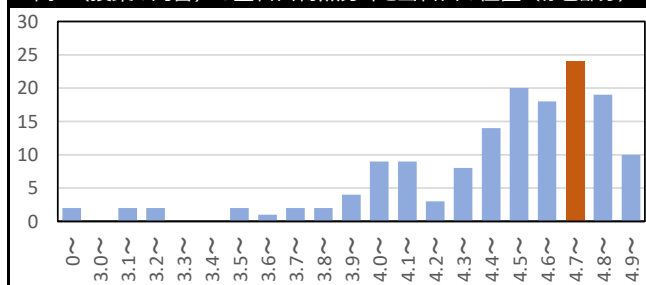
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 22 (blue), 10 (green)]						4.69	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 23 (blue), 9 (green)]						4.72	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 24 (blue), 7 (green), 1 (yellow)]						4.72	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 24 (blue), 7 (green), 1 (yellow)]						4.72	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 23 (blue), 4 (green), 5 (yellow)]						4.56	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 20 (blue), 9 (green), 3 (yellow)]						4.53	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 29 (blue), 3 (green)]						4.91	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 28 (blue), 4 (green)]						4.88	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 27 (blue), 5 (green)]						4.84	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 24 (blue), 7 (green), 1 (yellow)]						4.72	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 26 (blue), 6 (green)]						4.81	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 25 (blue), 6 (green), 1 (yellow)]						4.75	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 30 (blue), 2 (green)]						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 24 (blue), 8 (green)]						4.75	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.75</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

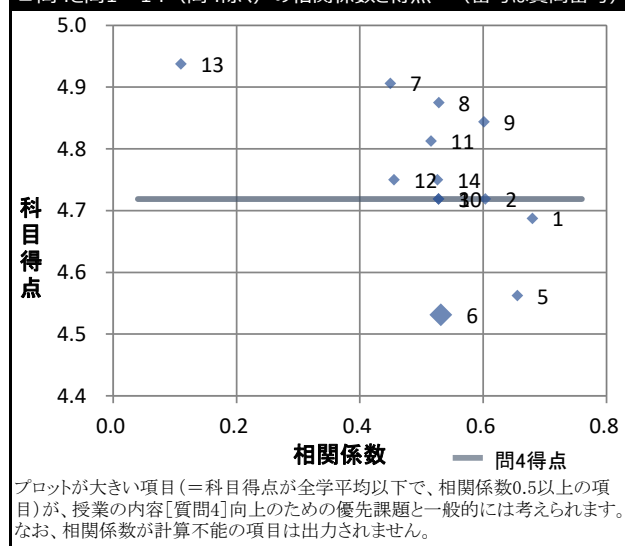


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

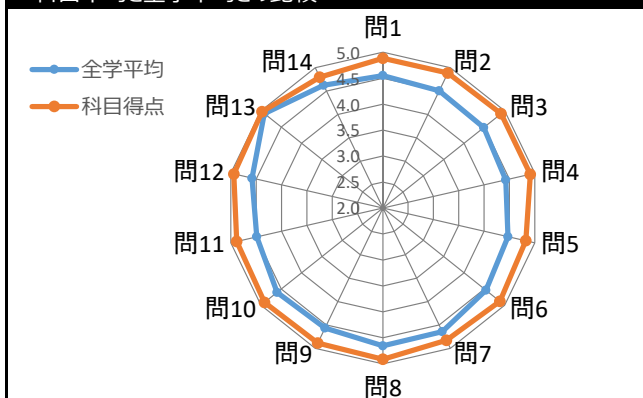
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語R1-1	[1F0203]	学部	看護学部	履修者数	37	回答率
教員名	川崎修一		授業形態	講義	回答数	34	91.9%

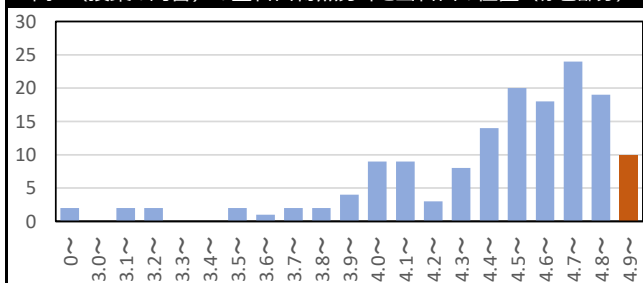
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 30 blue, 4 green]						4.88	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 30 blue, 4 green]						4.88	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 31 blue, 3 green]						4.91	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 31 blue, 3 green]						4.91	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 29 blue, 4 green, 1 yellow]						4.82	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 30 blue, 4 green]						4.88	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 29 blue, 4 green, 1 yellow]						4.82	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 31 blue, 3 green]						4.91	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 30 blue, 4 green]						4.88	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 31 blue, 3 green]						4.91	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 30 blue, 4 green]						4.88	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 32 blue, 2 green]						4.94	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 33 blue, 1 green]						4.97	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 27 blue, 7 green]						4.79	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.89</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

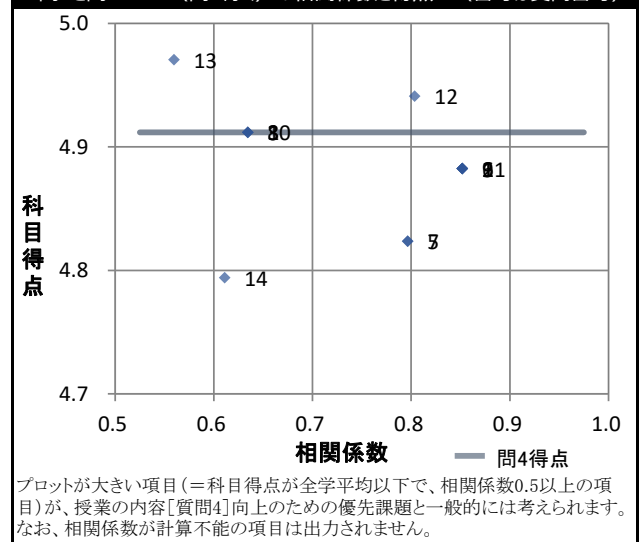


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

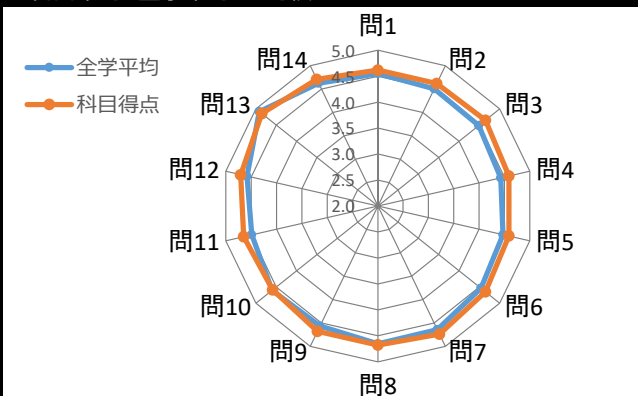
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語R1-1	[1F0204]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率
教員名	遠藤花子		授業形態	講義	回答数	34	97.1%

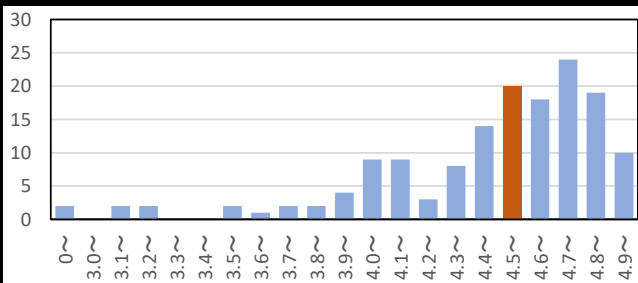
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes' and 13 for 'No']						4.62	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes' and 13 for 'No']						4.62	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 22 responses for 'Yes' and 12 for 'No']						4.65	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes' and 12 for 'No']						4.59	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes' and 12 for 'No']						4.59	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 22 responses for 'Yes' and 12 for 'No']						4.65	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 9 for 'No']						4.74	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.68	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.68	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes' and 12 for 'No']						4.59	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes' and 10 for 'No']						4.65	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 8 for 'No']						4.71	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.85	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 24 responses for 'Yes' and 10 for 'No']						4.71	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.66</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

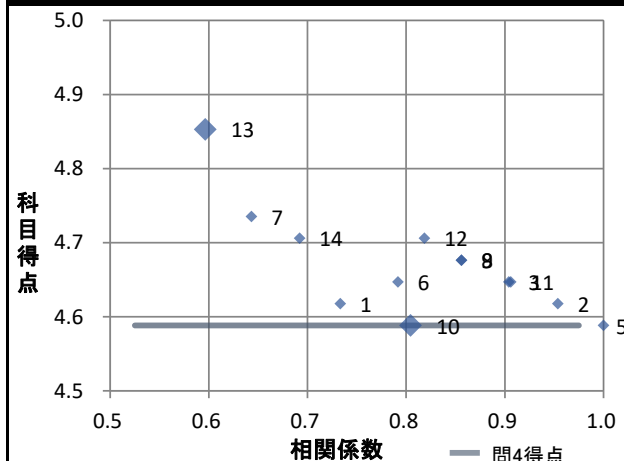


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## ＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

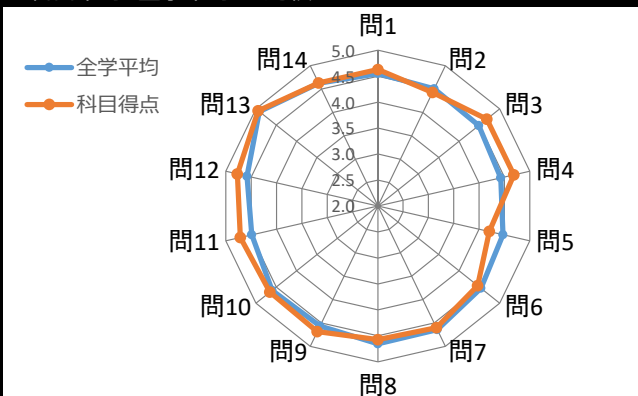
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語W1-1	[1F0401]	学部	看護学部	履修者数	37	回答率	
教員名	佐藤眞		授業形態	講義	回答数	35	94.6%	

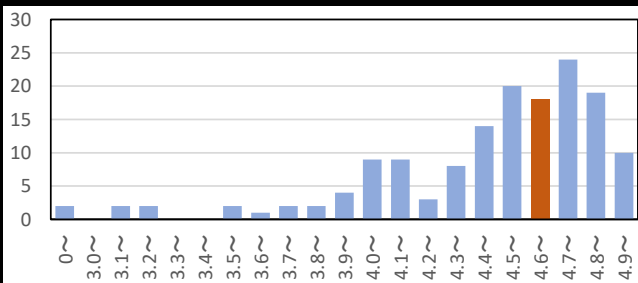
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 22% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 16% for 'Strongly agree' and 18% for 'Agree']						4.43	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 24% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.69	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 24% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.69	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 14% for 'Strongly agree', 15% for 'Agree', and 5% for 'Disagree']						4.20	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 19% for 'Strongly agree', 13% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.46	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 22% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.60	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 21% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.57	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.69	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 24% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.66	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.71	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 27% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.77	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree' and 2% for 'Disagree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 24% for 'Strongly agree', 9% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.63	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.62</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

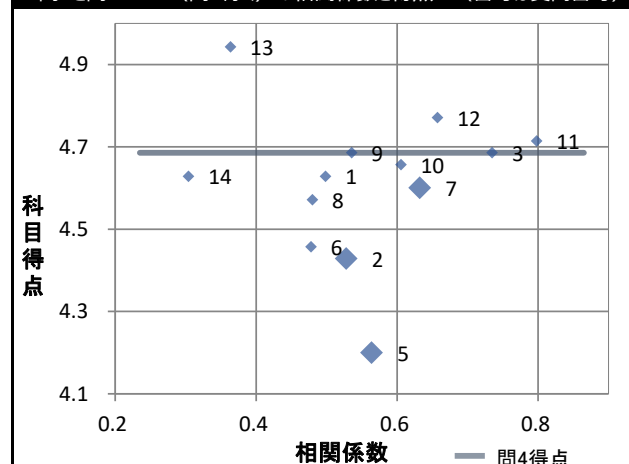


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

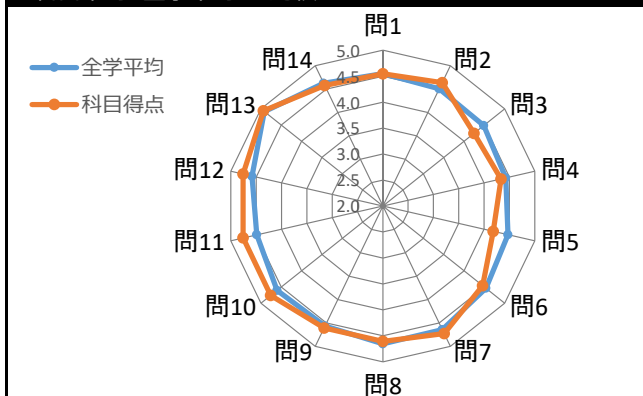
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語W1-1	[1F0402]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率
教員名	MichellevanBokhorst		授業形態	講義	回答数	33	94.3%

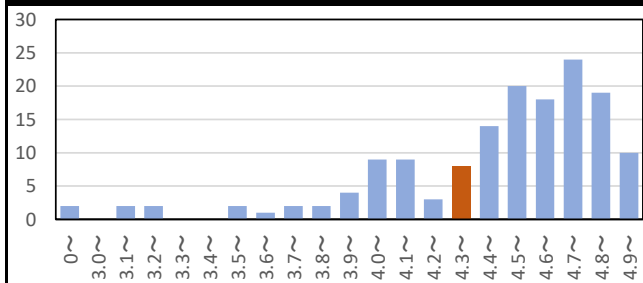
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 18 (blue), 15 (green)]						4.55	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 21 (blue), 12 (green)]						4.64	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 15 (blue), 12 (green), 5 (yellow), 1 (orange)]						4.24	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 15 (blue), 14 (green), 4 (yellow)]						4.33	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 11 (blue), 17 (green), 5 (yellow)]						4.18	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 16 (blue), 16 (green), 1 (yellow)]						4.45	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 24 (blue), 9 (green)]						4.73	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 20 (blue), 13 (green)]						4.61	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 20 (blue), 13 (green)]						4.61	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 25 (blue), 8 (green)]						4.76	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 25 (blue), 8 (green)]						4.76	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 25 (blue), 8 (green)]						4.76	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 31 (blue), 2 (yellow)]						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 19 (blue), 14 (green)]						4.58	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.58</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

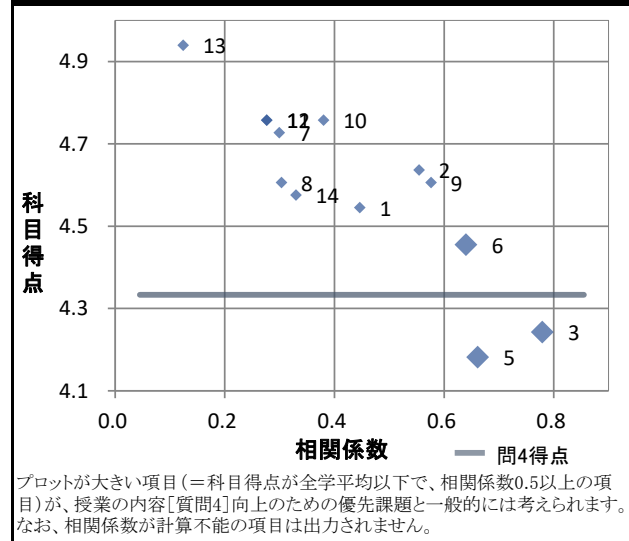


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

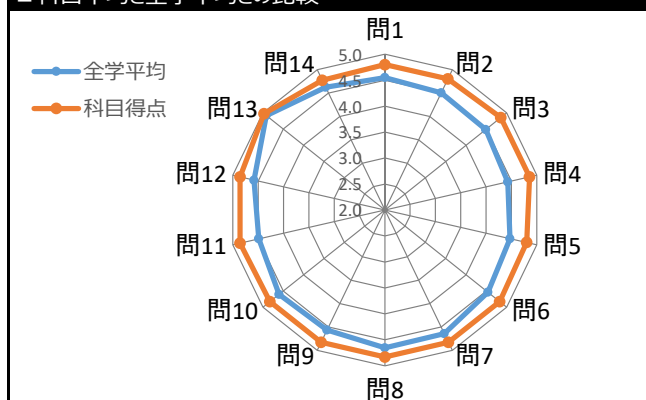


科目名	英語W1-1	[1F0403]	学部	看護学部	履修者数	37	回答率
教員名	佐藤眞		授業形態	講義	回答数	35	94.6%

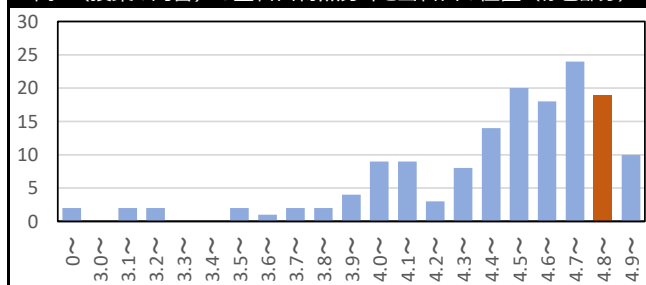
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 28 for score 4 and 7 for score 5]						4.80	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 28 for score 4 and 7 for score 5]						4.80	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 30 for score 4 and 5 for score 5]						4.86	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 30 for score 4 and 5 for score 5]						4.86	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 28 for score 4 and 7 for score 5]						4.80	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 29 for score 4 and 6 for score 5]						4.83	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 29 for score 4 and 6 for score 5]						4.83	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 29 for score 4 and 6 for score 5]						4.83	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 29 for score 4 and 6 for score 5]						4.83	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 29 for score 4 and 6 for score 5]						4.83	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 30 for score 4 and 5 for score 5]						4.86	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 30 for score 4 and 5 for score 5]						4.86	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 34 for score 4 and 1 for score 5]						4.97	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 27 for score 4 and 8 for score 5]						4.77	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.84</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



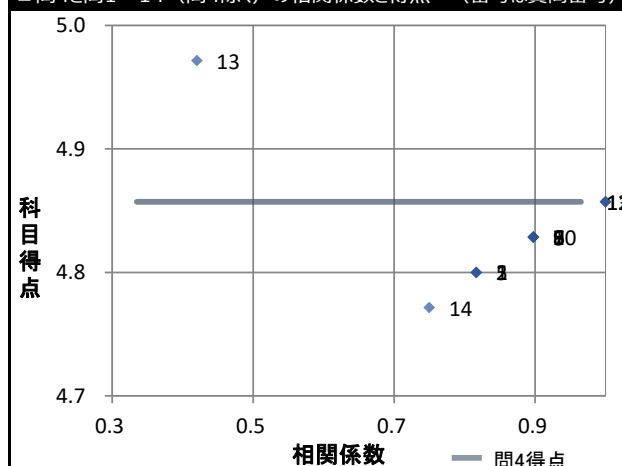
■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



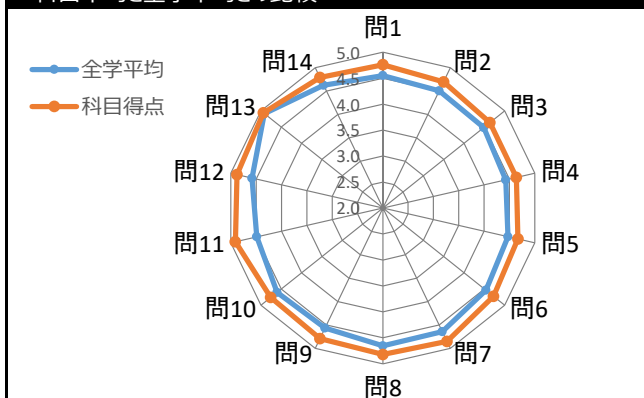
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	英語W1-1	[1F0404]	学部	看護学部	履修者数	34	回答率
教員名	MichellevanBokhorst		授業形態	講義	回答数	33	97.1%

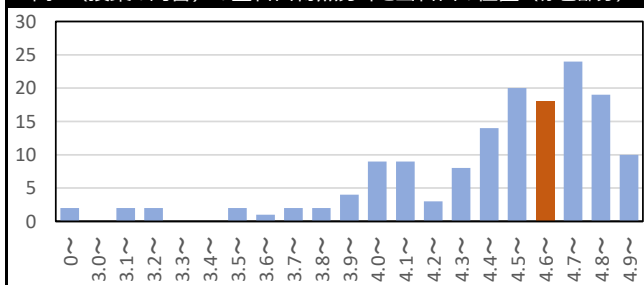
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 25 responses for 'strongly agree' and 8 for 'agree']						4.76	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 24 responses for 'strongly agree', 8 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.70	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 23 responses for 'strongly agree', 9 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.64	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 22 responses for 'strongly agree', 10 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.64	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 23 responses for 'strongly agree', 9 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.67	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 25 responses for 'strongly agree', 7 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.73	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 28 responses for 'strongly agree' and 5 for 'agree']						4.85	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 28 responses for 'strongly agree', 4 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.82	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 27 responses for 'strongly agree', 5 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.79	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 26 responses for 'strongly agree', 6 for 'agree', and 1 for 'neither']						4.76	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 30 responses for 'strongly agree' and 3 for 'agree']						4.91	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 29 responses for 'strongly agree' and 4 for 'agree']						4.88	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 31 responses for 'strongly agree' and 2 for 'agree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 26 responses for 'strongly agree' and 7 for 'agree']						4.79	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.77</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



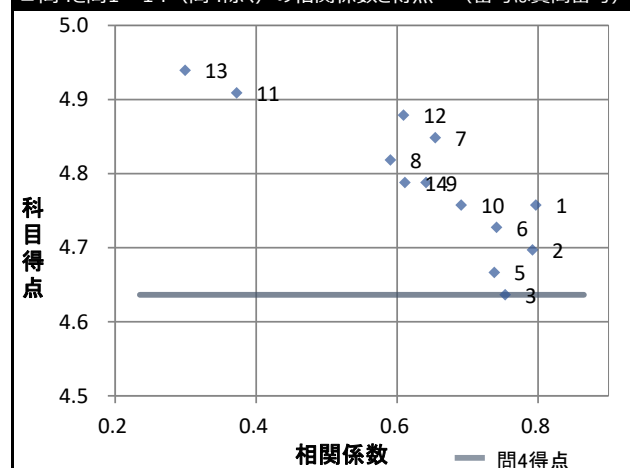
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

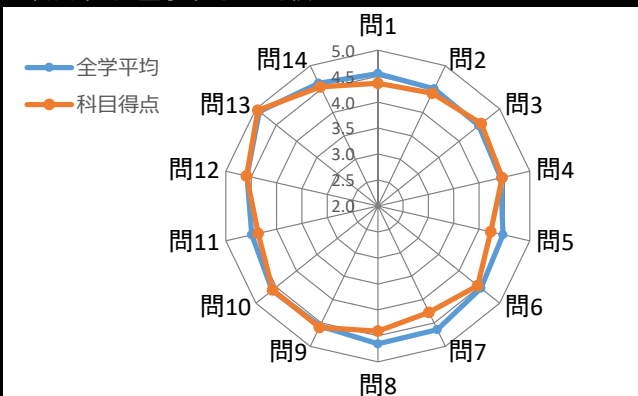
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語LS1-1	[1F0601]	学部	看護学部	履修者数	23	回答率	
教員名	BenjaminTutcher		授業形態	講義	回答数	22	95.7%	

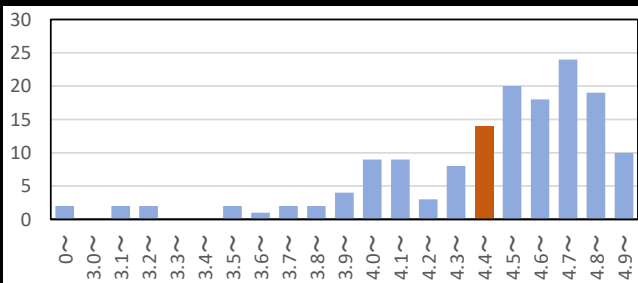
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 blue, 12 green, 1 orange]						4.36	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 10 blue, 11 green, 1 orange]						4.41	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 12 blue, 10 green]						4.55	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 12 blue, 9 green, 1 orange]						4.45	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 9 blue, 10 green, 2 orange, 1 red]						4.23	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 13 blue, 6 green, 3 orange]						4.45	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 10 blue, 8 green, 4 orange]						4.27	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 11 blue, 9 green, 2 orange]						4.41	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 13 blue, 9 green]						4.59	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 14 blue, 7 green, 1 orange]						4.59	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 12 blue, 6 green, 4 orange]						4.36	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 14 blue, 7 green, 1 orange]						4.59	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 21 blue, 1 orange]						4.95	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 13 blue, 8 green, 1 orange]						4.55	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.48</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

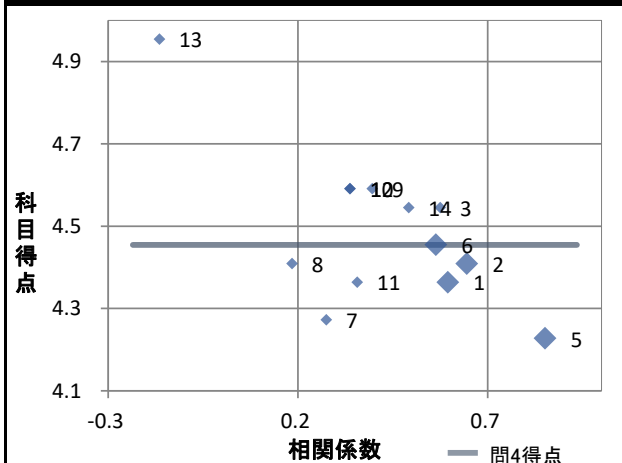


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

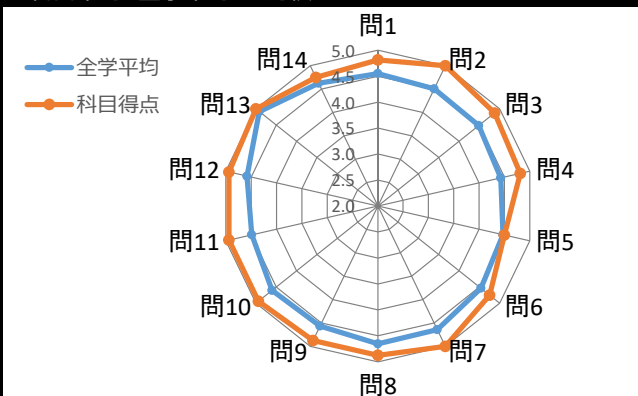
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語LS1-1	[1F0602]	学部	看護学部	履修者数	16	回答率
教員名	SamBamkin		授業形態	講義	回答数	16	100.0%

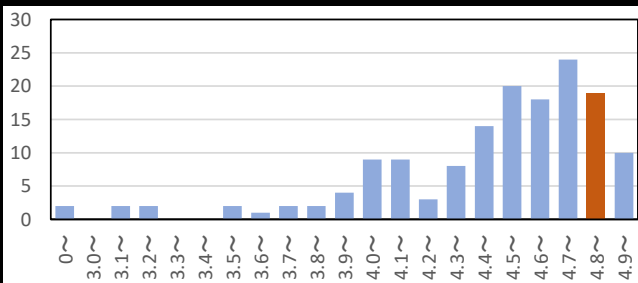
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 16 blue]						5.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 14 blue, 2 green]						4.88	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 9 blue, 6 green, 1 yellow]						4.50	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 12 blue, 4 green]						4.75	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 16 blue]						5.00	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 14 blue, 2 green]						4.88	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 14 blue, 2 green]						4.88	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 15 blue, 1 green]						4.94	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 15 blue, 1 green]						4.94	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 15 blue, 1 green]						4.94	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 16 blue]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 12 blue, 4 green]						4.75	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.86</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



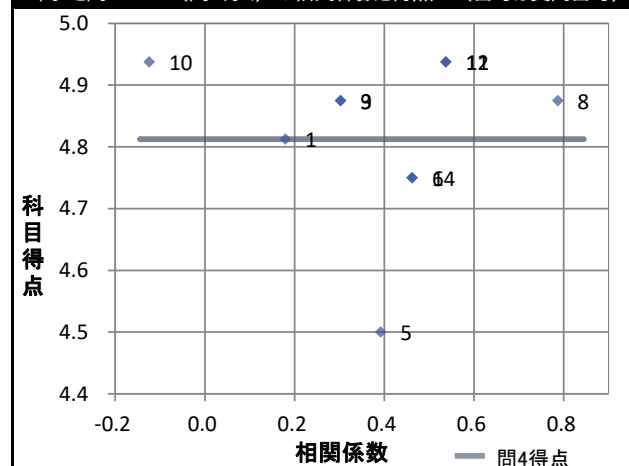
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

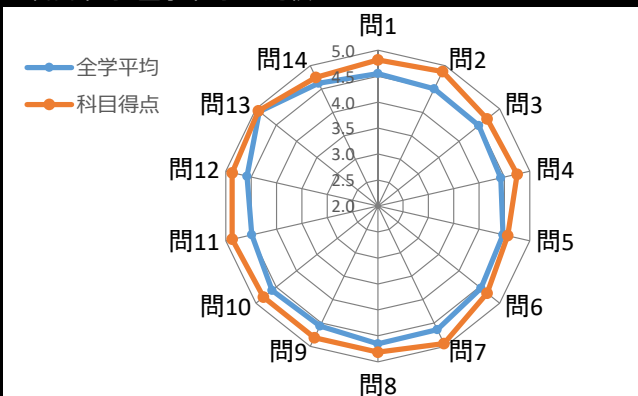
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語LS1-1	[1F0603]	学部	看護学部	履修者数	20	回答率
教員名	MichellevanBokhorst		授業形態	講義	回答数	16	80.0%

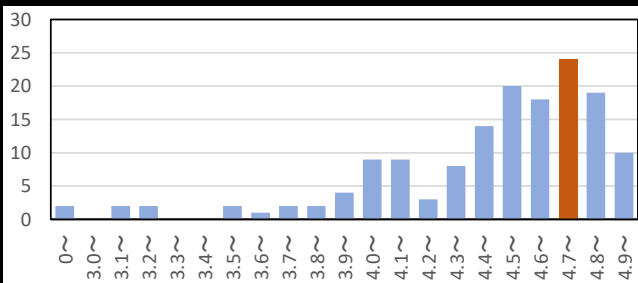
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.81	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.88	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.69	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.56	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.69	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.94	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.81	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.81	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.81	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.88	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.88	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.75	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.80</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



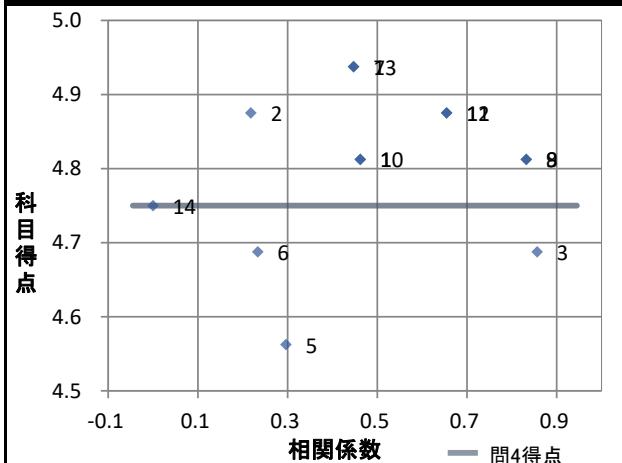
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 ・(3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

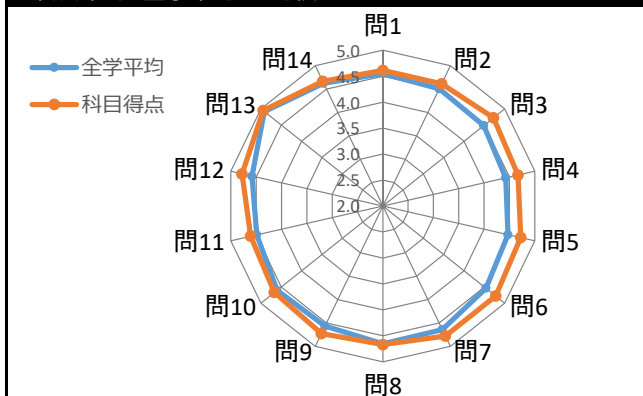
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語LS1-1	[1F0604]	学部	看護学部	履修者数	25	回答率
教員名	BenjaminTutcher		授業形態	講義	回答数	18	72.0%

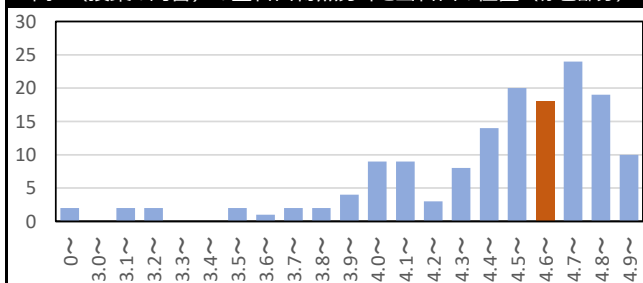
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.61	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.61	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.72	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.72	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.78	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.78	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.67	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.72	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.67	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.61	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.78	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.67	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.71</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

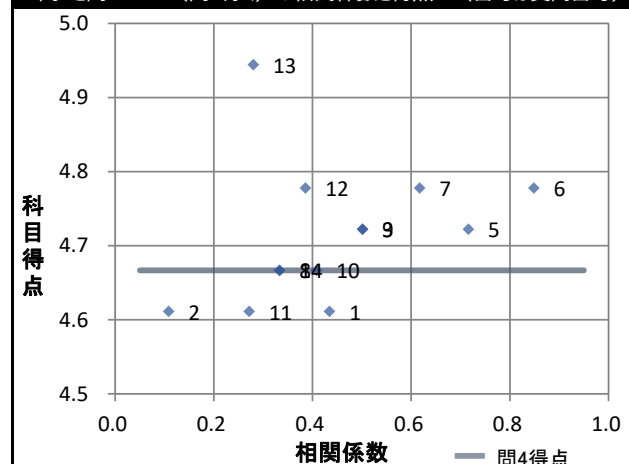


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

## ＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

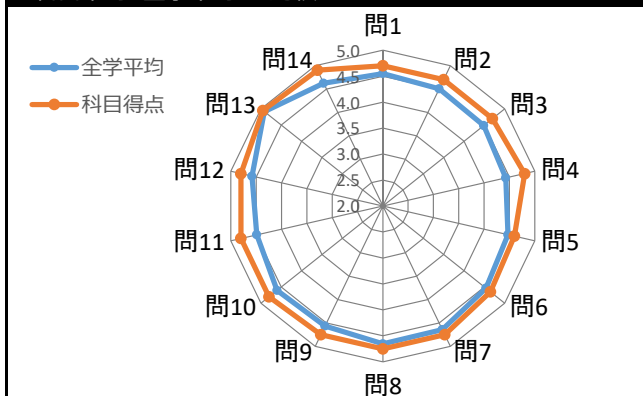
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語LS1-1	[1F0605]	学部	看護学部	履修者数	22	回答率
教員名	SamBamkin		授業形態	講義	回答数	20	90.9%

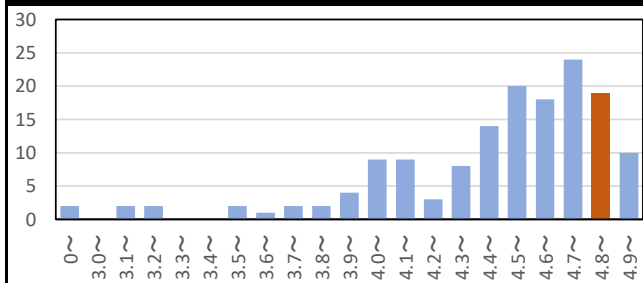
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 14 for 'Strongly agree' and 6 for 'Agree']						4.70	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 14 for 'Strongly agree' and 6 for 'Agree']						4.70	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 14 for 'Strongly agree' and 6 for 'Agree']						4.70	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 16 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.80	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 13 for 'Strongly agree', 6 for 'Agree', and 1 for 'Disagree']						4.60	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 13 for 'Strongly agree' and 7 for 'Agree']						4.65	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 15 for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.75	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 15 for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.75	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 15 for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.75	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 16 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.80	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 16 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.80	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 16 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.80	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 19 for 'Strongly agree' and 1 for 'Disagree']						4.95	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 18 for 'Strongly agree' and 2 for 'Disagree']						4.90	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.76</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較

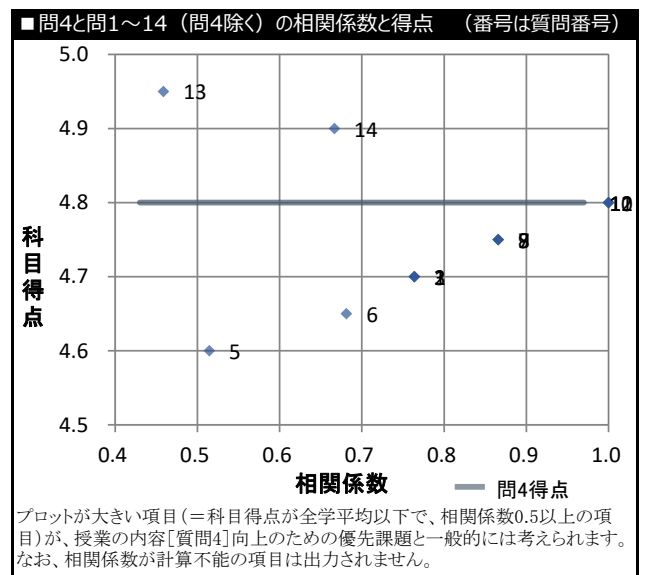


## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語LS1-1	[1F0606]	学部	看護学部	履修者数	19	回答率
教員名	MichellevanBokhorst		授業形態	講義	回答数	18	94.7%

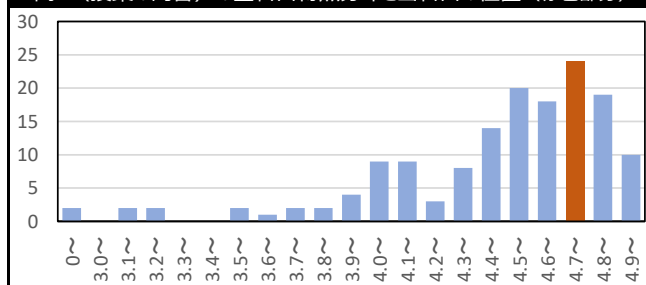
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.83	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.89	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.72	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.72	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.83	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.83	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.94	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.83	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.83	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.89	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.94	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.94	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.83	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.86</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



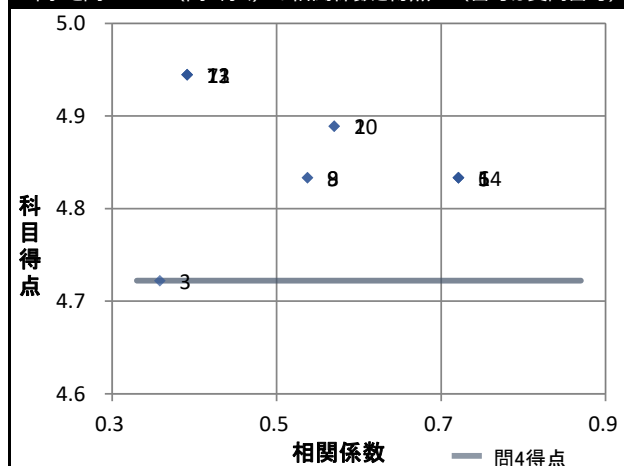
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

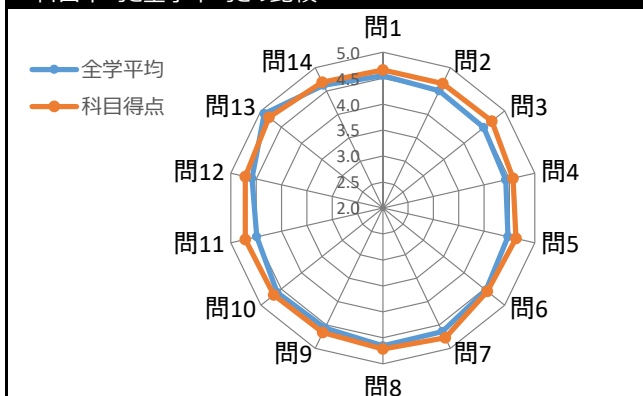
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語R2-1	[1F0801]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率
教員名	皆川健次郎		授業形態	講義	回答数	35	100.0%

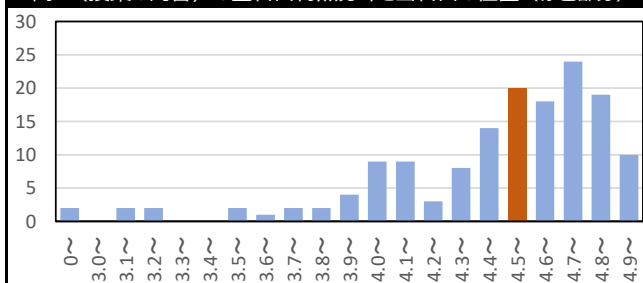
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree' and 7 for 'Agree']						4.66	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree', 8 for 'Agree', and 2 for 'Disagree']						4.66	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree', 7 for 'Agree', and 2 for 'Disagree']						4.69	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree', 8 for 'Agree', and 2 for 'Disagree']						4.57	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree', 8 for 'Agree', and 2 for 'Disagree']						4.63	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree', 8 for 'Agree', and 2 for 'Disagree']						4.57	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 27 for 'Strongly agree' and 8 for 'Agree']						4.77	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree' and 8 for 'Agree']						4.71	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.66	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.69	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.71	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.71	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 28 for 'Strongly agree' and 7 for 'Agree']						4.80	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.69	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.68</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

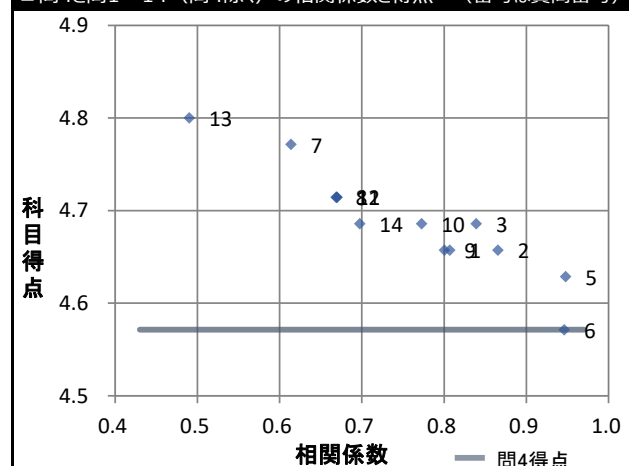


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



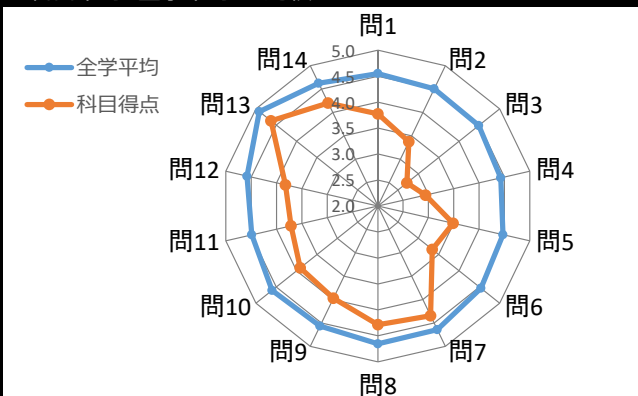
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	英語R2-1	[1F0802]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率
教員名	野村美由紀		授業形態	講義	回答数	35	100.0%

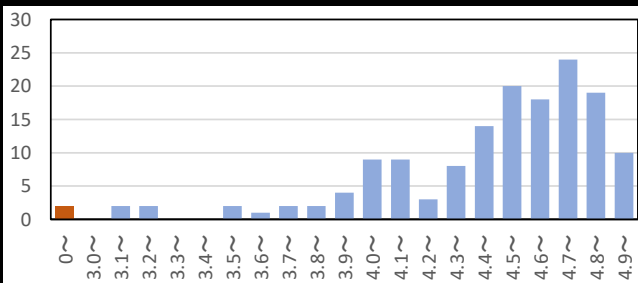
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9	14	7	5			3.77	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6	8	14	7			3.37	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4	7	8	7	9		2.71	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	4	7	10	11	3		2.94	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6	12	12	3	2		3.49	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	6	7	16	5			3.34	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	19	10	5				4.34	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	11	7				4.29	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	13	11	8	3			3.97	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	11	11	10	2			3.91	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10	10	11	3			3.71	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12	7	12	3			3.82	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	24	9	2				4.63	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14	14	7				4.20	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>3.75</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



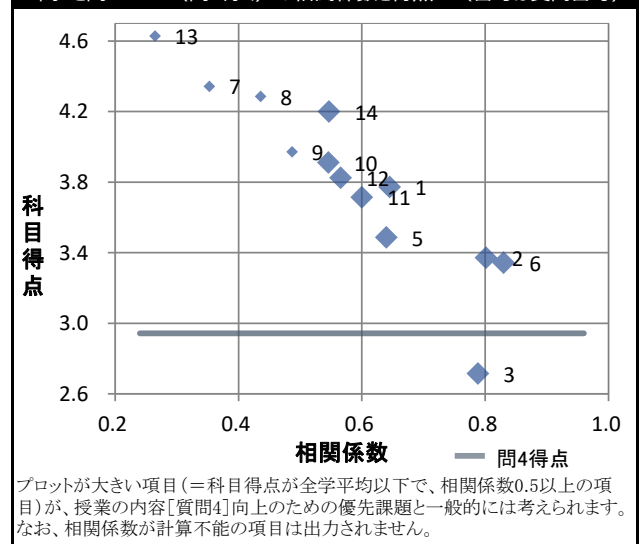
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

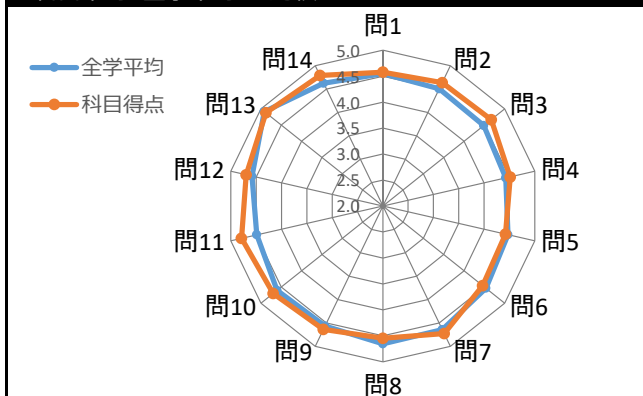
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語R2-1	[1F0803]	学部	看護学部	履修者数	42	回答率
教員名	皆川健次郎		授業形態	講義	回答数	33	78.6%

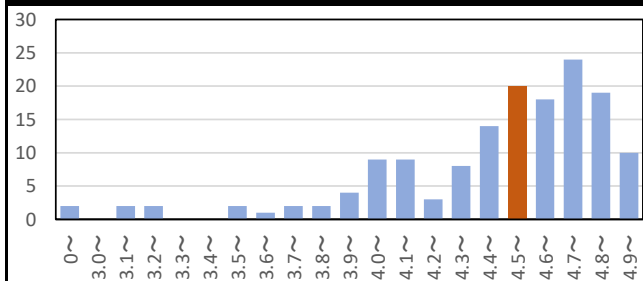
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.58	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.64	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.67	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.52	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.42	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.45	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.73	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.55	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.64	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.70	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.79	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.70	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.79	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.65</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

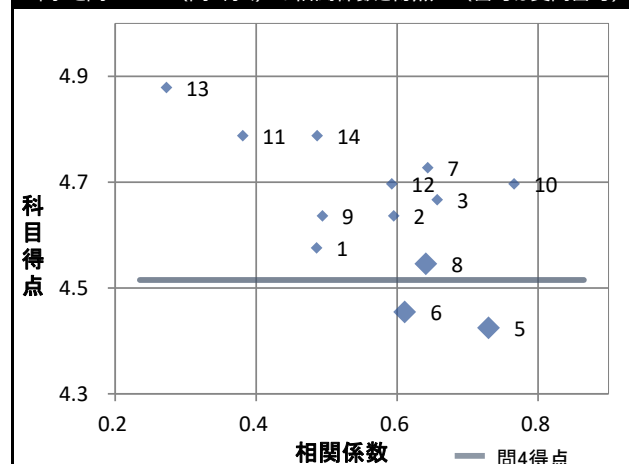


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

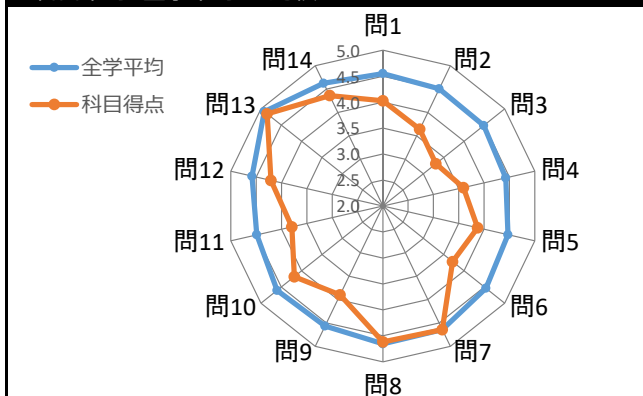
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語R2-1	[1F0804]	学部	看護学部	履修者数	42	回答率
教員名	野村美由紀		授業形態	講義	回答数	39	92.9%

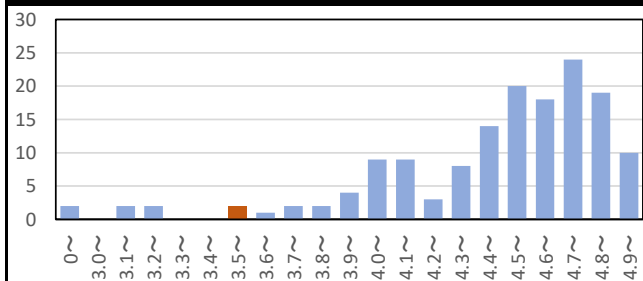
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	18	9	8	3			4.03	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13	10	8	5	3		3.64	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12	5	9	9	4		3.31	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	14	6	11	5	3		3.59	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	16	9	9	3	2		3.87	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	14	8	11	4	2		3.72	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	30			5	3		4.64	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	28			7	4		4.62	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	18	7	8	4	2		3.90	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	19	9	10				4.18	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15	10	7	5	2		3.79	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21	9	7	2			4.21	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	35				2	2	4.85	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24	7	6	2			4.36	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.05</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

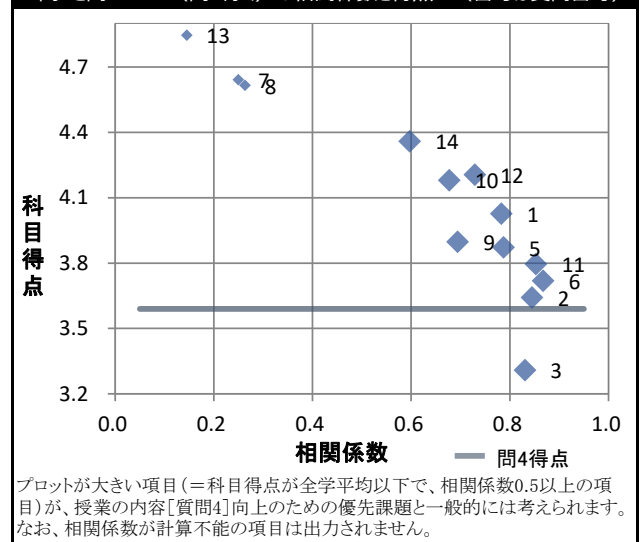


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

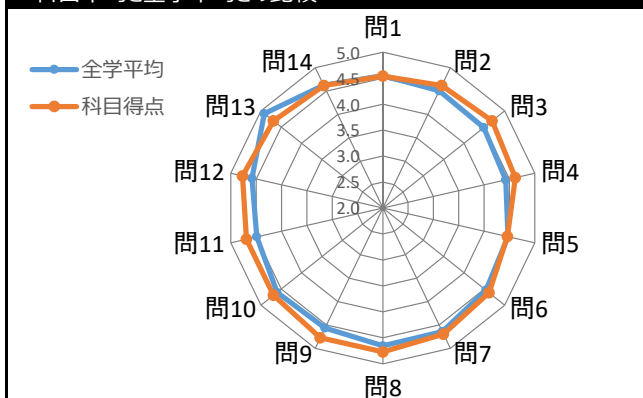
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語W2-1	[1F1001]	学部	看護学部	履修者数	18	回答率
教員名	遠藤花子		授業形態	講義	回答数	13	72.2%

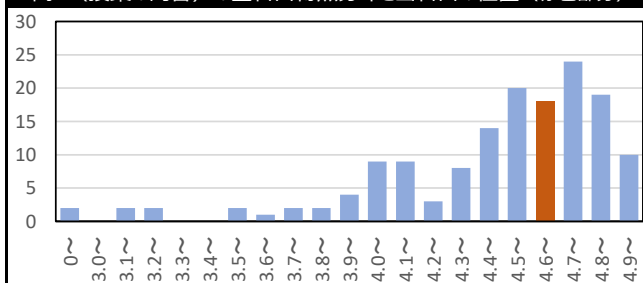
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 7 'Strongly disagree' and 6 'Disagree']						4.54	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 8 'Strongly disagree' and 5 'Disagree']						4.62	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 9 'Strongly disagree' and 4 'Disagree']						4.69	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 8 'Strongly disagree' and 5 'Disagree']						4.62	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 7 'Strongly disagree', 5 'Disagree', 1 'Strongly agree']						4.46	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 8 'Strongly disagree' and 5 'Disagree']						4.62	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 9 'Strongly disagree' and 4 'Disagree']						4.69	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 10 'Strongly disagree' and 3 'Disagree']						4.77	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 10 'Strongly disagree' and 3 'Disagree']						4.77	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 9 'Strongly disagree' and 4 'Disagree']						4.69	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 9 'Strongly disagree' and 4 'Disagree']						4.69	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 'Strongly disagree' and 3 'Disagree']						4.77	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 9 'Strongly disagree' and 4 'Disagree']						4.69	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 9 'Strongly disagree', 3 'Disagree', 1 'Strongly agree']						4.62	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.66</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

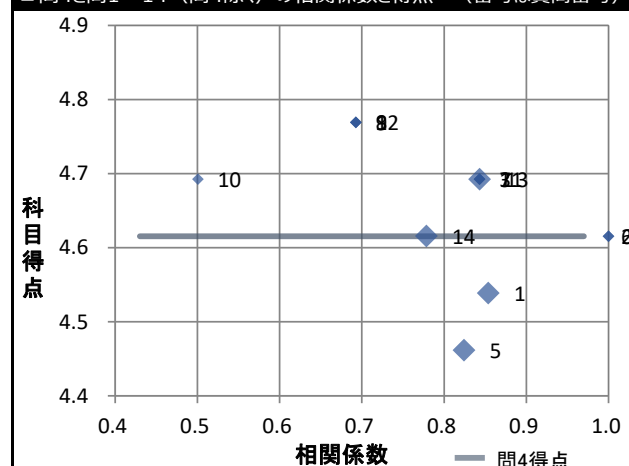


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

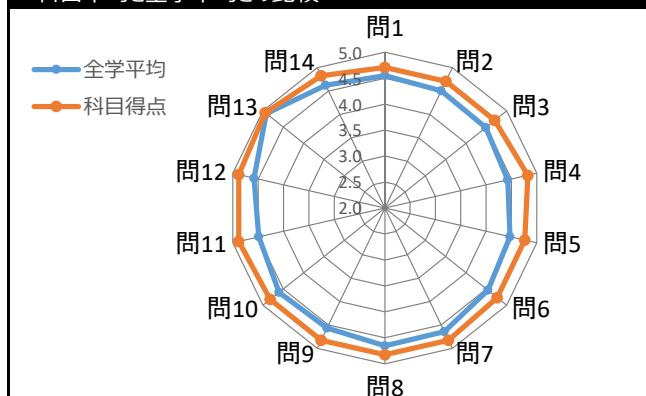
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語W2-1	[1F1002]	学部	看護学部	履修者数	21	回答率
教員名	遠藤花子		授業形態	講義	回答数	17	81.0%

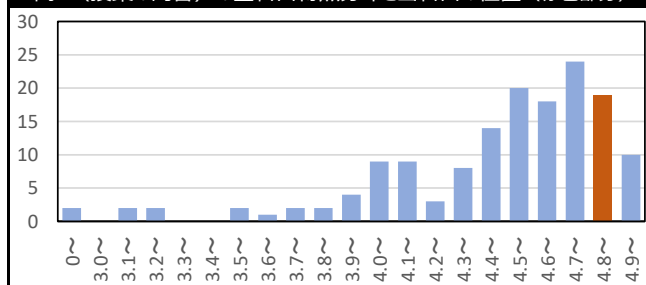
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 3 '4' responses, 1 '3' response]						4.71	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 3 '4' responses, 1 '3' response]						4.71	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.71	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 3 '4' responses]						4.82	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 4 '4' responses]						4.76	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 4 '4' responses]						4.76	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 3 '4' responses]						4.82	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 3 '4' responses]						4.82	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 3 '4' responses]						4.82	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 3 '4' responses]						4.82	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 15 '5' responses, 2 '4' responses]						4.88	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 15 '5' responses, 2 '4' responses]						4.88	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 16 '5' responses, 1 '4' response]						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 3 '4' responses]						4.82	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.81</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

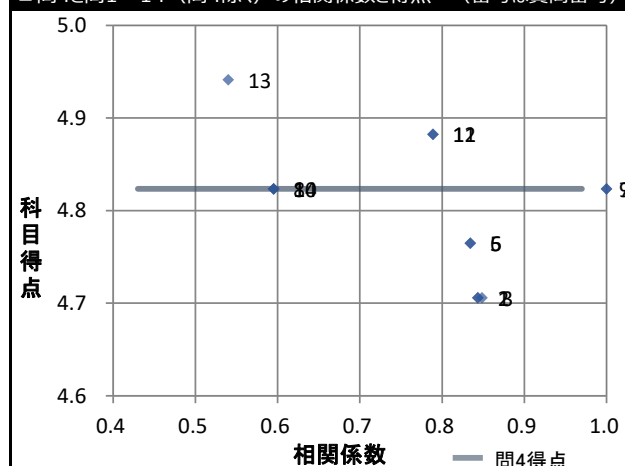


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

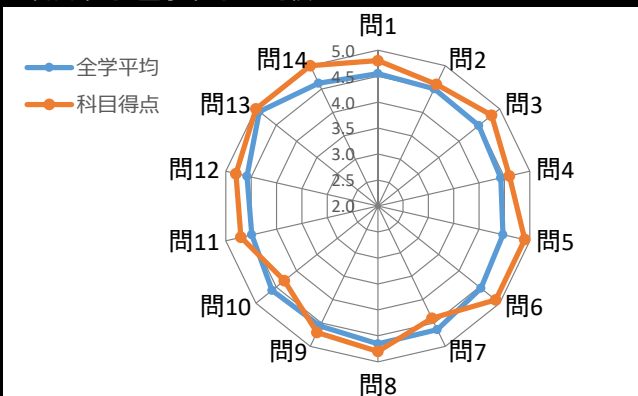
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語W2-1	[1F1003]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	川崎修一		授業形態	講義	回答数	10	83.3%

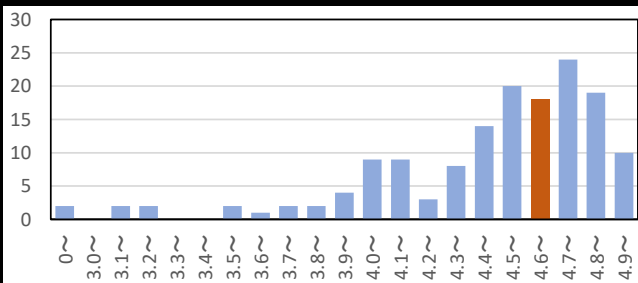
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 8 responses for '2' and 2 for '5']						4.80	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 7 responses for '2', 2 for '3', and 1 for '4']						4.60	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for '2' and 2 for '5']						4.80	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 7 responses for '2', 2 for '3', and 1 for '4']						4.60	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 9 responses for '2' and 1 for '5']						4.90	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 9 responses for '2' and 1 for '5']						4.90	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 6 responses for '2', 3 for '3', and 1 for '4']						4.40	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 8 responses for '2' and 2 for '5']						4.80	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for '2', 1 for '3', and 1 for '4']						4.70	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 5 responses for '2', 4 for '3', and 1 for '4']						4.30	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 8 responses for '2', 1 for '3', and 1 for '4']						4.70	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 8 responses for '2' and 2 for '5']						4.80	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 10 responses for '2']						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 10 responses for '2']						5.00	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.74</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

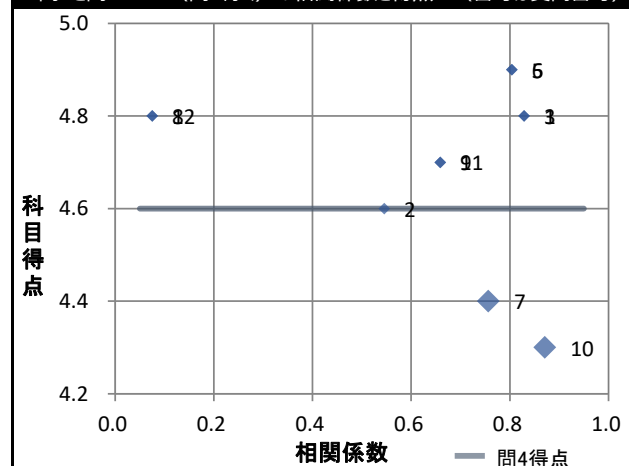


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

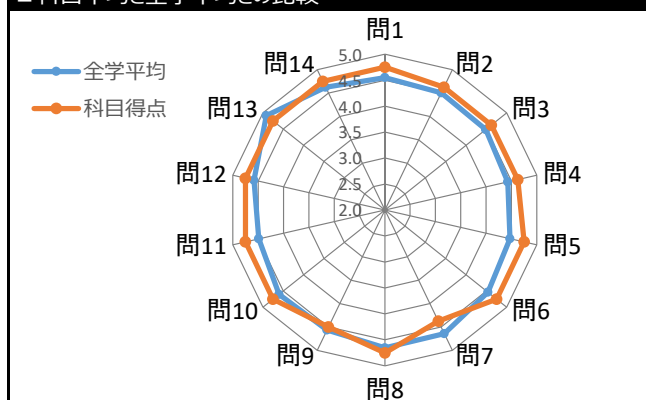
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	英語LS2-1	[1F1200]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率
教員名	川崎修一		授業形態	講義	回答数	8	61.5%

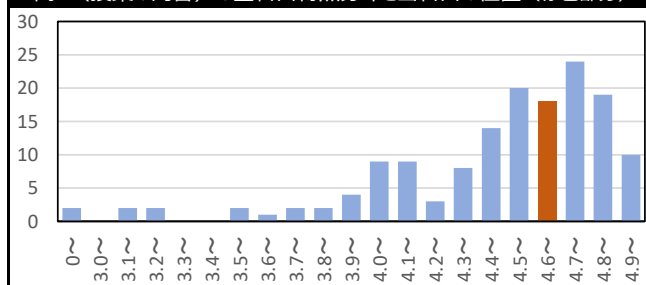
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 5 '5' responses and 3 '4' responses]						4.63	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 5 '5' responses and 3 '4' responses]						4.63	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 5 '5' responses and 3 '4' responses]						4.63	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 5 '5' responses, 2 '4' responses, and 1 '3' response]						4.38	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 5 '5' responses, 2 '4' responses, and 1 '3' response]						4.50	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 6 '5' responses and 2 '4' responses]						4.75	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.68</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較

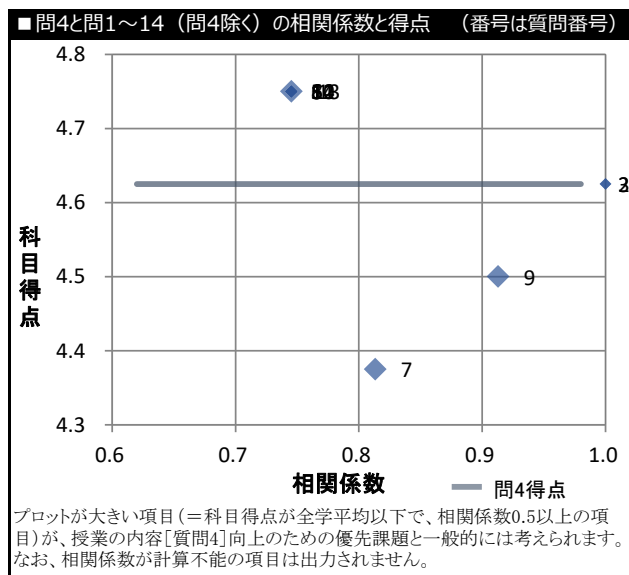


## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

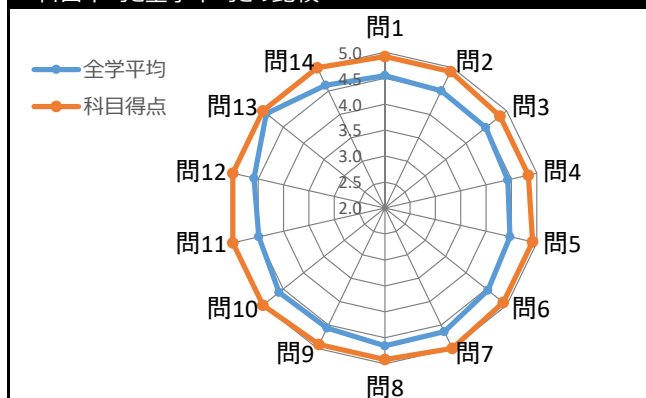


科目名	英語文献を読む I	[1F1400]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	遠藤花子		授業形態	講義	回答数	12	100.0%

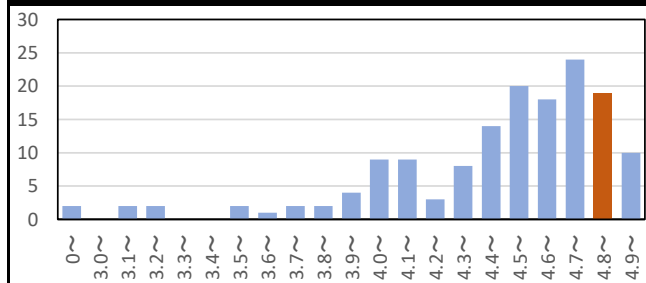
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.94</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



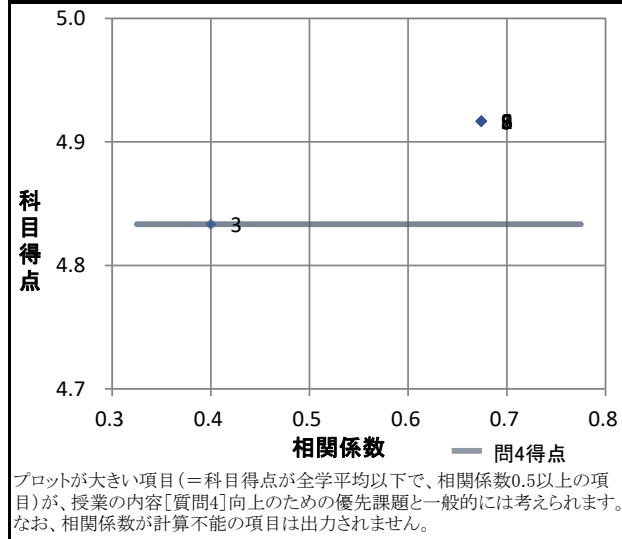
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

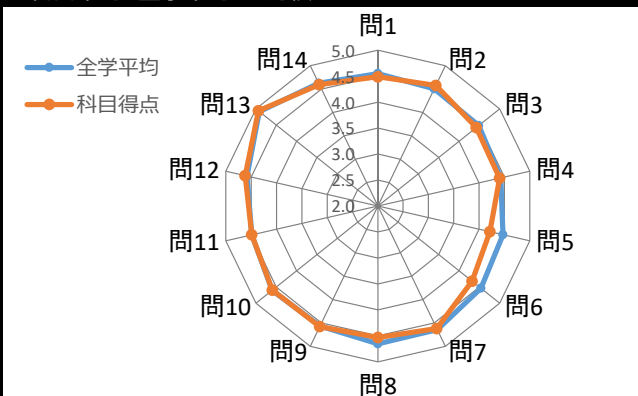
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	中国語 I	[1F1601]	学部	看護学部	履修者数	51	回答率
教員名	神谷智幸		授業形態	講義	回答数	47	92.2%

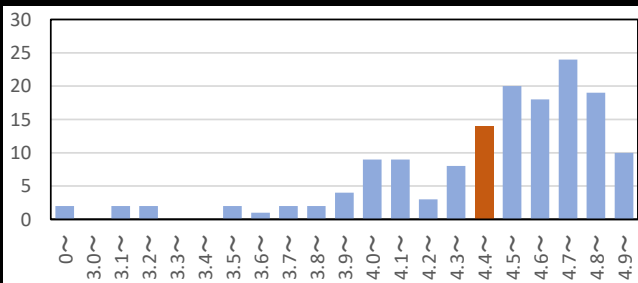
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 26 (blue), 18 (green), 3 (yellow)]						4.49	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 28 (blue), 18 (green), 1 (yellow)]						4.57	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 23 (blue), 22 (green), 1 (yellow)]						4.43	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 22 (blue), 22 (green), 3 (yellow)]						4.40	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 18 (blue), 21 (green), 8 (yellow)]						4.21	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 21 (blue), 20 (green), 6 (yellow)]						4.32	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 29 (blue), 18 (green), 1 (yellow)]						4.62	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 27 (blue), 18 (green), 2 (yellow)]						4.53	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 30 (blue), 14 (green), 3 (yellow)]						4.57	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 30 (blue), 15 (green), 2 (yellow)]						4.60	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 27 (blue), 16 (green), 4 (yellow)]						4.49	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 29 (blue), 18 (green), 1 (yellow)]						4.62	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 44 (blue), 3 (yellow)]						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 30 (blue), 15 (green), 2 (yellow)]						4.60	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.53</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

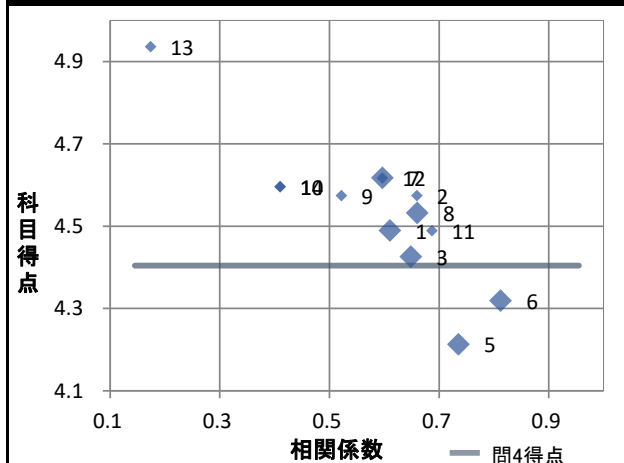


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

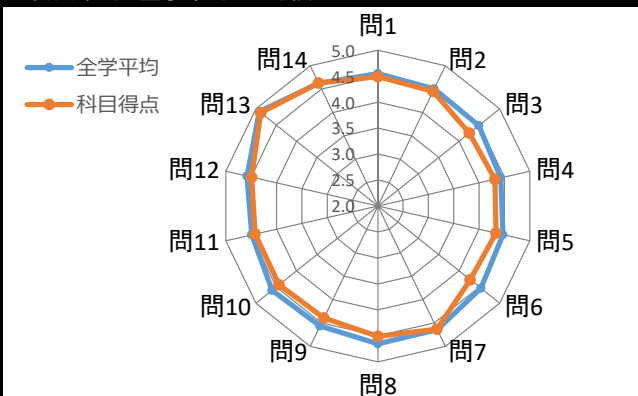
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	中国語 I	[1F1602]	学部	看護学部	履修者数	53	回答率
教員名	神谷智幸		授業形態	講義	回答数	51	96.2%

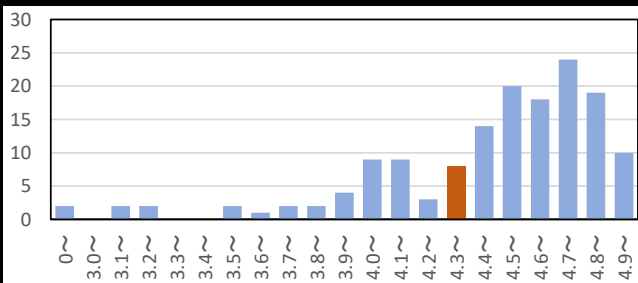
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.49	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.45	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.25	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.31	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.33	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.27	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.63	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.51	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.39	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.43	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.42	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.49	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.63	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.46</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

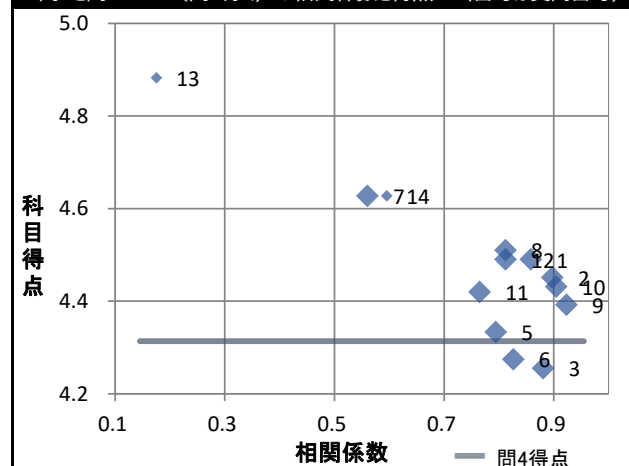


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



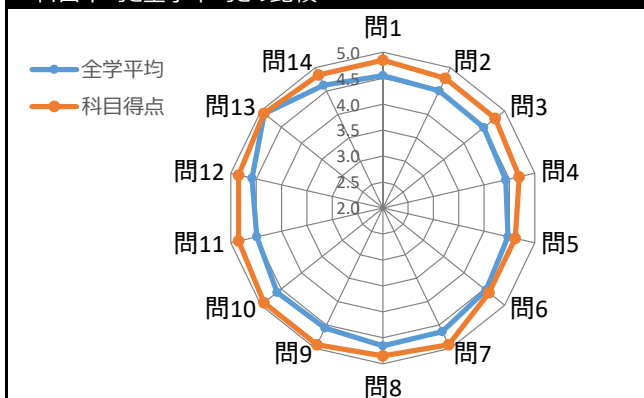
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	フランス語 I	[1F1801]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率
教員名	西脇雅彦		授業形態	講義	回答数	13	100.0%

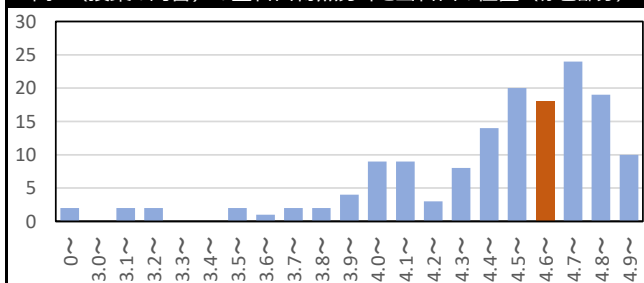
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 11 (blue), 2 (green)]						4.85	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 10 (blue), 3 (green)]						4.77	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart: 10 (blue), 3 (green)]						4.77	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 10 (blue), 2 (green), 1 (yellow)]						4.69	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 9 (blue), 3 (green), 1 (yellow)]						4.62	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 (blue), 5 (green)]						4.62	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 12 (blue), 1 (green)]						4.92	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 11 (blue), 2 (green)]						4.85	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 12 (blue), 1 (green)]						4.92	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 12 (blue), 1 (green)]						4.92	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 11 (blue), 2 (green)]						4.85	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 11 (blue), 2 (green)]						4.85	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 12 (blue), 1 (green)]						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 11 (blue), 2 (green)]						4.85	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.81</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



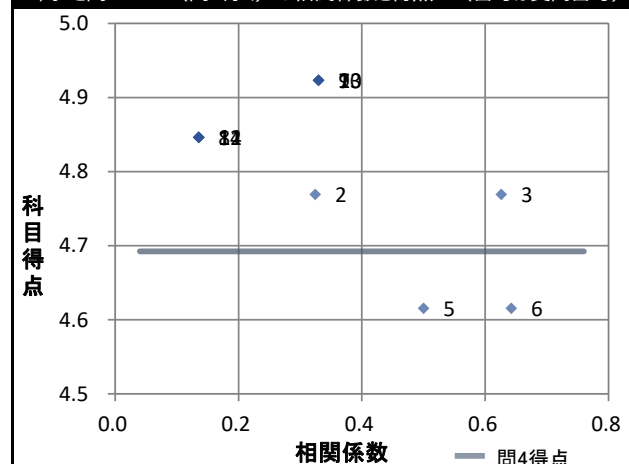
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

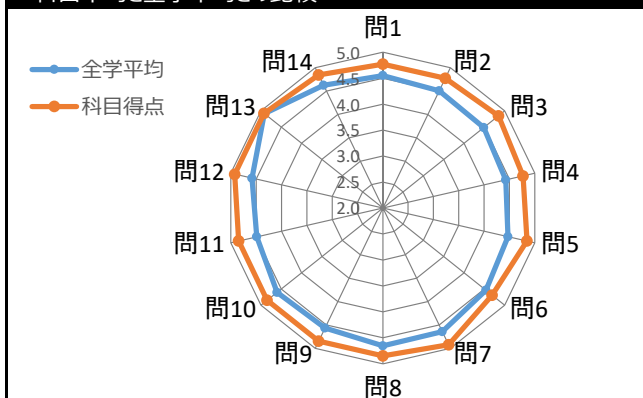
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	フランス語 I	[1F1802]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率	
教員名	西脇雅彦		授業形態	講義	回答数	13	100.0%	

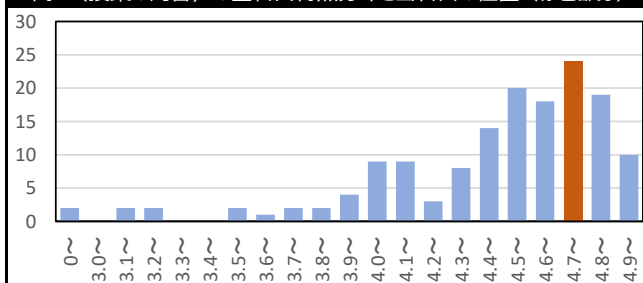
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 10 blue, 3 green]						4.77	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 11 blue, 1 green, 1 yellow]						4.77	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 11 blue, 2 green]						4.85	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 10 blue, 3 green]						4.77	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 11 blue, 2 green]						4.85	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 9 blue, 4 green]						4.69	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 12 blue, 1 green]						4.92	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 11 blue, 2 green]						4.85	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 11 blue, 2 green]						4.85	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 11 blue, 2 green]						4.85	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 11 blue, 2 green]						4.85	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 12 blue, 1 green]						4.92	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 12 blue, 1 green]						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 11 blue, 2 green]						4.85	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.84</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

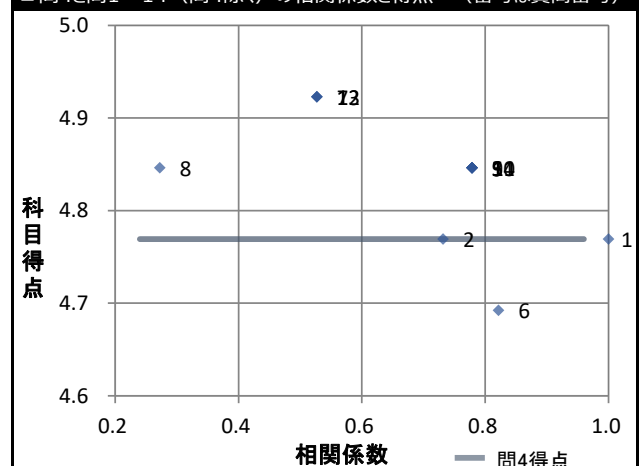


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Green]	5	強く思う
[Blue]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

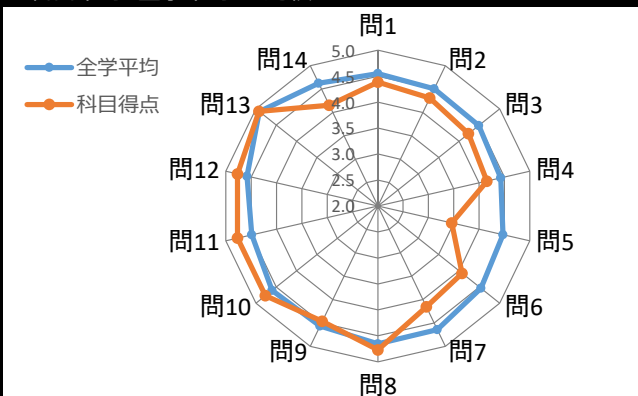
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0101]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率	
教員名	渋谷真樹		授業形態	講義	回答数	13	100.0%	

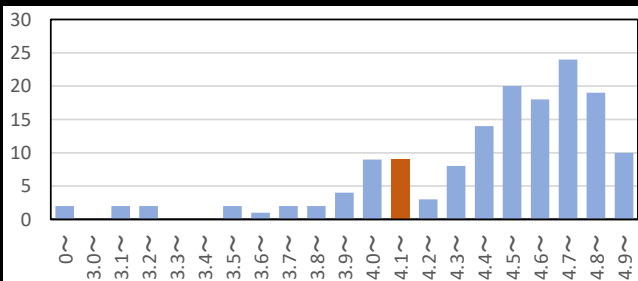
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[5:8]						4.38	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[6:5:2]						4.31	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[7:3:2:1]						4.23	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[5:5:3]						4.15	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[3:5:2:1:2]						3.46	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[7:3:1:1:1]						4.08	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[6:4:2:1]						4.15	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[10:3]						4.77	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[8:3:2]						4.46	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[10:3]						4.77	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[10:3]						4.77	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[10:3]						4.77	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[12:1]						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[7:2:3:1]						4.15	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.38</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

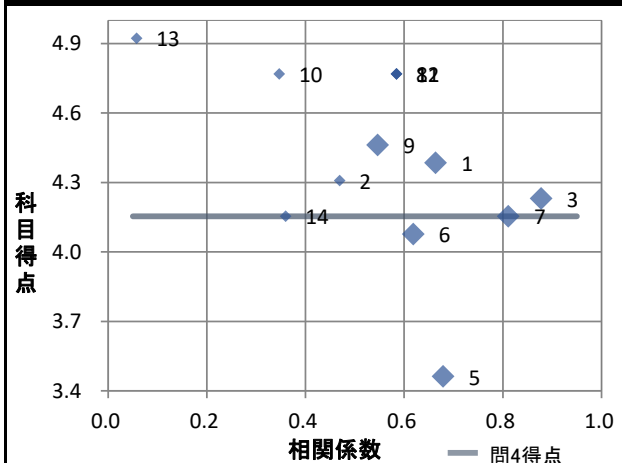


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Light Blue]	2	そうは思わない
[Orange]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

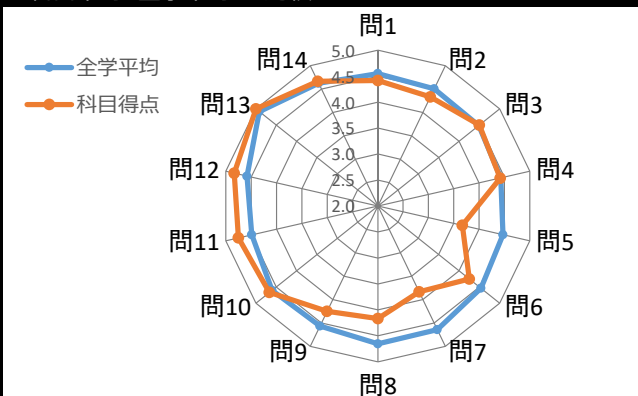
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0102]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率	
教員名	川崎修一		授業形態	講義	回答数	12	92.3%	

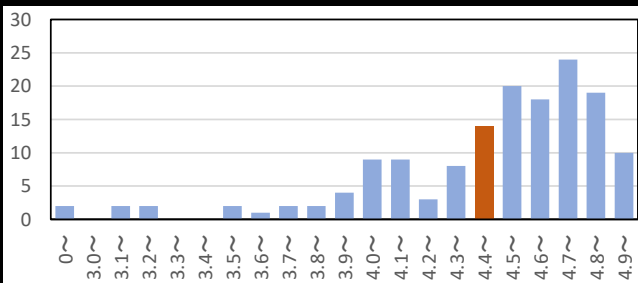
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[5:7]						4.42	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[4:8]						4.33	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[6:6]						4.50	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[6:5:1]						4.42	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[2:5:4:1]						3.67	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[6:3:3]						4.25	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[3:5:3:1]						3.83	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[4:6:2]						4.17	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[5:6:1]						4.25	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[8:4]						4.67	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[9:3]						4.75	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[10:2]						4.83	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[12]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[8:4]						4.67	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.41</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

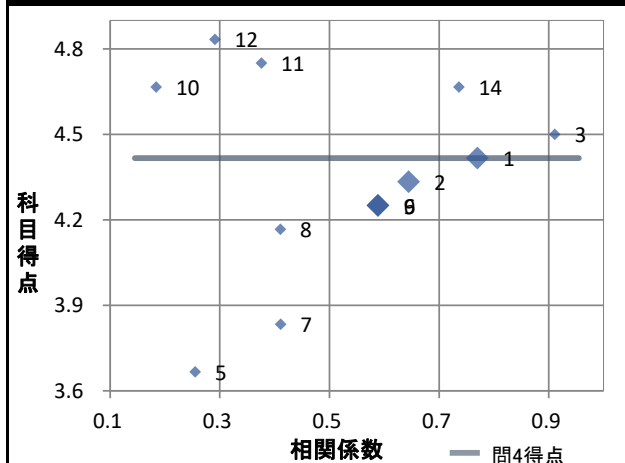


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

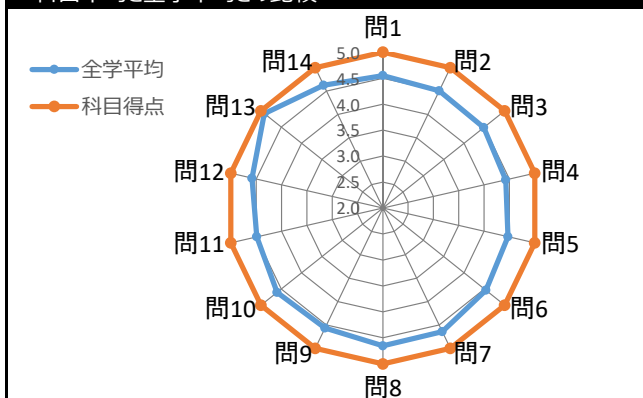
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0103]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	遠藤花子		授業形態	講義	回答数	10	83.3%

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10						5.00	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	10						5.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	10						5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	10						5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	10						5.00	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	10						5.00	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	10						5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	10						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	10						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10						5.00	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>5.00</b>	<b>4.57</b>

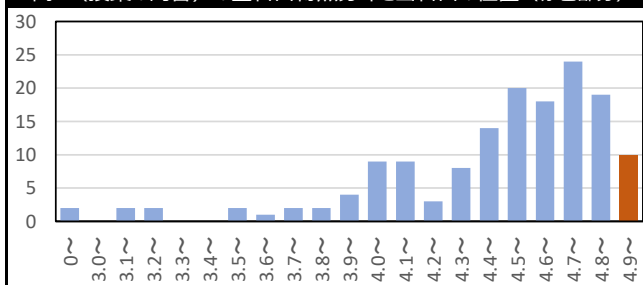
## ■ 科目平均と全学平均との比較



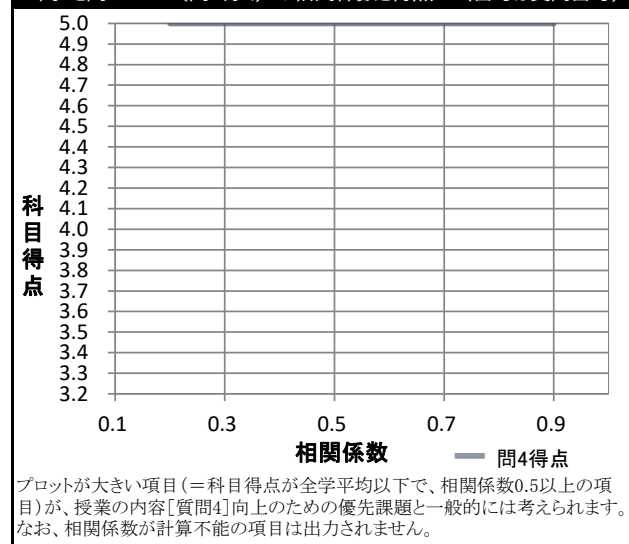
グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

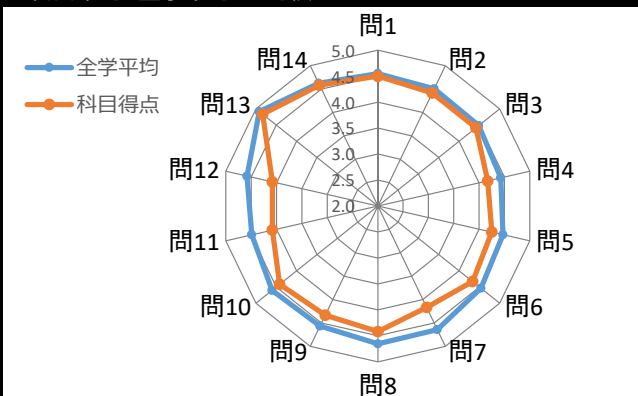
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0104]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率	
教員名	井上明宏		授業形態	講義	回答数	12	92.3%	

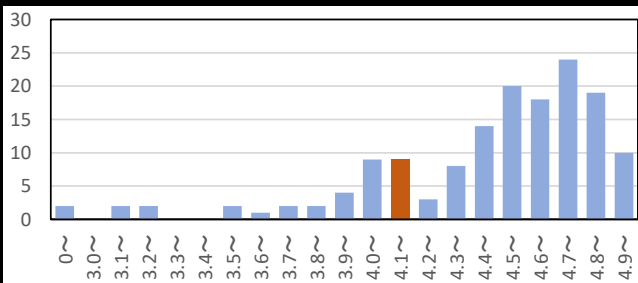
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 8 'Strongly agree', 2 'Agree', 2 'Disagree']						4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 7 'Strongly agree', 3 'Agree', 2 'Disagree']						4.42	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart showing 7 'Strongly agree', 4 'Agree', 1 'Disagree']						4.42	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 6 'Strongly agree', 4 'Agree', 2 'Disagree']						4.17	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 5 'Strongly agree', 5 'Agree', 2 'Disagree']						4.25	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 6 'Strongly agree', 4 'Agree', 2 'Disagree']						4.33	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 7 'Strongly agree', 3 'Agree', 1 'Disagree', 1 'Strongly disagree']						4.17	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 8 'Strongly agree', 2 'Agree', 1 'Disagree', 1 'Strongly disagree']						4.42	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 6 'Strongly agree', 4 'Agree', 2 'Disagree']						4.33	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 7 'Strongly agree', 4 'Agree', 1 'Disagree']						4.42	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 5 'Strongly agree', 4 'Agree', 2 'Disagree', 1 'Strongly disagree']						4.08	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 6 'Strongly agree', 3 'Agree', 2 'Disagree', 1 'Strongly disagree']						4.08	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 2 'Disagree']						4.83	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 8 'Strongly agree', 3 'Agree', 1 'Disagree']						4.58	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.36</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



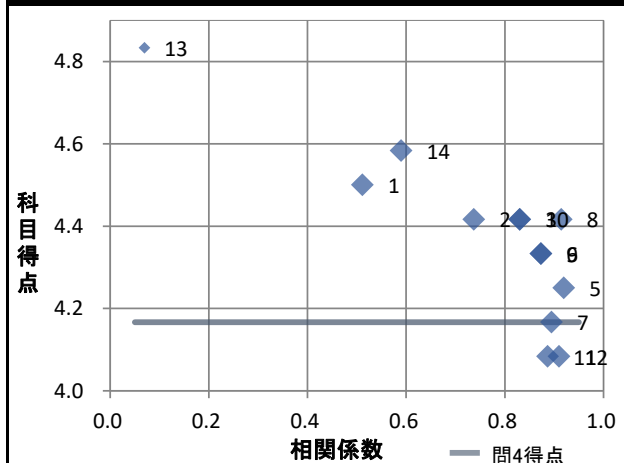
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

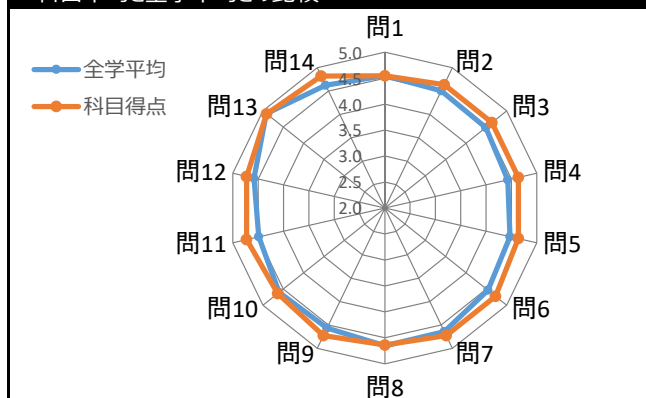
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0105]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率	91.7%
教員名	遠藤 公久		授業形態	講義	回答数	11		

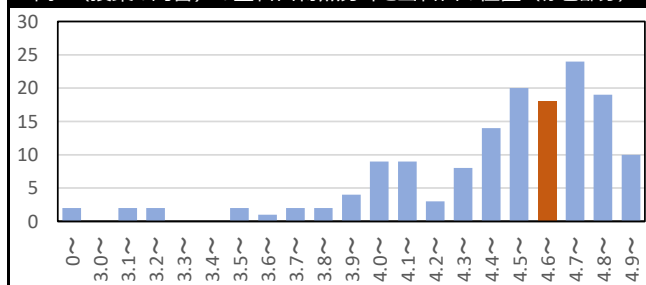
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.55	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.64	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.64	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.64	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.64	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.73	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.73	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.64	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.73	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.64	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.73	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.73	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.82	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.69</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

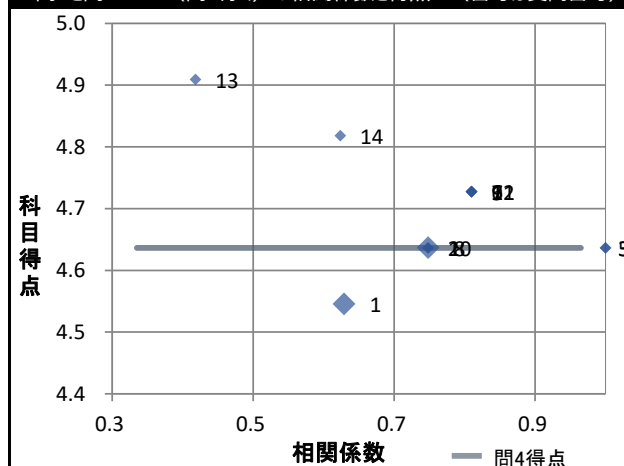


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



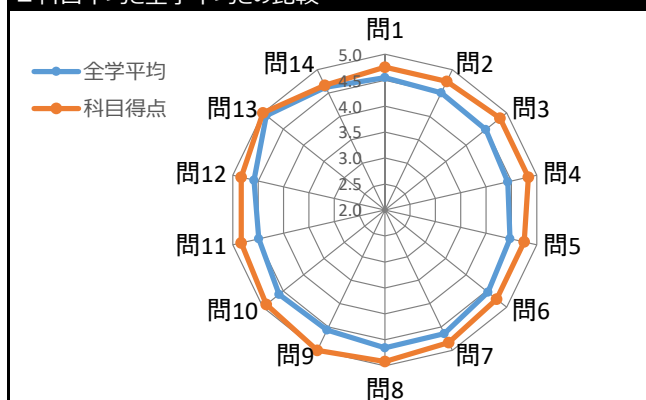
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	基礎ゼミ I	[1G0106]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率
教員名	川崎洋平		授業形態	講義	回答数	12	92.3%

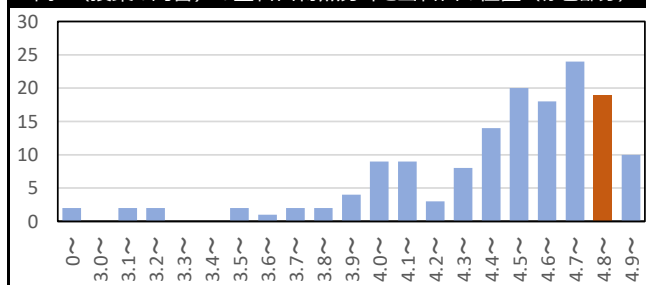
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 9 blue, 3 green]						4.75	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 9 blue, 3 green]						4.75	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 9 blue, 3 green]						4.75	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 9 blue, 3 green]						4.75	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 8 blue, 4 green]						4.67	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.83</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



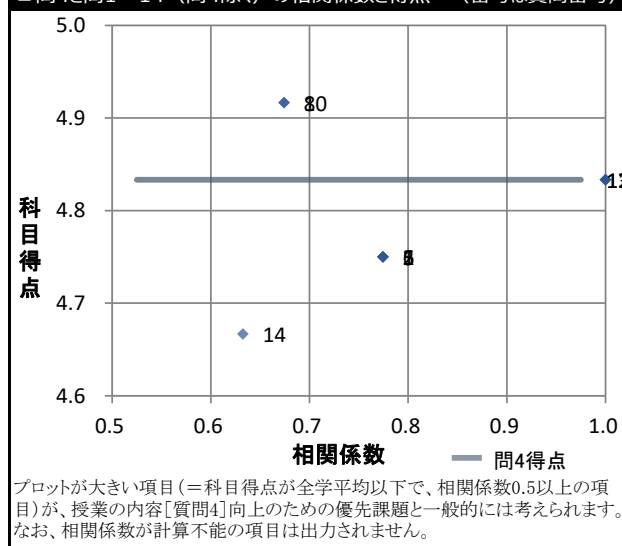
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

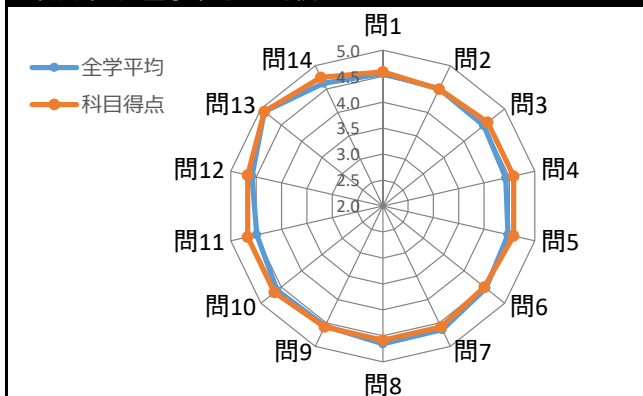
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0107]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率	
教員名	鷹田佳典		授業形態	講義	回答数	12	100.0%	

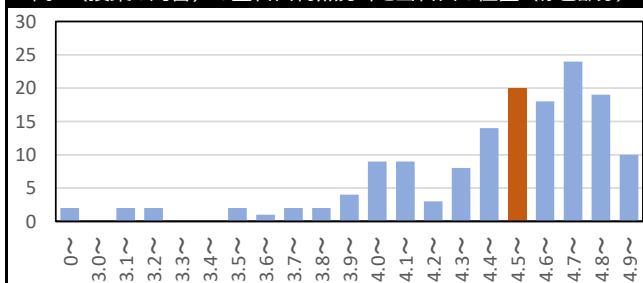
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.58	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.50	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.58	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.58	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.58	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.50	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.58	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.58	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.58	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.67	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.67	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.67	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.75	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.63</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

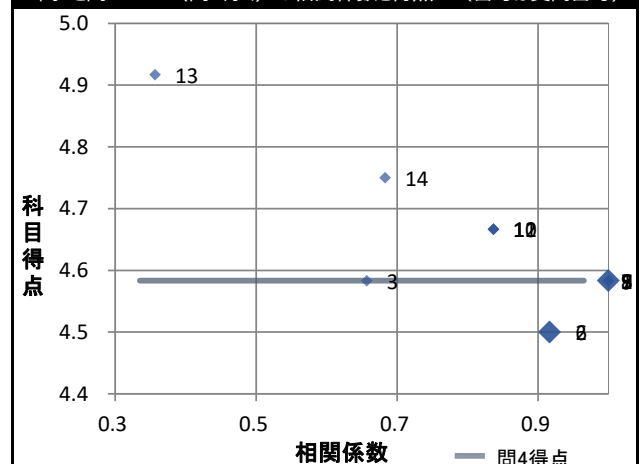


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

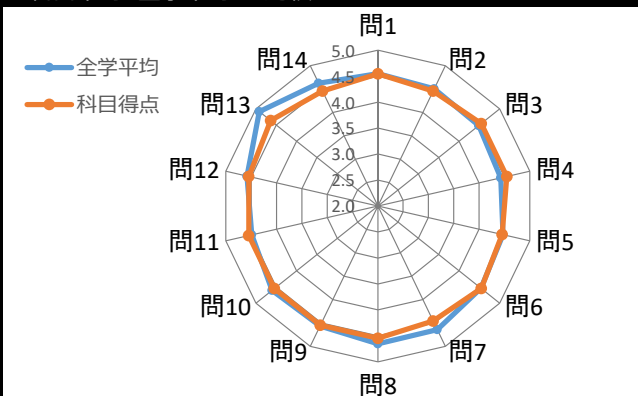
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0108]	学部	看護学部	履修者数	11	回答率	
教員名	越後敬子		授業形態	講義	回答数	11	100.0%	

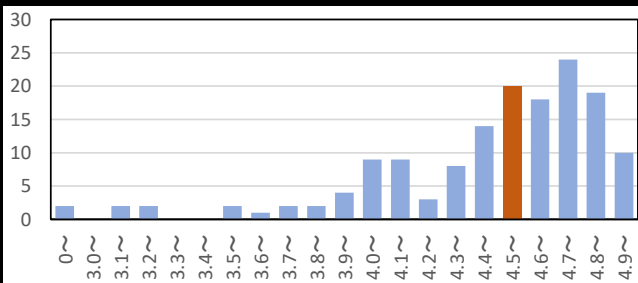
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 4 green, 1 yellow]							4.45	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 5 blue, 6 green]							4.45	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 5 blue, 6 green]							4.45	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 6 blue, 5 green]							4.55	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 7 blue, 4 green]							4.64	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 6 blue, 4 green, 1 yellow]							4.45	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.53</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

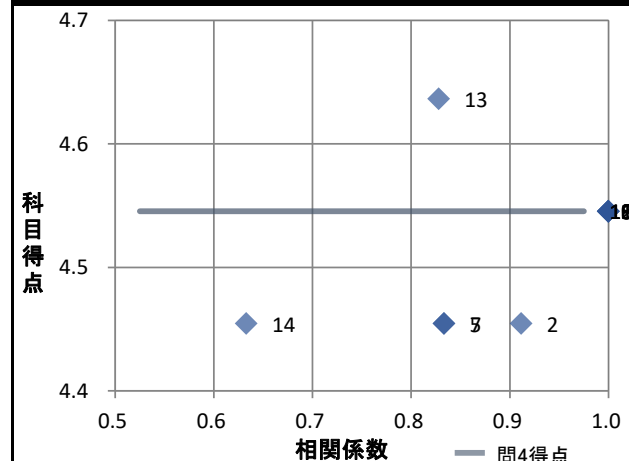


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



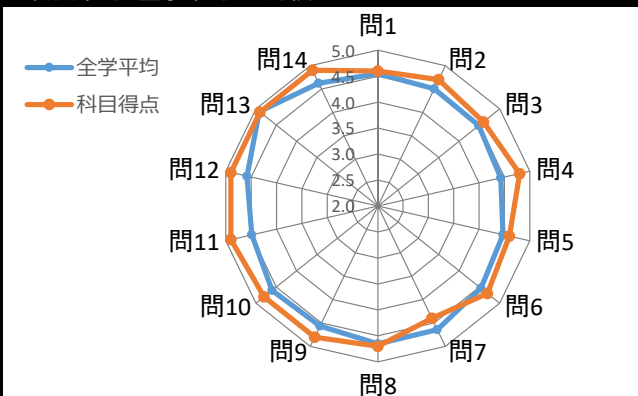
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	基礎ゼミ I	[1G0109]	学部	看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	宮崎正峰		授業形態	講義	回答数	10	90.9%

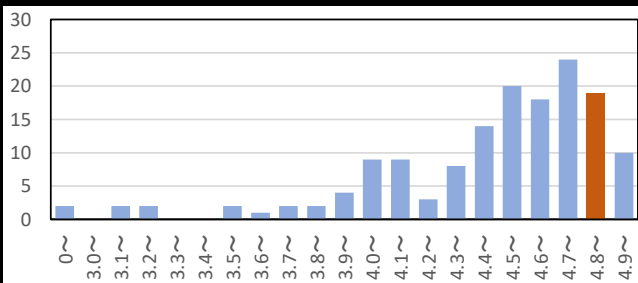
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 6 responses for '役に立った' and 4 for 'そう思う']						4.60	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 7 responses for '役に立った' and 3 for 'そう思う']						4.70	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 7 responses for '役に立った', 2 for 'そう思う', and 1 for 'どちらともいえない']						4.60	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 8 responses for '役に立った' and 2 for 'そう思う']						4.80	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 6 responses for '役に立った' and 4 for 'そう思う']						4.60	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 7 responses for '役に立った' and 3 for 'そう思う']						4.70	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 5 responses for '役に立った', 4 for 'そう思う', and 1 for 'どちらともいえない']						4.40	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 7 responses for '役に立った' and 3 for 'そう思う']						4.70	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for '役に立った' and 2 for 'そう思う']						4.80	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 8 responses for '役に立った' and 2 for 'そう思う']						4.80	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 9 responses for '役に立った' and 1 for 'そう思う']						4.90	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 9 responses for '役に立った' and 1 for 'そう思う']						4.90	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 9 responses for '役に立った' and 1 for 'そう思う']						4.90	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 9 responses for '役に立った' and 1 for 'そう思う']						4.90	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.74</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較

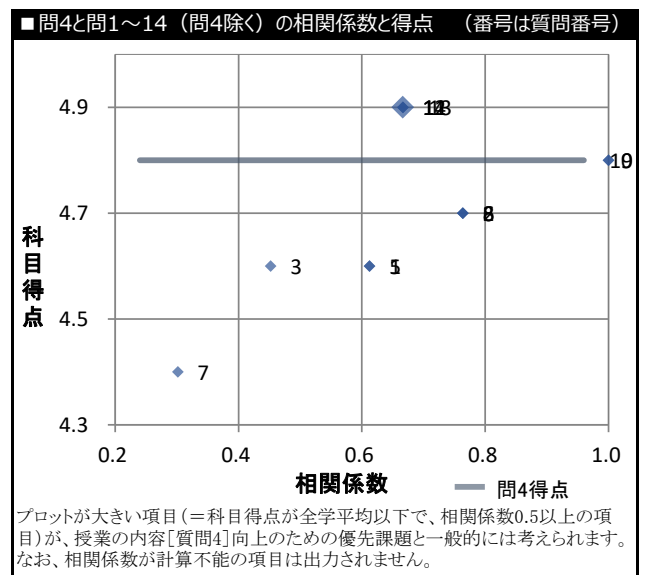


■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

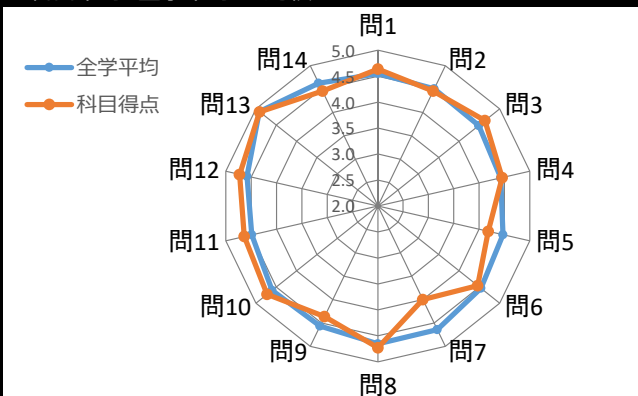
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0110]	学部	看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	伊藤麻希		授業形態	講義	回答数	11	100.0%

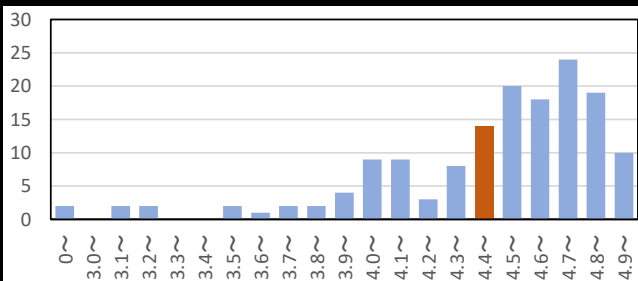
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 4 green]							4.64	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 4 green, 1 yellow]							4.45	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart: 7 blue, 4 green]							4.64	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 5 blue, 6 green]							4.45	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green, 2 yellow, 1 orange]							4.18	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 6 blue, 4 green, 1 yellow]							4.45	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 4 blue, 4 green, 2 yellow, 1 orange]							4.00	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]							4.73	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 7 blue, 2 green, 1 yellow, 1 orange]							4.36	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 9 blue, 1 green, 1 yellow]							4.73	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]							4.64	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]							4.73	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]							4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 2 green, 2 yellow]							4.45	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.53</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

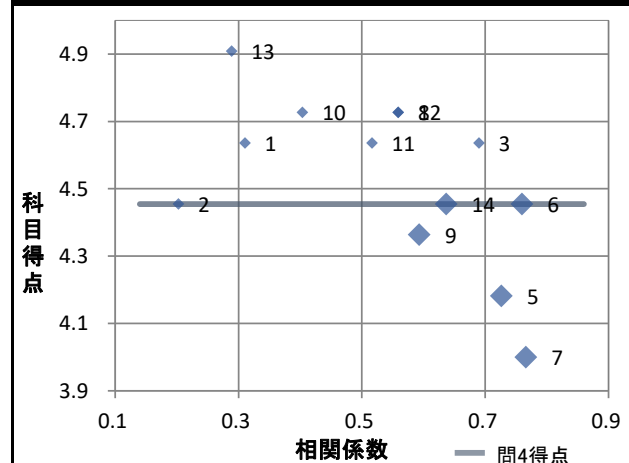


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



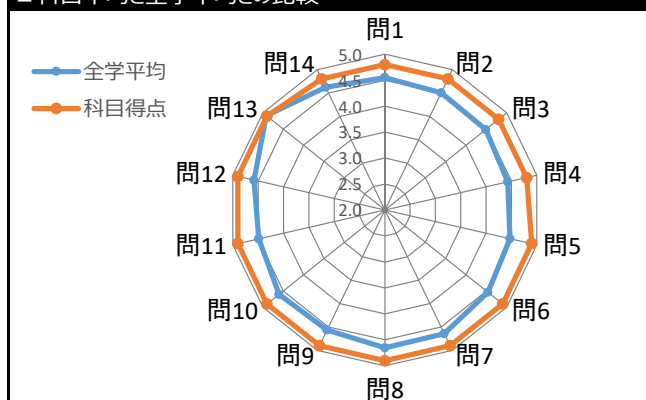
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	基礎ゼミ I	[1G0111]	学部	看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	佐藤眞		授業形態	講義	回答数	10	90.9%

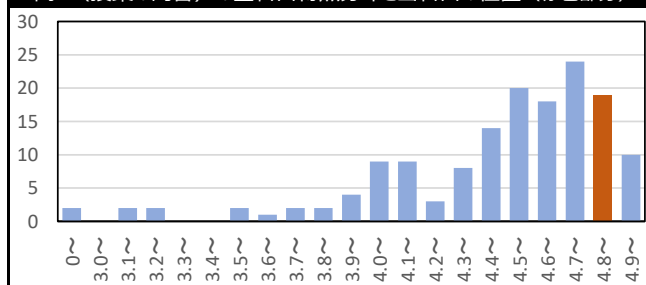
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 8 'Strongly agree' and 2 'Agree']						4.80	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 8 'Strongly agree' and 2 'Agree']						4.80	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 8 'Strongly agree' and 2 'Agree']						4.80	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 8 'Strongly agree' and 2 'Agree']						4.80	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree' and 1 'Agree']						4.90	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 8 'Strongly agree' and 2 'Agree']						4.80	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.86</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較

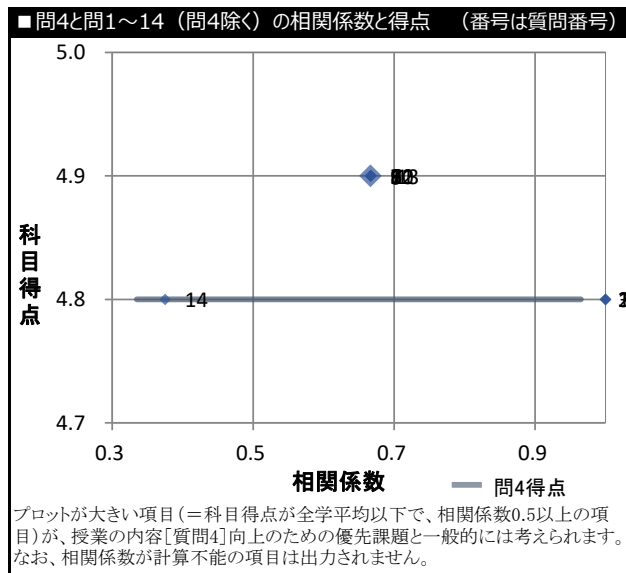


■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

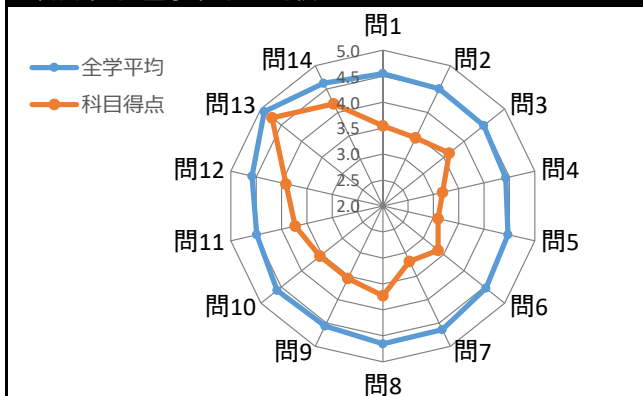
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[1G0112]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率	
教員名	逸見功		授業形態	講義	回答数	11	91.7%	

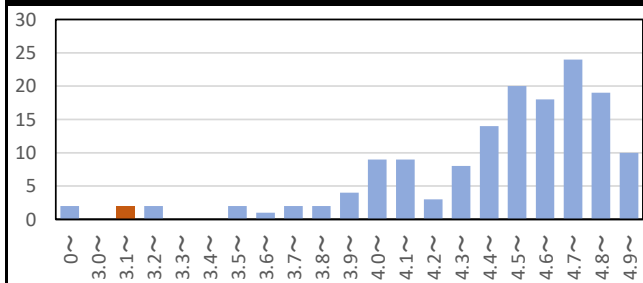
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1	5	4	1			3.55	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1	5	4	1			3.45	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	6	3	1			3.64	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	1	3	5	1	1		3.18	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1	3	4	2	1		3.09	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	1	4	4	2			3.36	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1	4	3	2	1		3.18	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2	5	3	1			3.73	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1	4	6				3.55	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	1	4	6				3.55	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1	6	4				3.73	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	3	4	4				3.91	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。		9		1	1		4.73	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	3	3				4.18	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>3.63</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

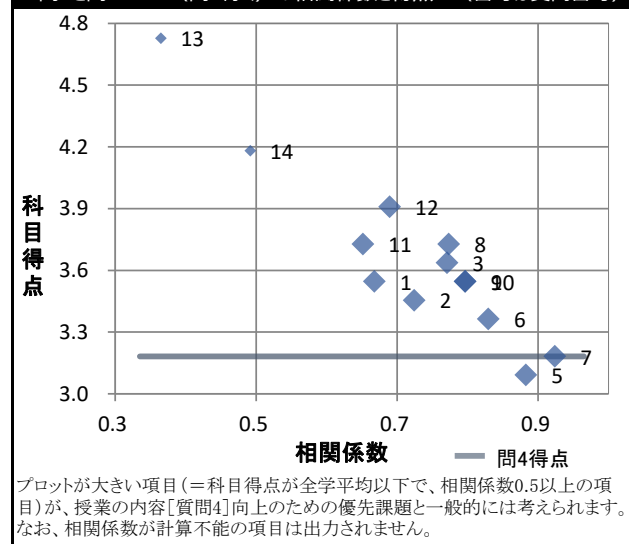


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



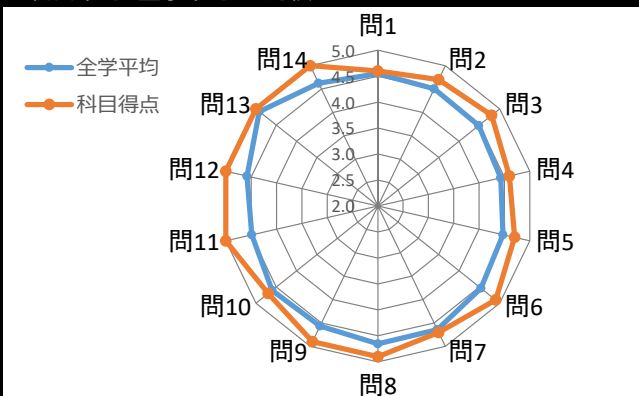
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	基礎ゼミ I	[1G0130]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	角田敦彦		授業形態	講義	回答数	10	83.3%

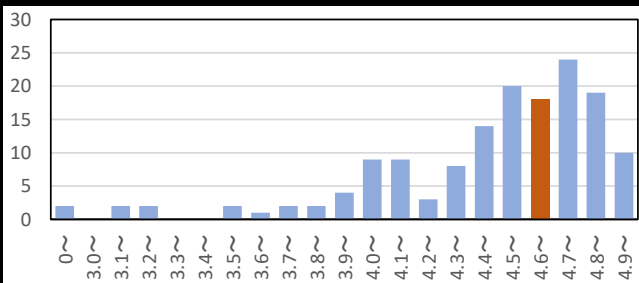
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 2 green, 1 orange]						4.60	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 7 blue, 2 green, 1 orange]						4.60	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 8 blue, 1 green, 1 orange]						4.70	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 10 blue]						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 10 blue]						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 10 blue]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 10 blue]						5.00	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.82</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

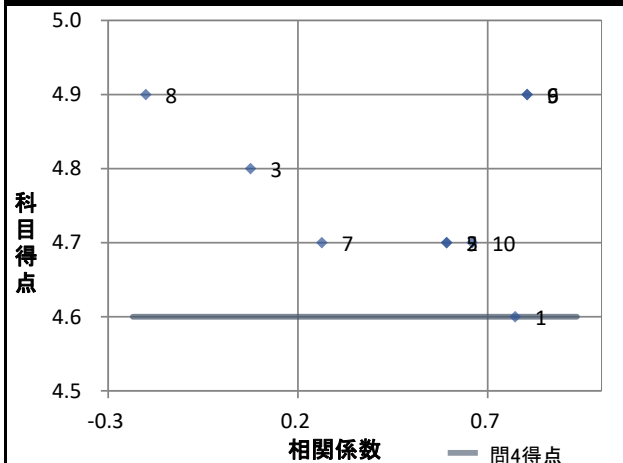


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

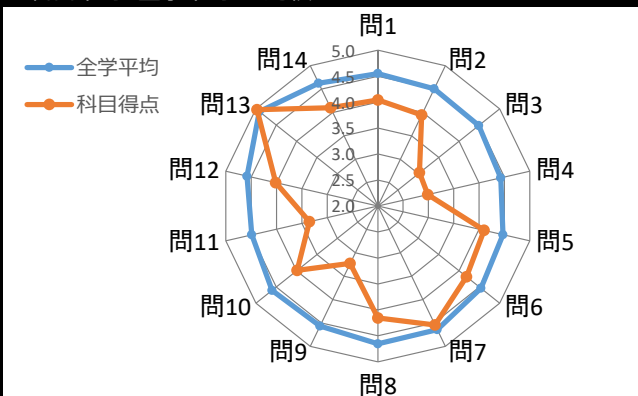
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	人体の構造と機能 I	[1H0101]	学部	看護学部	履修者数	74	回答率
教員名	井上明宏		授業形態	講義	回答数	72	97.3%

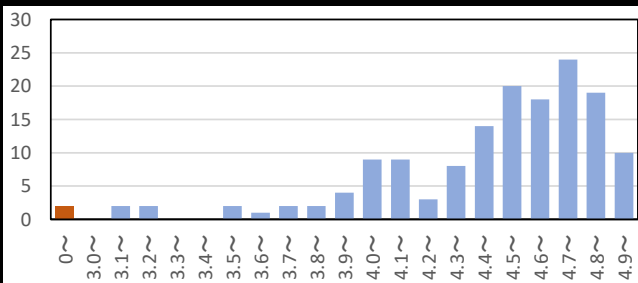
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	20	37	11	3			4.04	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18	36	13	3			3.94	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	15	23	23	3		3.03	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	5	19	24	18	6		2.99	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	23	34	12				4.10	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	28	32	9	3			4.18	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	43	26					4.54	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	26	33	11				4.15	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	14	13	23	17	4		3.23	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	24	27	17	4			3.99	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	16	16	21	15	4		3.35	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	27	24	17	3			4.01	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	70						4.97	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	27	28	14	3			4.10	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>3.90</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



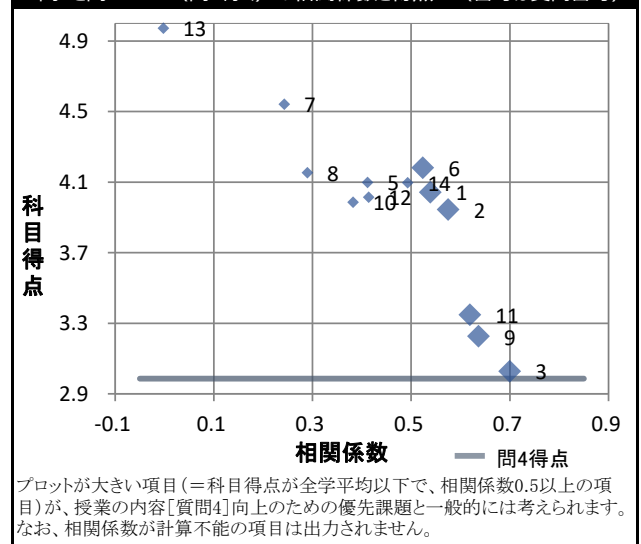
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



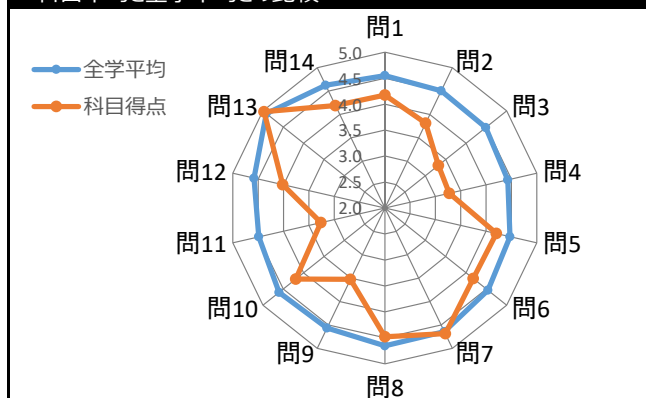
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	人体の構造と機能 I	[1H0102]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	井上明宏		授業形態	講義	回答数	69	97.2%

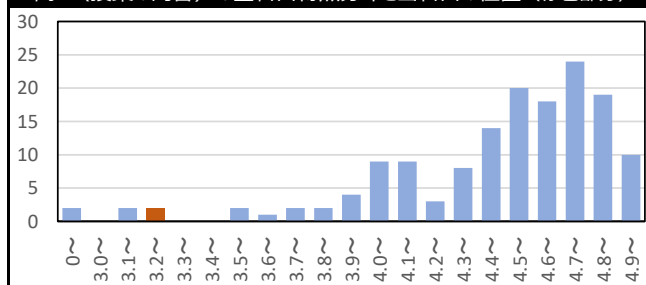
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	25	35	6				4.17	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18	26	20	4			3.81	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	20	21	18			3.32	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	6	23	25	14			3.28	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	24	36	8				4.20	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	25	32	11				4.17	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	49	18					4.68	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	39	25	4				4.48	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	14	21	22	11			3.52	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	27	31	8	3			4.19	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10	19	24	11	5		3.26	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	35	10	3			4.01	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	67						4.97	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25	33	10				4.19	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.02</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



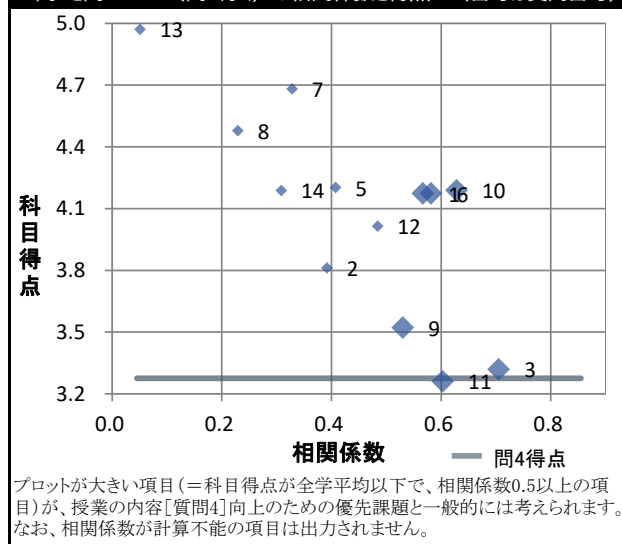
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

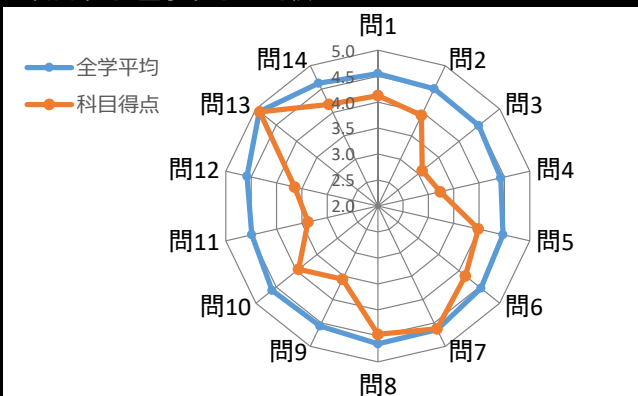
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	人体の構造と機能Ⅱ	[1H0201]	学部	看護学部	履修者数	73	回答率
教員名	井上明宏		授業形態	講義	回答数	64	87.7%

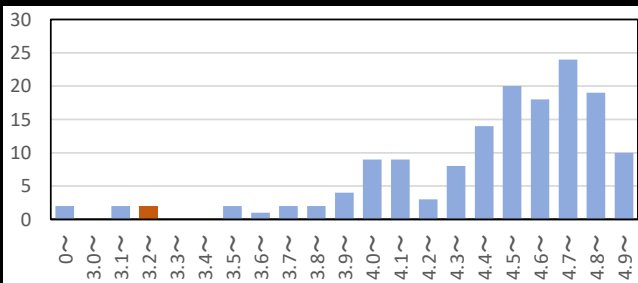
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	20	33	10				4.13	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17	28	17	2			3.94	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	14	21	18	3		3.09	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	8	17	22	16			3.23	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	17	30	16				3.98	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	25	24	15				4.16	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	43	18	3				4.63	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	33	28	3				4.47	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	19	15	15	13	2		3.56	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	21	23	16	4			3.95	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15	14	17	16	2		3.38	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	16	17	23	8			3.64	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	58	6					4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25	26	12				4.17	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>3.95</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



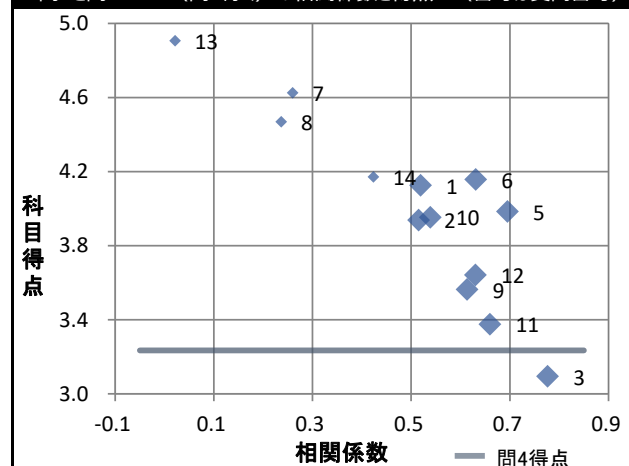
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

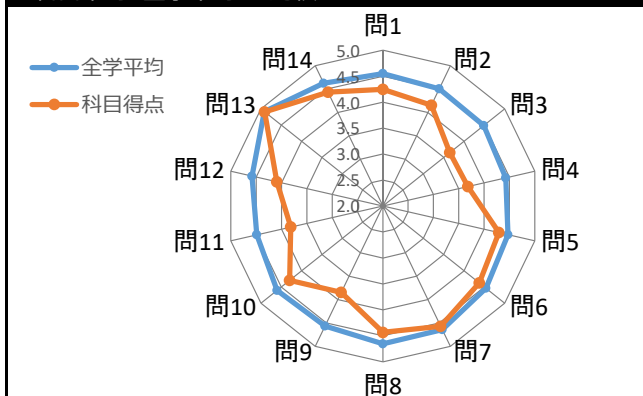
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	人体の構造と機能Ⅱ	[1H0202]	学部	看護学部	履修者数	73	回答率
教員名	井上明宏		授業形態	講義	回答数	65	89.0%

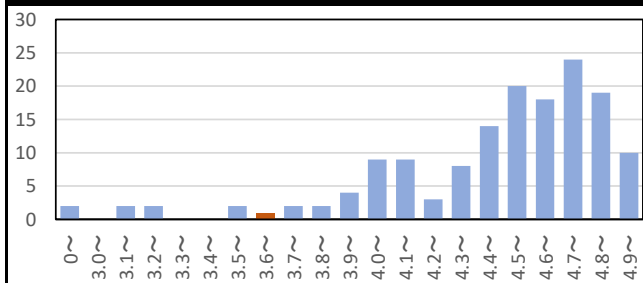
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 32, 23, 5, 4]							4.25	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 28, 26, 5, 5]							4.15	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 16, 24, 16, 4, 5]							3.65	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 13, 29, 15, 5, 3]							3.68	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 27, 30, 8]							4.29	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 33, 23, 7]							4.38	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 40, 22, 3]							4.57	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 33, 27, 5]							4.43	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 22, 24, 10, 5, 4]							3.85	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 30, 27, 6]							4.29	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 18, 26, 15, 3, 3]							3.82	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 22, 33, 7, 3]							4.09	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 59, 6]							4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 31, 31, 3]							4.43	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.20</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



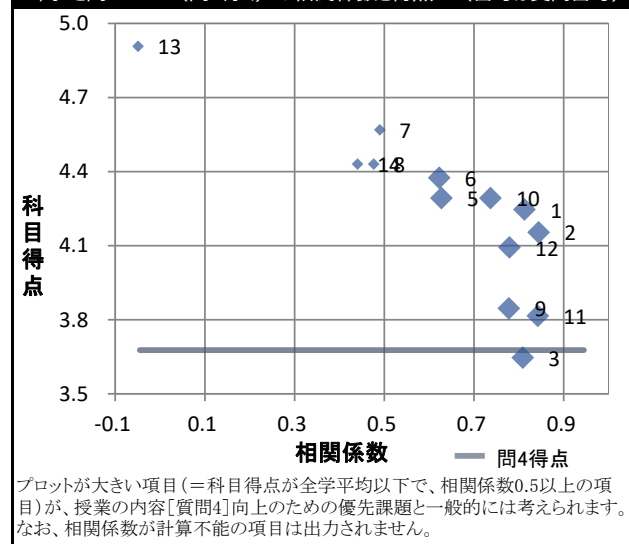
## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

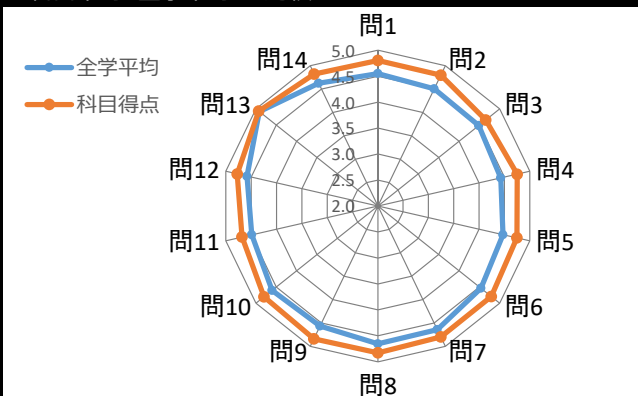
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進VI	[1H0900]	学部	看護学部	履修者数	137	回答率
教員名	梅野充		授業形態	講義	回答数	121	88.3%

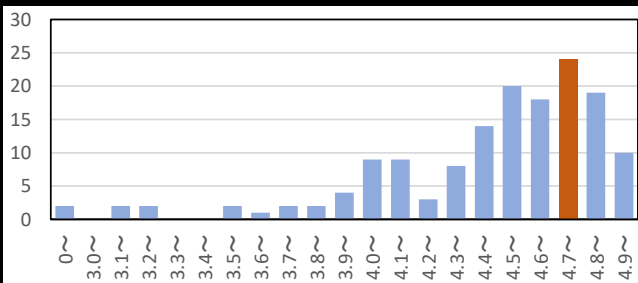
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.80	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.79	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.65	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.74	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.79	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.79	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.83	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.83	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.80	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.68	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.78	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.82	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.79</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

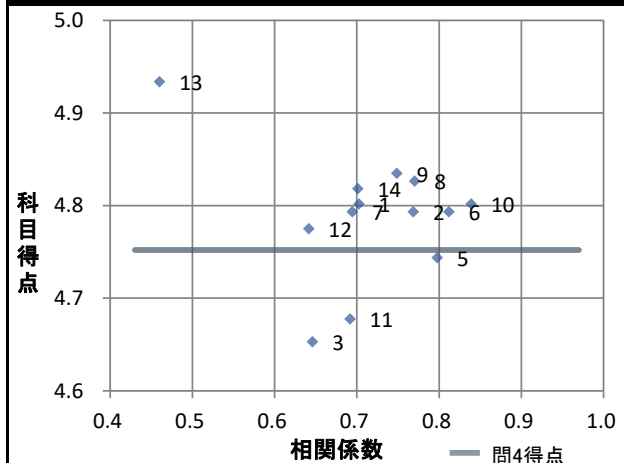


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

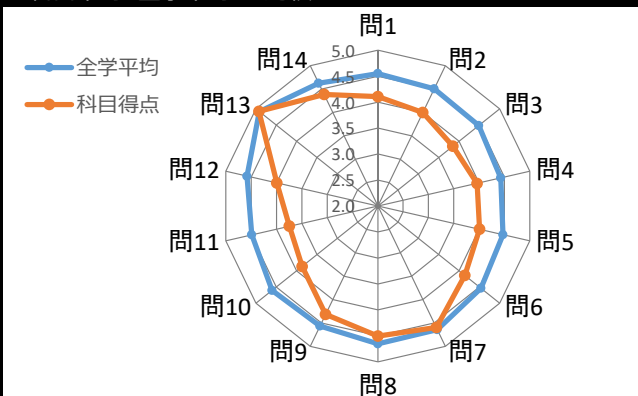
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	リハビリテーション医学	[1H1100]	学部	看護学部	履修者数	139	回答率
教員名	森本正		授業形態	講義	回答数	121	87.1%

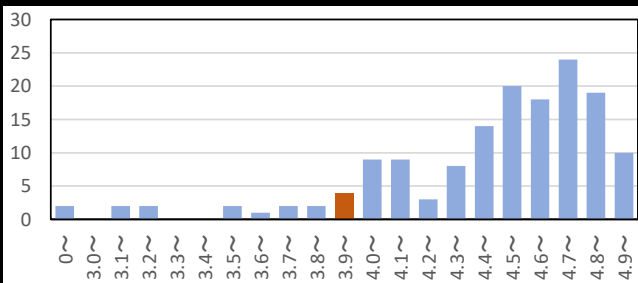
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	35	65	18				4.11	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	33	58	23	5			4.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	34	47	25	12			3.85	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	34	52	26	5			3.96	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	32	59	25				4.01	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	38	64	17				4.14	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	79	36	5				4.60	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	74	37	8				4.50	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	60	42	14	4			4.32	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	31	50	29	6			3.86	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	30	44	33	14			3.74	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	38	48	30				3.99	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	114	5					4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	59	49	11				4.38	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.17</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

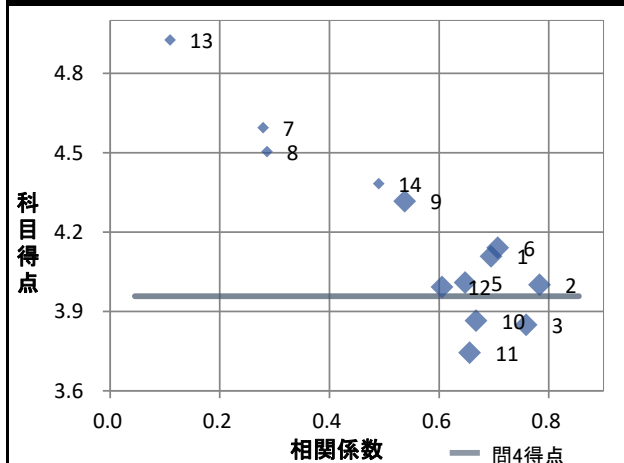


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

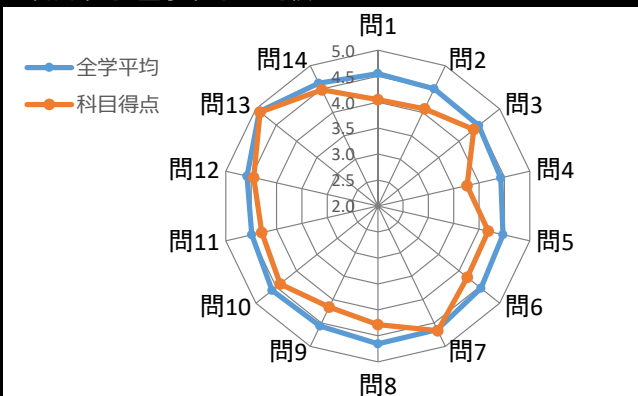
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	遺伝と遺伝カウンセリング [1H1200]	学部	看護学部	履修者数	131	回答率	
教員名	守田美奈子	授業形態	講義	回答数	89	67.9%	

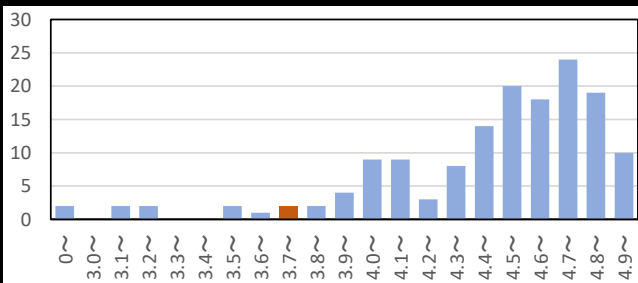
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	33	33	17	6			4.04	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	33	35	16	5			4.08	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	44	34	10				4.36	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	25	33	18	11			3.76	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	36	34	18				4.18	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	38	34	14	3			4.20	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	62	24	3				4.66	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	43	32	10	4			4.28	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	41	29	11	8			4.16	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	46	34	8				4.40	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	44	29	14				4.29	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	50	29	10				4.45	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	82	5					4.90	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	50	33	5				4.48	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.30</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

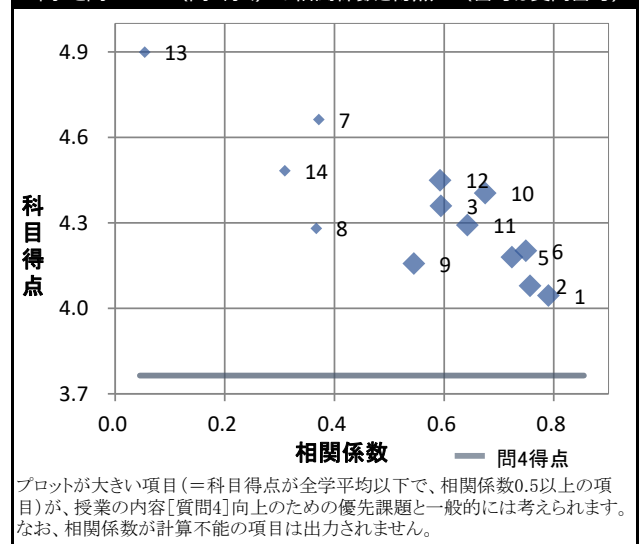


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	ラボラトリー・プラクティス [1H1400]	学部	看護学部	履修者数	27	回答率	
教員名	壹岐聖子	授業形態	講義	回答数	21	77.8%	

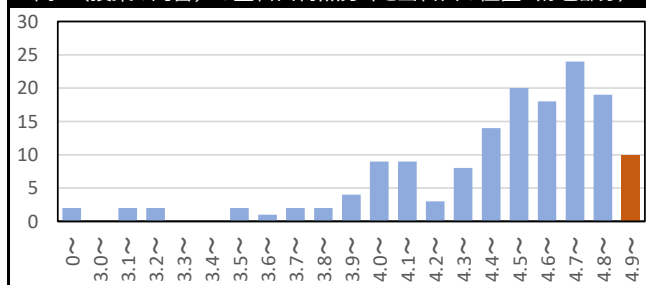
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 19 responses at level 1]						1	4.95	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 19 responses at level 2]						2	4.90	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 19 responses at level 2]						2	4.90	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 20 responses at level 1]						1	4.95	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 20 responses at level 1]						1	4.95	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 20 responses at level 1]						1	4.95	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 20 responses at level 1]						1	4.95	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 20 responses at level 1]						1	4.95	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 20 responses at level 1]						1	4.95	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 21 responses at level 5]							5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 21 responses at level 5]							5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 21 responses at level 5]							5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 21 responses at level 5]							5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 21 responses at level 5]							5.00	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.96</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



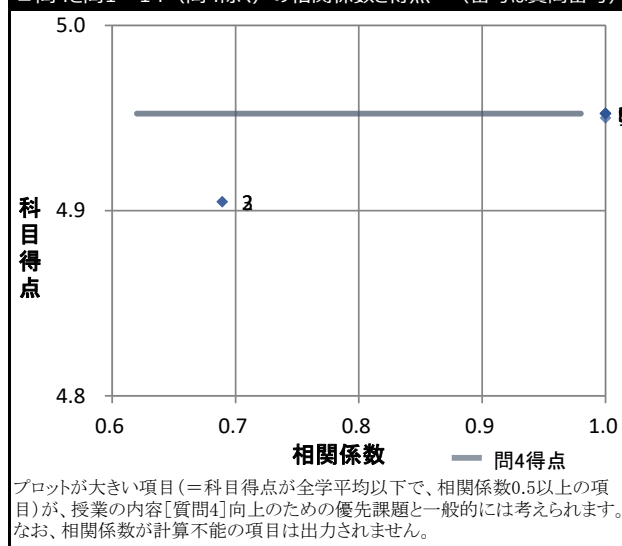
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 ・3%未満は非表示  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

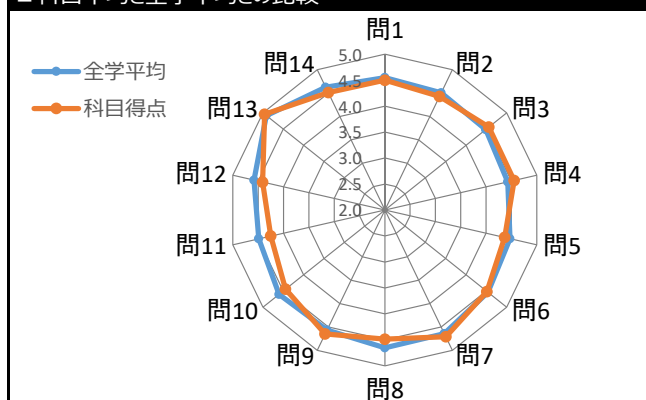
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護学概論 I	[110101]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	川原由佳里		授業形態	講義	回答数	68	94.4%

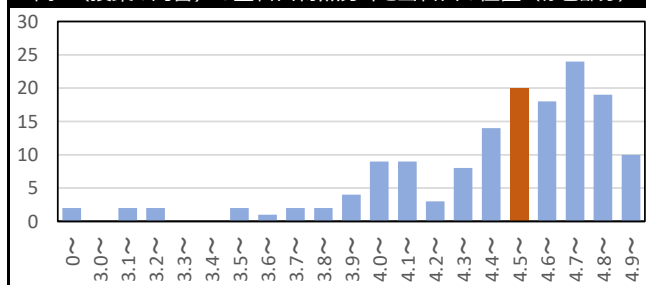
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 37% 'Strongly agree' and 29% 'Agree']							4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 32% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 3% 'Disagree']							4.43	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 28% 'Agree']							4.56	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 26% 'Agree']							4.55	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 30% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 5% 'Disagree']							4.37	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 5% 'Disagree']							4.51	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree', 20% 'Agree']							4.71	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 37% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 4% 'Disagree']							4.49	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 24% 'Agree']							4.65	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 32% 'Strongly agree', 34% 'Agree']							4.44	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 25% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 8% 'Disagree']							4.25	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 33% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 5% 'Disagree']							4.41	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 3% 'Disagree']							4.96	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 3% 'Disagree']							4.51	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.52</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



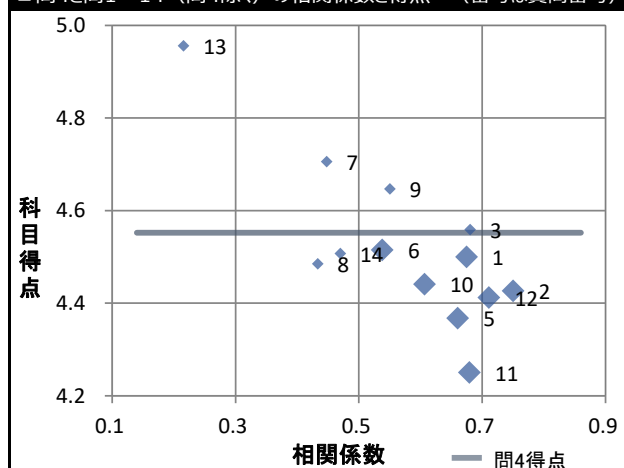
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

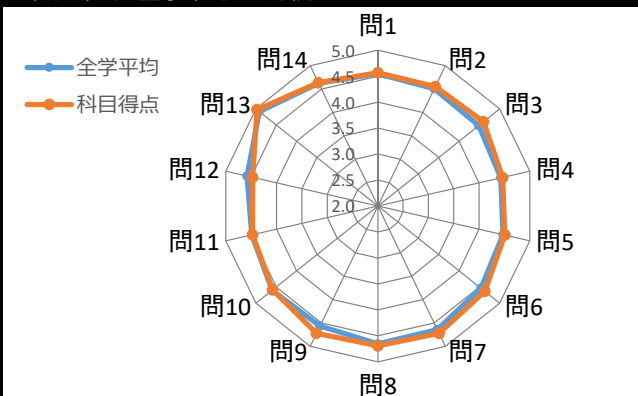
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護学概論 I	[110102]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	川原由佳里		授業形態	講義	回答数	69	97.2%

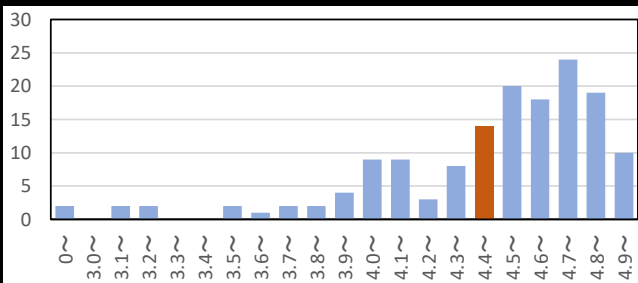
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree' and 28% for 'Agree']						4.57	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree']						4.55	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.60	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree', 25% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.46	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 17% for 'Agree', and 7% for 'Disagree']						4.51	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree', 19% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.63	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.72	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.69	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.72	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.59	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', and 6% for 'Disagree']						4.47	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', and 5% for 'Disagree']						4.47	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 66% for 'Strongly agree']						4.97	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4.63	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.61</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



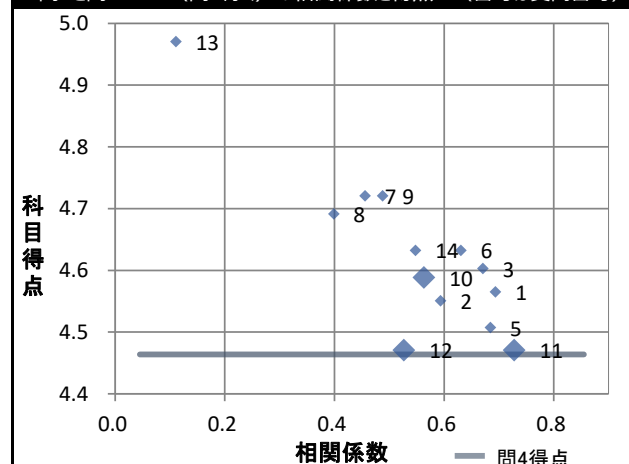
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



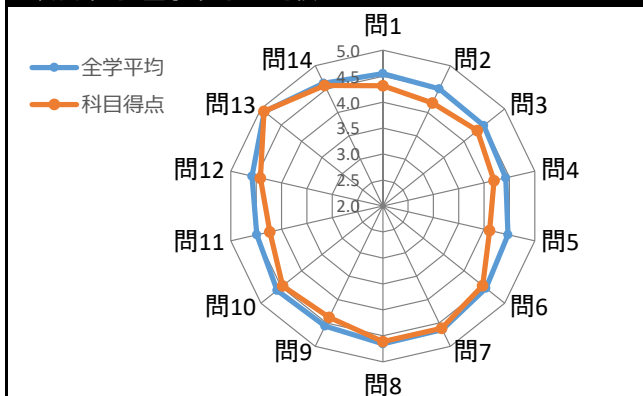
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護関係法規 [110300]	学部	看護学部	履修者数	141	回答率	
教員名	安部陽子	授業形態	講義	回答数	118	83.7%	

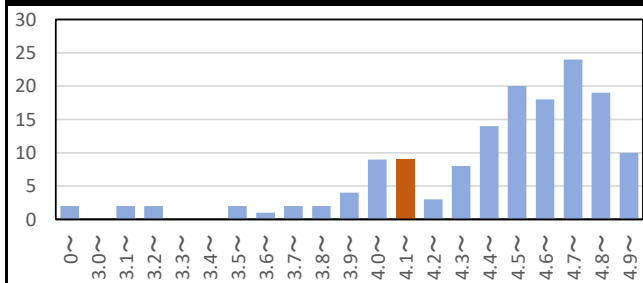
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 53 (Blue), 53 (Green), 8 (Yellow), 4 (Orange)]						4.31	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 45 (Blue), 56 (Green), 14 (Yellow), 1 (Orange)]						4.20	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 55 (Blue), 49 (Green), 12 (Yellow), 4 (Orange)]						4.33	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 48 (Blue), 50 (Green), 15 (Yellow), 7 (Orange)]						4.19	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 40 (Blue), 58 (Green), 15 (Yellow), 7 (Orange)]						4.11	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 63 (Blue), 47 (Green), 7 (Yellow), 2 (Orange)]						4.46	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 75 (Blue), 40 (Green), 5 (Yellow), 2 (Orange)]						4.61	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 74 (Blue), 42 (Green), 4 (Yellow), 2 (Orange)]						4.61	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 62 (Blue), 41 (Green), 13 (Yellow), 4 (Orange)]						4.38	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 66 (Blue), 41 (Green), 11 (Yellow), 2 (Orange)]						4.47	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 53 (Blue), 42 (Green), 20 (Yellow), 5 (Orange)]						4.23	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar Chart: 64 (Blue), 40 (Green), 13 (Yellow), 3 (Orange)]						4.42	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 110 (Blue), 7 (Green), 3 (Yellow), 2 (Orange)]						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 73 (Blue), 41 (Green), 4 (Yellow), 2 (Orange)]						4.58	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.42</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



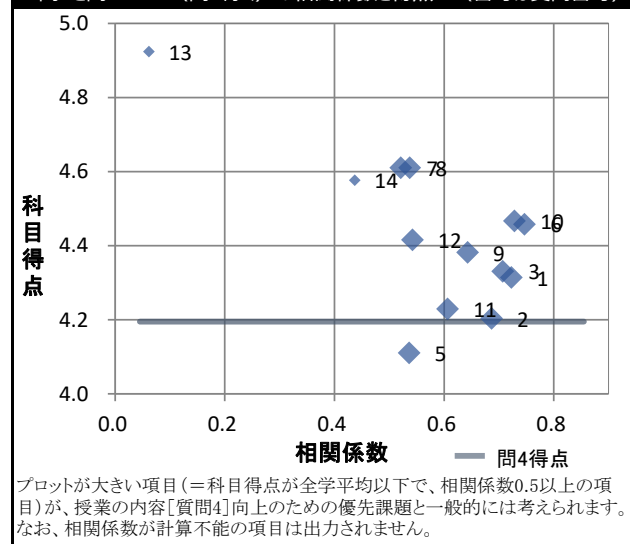
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

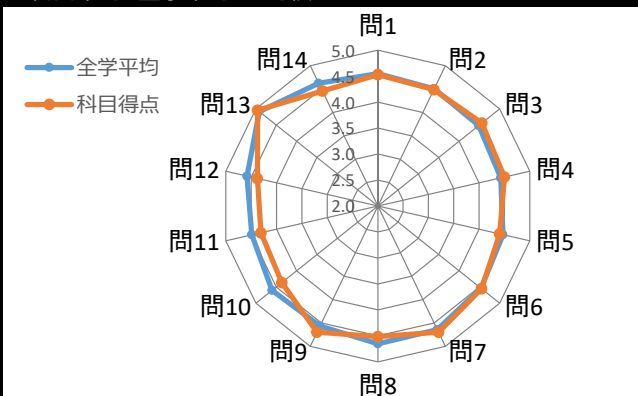
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護技術論 I	[1J0101]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	堀川英起		授業形態	講義	回答数	72	100.0%

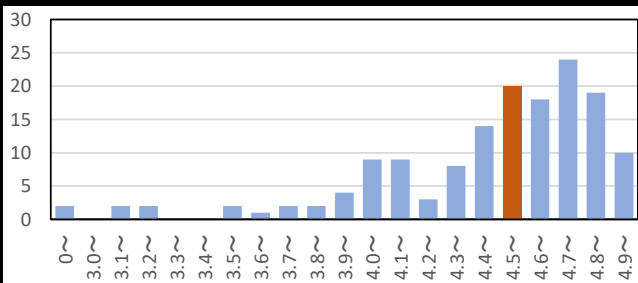
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 40% Blue, 30% Green, 30% Yellow]						4.53	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 40% Blue, 27% Green, 5% Yellow]						4.49	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 43% Blue, 25% Green, 3% Yellow]						4.56	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 40% Blue, 28% Green, 4% Yellow]						4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 37% Blue, 29% Green, 4% Yellow]						4.40	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 42% Blue, 28% Green, 30% Yellow]						4.56	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 52% Blue, 18% Green, 30% Yellow]						4.69	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 41% Blue, 27% Green, 4% Yellow]						4.51	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 50% Blue, 22% Green, 28% Yellow]						4.69	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 34% Blue, 31% Green, 6% Yellow]						4.36	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 33% Blue, 28% Green, 11% Yellow]						4.31	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 36% Blue, 27% Green, 9% Yellow]						4.38	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下)だった。	[Bar chart: 69% Blue, 3% Green, 28% Yellow]						4.96	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 39% Blue, 28% Green, 4% Yellow]						4.46	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.53</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

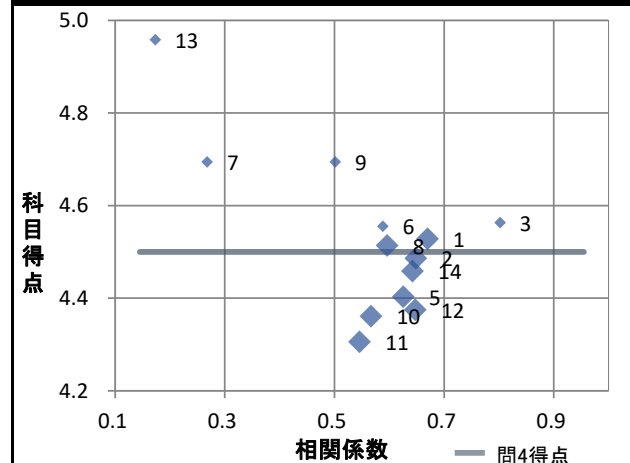


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

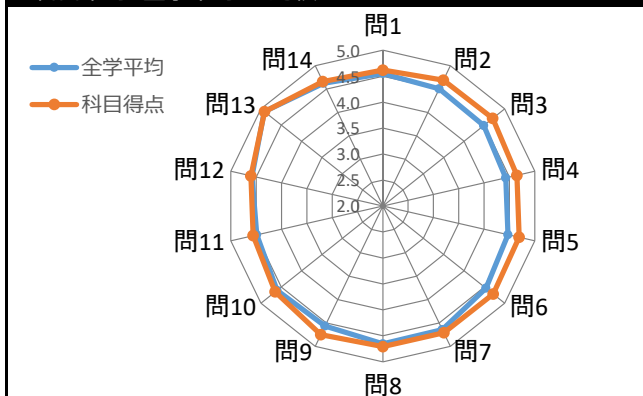
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護技術論 I	[1J0102]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	古城門靖子		授業形態	講義	回答数	68	95.8%

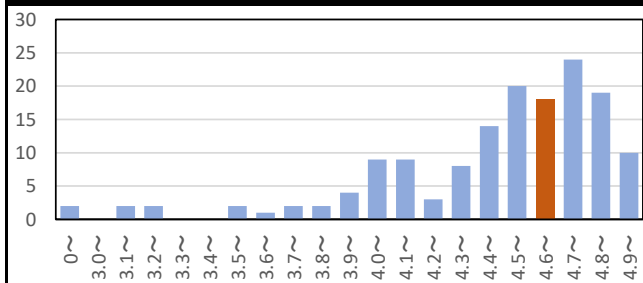
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.62	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.69	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.71	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.65	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.69	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.72	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.71	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.71	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.75	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.65	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.56	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.60	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.66	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.69</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

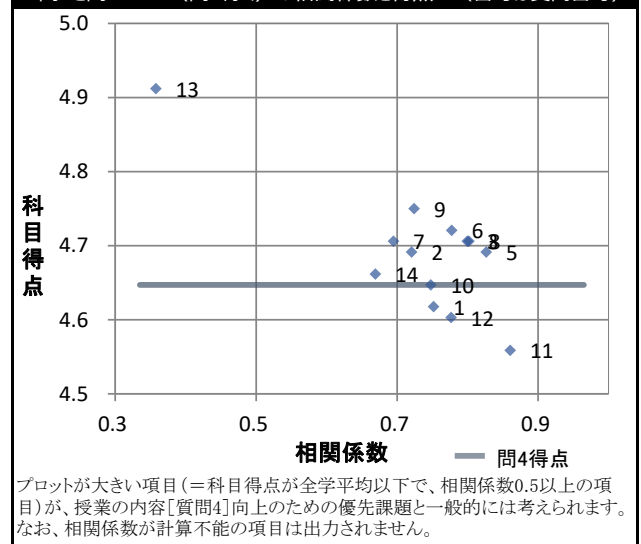


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

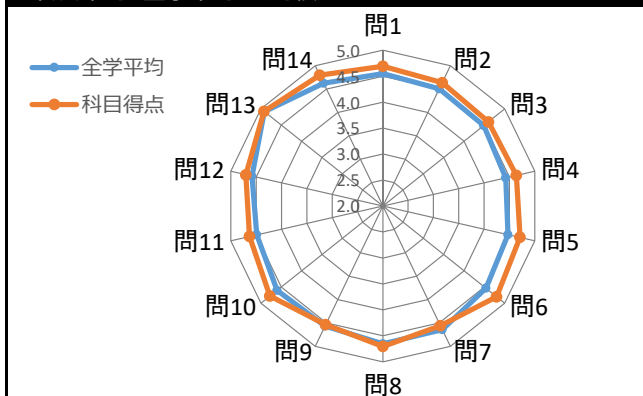
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論 I	[1K0101]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	細野知子		授業形態	講義	回答数	55	78.6%

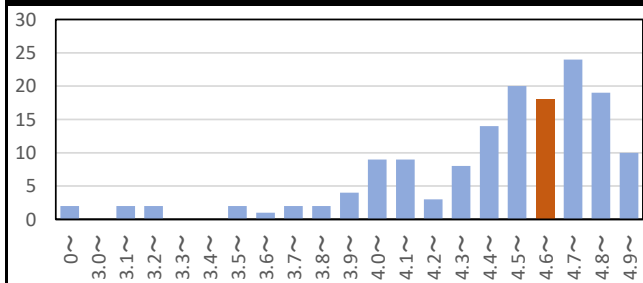
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.69	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.64	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.60	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.64	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.71	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.80	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.56	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.70	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.54	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.78	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.63	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.70	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.80	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.69</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

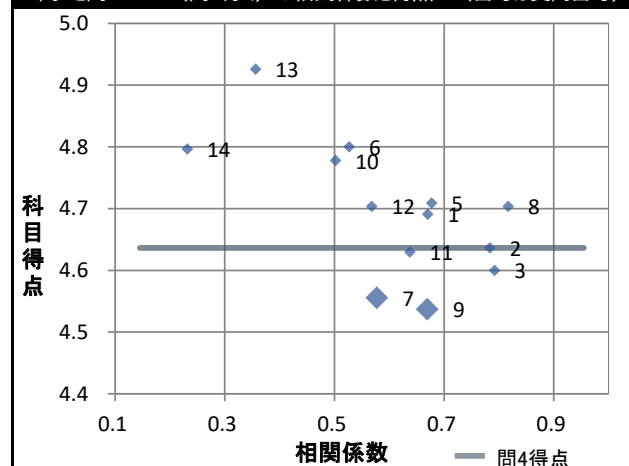


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



科目名	看護援助論 I	[1K0102]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	細野知子		授業形態	講義	回答数	61	84.7%

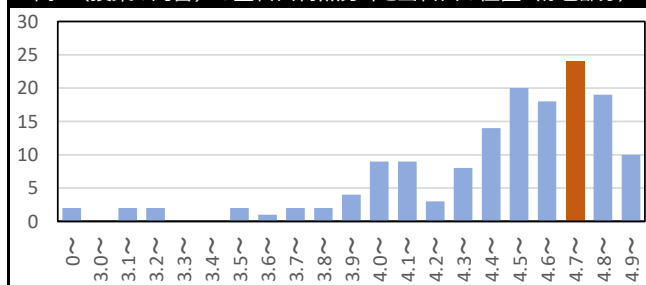
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 7% for 'Agree']						4.84	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.82	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 5% for 'Agree']						4.82	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 51% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.79	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 4% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.87	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 6% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.79	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 56% for 'Strongly agree' and 4% for 'Agree']						4.89	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree' and 7% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.75	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 4% for 'Agree', 1% for 'Disagree']						4.85	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 4% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.79	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 5% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.80	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 2% for 'Disagree']						4.97	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 6% for 'Agree']						4.87	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.83</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



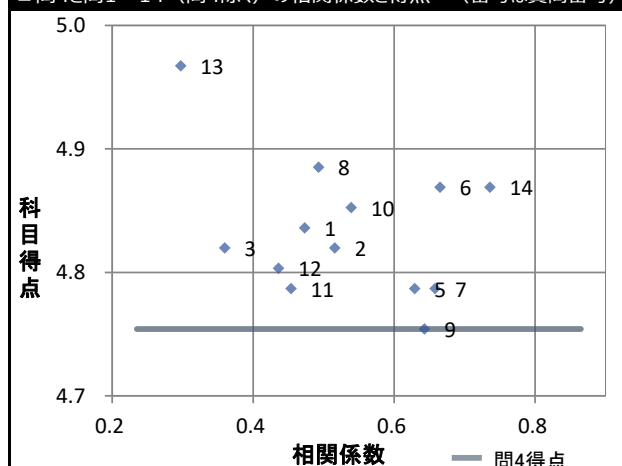
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

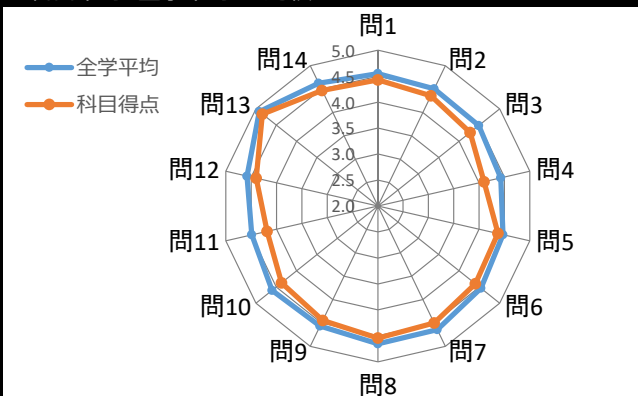
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅱ	[1K0201]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	千葉京子		授業形態	講義	回答数	70	100.0%

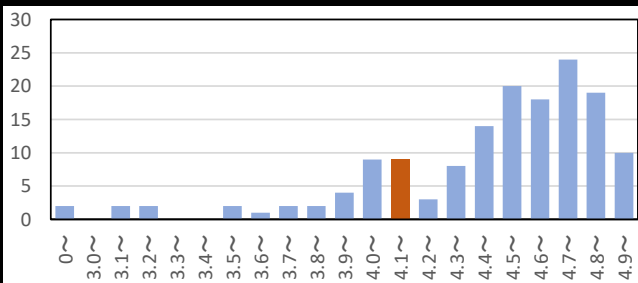
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 36% for 'Strongly agree', 28% for 'Agree', 6% for 'Disagree', 30% for 'Strongly disagree']						4.43	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 29% for 'Agree', 6% for 'Disagree', 31% for 'Strongly disagree']						4.36	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree', 28% for 'Agree', 6% for 'Disagree', 33% for 'Strongly disagree']						4.27	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 28% for 'Strongly agree', 25% for 'Agree', 14% for 'Disagree', 33% for 'Strongly disagree']						4.10	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree', 31% for 'Agree', 5% for 'Disagree', 31% for 'Strongly disagree']						4.37	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree', 27% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 32% for 'Strongly disagree']						4.40	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 29% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 30% for 'Strongly disagree']						4.50	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 29% for 'Agree', 31% for 'Strongly disagree']						4.54	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 28% for 'Agree', 34% for 'Strongly disagree']						4.44	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 33% for 'Strongly disagree']						4.37	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 32% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 10% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.19	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 35% for 'Strongly agree', 30% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 32% for 'Strongly disagree']						4.40	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree', 8% for 'Disagree', 32% for 'Strongly disagree']						4.84	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree', 30% for 'Agree', 33% for 'Strongly disagree']						4.47	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.41</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



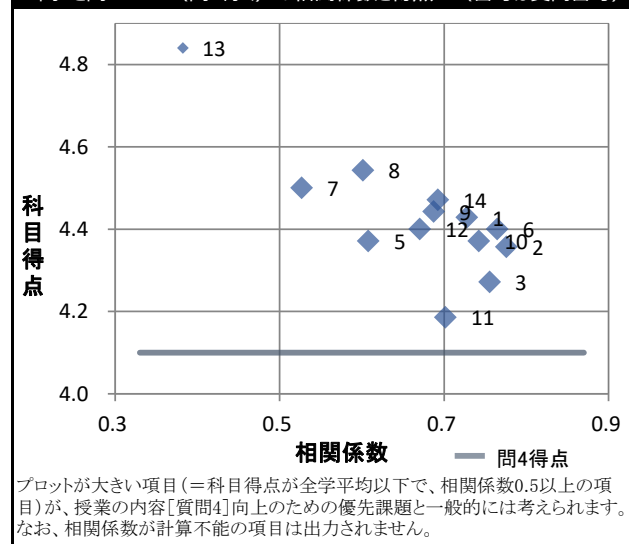
## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

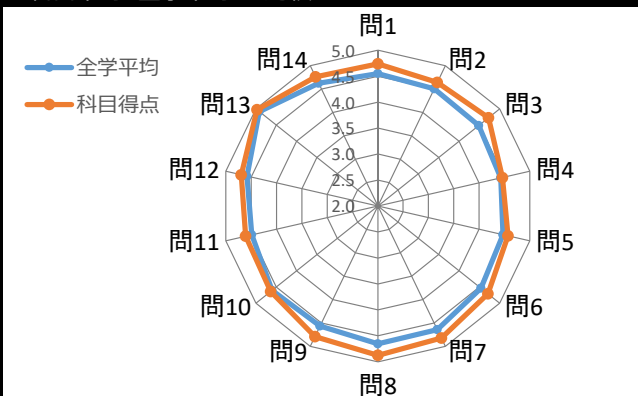
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅱ	[1K0202]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	千葉京子		授業形態	講義	回答数	72	100.0%

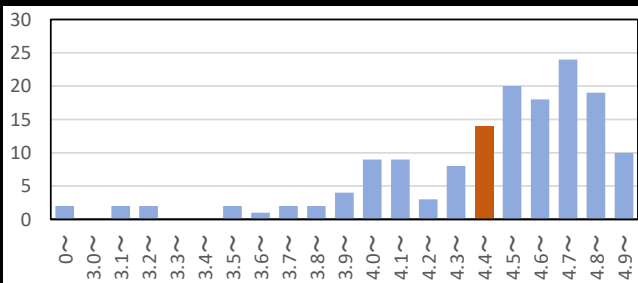
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.74	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.64	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.72	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 42% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 9% 'Disagree']						4.46	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.57	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree', 14% 'Agree']						4.71	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 8% 'Disagree']						4.82	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 9% 'Disagree']						4.88	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 9% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.79	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree', 17% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.64	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree', 16% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.61	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 16% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.69	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree']						4.97	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree', 15% 'Disagree']						4.76	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.71</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

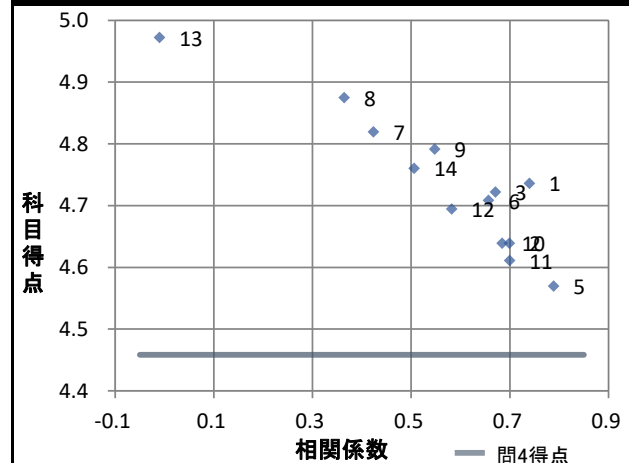


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

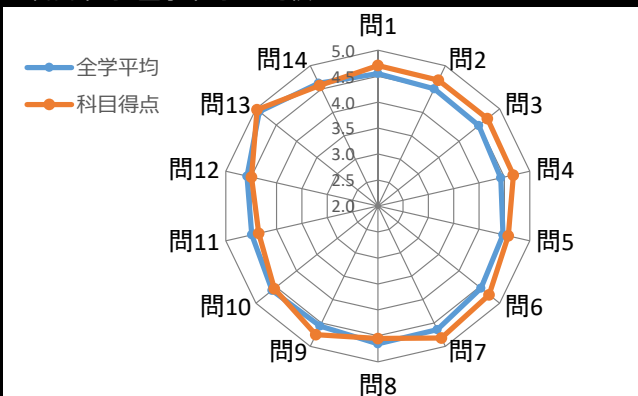
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅲ	[1K0301]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	清田明美		授業形態	講義	回答数	71	100.0%

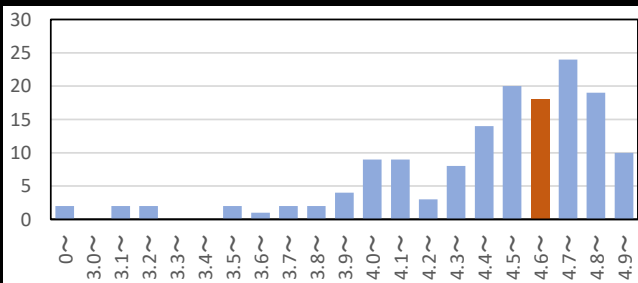
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree' and 21% 'Agree']						4.70	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree' and 22% 'Agree']						4.69	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree' and 21% 'Agree']						4.70	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree' and 21% 'Agree']						4.68	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.58	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.74	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.82	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree' and 30% 'Agree']						4.55	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.75	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree' and 28% 'Agree']						4.55	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 30% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.35	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.49	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree']						4.97	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.58	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.65</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

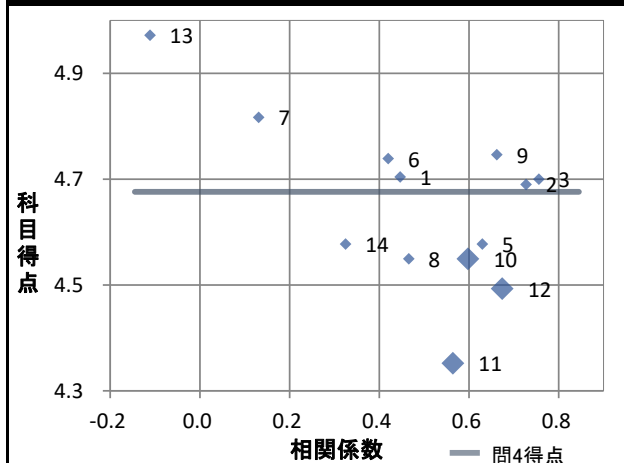


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

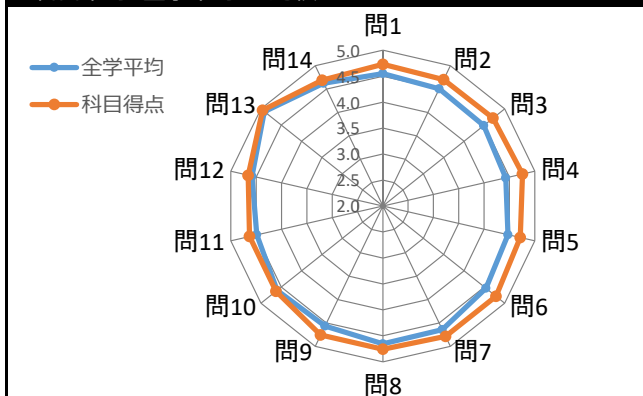
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅲ	[1K0302]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	清田明美		授業形態	講義	回答数	70	98.6%

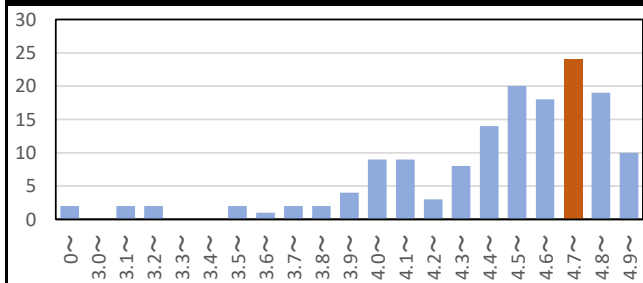
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 51% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.73	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4.70	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 51% for 'Strongly agree' and 18% for 'Agree']						4.71	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.76	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.71	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.79	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.79	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.76	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.76	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.63	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.63	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4.66	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 67% for 'Strongly agree' and 3% for 'Agree']						4.96	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.69	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.73</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



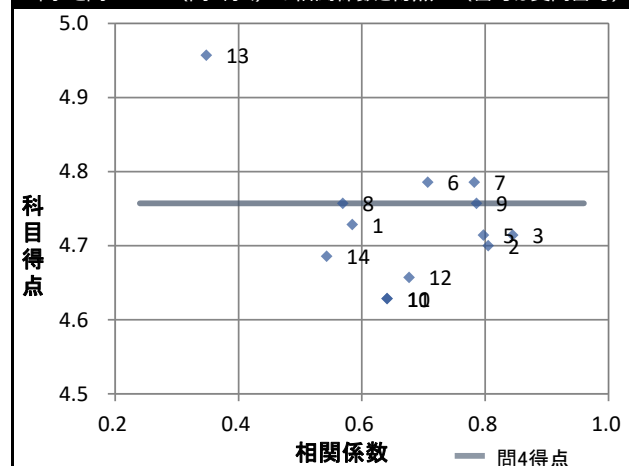
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

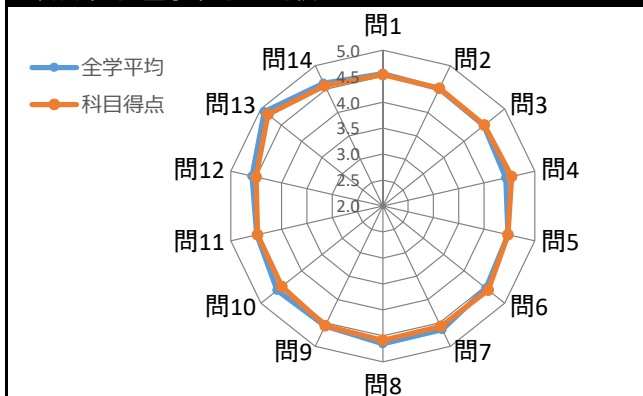
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅳ	[1K0401]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	清田明美		授業形態	講義	回答数	70	100.0%

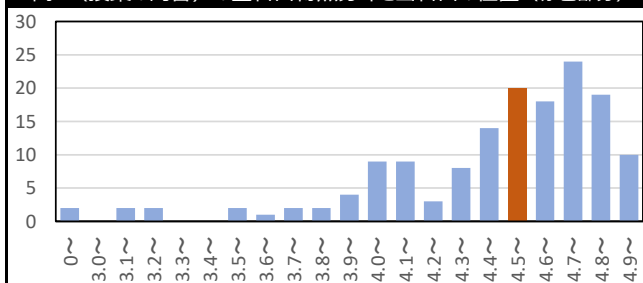
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.53	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.51	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.50	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.54	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.47	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.59	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.57	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.59	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.56	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.49	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.47	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.50	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.83	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.57	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.55</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

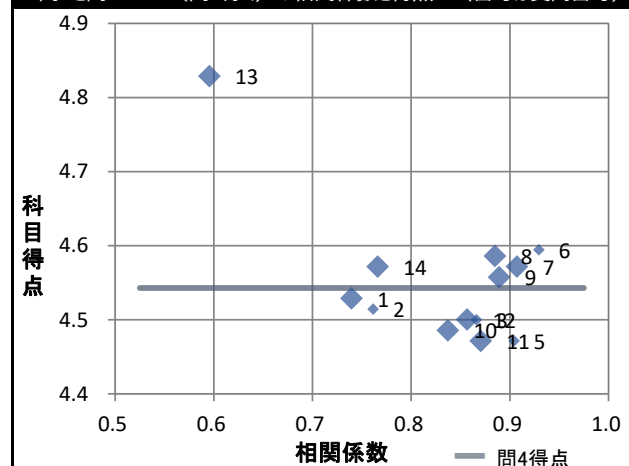


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

## ＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



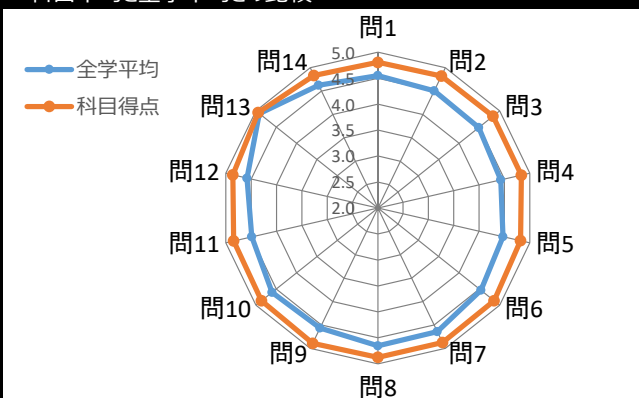
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護援助論Ⅳ	[1K0402]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	清田明美		授業形態	講義	回答数	72	100.0%

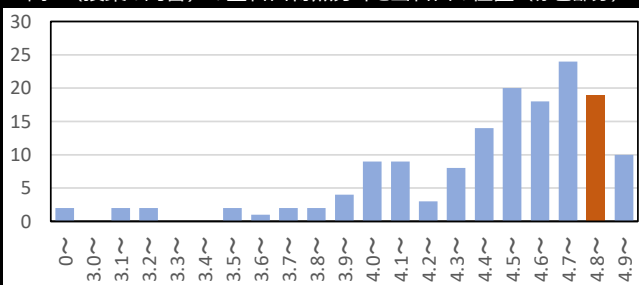
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.81	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.82	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.83	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.83	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.82	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 62% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.86	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 63% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.88	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 63% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.88	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 64% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.89	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 62% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.86	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 61% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.85	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 62% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.86	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 68% for 'Strongly agree' and 4% for 'Agree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.83	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.85</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

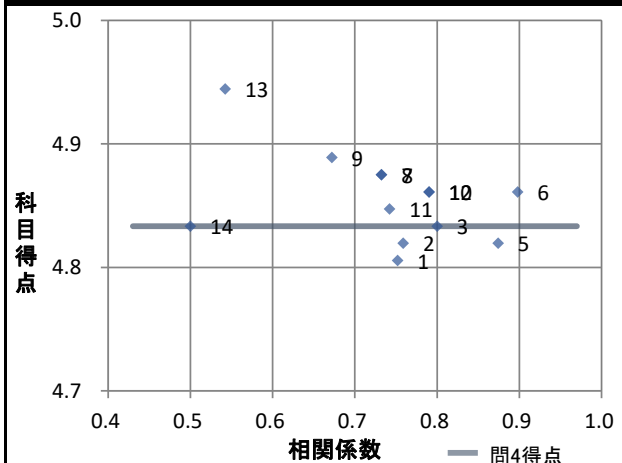


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Green]	5	強く思う
[Blue]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

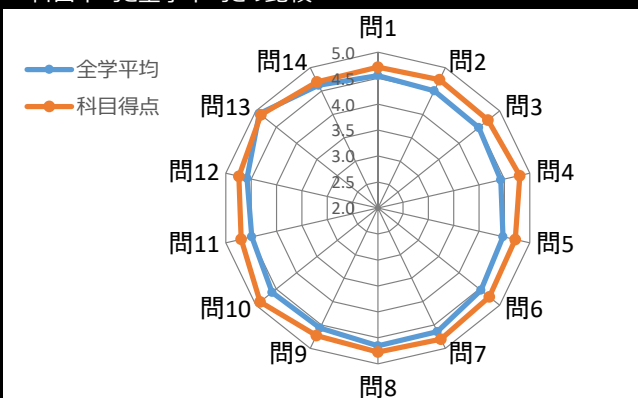
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅴ	[1K0501]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	山内朋子		授業形態	講義	回答数	66	94.3%

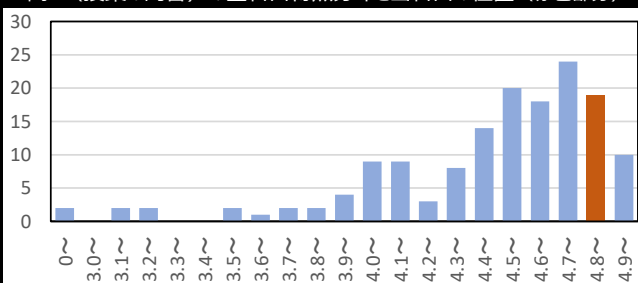
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.71	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.74	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree', 13% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.71	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.80	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.71	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.74	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.80	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 51% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.77	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree', 14% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.73	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 7% for 'Disagree']						4.89	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 18% for 'Agree']						4.70	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.74	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 58% for 'Strongly agree' and 8% for 'Disagree']						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.70	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.76</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



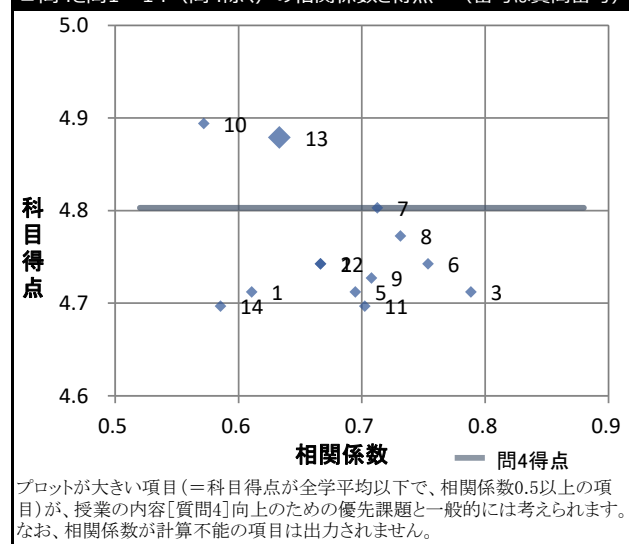
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

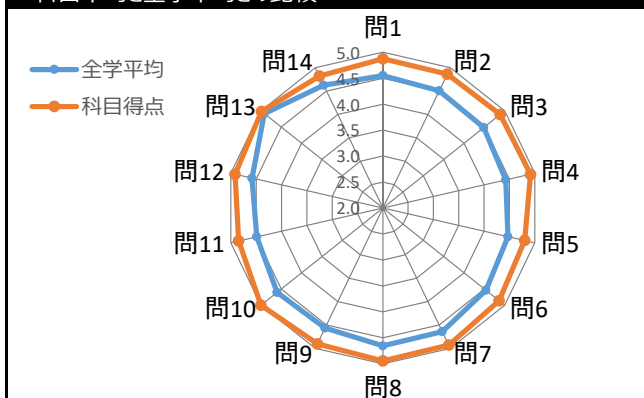


科目名	看護援助論Ⅴ	[1K0502]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	山内朋子		授業形態	講義	回答数	71	98.6%

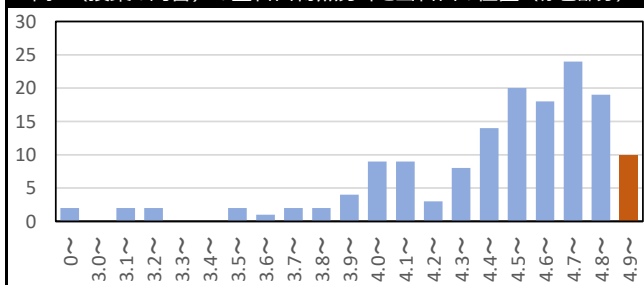
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	62						9	4.87	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	61						10	4.86	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	64						6	4.89	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	65						6	4.92	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	59						10	4.80	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	61						10	4.86	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	66						5	4.93	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	67						4	4.94	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	64						7	4.90	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	71							5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	61						9	4.85	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	66						4	4.92	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	70							4.99	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	58						13	4.82	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.90</b>	<b>4.57</b>	

■ 科目平均と全学平均との比較



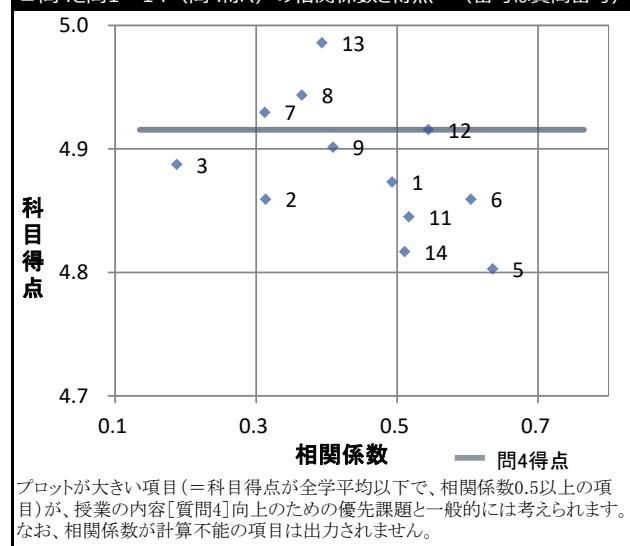
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

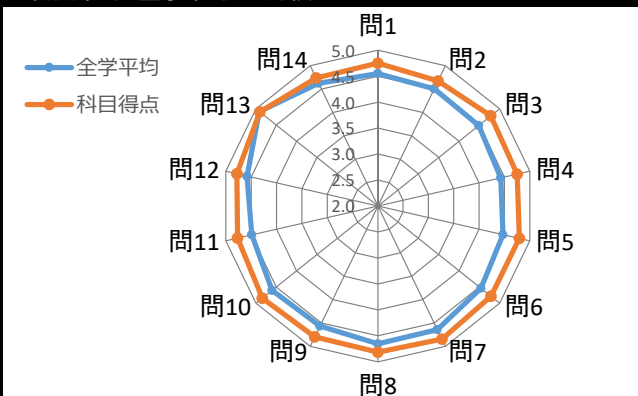
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論VI	[1K0601]	学部	看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	新田真弓		授業形態	講義	回答数	65	94.2%

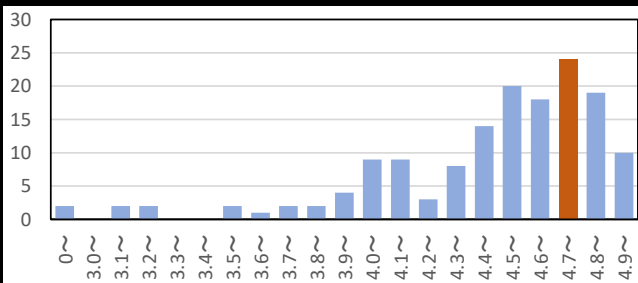
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.75	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.67	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.78	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.79	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.78	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.84	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.81	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.80	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.84	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.77	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.78	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.74	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.79</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

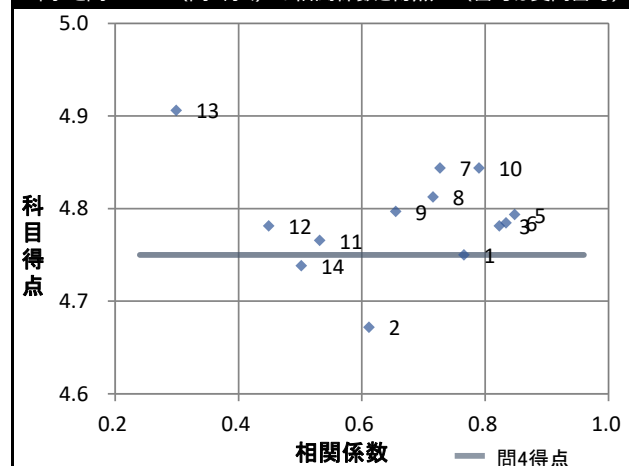


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



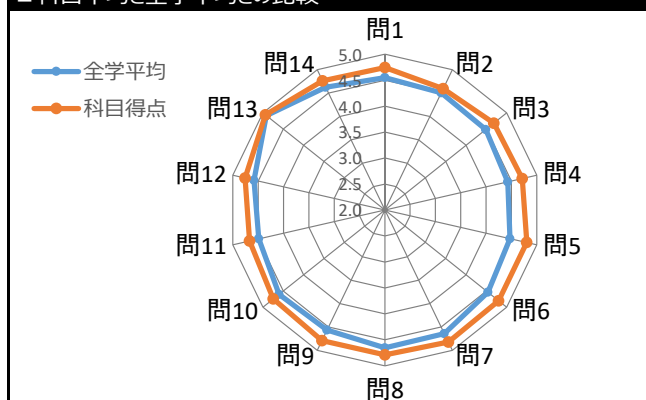
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護援助論VI	[1K0602]	学部	看護学部	履修者数	68	回答率
教員名	新田真弓		授業形態	講義	回答数	66	97.1%

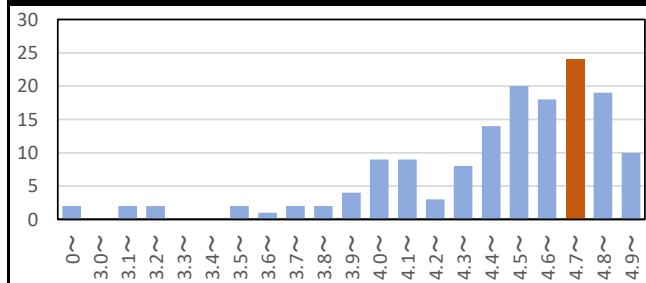
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.74	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree']						4.59	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.68	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.71	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.80	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.80	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.82	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.79	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.79	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.74	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 18% for 'Agree']						4.67	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.76	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 62% for 'Strongly agree' and 4% for 'Agree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.76	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.76</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



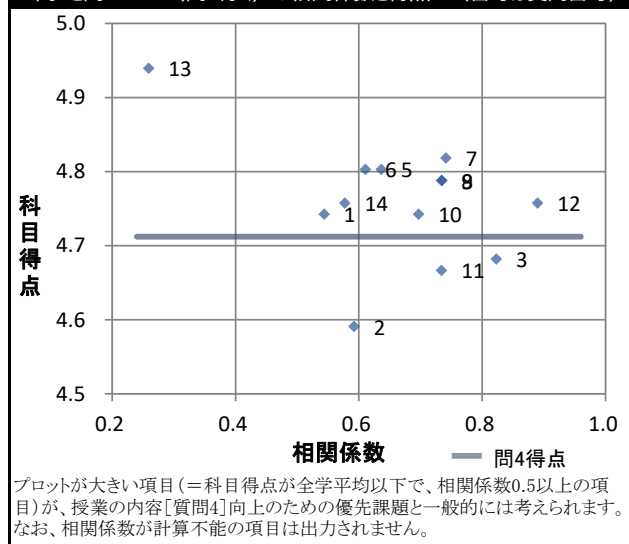
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

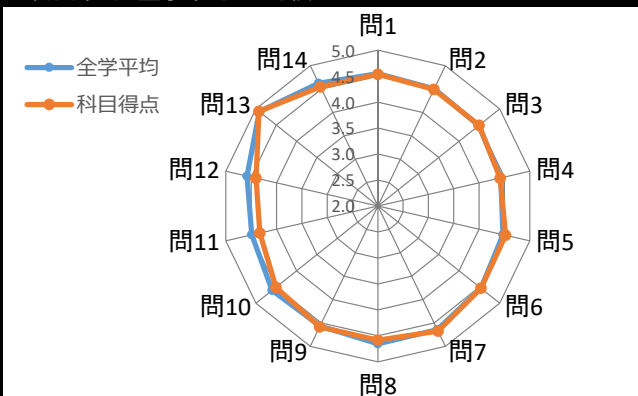
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅶ	[1K0701]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	堀川英起		授業形態	講義	回答数	67	95.7%

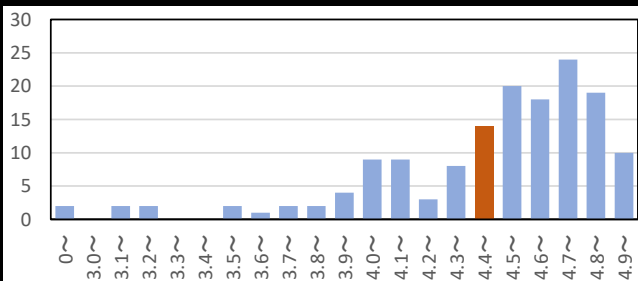
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.54	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.49	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.49	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.42	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.52	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.54	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.67	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.58	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.58	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.51	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.33	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.40	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.55	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.54</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

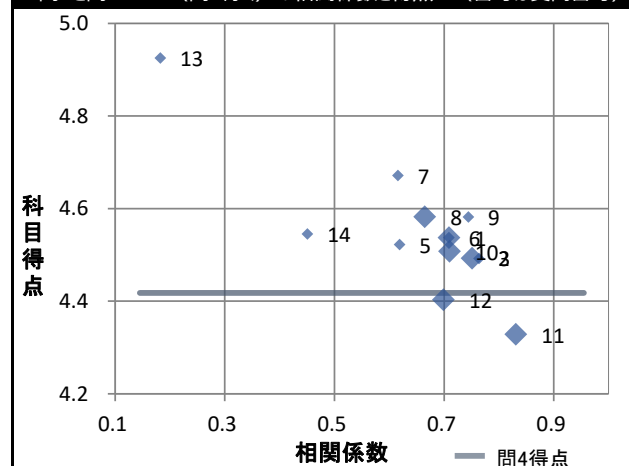


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



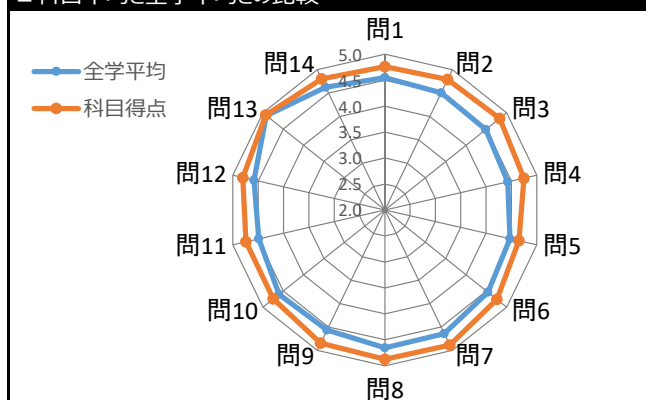
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護援助論Ⅶ	[1K0702]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	堀川英起		授業形態	講義	回答数	71	98.6%

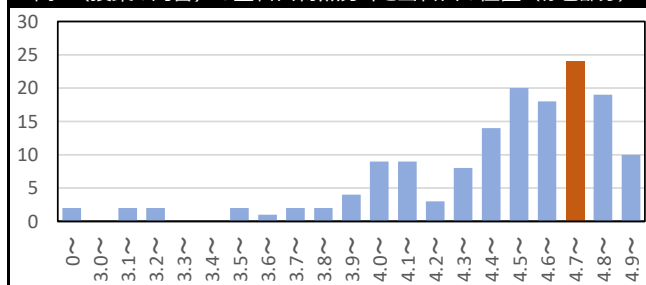
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.76	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.79	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.83	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree', 14% for 'Agree', and 4% for 'Disagree']						4.65	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.76	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 63% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.89	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 62% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.87	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.85	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.75	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree', 12% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.74	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.80	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 66% for 'Strongly agree' and 5% for 'Agree']						4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.80	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.80</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



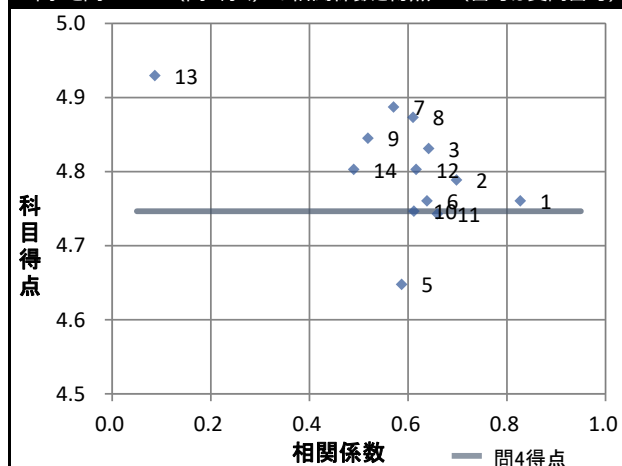
■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



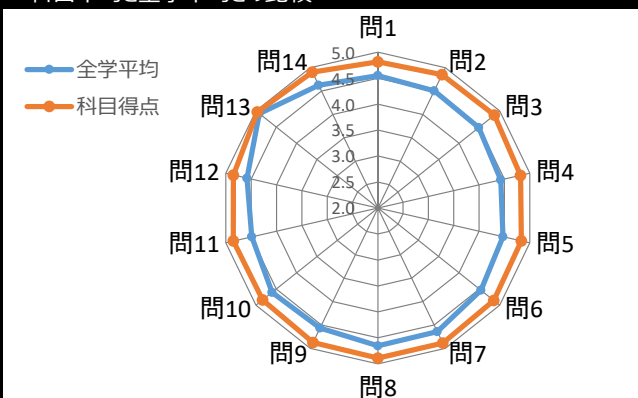
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	精神保健看護学Ⅱ	[1L0201]	学部	看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	堀井湖浪		授業形態	講義	回答数	54	78.3%

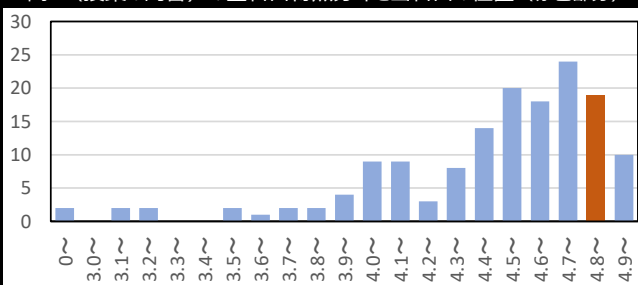
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.81	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.85	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 7% for 'Agree']						4.87	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.81	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.83	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.85	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 6% for 'Agree']						4.89	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 6% for 'Agree']						4.89	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 7% for 'Agree']						4.87	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.83	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.85	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.85	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 2% for 'Agree']						4.96	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 5% for 'Agree']						4.91	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.86</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

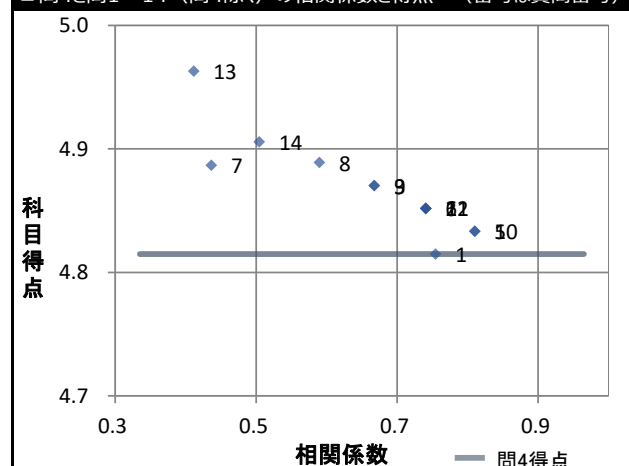


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Green]	5	強く思う
[Blue]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

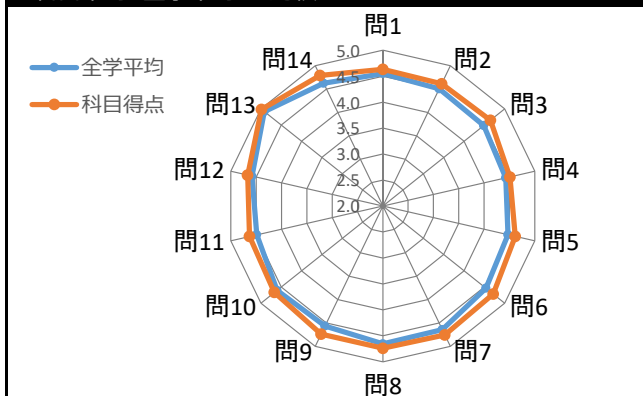
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	精神保健看護学Ⅱ	[1L0202]	学部	看護学部	履修者数	68	回答率
教員名	堀井湖浪		授業形態	講義	回答数	57	83.8%

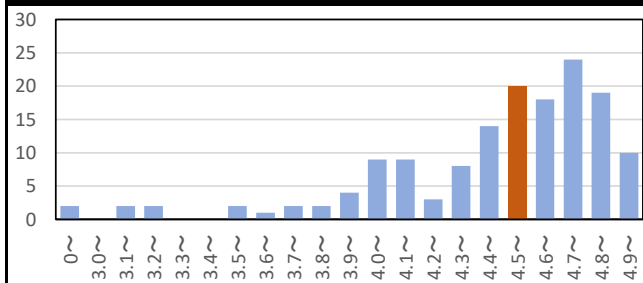
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.61	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.65	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.51	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.61	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.72	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.75	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.74	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.74	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.67	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.63	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.67	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 56% for 'Strongly agree']						4.98	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.79	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.69</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

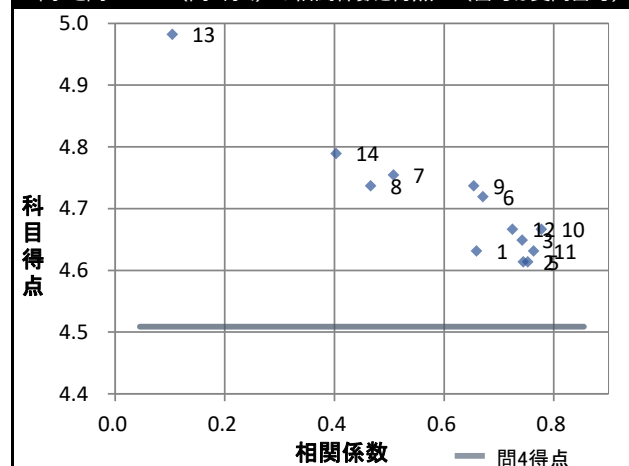


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

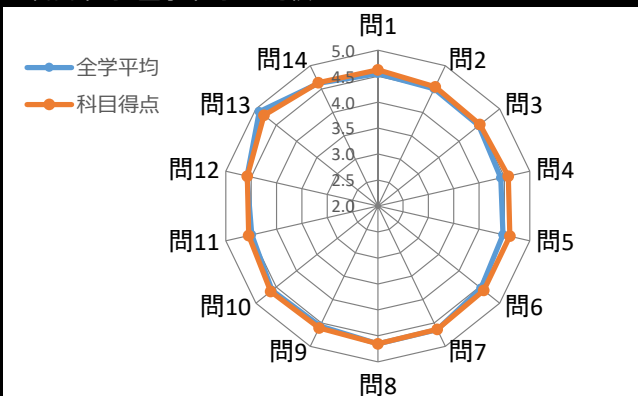
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	発達看護学概論	[1M0101]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	講義	回答数	66	94.3%

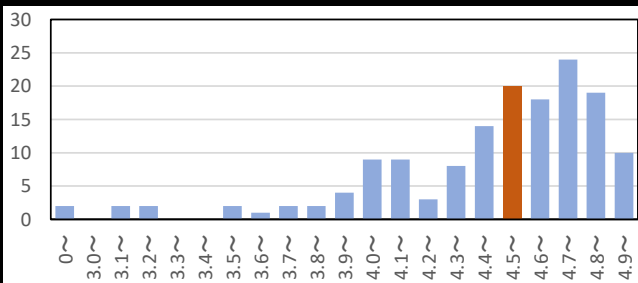
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.62	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.55	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.52	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.58	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree']						4.61	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree']						4.61	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.64	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree']						4.65	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree']						4.61	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree']						4.64	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.55	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.58	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree', 11% for 'Agree']						4.80	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.64	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.61</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

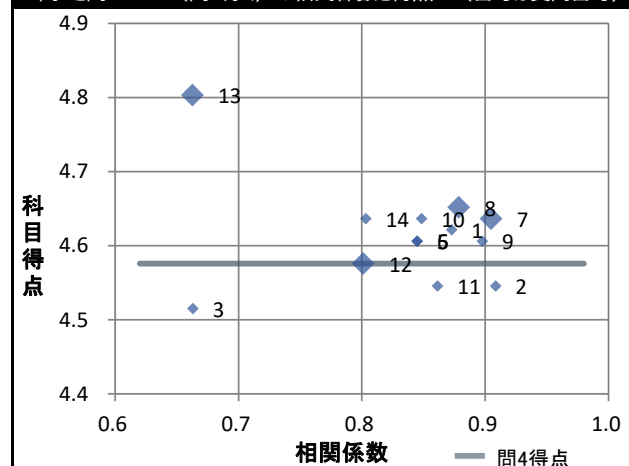


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

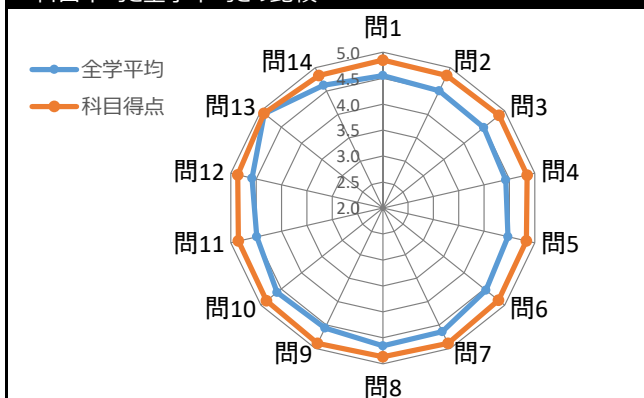


科目名	発達看護学概論	[1M0102]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	講義	回答数	66	91.7%

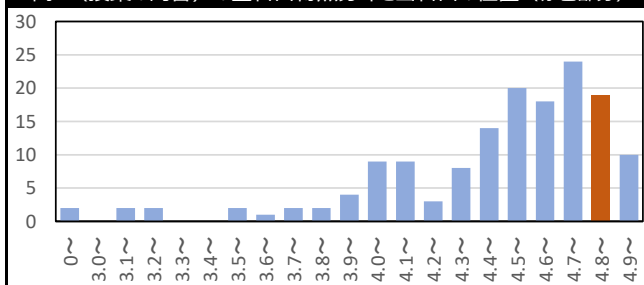
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 56% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.85	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 56% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.83	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.86	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.85	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.83	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 8% for 'Agree']						4.85	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 7% for 'Agree']						4.89	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.86	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 7% for 'Agree']						4.89	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.86	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 56% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.85	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 58% for 'Strongly agree' and 7% for 'Agree']						4.86	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 61% for 'Strongly agree' and 5% for 'Agree']						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.83	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.86</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



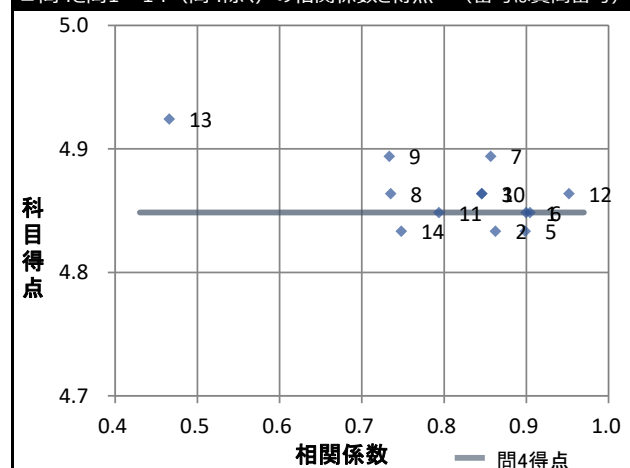
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

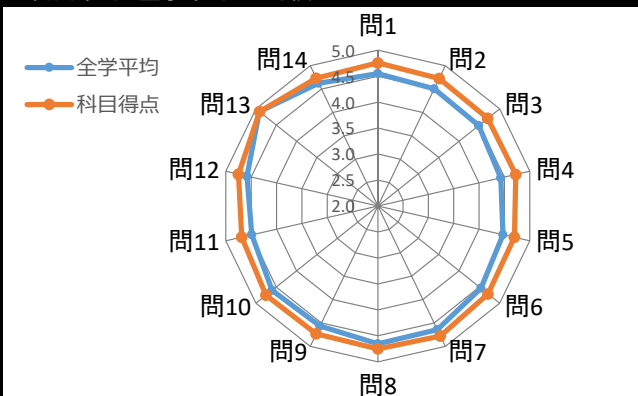
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	発達看護学(成人期の看護)	[1M0200]	学部	看護学部	履修者数	142	回答率
教員名	本庄恵子		授業形態	講義	回答数	112	78.9%

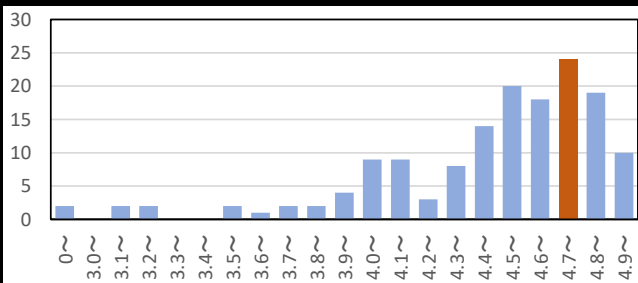
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 85% 'Strongly agree' and 25% 'Agree']						4.76	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 84% 'Strongly agree' and 27% 'Agree']						4.72	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 85% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.71	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 83% 'Strongly agree' and 27% 'Agree']						4.72	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 82% 'Strongly agree' and 27% 'Agree']						4.70	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 84% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.71	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 87% 'Strongly agree' and 25% 'Agree']						4.78	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 85% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.75	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 84% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.73	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 86% 'Strongly agree' and 25% 'Agree']						4.75	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 81% 'Strongly agree' and 27% 'Agree' and 4% 'Disagree']						4.69	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 85% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.75	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 102% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 83% 'Strongly agree' and 28% 'Agree']						4.73	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.74</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

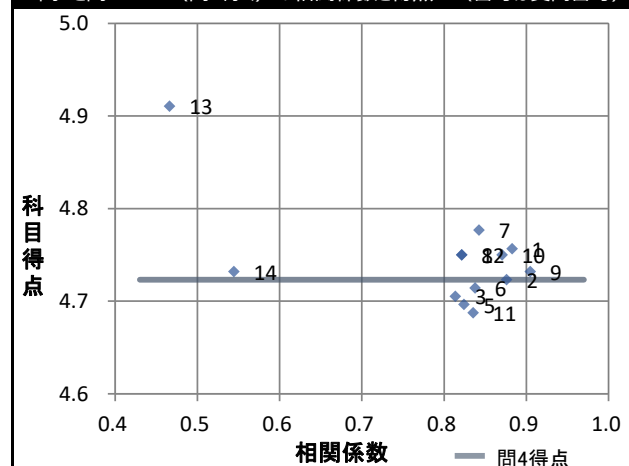


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



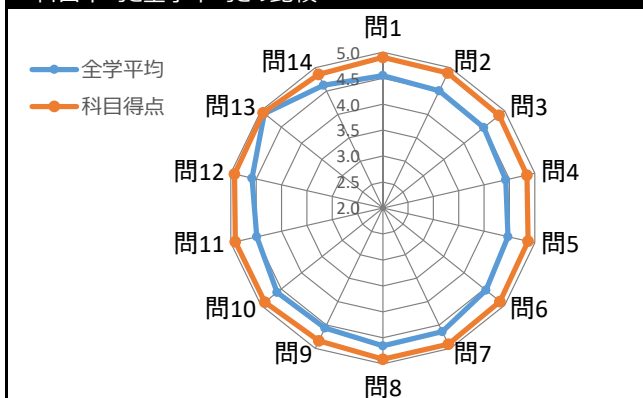
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	発達看護学 I ②	[1M0400]	学部	看護学部	履修者数	138	回答率
教員名	加藤千穂		授業形態	講義	回答数	122	88.4%

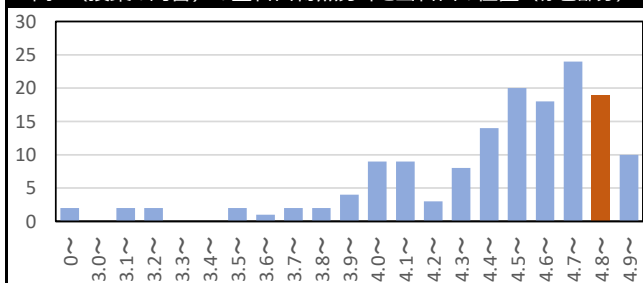
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 110 responses for 'strongly agree' and 10 for 'agree']						4.90	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 108 responses for 'strongly agree' and 12 for 'agree']						4.88	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 105 responses for 'strongly agree' and 15 for 'agree']						4.86	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 105 responses for 'strongly agree' and 15 for 'agree']						4.84	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 106 responses for 'strongly agree' and 14 for 'agree']						4.87	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 110 responses for 'strongly agree' and 10 for 'agree']						4.89	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 111 responses for 'strongly agree' and 9 for 'agree']						4.91	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 111 responses for 'strongly agree' and 9 for 'agree']						4.91	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 105 responses for 'strongly agree' and 14 for 'agree']						4.84	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 111 responses for 'strongly agree' and 10 for 'agree']						4.90	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 111 responses for 'strongly agree' and 9 for 'agree']						4.91	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 114 responses for 'strongly agree' and 7 for 'agree']						4.93	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 116 responses for 'strongly agree' and 5 for 'agree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 107 responses for 'strongly agree' and 13 for 'agree']						4.85	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.89</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



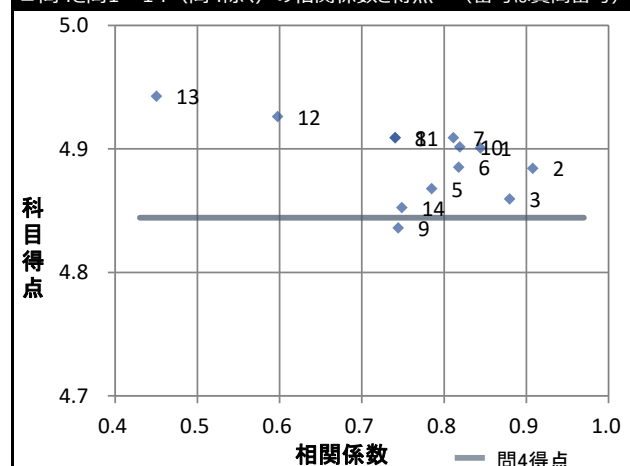
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

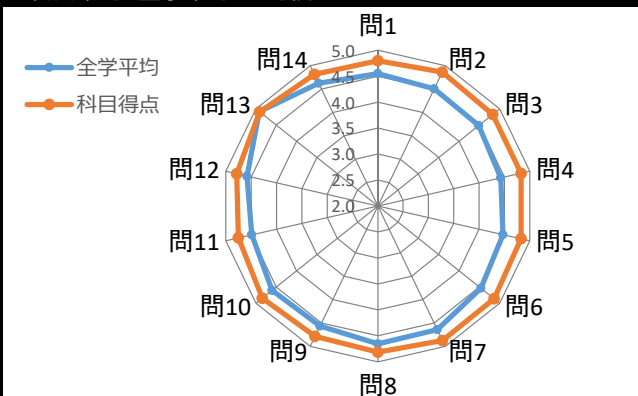
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	発達看護学Ⅱ②	[1M0601]	学部	看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	講義	回答数	65	94.2%

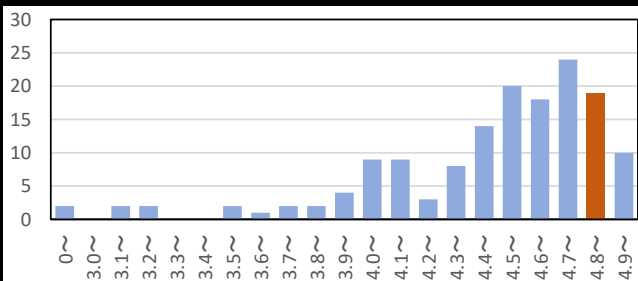
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 53 responses for 'strongly agree' and 9 for 'agree']						4.80	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 56 responses for 'strongly agree' and 7 for 'agree']						4.86	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 54 responses for 'strongly agree' and 9 for 'agree']						4.83	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 54 responses for 'strongly agree' and 9 for 'agree']						4.83	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 55 responses for 'strongly agree' and 7 for 'agree']						4.83	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 56 responses for 'strongly agree' and 7 for 'agree']						4.86	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 57 responses for 'strongly agree' and 6 for 'agree']						4.88	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 53 responses for 'strongly agree' and 10 for 'agree']						4.81	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 53 responses for 'strongly agree', 8 for 'agree', and 3 for 'neither']						4.78	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 55 responses for 'strongly agree' and 8 for 'agree']						4.84	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 54 responses for 'strongly agree', 8 for 'agree', and 2 for 'neither']						4.75	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 54 responses for 'strongly agree' and 9 for 'agree']						4.78	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 60 responses for 'strongly agree' and 4 for 'agree']						4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 56 responses for 'strongly agree' and 7 for 'agree']						4.82	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.83</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

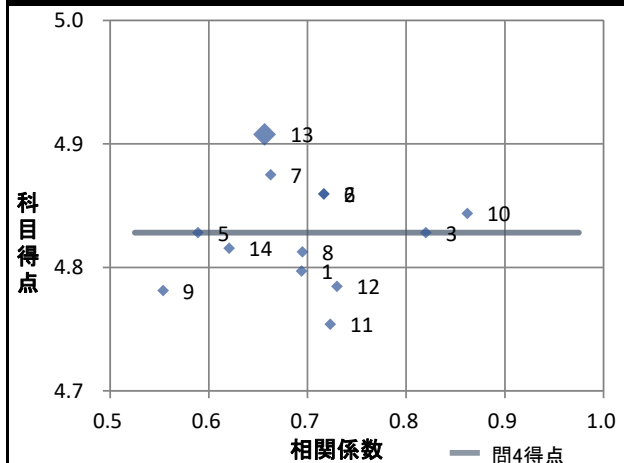


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



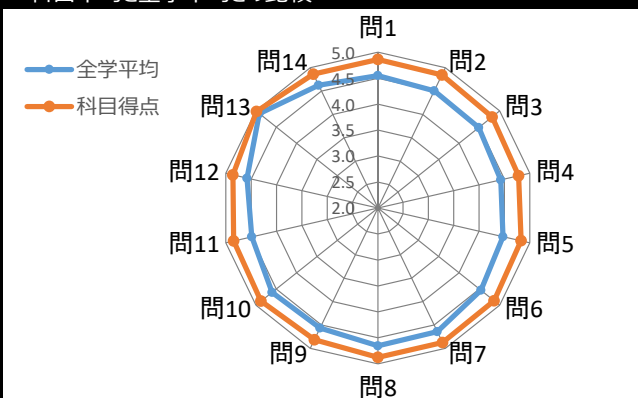
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	発達看護学Ⅱ②	[1M0602]	学部	看護学部	履修者数	68	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	講義	回答数	64	94.1%

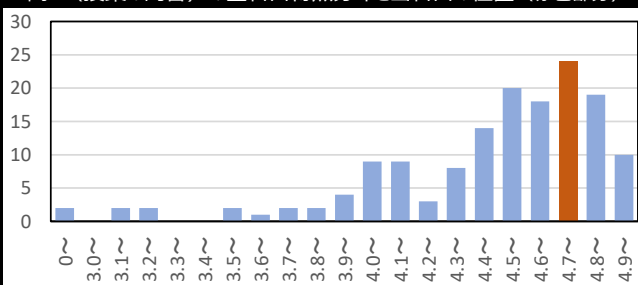
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.86	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.84	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.81	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.78	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.83	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.86	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 8% 'Agree']						4.88	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 8% 'Agree']						4.88	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.81	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 8% 'Agree']						4.88	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.84	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.86	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree']						4.98	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.86	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.85</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

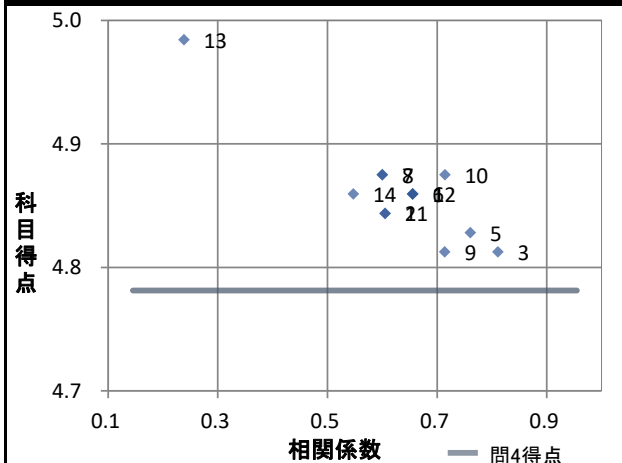


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	発達看護学Ⅲ②	[1M0800]	学部	看護学部	履修者数	138	回答率
教員名	千葉京子		授業形態	講義	回答数	105	76.1%

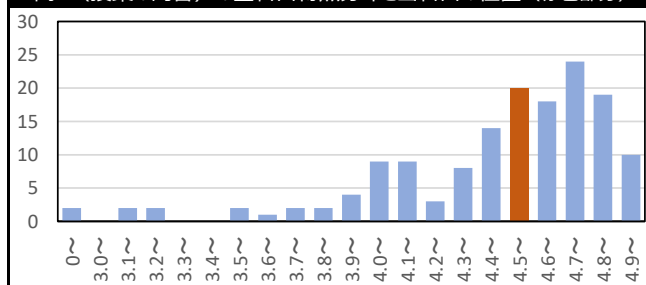
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 4% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.67	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 0% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.66	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 73% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 7% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.63	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 5% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.58	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 75% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 6% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.66	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 5% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.66	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 88% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 0% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.83	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 89% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 0% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.84	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 86% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 0% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.81	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 0% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.71	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 75% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 0% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.69	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 78% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 5% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.66	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 99% 'Strongly agree', 4% 'Agree', 0% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 86% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 0% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.81	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.73</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



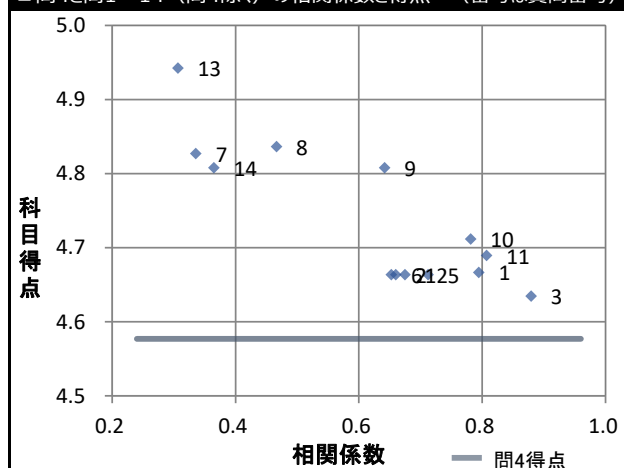
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

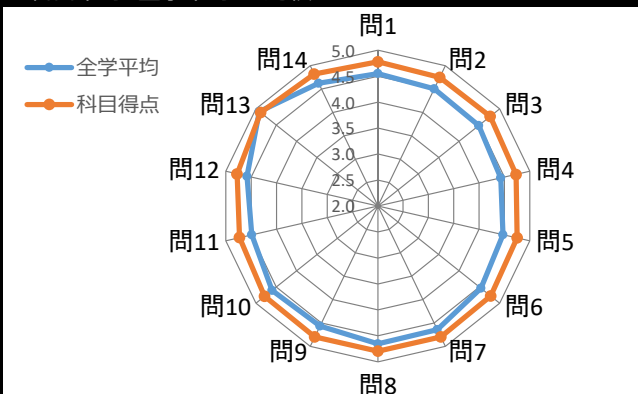
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	慢性期ケア	[1N0200]	学部	看護学部	履修者数	142	回答率
教員名	田中孝美		授業形態	講義	回答数	112	78.9%

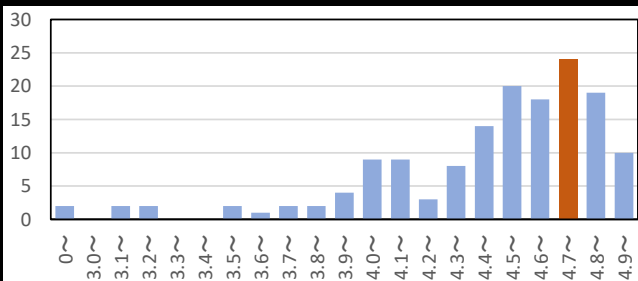
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 88% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.78	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 85% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.75	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 86% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.77	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 84% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.73	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 85% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.75	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 89% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4.78	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 89% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.79	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 89% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.79	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 89% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.79	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 88% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						4.79	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 84% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.73	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 87% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree']						4.78	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 99% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 92% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.82	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.78</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

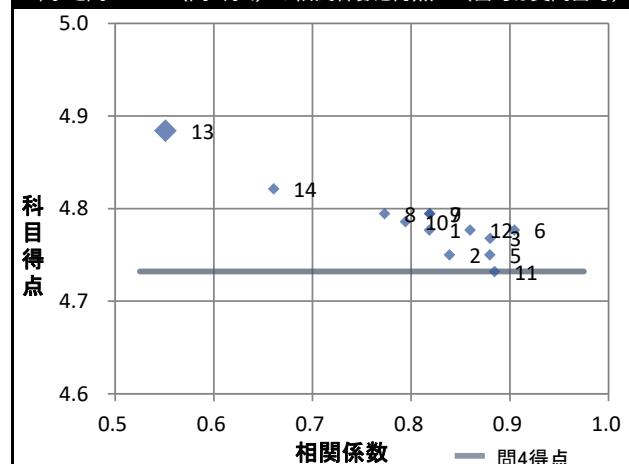


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

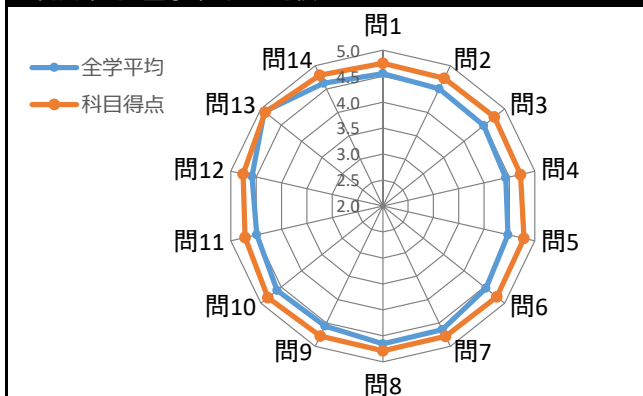
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	急性期ケア	[1N0300]	学部	看護学部	履修者数	142	回答率
教員名	三浦英恵		授業形態	講義	回答数	103	72.5%

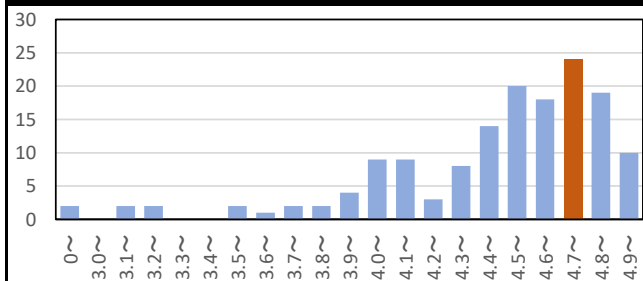
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.75	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.73	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.75	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.72	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.79	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.81	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.79	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.79	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.78	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.83	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.72	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.76	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.80	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.78</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

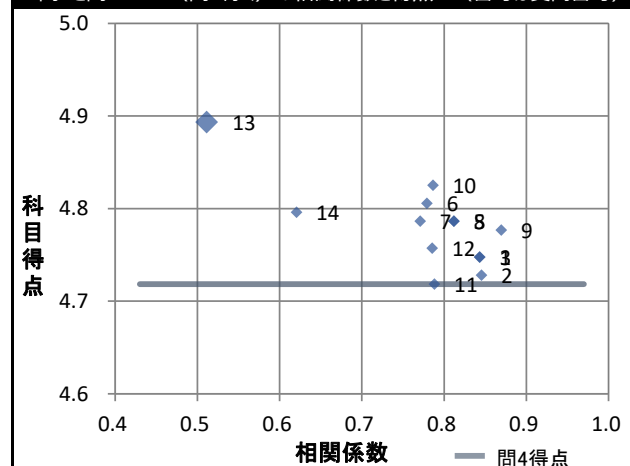


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

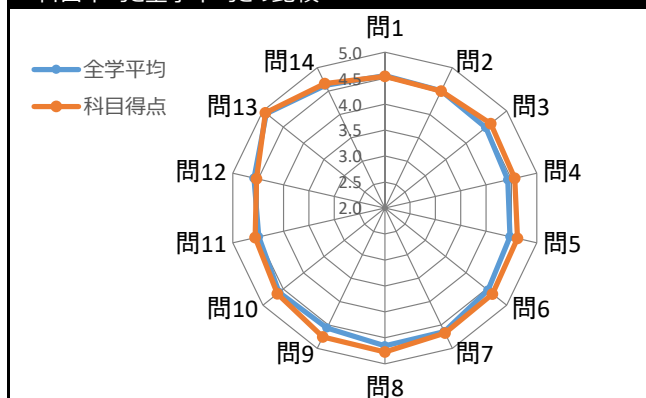
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	緩和・終末期ケア	[1N0400]	学部	看護学部	履修者数	139	回答率
教員名	吉田みづ子		授業形態	講義	回答数	119	85.6%

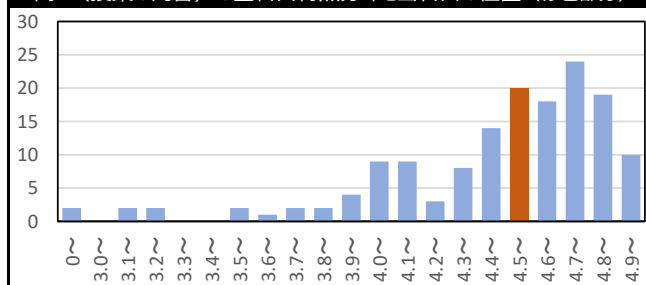
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 69% Blue, 44% Green, 4% Yellow]						4.53	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 62% Blue, 51% Green, 4% Yellow]						4.50	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 73% Blue, 42% Green, 1% Yellow]						4.61	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 69% Blue, 45% Green, 1% Yellow]						4.56	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 77% Blue, 37% Green, 4% Yellow]						4.62	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 80% Blue, 35% Green, 1% Yellow]						4.65	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 85% Blue, 29% Green, 1% Yellow]						4.67	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 93% Blue, 23% Green, 1% Yellow]						4.77	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 90% Blue, 27% Green, 1% Yellow]						4.75	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 77% Blue, 40% Green, 1% Yellow]						4.64	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 73% Blue, 38% Green, 7% Yellow]						4.56	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar Chart: 70% Blue, 42% Green, 5% Yellow]						4.53	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 112% Blue, 5% Yellow]						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 82% Blue, 32% Green, 4% Yellow]						4.66	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.64</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

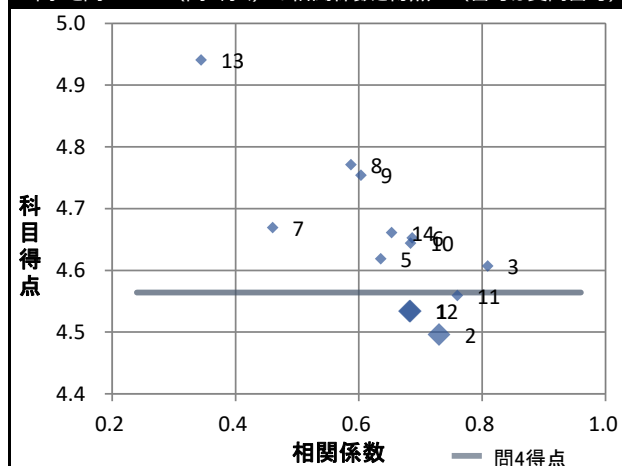


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



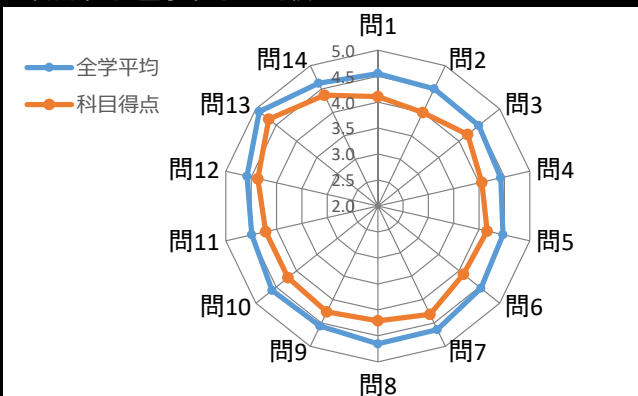
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	保健福祉行政論	[100300]	学部	看護学部	履修者数	20	回答率
教員名	櫻山豊夫		授業形態	講義	回答数	19	95.0%

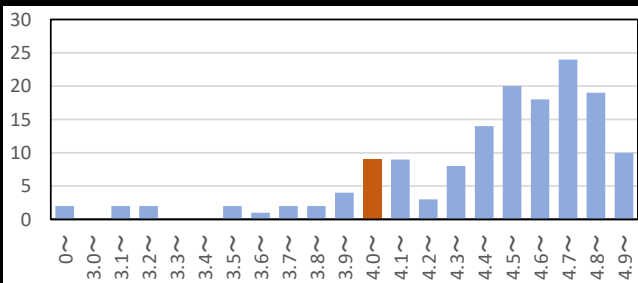
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7	7	5				4.11	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6	7	6				4.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7	9	3				4.21	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	6	8	5				4.05	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5	12	2				4.16	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	5	11	3				4.11	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	9	7	3				4.32	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	7	4				4.21	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	8	8	3				4.26	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	6	11	2				4.21	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7	9	3				4.21	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	8	2				4.37	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	14	4	1				4.68	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	8	2				4.37	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.23</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



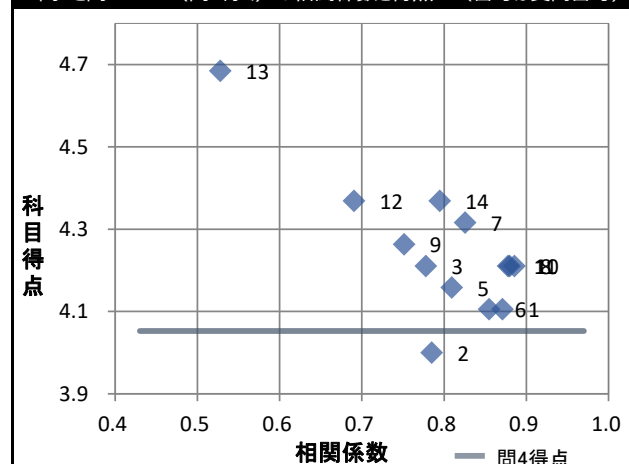
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

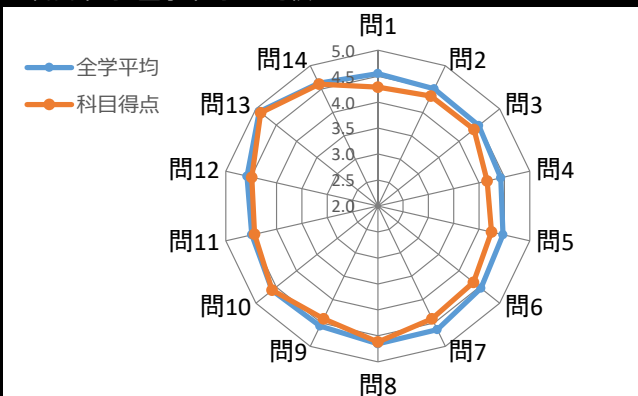
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	在宅看護学	[1O0500]	学部	看護学部	履修者数	150	回答率
教員名	石田千絵		授業形態	講義	回答数	116	77.3%

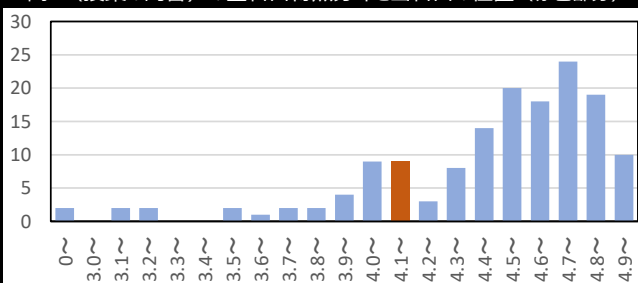
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 57% Blue, 42% Green, 11% Orange]						4.29	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 61% Blue, 40% Green, 9% Orange]						4.35	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 64% Blue, 39% Green, 5% Orange, 4% Red]						4.37	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 53% Blue, 41% Green, 13% Orange, 5% Red, 4% Yellow]						4.16	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 55% Blue, 41% Green, 14% Orange]						4.24	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 62% Blue, 39% Green, 11% Orange]						4.35	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 64% Blue, 40% Green, 8% Orange]						4.41	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 81% Blue, 29% Green]						4.62	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 66% Blue, 36% Green, 9% Orange]						4.41	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 78% Blue, 32% Green]						4.60	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 67% Blue, 36% Green, 9% Orange]						4.43	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar Chart: 69% Blue, 37% Green, 7% Orange]						4.49	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 108% Blue, 6% Green]						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 81% Blue, 30% Green]						4.60	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.44</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

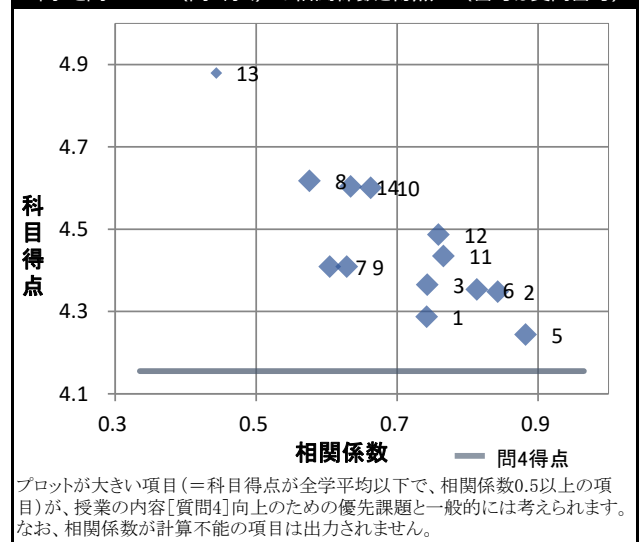


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護管理学Ⅱ	[1P0200]	学部	看護学部	履修者数	4	回答率
教員名	安部陽子		授業形態	講義	回答数	4	100.0%

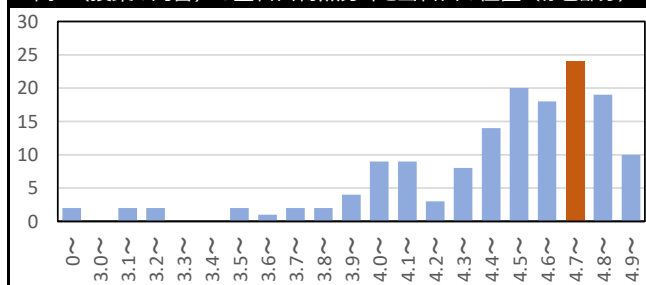
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4						5.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4						5.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	3			1			4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	4						5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4						5.00	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4						5.00	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4						5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	4						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	3			1			4.75	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2		2				4.50	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.93</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



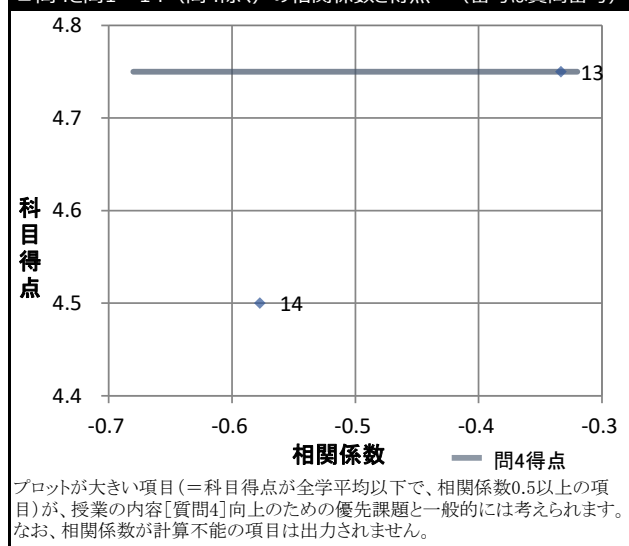
## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



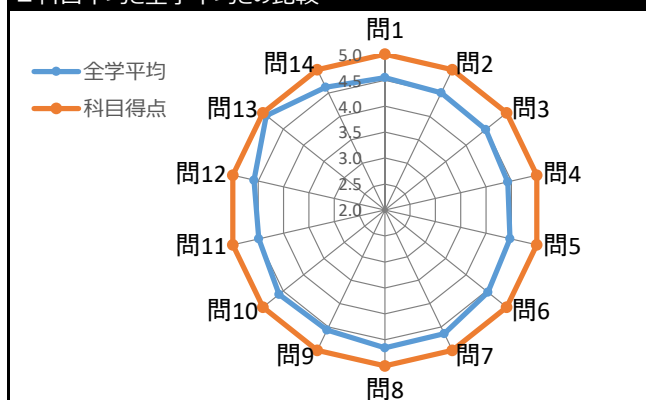
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護教育方法	[1P0500]	学部	看護学部	履修者数	5	回答率
教員名	西田 朋子		授業形態	講義	回答数	5	100.0%

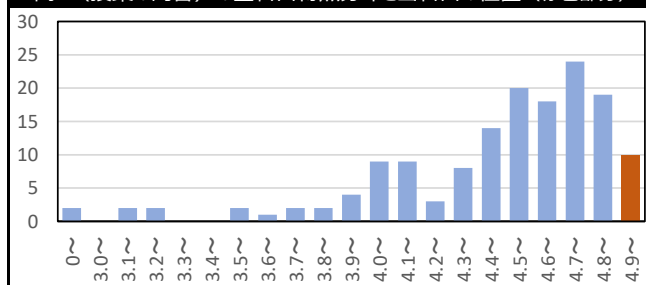
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5						5.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5						5.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	5						5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	5						5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5						5.00	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5						5.00	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	5						5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	5						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5						5.00	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>5.00</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



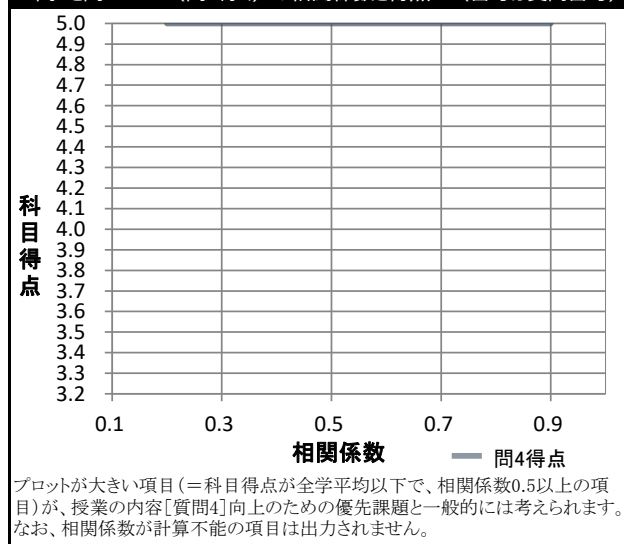
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

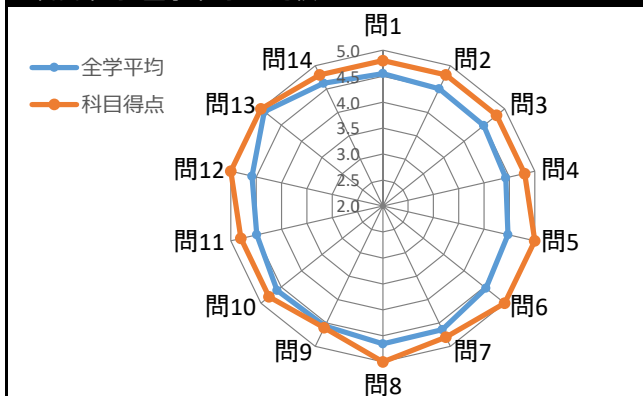
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	応用看護学特論 I ①	[1Q0100]	学部	看護学部	履修者数	5	回答率
教員名	安部陽子		授業形態	講義	回答数	5	100.0%

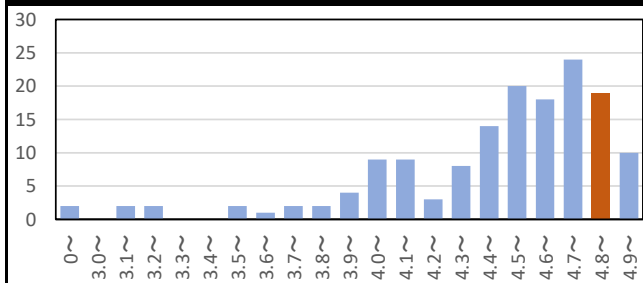
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4				1		4.80	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4				1		4.80	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	4				1		4.80	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	4				1		4.80	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	5						5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4				1		4.80	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	5						5.00	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3			2			4.60	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	4				1		4.80	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4				1		4.80	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	5						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4				1		4.80	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.86</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

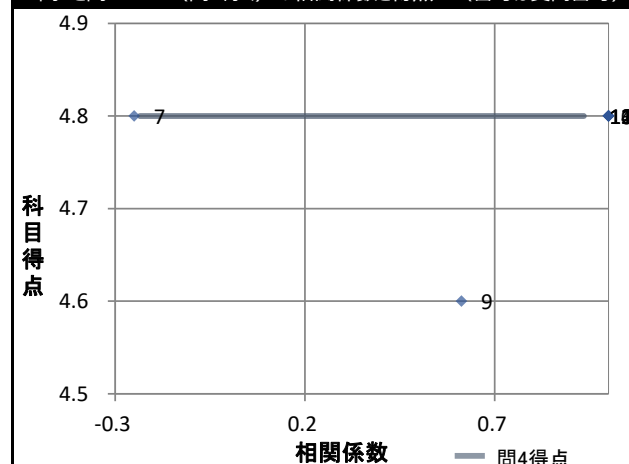


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

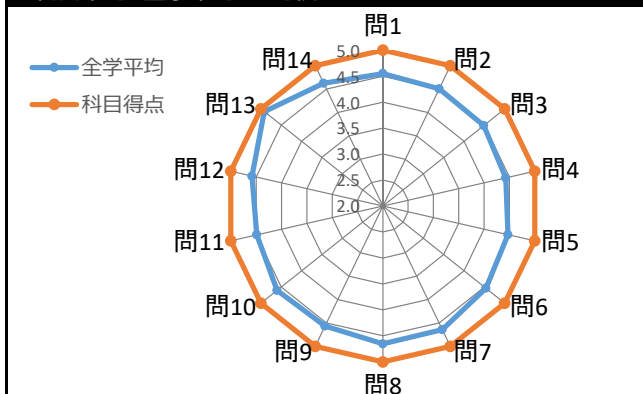
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	応用看護学特論 I ②	[1Q0200]	学部	看護学部	履修者数	2	回答率
教員名	齋藤英子		授業形態	講義	回答数	2	100.0%

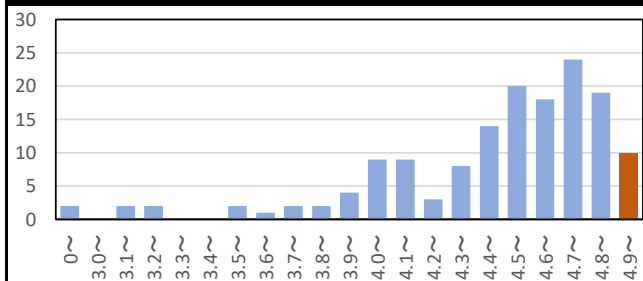
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2						5.00	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	2						5.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	2						5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	2						5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2						5.00	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	2						5.00	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	2						5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	2						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	2						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2						5.00	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>5.00</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

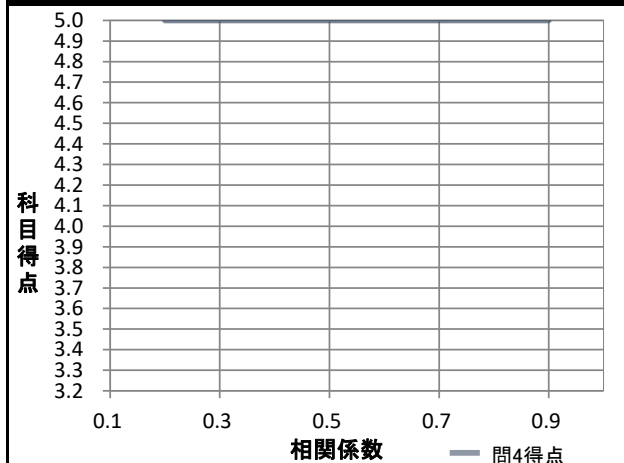


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

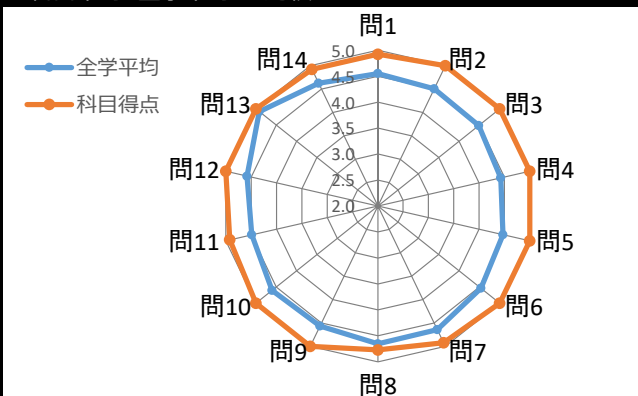
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	応用看護学特論 I ③	[1Q0300]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	講義	回答数	13	100.0%

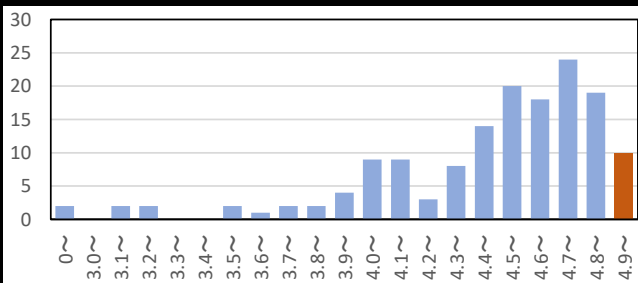
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 12 responses for '役に立った' and 1 for '役に立たなかった']						4.92	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 13 responses for '効果的だった']						5.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 13 responses for '適切だった']						5.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 13 responses for 'わかりやすかった']						5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 13 responses for '興味のあるものだった']						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 13 responses for '価値があった']						5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 12 responses for '適切だった' and 1 for '適切でなかった']						4.92	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 12 responses for '適切だった' and 1 for '適切でなかった']						4.77	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 13 responses for '適切だった']						5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 13 responses for '伝わってきた']						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 12 responses for '適切だった' and 1 for '適切でなかった']						4.92	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 13 responses for '適切に回答した']						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 13 responses for '出席率に関する質問']						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 12 responses for '取り組んだ' and 1 for '取り組まなかった']						4.92	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.96</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

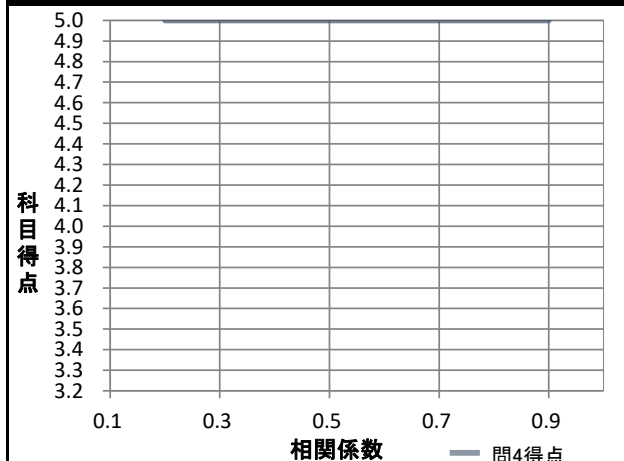


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

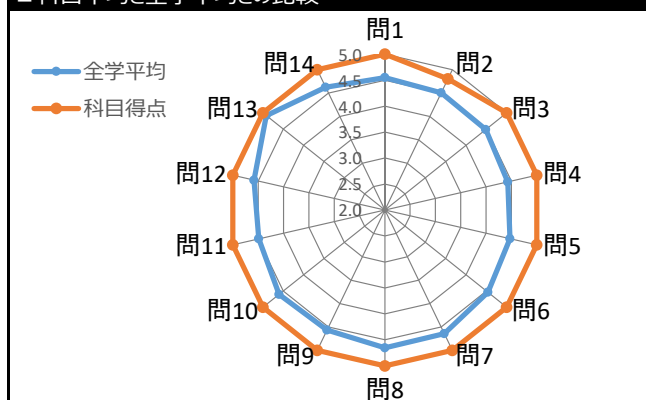


科目名	応用看護学特論 I ④	[1Q0400]	学部	看護学部	履修者数	5	回答率
教員名	筒井真優美		授業形態	講義	回答数	5	100.0%

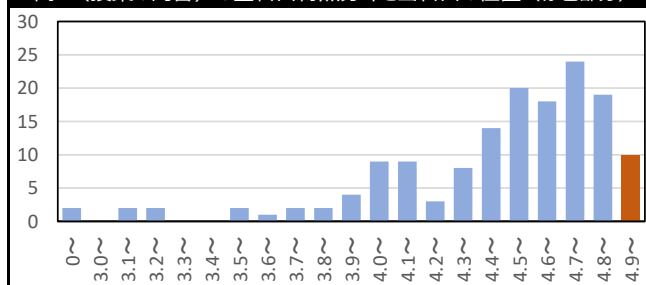
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5							5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4					1		4.80	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5							5.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	5							5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5							5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	4					1		5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5							5.00	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5							5.00	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	5							5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	5							5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5							5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5							5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5							5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5							5.00	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.99</b>	<b>4.57</b>	

■ 科目平均と全学平均との比較



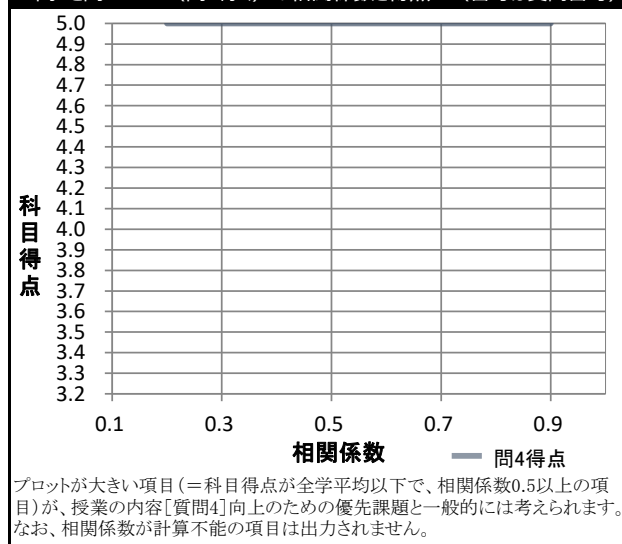
■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)  
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



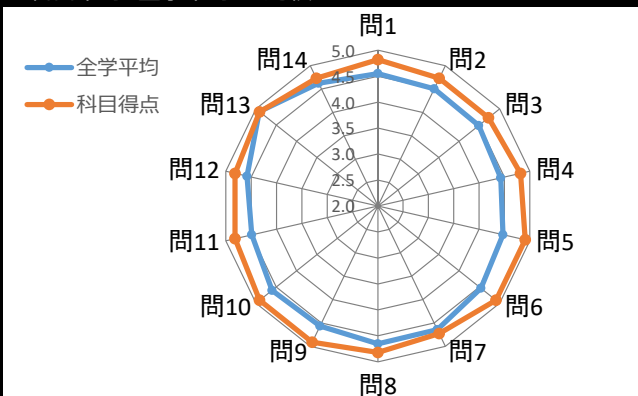
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	応用看護学特論Ⅱ①	[1Q0500]	学部	看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	古城門靖子		授業形態	講義	回答数	11	100.0%

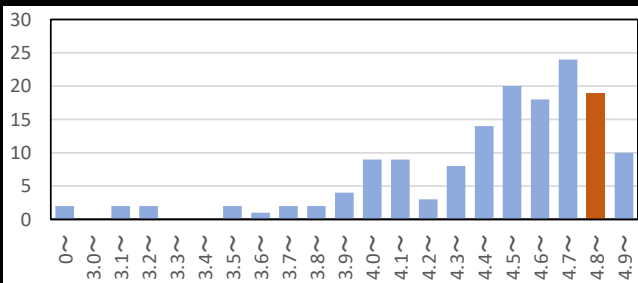
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 9 blue, 1 green, 1 orange]						4.73	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.82</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

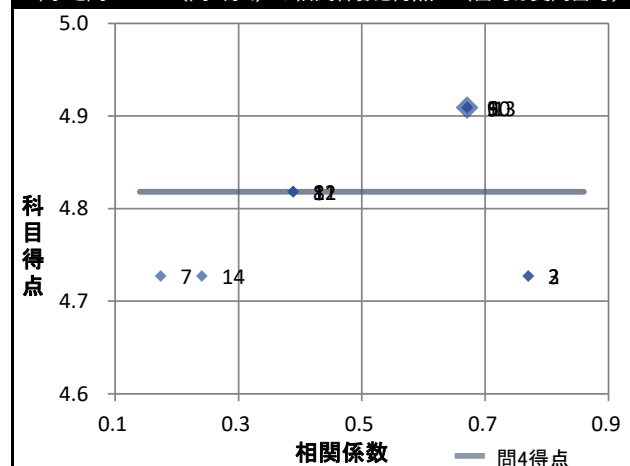


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

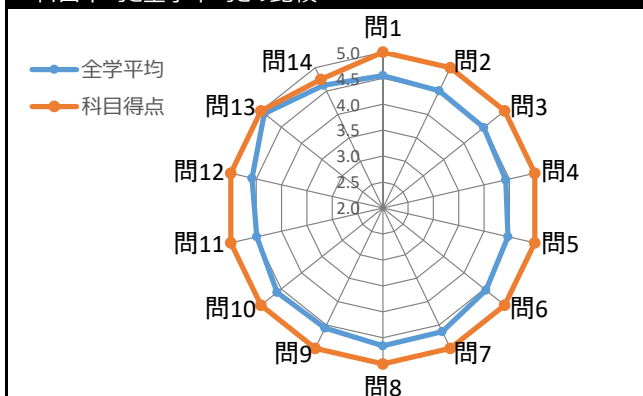
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	応用看護学特論Ⅱ②	[1Q0600]	学部	看護学部	履修者数	4	回答率
教員名	坂口千鶴		授業形態	講義	回答数	4	100.0%

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4						5.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4						5.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	4						5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	4						5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4						5.00	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4						5.00	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4						5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	4						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	4						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3		1				4.75	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.98</b>	<b>4.57</b>

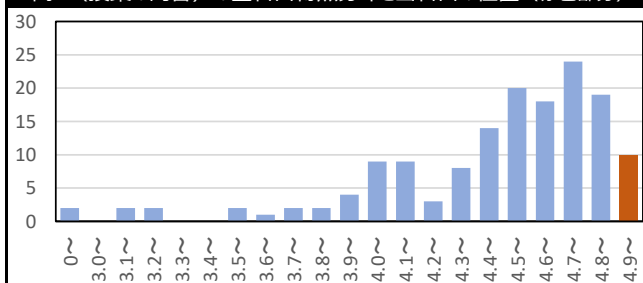
## ■ 科目平均と全学平均との比較



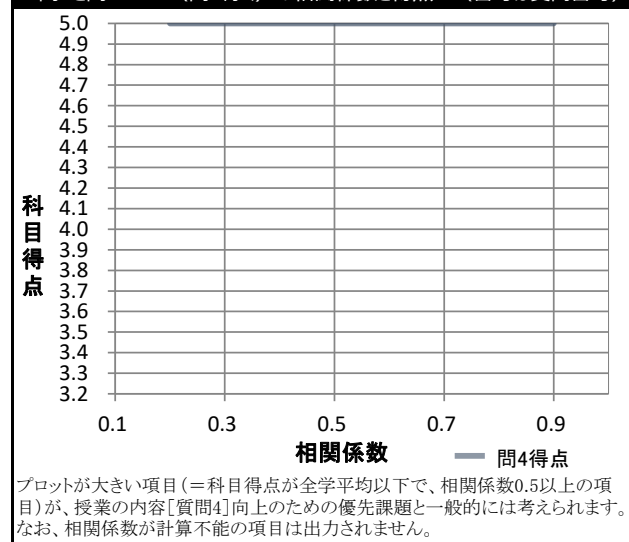
グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

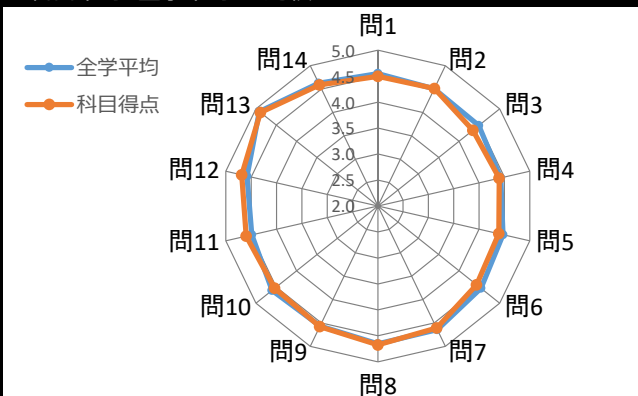
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	国際看護学 I	[1R0100]	学部	看護学部	履修者数	149	回答率
教員名	織方愛		授業形態	講義	回答数	126	84.6%

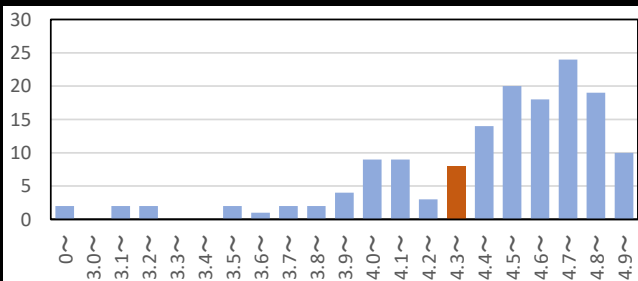
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.51	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.34	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.40	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.39	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.43	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.61	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.67	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.58	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.54	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.60	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.69	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.59	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.55</b>	<b>4.57</b>	

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

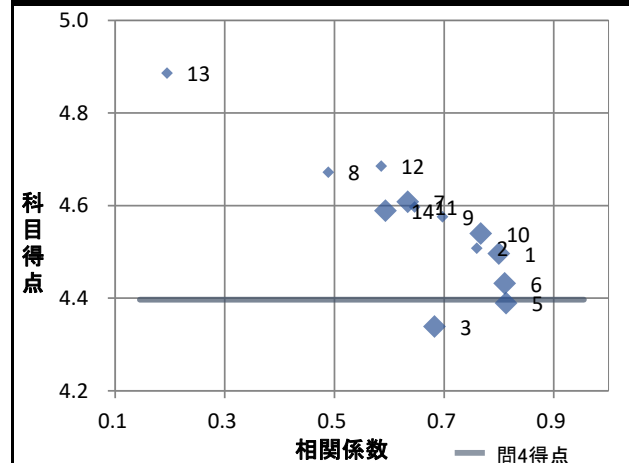


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

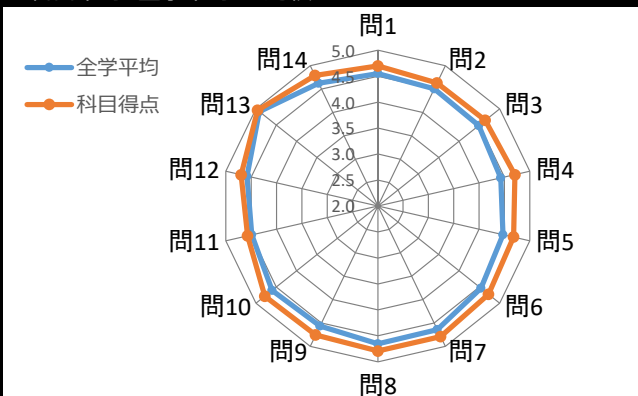
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	災害看護論Ⅱ	[1R0500]	学部	看護学部	履修者数	131	回答率
教員名	内木美恵		授業形態	講義	回答数	119	90.8%

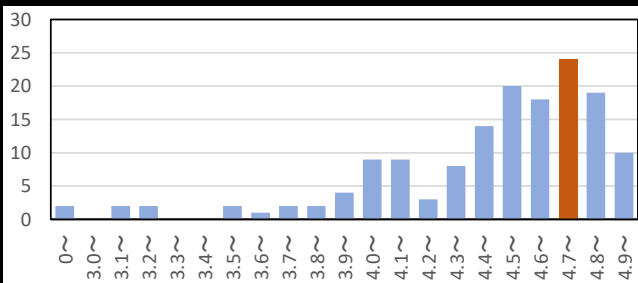
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 83% for 'Strongly agree' and 36% for 'Agree']						4.70	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 78% for 'Strongly agree' and 38% for 'Agree']						4.63	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 81% for 'Strongly agree' and 34% for 'Agree']						4.64	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 87% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree']						4.71	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 85% for 'Strongly agree' and 31% for 'Agree']						4.68	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 87% for 'Strongly agree' and 31% for 'Agree']						4.72	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 95% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.79	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 95% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.79	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 92% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.76	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 94% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						4.78	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 78% for 'Strongly agree', 34% for 'Agree', and 4% for 'Disagree']						4.57	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 90% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree']						4.70	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 114% for 'Strongly agree' and 5% for 'Disagree']						4.96	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 96% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4.79	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.73</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

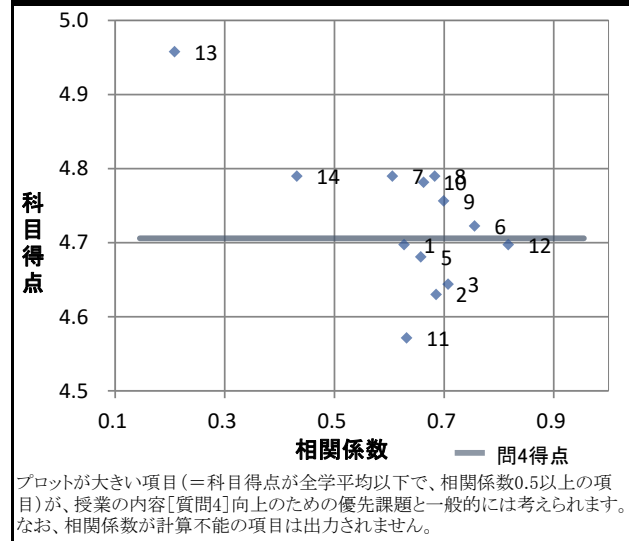


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【講義】科目別集計

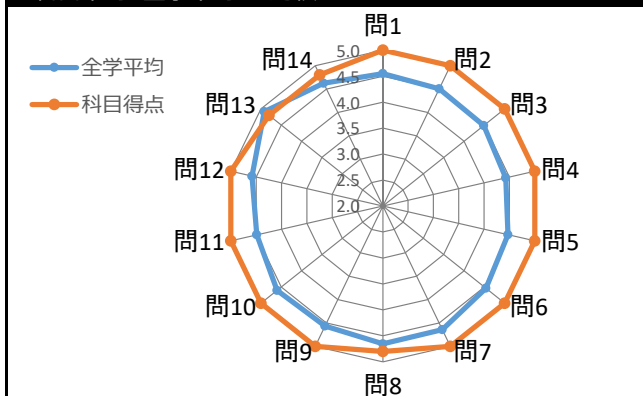
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	研究方法論Ⅲ	[1T0300]	学部	看護学部	履修者数	5	回答率
教員名	川崎洋平		授業形態	講義	回答数	5	100.0%

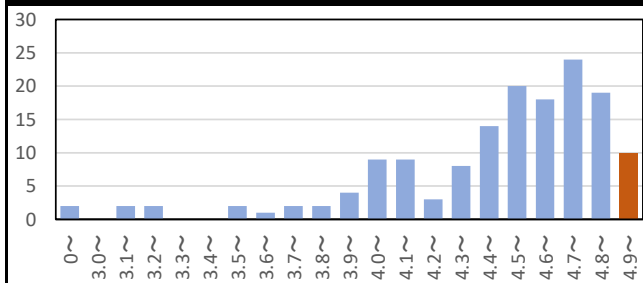
## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5						5.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5						5.00	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	5						5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5						5.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	5						5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5						5.00	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4				1		4.80	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	5						5.00	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	5						5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5						5.00	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5						5.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	4				1		4.80	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4				1		4.80	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.96</b>	<b>4.57</b>

## ■ 科目平均と全学平均との比較



## ■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

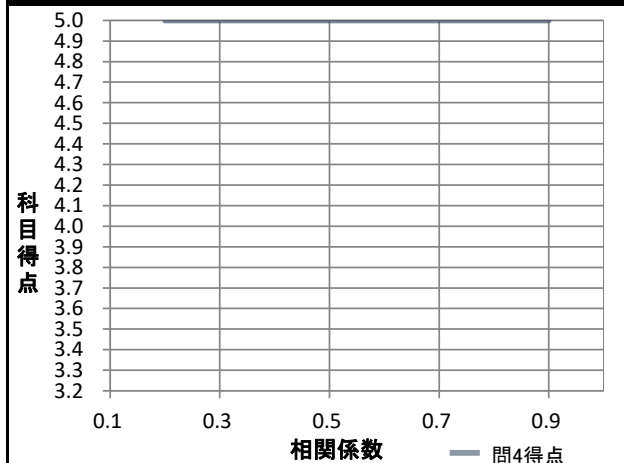


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

## <質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



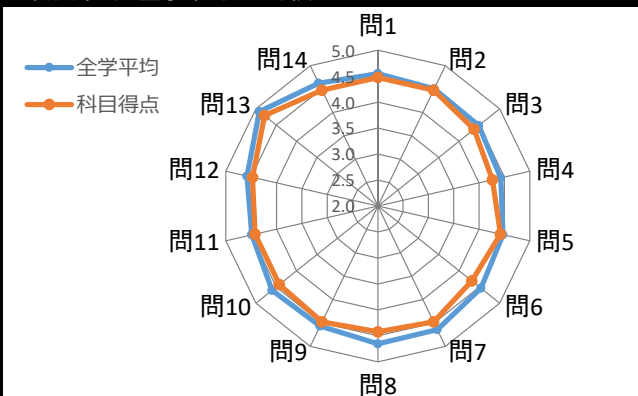
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	公衆衛生看護管理論	[1U0200]	学部	看護学部	履修者数	19	回答率
教員名	吉川悦子		授業形態	講義	回答数	19	100.0%

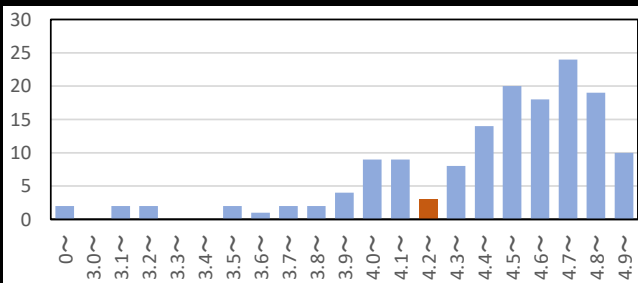
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar: 10 (Blue), 8 (Green), 1 (Yellow)]						4.47	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar: 10 (Blue), 8 (Green), 1 (Yellow)]						4.47	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Stacked Bar: 8 (Blue), 10 (Green), 1 (Yellow)]						4.37	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar: 8 (Blue), 8 (Green), 3 (Yellow)]						4.26	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar: 10 (Blue), 7 (Green), 2 (Yellow)]						4.42	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar: 8 (Blue), 9 (Green), 2 (Yellow)]						4.32	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar: 10 (Blue), 8 (Green), 1 (Yellow)]						4.47	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar: 9 (Blue), 9 (Green), 1 (Yellow)]						4.42	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar: 10 (Blue), 8 (Green), 1 (Yellow)]						4.47	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar: 10 (Blue), 7 (Green), 2 (Yellow)]						4.42	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar: 10 (Blue), 7 (Green), 2 (Yellow)]						4.42	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar: 11 (Blue), 6 (Green), 2 (Yellow)]						4.47	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Stacked Bar: 16 (Blue), 2 (Green), 1 (Yellow)]						4.79	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar: 11 (Blue), 6 (Green), 2 (Yellow)]						4.47	4.63
<b>問1~14全問平均</b>								<b>4.45</b>	<b>4.57</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



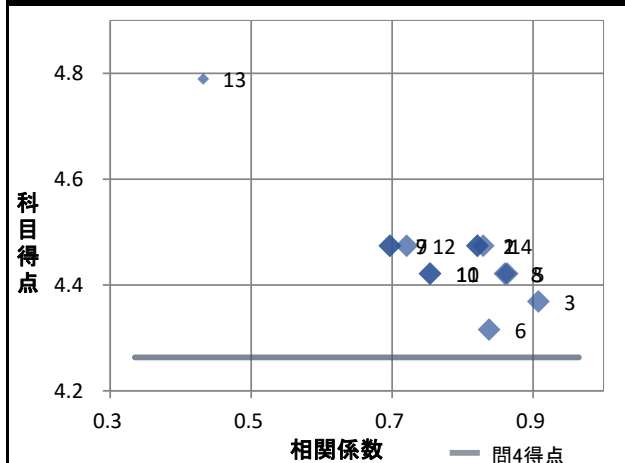
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
1A0100	赤十字概論	角田敦彦	おおむね好意的な評価であったと思いますが、赤十字というトピックに対する関心には、当然ながら個人差があったと思います。また、前期途中から完全リモートになり、双方向性では課題が残りましたが、今後はリモートでも受講しやすい資料の準備や受講環境の改善を検討したいと思います。
1A0200	赤十字国際活動論	角田敦彦	今期の開講では、昨年までと比較して受講者も増え、グループディスカッションやゲーム形式の導入など、学生の積極的な参加もあり、授業の展開に奥行きを持たせることができました。今後も一定数の受講者によって、本年同様参加型の講義を展開し、学生のアクティブな学びを支援していきたいと思います。
1B0100	哲学と倫理	榊原哲也	この授業を通じて、看護という営みを哲学という視点から見つめ直すことができ、有意義であったことが皆さんの回答から伝わってきて、とても嬉しかったです。どうもありがとうございました。
1B0300	心理学Ⅰ	遠藤公久	教室が大きくてなかなか授業も難しいものでした。皆さんの評価は概ね良好でしたが、出席管理については少し反省しなければならないようです。どうも授業の最初にするほうが良さそうですので、来年はそうにしたいと思います。
1B0500	教育学概論	渋谷 真樹	全般的に肯定的な評価をいただき、ありがとうございます。とりわけ、グループワークで活発に議論できたことが学びにつながったようです。ただし、発表者が偏っているのではないかというご意見もありましたので、より発言しやすい環境づくりを工夫したいと思います。
1B0801	身体運動論Ⅱ(実技)	伊藤麻希	学生からの意見、大変参考になりました。ありがとうございます。本年はコロナ禍での開講のため、学生同士の接触を避けつつ、また遠隔と対面両形態に対応しながら運動の実技を実施するという目的により、ヨガやピラティス、筋力トレーニングなどの実施になりました。その結果、授業の内容に十分に満足出来なかった学生も少なからずいるかと思えます。また、授業形態の変更にともない、授業がシラバス通りに実施できなかったこともあり、学生の皆さんには不便をかけてしまったことを申し訳なく思います。しかしこのような状況に理解を示し、前向きに授業に参加してくれた多くの学生の皆さんに感謝したいと思います。運動の説明時に参考程度にiPadで見せていた解剖図ですが、今後スクリーンなども使うことも視野に積極的に取り入れてみたいと思います。身体について学んでいる学生さんたちだからこそ、運動や身体の使い方などに深く興味を持っていただくとアンケートから知ることができました。遠隔授業での通信状況の悪さについては、私の所有する設備に不十分な点がありました。可能な範囲で今後改善していきたいと思います。
1B0802	身体運動論Ⅱ(実技)	伊藤麻希	学生からの意見、大変参考になりました。ありがとうございます。本年はコロナ禍での開講のため、学生同士の接触を避けつつ、また遠隔と対面両形態に対応しながら運動の実技を実施するという目的により、ヨガやピラティス、筋力トレーニングなどの実施になりました。その結果、授業の内容に十分に満足出来なかった学生も少なからずいるかと思えます。また、授業形態の変更にともない、授業がシラバス通りに実施できなかったこともあり、学生の皆さんには不便をかけてしまったことを申し訳なく思います。しかしこのような状況に理解を示し、前向きに授業に参加してくれた多くの学生の皆さんに感謝したいと思います。運動の説明時に参考程度にiPadで見せていた解剖図ですが、今後スクリーンなども使うことも視野に積極的に取り入れてみたいと思います。身体について学んでいる学生さんたちだからこそ、運動や身体の使い方などに深く興味を持っていただくとアンケートから知ることができました。遠隔授業での通信状況の悪さについては、私の所有する設備に不十分な点がありました。可能な範囲で今後改善していきたいと思います。



1B0803	身体運動論Ⅱ(実技)	伊藤麻希	<p>学生からの意見、大変参考になりました。ありがとうございます。本年はコロナ禍での開講のため、学生同士の接触を避けつつ、また遠隔と対面両形態に対応しながら運動の実技を実施するという目的により、ヨガやピラティス、筋力トレーニングなどの実施になりました。その結果、授業の内容に十分に満足出来なかった学生も少なからずいるかと思えます。また、授業形態の変更にもない、授業がシラバス通りに実施できなかったこともあり、学生の皆さんには不便をかけてしまったことを申し訳なく思います。しかしこのような状況に理解を示し、前向きに授業に参加してくれた多くの学生の皆さんに感謝したいと思います。運動の説明時に参考程度にiPadで見せていた解剖図ですが、今後スクリーンなども使うことも視野に積極的に取り入れてみたいと思います。身体について学んでいる学生さんたちだからこそ、運動や身体の使い方などに深く興味を持っていてアンケートから知ることができました。遠隔授業での通信状況の悪さについては、私の所有する設備に不十分な点がありました。可能な範囲で今後改善していきたいと思えます。</p>
1B0804	身体運動論Ⅱ(実技)	伊藤麻希	<p>学生からの意見、大変参考になりました。ありがとうございます。本年はコロナ禍での開講のため、学生同士の接触を避けつつ、また遠隔と対面両形態に対応しながら運動の実技を実施するという目的により、ヨガやピラティス、筋力トレーニングなどの実施になりました。その結果、授業の内容に十分に満足出来なかった学生も少なからずいるかと思えます。また、授業形態の変更にもない、授業がシラバス通りに実施できなかったこともあり、学生の皆さんには不便をかけてしまったことを申し訳なく思います。しかしこのような状況に理解を示し、前向きに授業に参加してくれた多くの学生の皆さんに感謝したいと思います。運動の説明時に参考程度にiPadで見せていた解剖図ですが、今後スクリーンなども使うことも視野に積極的に取り入れてみたいと思います。身体について学んでいる学生さんたちだからこそ、運動や身体の使い方などに深く興味を持っていてアンケートから知ることができました。遠隔授業での通信状況の悪さについては、私の所有する設備に不十分な点がありました。可能な範囲で今後改善していきたいと思えます。</p>
1C0100	社会学Ⅰ	鷹田佳典	<p>面白かった、興味を持ってたというコメントがあり、非常にうれしく思います。今年度は対面と遠隔のハイブリット形式でしたが、遠隔参加の人たちもチャット機能を使って積極的に発言してくれたことで、授業の双方向性がより高まったように思います。また、リアクションペーパーへのリプライも概ね好評でよかったです。リアクションペーパーの提出期限、資料共有については、いただいた指摘を踏まえ、来年度の授業にいかしたいと思えます。</p>
1C0300	社会保障論	奥貫紀文	<p>アンケートを拝見しました。総合的な結果は平均よりも下回っており自らの力不足を痛感しましたが、一つ一つのコメントを拝見すると、授業に対して積極的に評価するものも多く、苦勞が報われたと安堵する面もありました。特に、レジュメについては、細かい箇所についてもきちんと目を配り、わかりやすいと評価したコメントが多く、少しでも自学自習に役立つようにと工夫を凝らして作ったことが伝わっていたことを嬉しく思いました。他方、改善点として多く挙がっていたのは、対面授業とリモート授業が混在していたのがやりにくかった、レジュメはカラーにしてほしい、資料のアップをもっと早めにしてほしい、等のコメントでした。一度、私が対面とリモートを間違ってしまったことがあり、ご迷惑をおかけしたことがあります。今後は、改善点をできる限り直してより良い授業を作っていきたいと考えています。</p>
1C0500	世界の文化と宗教	佐藤眞	<p>・ほとんどの学生は熱心に取り組んでくれたと思えます。・数名の学生にとっては授業で扱う内容が合わなかったのが残念です。・宗教施設の見学は例年より少なかったものの、実際に訪問することで得るものは大きかったと思えます。・今回学んだことがみなさんの今後に役立つことを願います。</p>
1C0700	日本国憲法	吉田直正	<p>授業改善アンケートに回答していただき、ありがとうございました。いろんなご意見、ご指摘、感謝します。今年度は対面が中心とはいえ、途中ズームも挟んで、皆さんも大変だったと思えます。当方も、COVID19の影響がなければ出来ない経験を積めた点は、よかったです。苦境も乗り越えさえすればむしろ糧となると言えます。それぞれの道でご発展を期待します。</p>

1D0100	数学Ⅰ	山下龍生	理工系学部以外での講義は初めてでしたが、アンケートでは全体的に満足していた人が多いようでよかったです。オンラインでの不具合等、改善すべき箇所はいくつかあったので、今回ご指摘頂いた箇所は次回以降改善します。今回は統計の基本的な話がメインでしたが、全体的によく理解している人が多かったように思います。数学が苦手と感じている人もいるかもしれませんが、少しでも数学を勉強してみようかなと思うきっかけになれば幸いです。受験数学と違って、大学の数学は楽しめることが多いと個人的には思います。
1D0501	化学Ⅰ	三好 洋	良い点も改善すべき点もコメントがなかったので、あまり興味がなかったのではないかと反省しています。
1D0502	化学Ⅰ	三好 洋	自分の理解度を確認して欲しいので、対面講義でも同様ですが、すべての提出課題に必ず目を通してどんなに短くとも気付き・コメントを返信するようにしています。これは課題を提出してくれた学生さんへの当然の責務だと考えています。できれば、改善すべき点も挙げて欲しかったです。
1E0301	保健統計学	川崎 洋平	シラバスに沿った授業を行うように心がけたいと思います。また、看護師を目指す学生に、もっと興味のある題材(例)を増やして取り上げ、統計学に興味を持ってもらうよう改善していきたいと思います。
1E0302	保健統計学	川崎 洋平	シラバスに沿った授業を行うように心がけたいと思います。また、看護師を目指す学生に、もっと興味のある題材(例)を増やして取り上げ、統計学に興味を持ってもらうよう改善していきたいと思います。
1F0101	日本語の表現	越後敬子	「日本語をその時々に合わせてどう使うのか」ということについて、これまではほとんど考えてこなかったと思います。アンケートの際にいただいたコメントを拝見すると、みなさんの今後に役立つところもあったようで、この科目としての役割をある程度は果たせたかと思います。一方で、授業の内容にあまり興味がなかったという回答もありました。今後も学生ひとりひとりが「自分の日本語」について考えるきっかけとなるような授業計画を立てていきたいと思います。
1F0102	日本語の表現	越後敬子	「日本語をその時々に合わせてどう使うのか」ということについて、これまではほとんど考えてこなかったと思います。アンケートの際にいただいたコメントを拝見すると、みなさんの今後に役立つところもあったようで、この科目としての役割をある程度は果たせたかと思います。
1F0201	英語R 1-1	川崎 修一	過大な評価をありがとうございました。これを励みにさらに精進したいと思います。
1F0202	英語R 1-1	遠藤花子	だいたいの方に満足して頂けたようで何よりです。これからも自分の意見を大切に、英語学習も頑張ってください。
1F0203	英語R 1-1	川崎 修一	過大な評価をありがとうございました。これを励みにさらに精進したいと思います。
1F0204	英語R 1-1	遠藤花子	だいたいの方に満足して頂けたようで何よりです。これからも自分の意見を大切に、英語学習も頑張ってください。
1F0401	英語W1-1	佐藤眞	・学生のみなさんは熱心に授業に取り組んでくれました。感謝しています。・授業形態の変更、普通教室での授業、Glexaの使用など、学生のみなさんだけではなく担当教員の側も不慣れなことが多々あり、授業の進み具合などで迷惑もかけたと思います。・いろいろありがとうございました。
1F0402	英語W1-1	Michelle van Bokhorst	学生が動力して良いレポートを書きました。今回もっと簡単な英語を使い、内容を少し変化したいと思います。
1F0403	英語W1-1	佐藤眞	・学生のみなさんは熱心に授業に取り組んでくれました。感謝しています。・授業形態の変更、普通教室での授業、Glexaの使用など、学生のみなさんだけではなく担当教員の側も不慣れなことが多々あり、授業の進み具合などで迷惑もかけたと思います。・いろいろありがとうございました。
1F0404	英語W1-1	Michelle van Bokhorst	学生が動力して良いレポートを書きました。今回もっと簡単な英語を使い、内容を少し変化したいと思います。
1F0601	英語LS1-1	Benjamin Tutcher	Thank you very much for your comments, I am always happy to hear from my students and use their suggestions in future classes.

1F0602	英語LS1-1	バンキン・サム	LS1-1(602)の授業改善の結果は大体良いそうです。来年度も同じように行うと思います。この度はこのコースを2回目担当しました。1回目は全体オンラインだったので、対面授業のために適当に直したということと確認できました。一番低い質問(学校平均を同じ)になる5問について考えたいと思います。前期の終わりに、学生たちから面白いトピックを伺ったので、後期の結果と比べられます。
1F0603	英語LS1-1	Michelle van Bokhorst	今年は初めて教えたので、最初に学生の英語レベルは把握できなく、少し難しいテーマに基づいて授業を行いました。今度はより簡単や話しやすいテーマにしたいと思います。
1F0604	英語LS1-1	Benjamin Tutcher	Thank you very much for your comments, I am always happy to hear from my students and use their suggestions in future classes.
1F0605	英語LS1-1	バンキン・サム	LS1-1(602)の授業改善の結果は大体良いそうです。来年度も同じように行うと思います。この度はこのコースを2回目担当しました。1回目は全体オンラインだったので、対面授業のために適当に直したということと確認できました。一番低い質問(学校平均を同じ)になる5問について考えたいと思います。前期の終わりに、学生たちから面白いトピックを伺ったので、後期の結果と比べられます。
1F0606	英語LS1-1	Michelle van Bokhorst	今年は初めて教えたので、最初に学生の英語レベルは把握できなく、少し難しいテーマに基づいて授業を行いました。今度はより簡単や話しやすいテーマにしたいと思います。
1F0801	英語 R 2 - 1	皆川 健次郎	英語が苦手な学生には、進度が速かったかもしれません。この点に関しては、後期少し進度を考えていただきました。テストが、難しいとの事ですが、範囲が広がったのかもしれませんが。テストの範囲も考えたいと思います。大方好意的にとっていただいた事は、大変嬉しく思います。皆さんよく頑張りました。
1F0802	英語R2-1	野村 美由紀	定期試験実施直後のアンケートでしたので、毎回の小テストと比べて難しかったので、わかりやすかったという回答が少なくなったのだと思います。マイクの音量が大き過ぎて聞きづらかったようですが、授業終了後ではなく、最初の授業で指摘してもらえれば、よかったですと思います。後期の授業では最初の対面授業で、マイクの音量の改善ができるように学生さんが手配してくれました。試験範囲が広がったようですが、これは、シラバスの指示に従って授業を行った結果です。
1F0803	英語 R 2 - 1	皆川 健次郎	英語が苦手な学生には、進度が速かったかもしれません。この点に関しては、後期少し進度を考えていただきました。テストが、難しいとの事ですが、範囲が広がったのかもしれませんが。テストの範囲も考えたいと思います。大方好意的にとっていただいた事は、大変嬉しく思います。皆さんよく頑張りました。
1F0804	英語R2-1	野村 美由紀	定期試験実施直後のアンケートでしたので、毎回の小テストと比べて難しかったので、わかりやすかったという回答が少なくなったのだと思います。試験範囲が広がったようですが、これは、シラバスの指示に従って授業を行った結果です。もう一つのクラスと進度と試験範囲が違う点が不満な様ですが、私の担当のもう1つのクラスは同じ進度で同じ試験範囲となっています。別の先生とは進度が異なるのかもしれませんが、私はシラバス通りの進度で授業を進めて、前期の指定された範囲を全て終わらせました。後期には担当者が入れ替わりますので、平等になります。重要な補足説明は別途パソコンで作成のプリントを配布した上で説明しています。別紙で説明=重要ということです。
1F1001	英語W2-1	遠藤花子	興味のないテーマもあったかもしれませんが、皆さん頑張っていたと思います。これからも自分の意見を大切に、英語学習も頑張ってください。
1F1002	英語W2-1	遠藤花子	だいたいの方に満足して頂けたようで何よりです。これからも自分の意見を大切に、英語学習も頑張ってください。
1F1003	英語 W 2 - 1	川崎 修一	過分な評価をありがとうございました。これを励みにさらに精進したいと思います。添削の返却は迅速にできるように検討します。
1F1200	英語 L S 2 - 1	川崎 修一	過分な評価をありがとうございました。これを励みにさらに精進したいと思います。

1F1400	英語文献を読むⅠ	遠藤花子	だいたいの方に満足して頂けたようで何よりです。難しい内容のものもあったかもしれませんが、皆さん頑張っていたと思います。これから自分の意見を大切に、英語学習も頑張ってください。
1F1601	中国語Ⅰ	神谷智幸	<p>集計結果につきまして、担当教員よりコメントを述べたいと思います。はじめに、語学の授業としては大変多い1クラス51名という履修者数ではありましたが、無事全日程を終え、全員合格という結果になりました。みなさんのご協力と熱心な取り組みに感謝申し上げます。アンケートは47名(92.2%)回答されておりますので、おそクラスの総意を示していると考えて良いと思うのですが、結果は14項目中9項目が全学平均を下回るという、けっして高いとはいえない評価となりました。以下、頂きました回答とコメントに対して、今後どのように改善していくか現時点でのコメント(言い訳)を述べたいと思います。大きな問題のひとつは、「授業の内容は興味のあるものだった」「この授業は自分にとって価値があった」という項目の得点が全学平均に比べて、低かったという点です。</p> <p>「中国語」がみなさんの専門領域ではないということはありませんが、教員としては医療従事者になった際、知っておいていただきたい中国語・中国文化を紹介しつつ、「他者」への関心を深めてもらえるよう授業を運営いたしました。中国語の授業をせっかく受講してくださったのに「自分にとって価値があった」と思えなかった「どちらとも思えない」を選択)6名(12.7%)方が出てしまったことは大変不本意であり、謝りたいと思います。履修していただくのであれば、今後二度とそのような学生が出ないよう改善したいと思います。コメントとしては、2名の方が「身に付けやすかった」「たのしかった」と書いてくださっています。その一方で、「体力が後半もたなかった」というご意見が1件ありました。この方は懸命に練習して下さっていたようで素晴らしいですが、疲れすぎないように工夫したいと思います。</p>
1F1602	中国語Ⅰ	神谷智幸	<p>集計結果につきまして、担当教員よりコメントを述べたいと思います。はじめに、語学の授業としては大変多い1クラス53名という履修者数ではありましたが、無事全日程を終え、全員合格という結果になりました。みなさんのご協力と熱心な取り組みに感謝申し上げます。アンケートは51名(96.2%)回答されておりますので、おそクラスの総意を示していると考えて良いと思うのですが、結果は14項目中13項目が全学平均を下回るという、不甲斐ない評価となりました。以下、頂きました回答とコメントに対して、今後どのように改善していくか現時点でのコメント(言い訳)を述べたいと思います。大きな問題のひとつは、「教員の話し方(声量・スピード・マイクの使い方など)は適切だったか」について、「マイク越しの声量は耳が痛かった」という個別コメントいただきました。一年間のオンライン授業を経て、声の聞き取りやすい、心地よい授業環境を作ろうとしておりましたが、私の声は53名でも地声で問題なかったようでした。無理にマイクを使用し、心地悪かったようで失礼いたしました。もうひとつの問題は「この授業は自分にとって価値があった」という項目の得点が全学平均に比べて、低かったという点です。「中国語」がみなさんの専門領域ではないということはありませんが、教員としては医療従事者になった際、知っておいていただきたい中国語・中国文化を紹介しつつ、「他者」への関心を深めてもらえるよう授業を運営いたしました。中国語の授業をせっかく受講してくださったのに「自分にとって価値があった」と思えなかった「どちらとも思えない」「そうは思わない」「全くそうは思わない」を選択)9名(17.6%)方が出てしまったことは大変不本意であり、謝りたいと思います。履修していただくのであれば、今後二度とそのような学生が出ないよう改善したいと思います。個別には、8名の方が評価コメントを寄せくださり、「熱意を感じた」(3名)、「楽しい」(1名)、「分かりやすいなど授業内容の評価」(4名)とありました。良かった点は引き続き継続したいと思います。</p>
1F1801	フランス語Ⅰ	西脇雅彦	次年度の授業に活かしたいと思います。
1F1802	フランス語Ⅰ	西脇雅彦	次年度の授業に活かしたいと思います。

1G0101	基礎ゼミⅠ	渋谷 真樹	「書く力、読む力などさまざまな能力を高めることができた」という肯定的な意見があった一方で、授業内容への興味が低めで、自分にとっての価値が見出しにくく、意欲的・積極的に取り組みにくかった方がいたようです。学術的な読み書き能力の基礎をつちかうこの授業は、専門の科目と比べると主体的になりにくいかもしれません。専門の力を高めるためにも本授業は役立つことを伝えたり、クラス内での議論を活性化させたりして、学びの喜びが感じられる工夫をしていきたいと思っています。
1G0102	基礎ゼミⅠ	川崎 修一	過大な評価をありがとうございました。これを励みにさらに精進したいと思います。
1G0103	基礎ゼミⅠ	遠藤花子	全員の方から満足できる内容だったとお声を聞いて、大変嬉しく思います。私も皆さんと一緒に授業ができて楽しかったです。ありがとうございました。
1G0104	基礎ゼミⅠ	井上明宏	・遠隔授業と対面授業が混在するなど、戸惑いもあったかと思います。他のクラスに比べてたいへんだったと思うかもしれませんが、それは、他のクラスがテキストに忠実に行っていない可能性もあります。他にもいろいろ科目を受講する中で、負担も感じたかもしれませんが、基礎ゼミは1年次の科目の中でも最も大学の授業らしい科目でもあると考えます。辛抱して学修していただいただけの実力はついていると思います。それが、今後の大学での学びに生きてくることを期待します。・終了時刻は数分延びることはあったかもしれませんが、履修生にプレゼンしてもらう場合には、時間の進み方は想定通りにはいかないこともあります。・レポートは、皆さんがんばって書いていただきましたが、形式を踏襲することが一つの大きな目的でもありますので、その部分が不十分だと評価に影響したと思います。・当科目での学びを活かして、引き続き学びを積み重ねていってください。
1G0105	基礎ゼミⅠ	遠藤公久	概ね良好な評価でした。ありがとうございました。
1G0106	基礎ゼミⅠ	川崎 洋平	看護とデータサイエンスをもっと結びつけるような内容についても今後は入れていきたいと思っています。
1G0107	基礎ゼミⅠ	鷹田佳典	今年度は対面と遠隔のミックスで授業を行いました。受講生がいずれの形態でも積極的に授業に参加してくれたことにより、特に大きな問題もなく実施できたように思います。基礎ゼミⅠはグループワークも多いので、より活発に参加してもらえよう取り組みたいと思っています。
1G0108	基礎ゼミⅠ	越後敬子	「基礎ゼミⅠ」とは、大学で学ぶために必要な基礎的な技術や学びの姿勢を身につけるための科目であって、それが各回の授業内容の構成になっていたわけですが、最終的にレポートをまとめることで、そのひとつひとつの関連性について理解をしてくれたように思います。このような基礎的な内容ゆえに興味のわかないこともあったようですが、興味を惹きつけられるように授業の工夫を重ねたいと思います。
1G0110	基礎ゼミⅠ	伊藤麻希	学生からの意見、大変参考になりました。ありがとうございます。担当初年度で慣れていない点もあり、学生には授業の進行に不安を感じさせてしまっていたのではないかと思います。多くの学生さんが好意的に授業に参加してくれていたと知り安心しました。少人数のため、できる限り一人一人に対する指導を徹底したことが良かったのではないかと感じています。しかし、時に熱が入りすぎて時間を過ぎてしまったことがありました。今後の授業の際も時間配分には十分気をつけたいと反省しています。
1G0111	基礎ゼミⅠ	佐藤眞	・学生のみなさんは熱心に授業に参加してくれました。・中でも重要であった「引用」に関すること、レポートの題材の検討、レポート中間発表は本当にしっかり学んでくれたと思います。
1G0112	基礎ゼミⅠ	逸見功	アンケートの回答をありがとうございました。カリキュラム改訂により来年度から基礎ゼミⅠに代わる新科目がスタートします。授業内容の見直しとテキストの改訂によって、授業が改善されるものと思います。

1G0130	基礎ゼミ I	角田敦彦	<p>基本的にテキストに沿った展開ではありましたが、学生の意欲が高く、より学びが深まっている印象がありました。文章の書き方や引用文献の取り扱いなど、はじめて触れることにも意欲的に取り組んでいただき、科目としての目的をおおむね達成できたと感じています。新しい学びに対して、さまざまな疑問や質問が生じたと思いますが、適時適切に質問をしていただいたおかげで、最終レポートに向け確実に書く力を高めていけたのではないかと推察します。今後も知識や技術の確実な定着が図れるよう、丁寧な授業を心掛けたいと思います。</p>
1H0101	人体の構造と機能 I	井上明宏	<p>・ Quizの解答は次回の授業の最初に口頭とスライドで説明をし、かつGlexaには詳細な解説をアップしていることは説明してありましたが、見ていなかった人もいたようです。その授業回が終わっても、そのディレクトリを振返るようにしてください。1回聞いただけでは頭に残りませんので、繰り返し触れることが重要です。・ 国試の過去問はネット上や図書館でいつでも見ることができます。国試問題の紹介はモチベーションにはなるでしょうが、1年時から国試問題対策だけを考えて学ぶことは本科目の本筋ではないと考えています。・ 教室の音響や話しのスピードなどについては注意をするようにしますが、限られた時間の中でスピードを遅くすると説明が乏しくなってさらにわかりにくくなるというデメリットもあるかもしれません。・ 重要ではないことは重要ではないと示していますが、学ばなくてはならない重要な内容は多々あり、一部の限定すると、重要な事柄に多々触れないことになってしまいます。重要か重要でないかは、置かれた状況によっても変わってきますし、それら取捨選択していくよりは、初年時は広く浅く、まずは人体の構造と機能についてのイメージとフィーリングを自らの中に築いていくことが重要かと思います。細部については、普段触れないものについては覚えても忘れてしまうものですから、あまりこだわらず、新しい内容が出てきたときに、以前に学んだことを振り返りつつ、自身の知識体系を積み上げていき、イメージとフィーリングを固めていけば、応用力も身につくと思います。</p>
1H0102	人体の構造と機能 I	井上明宏	<p>・ Quizの解答は次回の授業の最初に口頭とスライドで説明をし、かつGlexaには詳細な解説をアップしていることは説明してありましたが、見ていなかった人もいたようです。その授業回が終わっても、そのディレクトリを振返るようにしてください。1回聞いただけでは頭に残りませんので、繰り返し触れることが重要です。・ 国試の過去問はネット上や図書館でいつでも見ることができます。国試問題の紹介はモチベーションにはなるでしょうが、1年時から国試問題対策だけを考えて学ぶことは本科目の本筋ではないと考えています。・ 教室の音響や話しのスピードなどについては注意をするようにしますが、限られた時間の中でスピードを遅くすると説明が乏しくなってさらにわかりにくくなるというデメリットもあるかもしれません。・ 重要ではないことは重要ではないと示していますが、学ばなくてはならない重要な内容は多々あり、一部の限定すると、重要な事柄に多々触れないことになってしまいます。重要か重要でないかは、置かれた状況によっても変わってきますし、それら取捨選択していくよりは、初年時は広く浅く、まずは人体の構造と機能についてのイメージとフィーリングを自らの中に築いていくことが重要かと思います。細部については、普段触れないものについては覚えても忘れてしまうものですから、あまりこだわらず、新しい内容が出てきたときに、以前に学んだことを振り返りつつ、自身の知識体系を積み上げていき、イメージとフィーリングを固めていけば、応用力も身につくと思います。</p>

1H0201	人体の構造と機能 II	井上明宏	<p>・ Quizの解答は次回の授業の最初に口頭とスライドで説明をし、かつGlexaには詳細な解説をアップしていることは説明してありましたが、見ていなかった人もいたようです。その授業回が終わっても、そのディレクトリを振返るようにしてください。1回聞いただけでは頭に残りませんので、繰り返し触れることが重要です。・ 国試の過去問はネット上や図書館でいつでも見ることができます。国試問題の紹介はモチベーションにはなるでしょうが、1年時から国試問題対策だけを考えて学ぶことは本科目の本筋ではないと考えています。・ 教室の音響や話しのスピードなどについては注意をするようにしますが、限られた時間の中でスピードを遅くすると説明が乏しくなってさらにわかりにくくなるというデメリットもあるかもしれません。・ 重要ではないことは重要ではないと示していますが、学ばなくてはならない重要な内容は多々あり、一部の限定すると、重要な事柄に多々触れないことになってしまいます。重要か重要でないかは、置かれた状況によっても変わってきますし、それら取捨選択していくよりは、初年時は広く浅く、まずは人体の構造と機能についてのイメージとフィーリングを自らの中に築いていくことが重要かと思います。細部については、普段触れないものについては覚えても忘れてしまうものですから、あまりこだわらず、新しい内容が出てきたときに、以前に学んだことを振り返りつつ、自身の知識体系を積み上げていき、イメージとフィーリングを固めていけば、応用力も身につくと思います。</p>
1H0202	人体の構造と機能 II	井上明宏	<p>・ Quizの解答は次回の授業の最初に口頭とスライドで説明をし、かつGlexaには詳細な解説をアップしていることは説明してありましたが、見ていなかった人もいたようです。その授業回が終わっても、そのディレクトリを振返るようにしてください。1回聞いただけでは頭に残りませんので、繰り返し触れることが重要です。・ 国試の過去問はネット上や図書館でいつでも見ることができます。国試問題の紹介はモチベーションにはなるでしょうが、1年時から国試問題対策だけを考えて学ぶことは本科目の本筋ではないと考えています。・ 教室の音響や話しのスピードなどについては注意をするようにしますが、限られた時間の中でスピードを遅くすると説明が乏しくなってさらにわかりにくくなるというデメリットもあるかもしれません。・ 重要ではないことは重要ではないと示していますが、学ばなくてはならない重要な内容は多々あり、一部の限定すると、重要な事柄に多々触れないことになってしまいます。重要か重要でないかは、置かれた状況によっても変わってきますし、それら取捨選択していくよりは、初年時は広く浅く、まずは人体の構造と機能についてのイメージとフィーリングを自らの中に築いていくことが重要かと思います。細部については、普段触れないものについては覚えても忘れてしまうものですから、あまりこだわらず、新しい内容が出てきたときに、以前に学んだことを振り返りつつ、自身の知識体系を積み上げていき、イメージとフィーリングを固めていけば、応用力も身につくと思います。</p>

1H0900	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	梅野充	事務局のご協力で、88.3%とかなり高い回答率を得ることができた。授業への関心と関連する項目と考えられるので、授業を魅力的なものになるよう努力し、学生への注意喚起も引き続き行って回答率の向上を図りたい。選択式質問の部分については、昨年度と引き続き、全項目で全科目平均を上回る平均評点を得ることができた。特に「8. シラバスに沿った授業」、「9. 授業の進行速度」については平均評点4.83でもっとも高く、授業全体の進行について予定どおり行ったことが評価されたとわかった。逆に「3. 教員の話し方」については評点4.65で比較的低評価であった。これは例年のことではあるが、講義に熱中しすぎて早口になったり、不明確な内容を口走ることによるものと思われた。ゆったりと明確に話すように努めていきたい。また「11. 質問しやすい状況」については評点4.68で、数名の学生がネガティブな評価をされている。この点は実は授業中にはあまり意識していないところだったので反省したい。詰め込んで話しすぎ、学生の自発的な質問や発想を奪う授業になっているとすると大問題なので、質問の時間を長めにとったり、ワーク的なものに十分時間をかけて学生の自由な発想を引き出すなどの工夫をしていきたい。自由記述の「良いと思った点」としては、リアクションペーパーに対するフィードバックやプレゼン、資料などについて好評が得られ、これらはうれしい評価であった。来年度、継続して担当することができる場合には、こうした評価を踏まえてプレゼンや資料のブラッシュアップに努めたい。また、挿話的に述べた臨床例について「実習に向けてのイメージをもつことができた」との評価があったので、この点にも力を入れて、（個人情報保護に配慮しながら）実例を盛り込むようにしたい。自由記述の「改善した方がよい点」として、マイクの使い方や話し方について「笑い声と講義の内容が混じって聞こえない」、「たとえて出す話題が不明」などの意見があったことは真摯に受け止めたい。余裕のある話しかたをして随時、今から話す内容について確認しながら授業を
1H1100	リハビリテーション医学	森本正	配布資料が多くて重要なポイントが分かりにくいとの意見がありますが、講義で使ったスライドをすべて印刷したので枚数が多くなってしまいました。重要なスライドに絞って印刷するなど資料を減らすことを検討してみます。以前、1枚の紙に6枚（両面で12枚）のスライドを印刷したら小さくてわかりにくいとの意見があったので現行のスタイルにしていますが、4分割が良いとの意見が多ければそのように変更します。
1H1200	遺伝と遺伝カウンセリング	守田美奈子	授業内容が難しいというコメントがあり、科目平均も低めの評価となりました。例年よりも質問に対する解説の時間を多くとるなどの工夫を加えていただきましたが、テキスト通りに授業進行を希望するご意見も頂いていますので、来年はさらに工夫していきたいと思えます。
1H1400	ラボラトリープラクティス	壹岐聖子	新型コロナウイルス流行で対面授業が激減している中、病院実習は貴重な体験であったと思います。アンケート調査でも高い評価だったのはこの点が大きかったと想像します。今年度の学生の実習にたいする意気込みは例年には感じられないほど強いものでありました。他の授業がすべて遠隔授業になっていても、きちんと出席し目を輝かせながら実習に臨む姿が印象的でした。今年度から評価をレポートにしました。全講師がレポートを読み、本実習が有意義であった事をうれしく感じております。また、今後の授業改善の参考になったと申しておりました。
1I0101	看護学概論Ⅰ	川原由佳里	授業についてさまざまご意見を下さりありがとうございます。看護についての興味・関心が広がり、この先の学習の動機づけになるとよいと思っています。ニュースなどの話題についてとりあげながら、みなさんが関心を持てる授業をめざしたいと思えます。
1I0102	看護学概論Ⅰ	川原由佳里	授業についてさまざまご意見を下さりありがとうございます。看護についての興味・関心が広がり、この先の学習の動機づけになるとよいと思っています。ニュースなどの話題についてとりあげながら、みなさんが関心を持てる授業をめざしたいと思えます。
1I0300	看護関係法規	安部陽子	授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。今年度は、授業内でできる講義等を事前・事後課題にして、授業内では演習等を行うようにしていました。学習効果にはつながっていないようなので、方法を以前のように戻すなど検討したいと考えます。



1J0101	看護技術論Ⅰ	堀川英起	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。各質問について概ね高得点をいただきました。また、自由回答欄では、グループワークに関する「よいと思った点」について多くのコメントをいただきました。ありがとうございます。来年度も、学生の皆さんの興味関心が深まるような授業内容を構成していきたいと考えています。問11（質問しやすさに関する質問）についてのみ、点数が低めでした。来年度は、講義の部分について、質問しやすい状況を作れるような具体的な工夫を検討していきます。貴重なご意見をいただきありがとうございました。
1J0102	看護技術論Ⅰ	古城門靖子	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。今年度は、対面での授業および演習を行うことができ、みなさんの理解や学びが深まったことがよくわかりました。皆さんのご意見から、皆さんがこの授業で看護に興味を持ち、多くの学びがあったことを知ることができました。担当教員一同、今後の授業をさらに良いものとなるよういただきましたご意見を今後の授業に活かしていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。
1K0101	看護援助論Ⅰ	細野知子	アンケートへのご回答ありがとうございました。対面授業と遠隔授業が組み合わせられ受講しづらい環境の下、学習の内容や課題が多い本科目を前向きに取り組まれたことを嬉しく感じています。皆さんのこうした努力はレベルⅡ実習に向けた準備となり、実習では実践的な学びにつながったのではないのでしょうか。本授業で良かった点からは、皆さんがグループワークを楽しみ、学びを柔軟に深めた様子が伝わってきました。また、講義を隈なく聞いてくださった方、グループ担当の先生から受けたきめ細かな指導を大いに吸収した方、4月からの成長を実感した方など、さまざまな学びの姿がわかり、教員にとっては大変励みになりました。本授業の改善点からは、アセスメントの各項目に必要な要素の提示が不十分であったこと、試験のフィードバック方法が皆さんのニーズに合わなかったことという課題がわかりました。皆さんの学びを十分に深められなかった点につきましてはお詫びいたします。貴重なご意見として受けとめ、次年度の授業に活かしていきたいと思います。看護過程は、看護の基本のひとつとなる重要な思考枠組です。皆さんが、看護過程を基盤の一部として、看護を必要とするさまざまな人への援助を考える力を伸ばしていけるよう応援しております。
1K0102	看護援助論Ⅰ	細野知子	アンケートへのご回答ありがとうございました。対面授業と遠隔授業が組み合わせられ受講しづらい環境の下、学習の内容や課題が多い本科目を前向きに取り組まれたことを嬉しく感じています。皆さんのこうした努力はレベルⅡ実習に向けた準備となり、実習では実践的な学びにつながったのではないのでしょうか。本授業で良かった点からは、グループ担当の先生からのサポートを学びにつなげていった様子、グループでのピアレビューから大いに学んだ様子、リフレクションコメントから作成した「皆さんからの声」を励みにして下さった様子がわかりました。こうして皆さんの学びを支えることができうれしく感じております。本授業での改善点からは、授業資料の文字の大きさ、グループ担当教員間の対応の違い、試験のフィードバック方法などの課題が見えてきました。不慣れな、また不安な思いをされた方にはお詫びいたします。安心して学びを深めていけるための貴重なご意見として受けとめ、次年度の授業に活かしていきたいと思います。看護過程は、看護の基本のひとつとなる重要な思考枠組です。皆さんが、看護過程を基盤の一部として、看護を必要とするさまざまな人への援助を考える力を伸ばしていけるよう応援しております。
1K0201	看護援助論Ⅱ	千葉京子	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。全回が対面での授業ではなかったので、説明が伝わりにくい点があったかもしれません。動画の活用などご意見をいただきましたので、次年度の授業計画の参考とさせていただきます。
1K0202	看護援助論Ⅱ	千葉京子	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。スライド内容への評価をありがとうございます。遠隔でのグループワークの評価については検討し、次年度に活かせるようにしたいと思います。

1K0301	看護援助論Ⅲ	清田明美	感染拡大に気を配りながらの対面授業でしたが、できるだけグループワークを取り入れながら授業を進めました。感染症が蔓延する時期でしたが、ディスカッションや動画の視聴なども活用して清潔や感染に関する学びを深めることができたことを確認でき、よかったと思います。グループワーク発表時にざわついているという意見をいただいています。みなさんの協力も必要になってきますが、メリハリのある授業の進行を目指していきたいと思います。
1K0302	看護援助論Ⅲ	清田明美	感染拡大に気を配りながらの対面授業でしたが、できるだけグループワークを取り入れながら授業を進めました。感染症が蔓延する時期でしたが、ディスカッションや動画の視聴なども活用して清潔や感染に関する学びを深めることができたことを確認でき、よかったと思います。グループワーク発表時にざわついているという意見をいただいています。みなさんの協力も必要になってきますが、メリハリのある授業の進行を目指していきたいと思います。
1K0401	看護援助論Ⅳ	清田明美	対面と遠隔によるハイブリットでの講義として始まりましたが、途中から全て遠隔へと変更になりました。学習環境としては落ち着かない前期でしたが、体験学習や動画の視聴、グループワークなどから皆さんが積極的に学習し、理解につなげていたことが確認でき、よかったと思います。資料の見やすさなど、頂いたコメントを今後の授業に活かしていきたいと思います。
1K0402	看護援助論Ⅳ	清田明美	対面と遠隔によるハイブリットでの講義として始まりましたが、途中から全て遠隔へと変更になりました。学習環境としては落ち着かない前期でしたが、体験学習や動画の視聴、グループワークなどから皆さんが積極的に学習し、理解につなげていたことが確認でき、よかったと思います。資料の見やすさなど、頂いたコメントを今後の授業に活かしていきたいと思います。
1K0501	看護援助論Ⅴ（活動と休息）	山内 朋子	看護援助論Ⅴ（活動と休息）履修生のみなさん 授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。概ね、全体の回答項目でご好評いただきました。自由記載では、車椅子や妊婦体験、フィールドワークなどの演習が楽しかった、身体を動かして覚えることで印象に残りやすかった、重要ポイントが分かりやすかったといった意見をいただきました。みなさんに楽しんで学修を進めていただくことができ、とても嬉しいです。みなさんが積極的に学ぶ姿勢で学修に取り組んでくださった成果です。どうもありがとうございました。改善点として、クラスAの方からは、資料は見やすいけれどもページが多い、クラスBの方からは、プリントのプラスアルファのことを教えてほしいという意見をいただきました。貴重な意見をありがとうございます。授業資料の量や実践の話をつくさんでできるような授業構成など、改善していきたいと思います。活動と休息は、どの発達段階の方々をケアする上でもとても重要な視点になりますので、今後もこの学びを活かしてください。ありがとうございます、髄消化！素晴らしきかな、シナプス形成！
1K0502	看護援助論Ⅴ（活動と休息）	山内 朋子	看護援助論Ⅴ（活動と休息）履修生のみなさん 授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。概ね、全体の回答項目でご好評いただきました。自由記載では、車椅子や妊婦体験、フィールドワークなどの演習が楽しかった、身体を動かして覚えることで印象に残りやすかった、重要ポイントが分かりやすかったといった意見をいただきました。みなさんに楽しんで学修を進めていただくことができ、とても嬉しいです。みなさんが積極的に学ぶ姿勢で学修に取り組んでくださった成果です。どうもありがとうございました。改善点として、クラスAの方からは、資料は見やすいけれどもページが多い、クラスBの方からは、プリントのプラスアルファのことを教えてほしいという意見をいただきました。貴重な意見をありがとうございます。授業資料の量や実践の話をつくさんでできるような授業構成など、改善していきたいと思います。活動と休息は、どの発達段階の方々をケアする上でもとても重要な視点になりますので、今後もこの学びを活かしてください。ありがとうございます、髄消化！素晴らしきかな、シナプス形成！

1K0601	看護援助論VI	新田真弓	たくさんのご感想ありがとうございました。皆さんが性について性について学ぶことの意味を考えるきっかけとなったようでうれしく思います。皆さんのリフレクションシートの感想がとても素晴らしく、たくさん共有したいと思ってしまったため、資料の文字が小さく読みにくかったようでした。次回からは改善したいと思います。また、授業内で使用する映像を映写する機械の関係で、何回か教室変更をお願いしましたが、前後の授業も含めて考慮をした方がよい点があったようで失礼しました。効果的な教材の活用と教室の確認をしながら進めたいと思います。
1K0602	看護援助論VI	新田真弓	たくさんのご意見ありがとうございました。皆さんが性について考えるきっかけとなったようでよかったです。性暴力などのつらい内容もあったと思いますが、その点も含めて看護者として、人としてどのようにとらえたらよいか意識してくださったように思いました。リアクションペーパーの内容はできるだけ共有をしましたが、興味深いと感じてくださった方がおられた一方で、記入が多くて大変と思われた方もいたようです。今後も内容を整理しながら、できるだけ皆さんの声を反映した授業になるように工夫していきたいと思います。
1K0701	看護援助論VII	堀川英起	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。各質問について概ね高得点をいただきました。また、自由回答欄では、グループワークに関する「よいと思った点」について多くのコメントをいただきました。ありがとうございます。来年度も、学生の皆さんの興味関心が深まるような授業内容を構成していきたいと考えています。自由回答欄の「改善したほうが良い」点については、「事後課題が大変だった」というコメントを3名の方からいただきました。来年度は、事後課題の分量と配点について再考する予定です。貴重なご意見をいただきありがとうございました。
1K0702	看護援助論VII	堀川英起	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。全ての質問項目（問1～問14）について、全学平均を上回っていました。来年度も、学生の皆さんの興味関心が深まるような授業内容を構成していきたいと考えています。自由回答欄の「改善したほうが良い」点については、「事後課題が大変だった」（2名）、「スライド資料が文字が多くポイントを把握しづらかった」（1名）というコメントをいただきました。来年度は、事後課題の分量と配点について再考する予定です。また、スライド資料についてもポイントを絞った資料作りに努めていきます。貴重なご意見をいただきありがとうございました。
1L0201	精神保健看護学Ⅱ	堀井湖浪	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。高い評価をいただき大変うれしく思います。特に、オンラインで当事者の方々と交流できたことが、学習意欲を高めたり、実習への期待につながったことがわかりました。ご協力いただいた当事者の方々、スタッフの方々のおかげです。資料についてはいただいたご意見を参考に工夫していきたいと思います。
1L0202	精神保健看護学Ⅱ	堀井湖浪	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ね良い評価が得られ、嬉しく思います。特に、オンラインでの当事者の方々と交流は学習意欲を高めたり、実習への事前準備となったようです。ご協力いただいた当事者の方々とスタッフの方々のおかげです。課題についていただいたご意見は、今後の授業に活かしたいと思います。
1M0101	発達看護学概論	江本 リナ他	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。概ね好評な結果をいただきました。みなさんが積極的に学修を進めてくれたことがとても嬉しいです。離乳食の紹介や映像を取り入れていることが良い、授業資料が見やすいといったコメントをいただきました。改善点として、板書のスピードや出席の取り方などが挙がっていました。次年度に活かしてまいります。本科目は、後期の授業や実習にもつながる大事な内容が含まれていますので、今後も折に触れて復習してください。
1M0102	発達看護学概論	江本 リナ他	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。概ね好評な結果をいただきました。みなさんが積極的に学修を進めてくれたことがとても嬉しいです。離乳食の紹介や映像を取り入れていることが良い、授業資料が見やすいといったコメントをいただきました。改善点として、板書のスピードや出席の取り方などが挙がっていました。次年度に活かしてまいります。本科目は、後期の授業や実習にもつながる大事な内容が含まれていますので、今後も折に触れて復習してください。

1M0200	発達看護学（成人期の看護）	本庄恵子	授業評価にご協力をいただき、ありがとうございます。説明が丁寧でわかりやすかったとのことですので、次年度もレジュメ等を使って、丁寧な説明を継続したいと思います。また、Formsの質問に答える形式が、気軽に応えられてよかったということですので、次年度にいかしたいと思います。どうもありがとうございました。
1M0400	発達看護学Ⅰ②	加藤千穂	ご意見ありがとうございます。看護過程に関する講義の時期について、もう少し早い時期がよいという意見を数人の方から頂きました。産褥・新生児期の講義終了後に看護過程を行った方が理解しやすいと考えて授業を設定しましたが、主体的に学習を進めていた方にとっては効果的に感じられなかったということを受け止め、今後に生かしていきたいと思います。また、産褥期・新生児期のアセスメント（応用問題）の講義について、皆さんが解答の色紙を挙げている様子を写真に撮り、個人にコメントを求めたことを不快に思われた方もいらっしゃったようです。個人を特定するために写真撮影をする意図はありませんでしたが、結果的に不快な思いをされた方がいらっしゃったことに関して、お詫びいたします。コロナ禍でグループワークが困難な状況ですが、今後の授業でより効果的な学びが得られるような方法を検討していきたいと思います。
1M0601	発達看護学Ⅱ②	江本 リナ	授業改善アンケートの提出ありがとうございます。とても嬉しい評価をいただきありがとうございます。みなさんが楽しみながらきちんと授業を受けてくれたことがわかりました。いただいたコメントは次年度に活かし、よりよい授業にしていきたいと思います。
1M0602	発達看護学Ⅱ②	江本 リナ	授業改善アンケートの提出ありがとうございます。とても嬉しい評価をいただきありがとうございます。みなさんが楽しみながらきちんと授業を受けてくれたことがわかりました。いただいたコメントは次年度に活かし、よりよい授業にしていきたいと思います。
1M0800	発達看護学Ⅲ②	千葉京子	授業改善アンケートの提出ありがとうございます。今年度は広尾ホールでの対面授業でした。小さめの机が付いている椅子で授業資料に書き込みを行って頂いていましたので、不便であったと思います。授業内容がわかりやすかったか、興味深いものであったか等について得点がやや低かったので次年度の検討課題にしたいと思います。事例を用いてのグループワークに取り組んでいただきましたが、グループ人数の適切性や進め方と発表方法の説明の改善を行いたいと思います。
1N0200	慢性期ケア	田中孝美	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございます。皆さんが授業に意欲的・積極的に取り組んだと高く評価できていることを嬉しく拝見しました。多くの方が、興味をもって授業に参加し、授業内容を価値あるものと捉えてくださっていらっしゃいました。これからの皆さんのケアにつながっていくことを期待いたします。また、事後テストの小テスト結果の公開についての建設的なご意見もありがとうございました。皆さんの学修によりつながるよう、前向きに検討いたします。担当教員一同
1N0300	急性期ケア	三浦 英恵	アンケートでは、多くの方にご回答いただきありがとうございました。みなさんがとても熱心に授業に取り組んでくださった様子が伝わってきました。今後もより分かりやすい授業になるように、みなさんの理解度や反応を見ながら、進めていきたいです。「改善した方がよいと思った点」については、次年度以降も参考にさせていただき、よりよい資料になるよう、授業内容のポイントに沿って今後も工夫を重ねていきたいです。
1N0400	緩和・終末期ケア	吉田みつ子	大教室での授業ではありましたが、みなさんからいただいたリアクションペーパーにコメントをお返しすることを通して、コミュニケーションを図ることができました。みなさんのご意見をお聞きし、教員もいつも刺激を受けておりました。緩和ケア病棟・ホスピスでの看護の実際について詳しく知れたかったというご意見もいただきました。次年度に生かしていきたいです。
1O0300	保健福祉行政論	櫻山豊夫	優しく評価してくださった学生諸姉には感謝いたします。ただ全項目で平均点を下回ったことに責任を痛感いたしております。

1O0500	在宅看護学	石田千絵	前向きに取り組んでくださった方が多く、ポジティブなコメントも多々あり、とても嬉しく思います。一方で、時間内の演習時間の短さや負担の多さ、グループ構成員によるやる気の違いなどのご指摘もいただきました。最もご指摘なので、特に時間内での演習量や演習時間については、検討したいと思います。本科目は、卒業後からじわじわと役立つことを理解していく科目だと思っています。かなり進んだ学びをされていますので、自信をもって卒業後も活用してください。
1P0200	看護管理学Ⅱ	安部陽子	この科目は、以前より、授業に講義と演習をセットで組み入れ、理論と実際を結び付けられるようにデザインしています。選択科目ですので、学習意欲が高い学生さんが履修して下さい、授業を楽しんでいただいたように考えます。事前・事後学習のバランスは検討していきたいと考えます。
1P0500	看護教育方法	西田 朋子	選択科目でしたが履修してくださった皆さん、ありがとうございました。よい評価もいただき、学生の皆さんと一緒にこの授業ができたことを嬉しく思います。授業形態の切り替わりで、模擬授業が遠隔となりましたが皆さんとても上手に授業をしてくださいました。この授業を機に、看護教育に関心を持っていただけたら嬉しいです。
1Q0100	応用看護学特論Ⅰ①	安部陽子	授業改善アンケートへの回答をいただきありがとうございます。この科目はゲストスピーカーの講義と、フィールドワークで構成されています。ゲストスピーカーの方も素敵な講義をしてくださいましたが、選択科目ですので、意欲の高い学生さんに履修していただき、講義・演習から学びを深めていただいたと考えています。
1Q0200	応用看護学特論Ⅰ②	齋藤英子	ご意見ありがとうございます。お二人が授業前から課題について綿密に調べ、意見を考えて...と積極的に事前準備をして臨んでくださったので、実り多い学びの時間になりました。今後の課題も色々和您てきましたので、私たちのこれからは活かしていきたいと思います。
1Q0300	応用看護学特論Ⅰ③	江本 リナ	授業改善アンケートの提出ありがとうございます。講義やグループワークを通してみなさんの学びや理解が深まり、子どもの最善の利益を守るための看護師の役割について探求できたことがわかりました。いただいたコメントを次年度に活かし、よりよい授業にしていきたいと思ひます。
1Q0400	応用看護学特論Ⅰ④	筒井真優美	ポジティブなフィードバックをありがとうございます。今回の学びを今後活かしていただけることを期待しております。
1Q0500	応用看護学特論Ⅱ①	古城門靖子	授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度は、授業時間を調整しながらではありましたが、すべての授業を対面で行うことができました。この授業では、多くの演習時間を取り入れました。その中で、皆さんが教員の考えに触れながらも、主体的にグループワークを通じて自らの考えを伝えあい、理解を深めたことが良くわかりました。担当教員一同、みなさんがこの授業で得た成果を今後の看護実践にもつなげていけるよう、いただきご意見を活かしながら、更なる授業改善に取り組んでいきたいと思ひます。また、時間の変更や教室の変更があったことで戸惑いを感じたことのご意見をいただきました。対面授業を実現するための苦渋の選択ではありましたが、皆様に授業時間の変更等でご迷惑をおかけしたことに關しまして、申し訳なく思っております。今後は、時間割通りに対面授業を行えることを、教員も望んでおります。貴重なご意見ありがとうございました。
1Q0600	応用看護学特論Ⅱ②	坂口千鶴	アンケートへの回答、ありがとうございます。皆様からのとても肯定的な評価、そして貴重なご意見を頂けて感謝しております。この評価を踏まえて、来年度の授業に活かしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

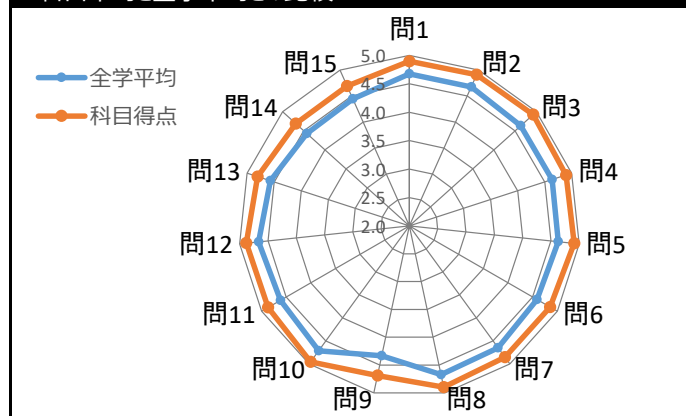
1R0100	国際看護学Ⅰ	織方 愛	<p>授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。皆様のご意見を基に領域内で改善し、次年度へ活かしていきたいと思ひます。ハイブリッド授業が多く、ZOOMで受講した編入生の方にはところどころ音声が聞きづらいことがあったようで失礼しました。後期にはワイヤレスマイクを導入予定ですので、さらに音質を改善していきたいと思ひます。コメントスクリーンについては好評でした。大勢の学生の中での質問は勇気がいりまし時間がかかるのでリアルタイムで質問を受けられるのは教員にとつても皆さんの理解度やわかりづらい個所を把握するために有効だったと思ひます。今後も継続していきたいと思ひます。複数の教員による実際の海外での看護活動の講義についても高評価を頂きました。こちら常にも最近の活動をした方の経験談を継続していきたいと思ひます。国際看護学Ⅱ国際看護学演習ではこれらを発展させて、赤十字要員が派遣されている事業地（ルワンダ、レバノン）とオンライン中継によりディスカッションをします。興味を持っている方はぜひ受講してみてください。</p>
1R0500	災害看護論Ⅱ	内木 美恵	<p>授業改善アンケートにご協力下さりありがとうございました。講義と授業の中でお話した体験、および小テスト、リフレクションペーパーを通して多くのことを学んでおられたことが分かり、今後も続けて行きたいと考えております。講義が広尾ホールとなりメモが取りにくい等のご意見や、話すスピード、表現、リフレクションペーパーへの回答方法等にご意見を下さりありがとうございました。これらの点は改善していきます。多くのコメントを下さり、ありがとうございました。</p>
1T0300	研究方法論Ⅲ	川崎 洋平	<p>シラバスに沿った授業を行うように心がけたいと思ひます。</p>
1U0200	公衆衛生看護管理論	吉川悦子	<p>授業改善アンケートにご回答いただきありがとうございます。実習前の集中講義の時期で、またほかにもたくさんの課題を抱えながら、積極的に授業に取り組んでいただき素晴らしいです。公衆衛生看護学実習との連携をさらに深めながら、実践に役立つ講義内容を工夫していきます。</p>

科目名	看護技術論Ⅱ②	[1J0301]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	樋口佳栄		授業形態	演習	回答数	68	97.1%

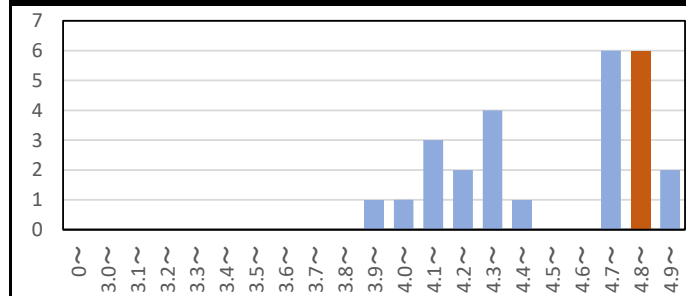
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	61						7	4.90	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	62						6	4.91	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	63						5	4.93	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	61						7	4.90	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	62						6	4.91	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	58						10	4.85	4.59	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	59						8	4.85	4.65	
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	61						7	4.90	4.67	
9	演習の時間配分は適切だった。	51						13	4	4.69	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	65						3	4.96	4.71	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	59						9	4.87	4.62	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	60						8	4.88	4.67	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	55						11	4.81	4.57	
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	48						19	4.69	4.43	
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	49						17	4.69	4.45	
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.85</b>	<b>4.60</b>		

■科目平均と全学平均との比較



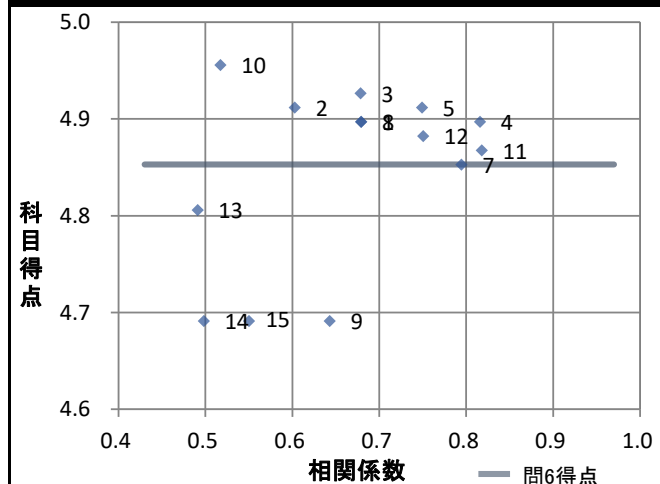
■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



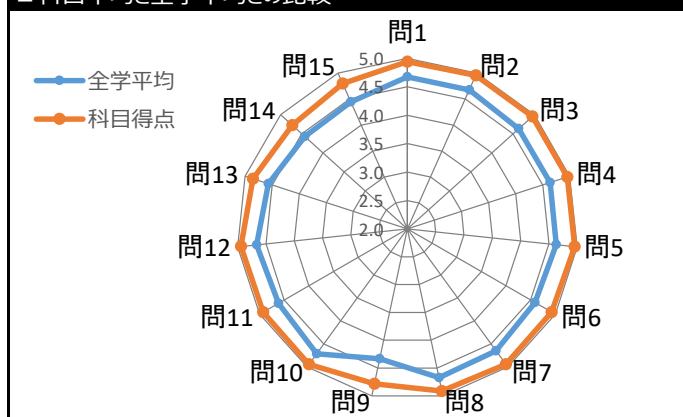
プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護技術論Ⅱ②	[1J0302]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	樋口佳栄		授業形態	演習	回答数	69	95.8%

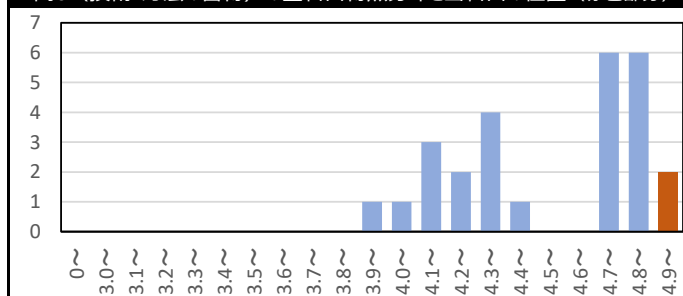
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	65						4	4.94	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	66						3	4.96	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	66						3	4.96	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	66						3	4.96	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	66						3	4.96	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	64						5	4.93	4.59	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	65						4	4.94	4.65	
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	63						6	4.91	4.67	
9	演習の時間配分は適切だった。	57						9	3	4.78	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	65						4	4.94	4.71	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	64						5	4.93	4.62	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	65						4	4.94	4.67	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	61						6	4.86	4.57	
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	53						13	3	4.72	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	56						12	4.80	4.45	
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.90</b>	<b>4.60</b>		

■科目平均と全学平均との比較



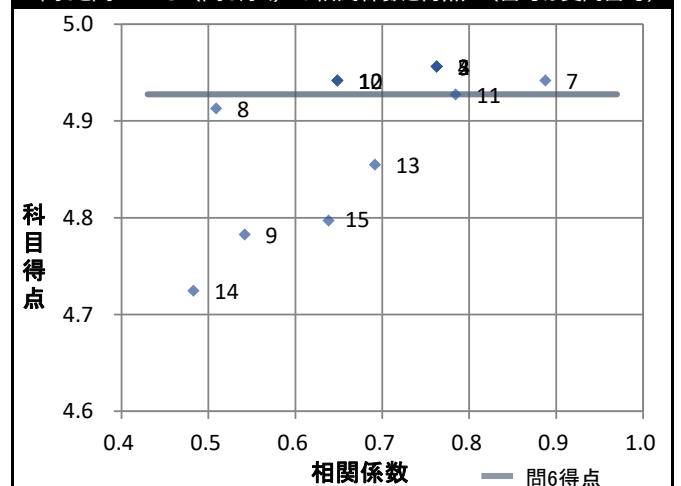
■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



# 授業改善アンケート【演習】科目別集計

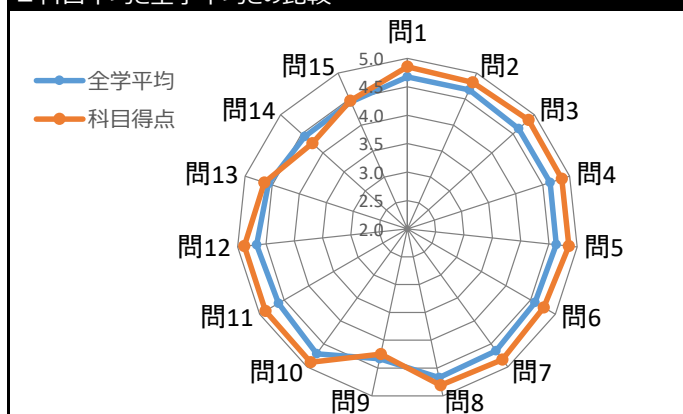
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	看護技術論Ⅲ①	[1J0401]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	樋口佳栄		授業形態	演習	回答数	68	94.4%

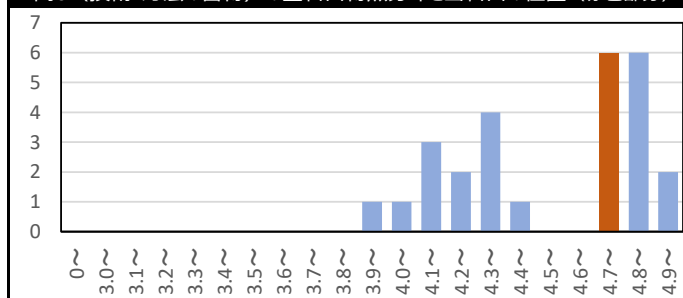
## ■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	58						10	4.85	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	57						10	4.82	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	59						9	4.87	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	58						10	4.85	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	58						10	4.85	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	56						8	4	4.76	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	58						9	4.84	4.65	
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	56						11	4.81	4.67	
9	演習の時間配分は適切だった。	32		23		11		4.25	4.34		
10	教員の熱意が伝わってきた。	61						7	4.90	4.71	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	60						8	4.88	4.62	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	60						8	4.88	4.67	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	47				18		3	4.65	4.57	
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	37		18		9		3	4.25	4.43	
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	34			32				4.47	4.45	
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.73</b>	<b>4.60</b>		

## ■科目平均と全学平均との比較



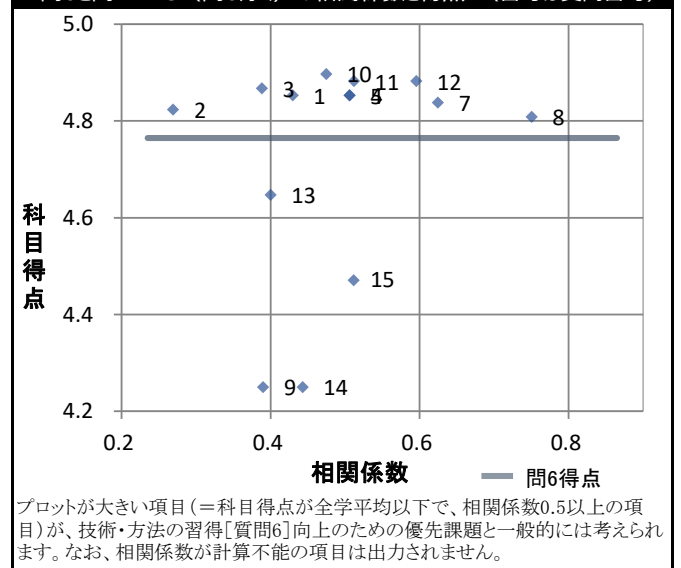
## ■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



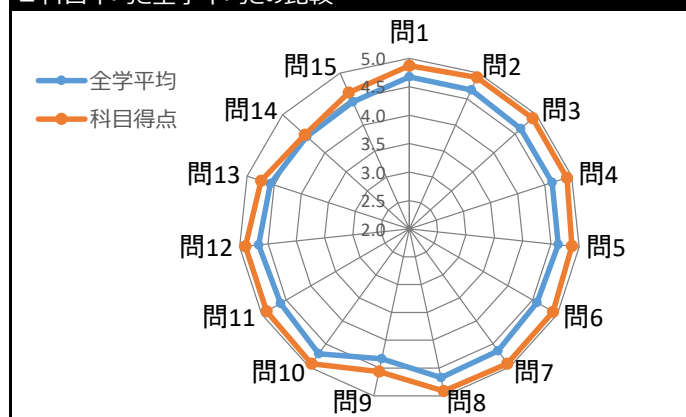
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護技術論Ⅲ①	[1J0402]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	樋口佳栄		授業形態	演習	回答数	70	98.6%

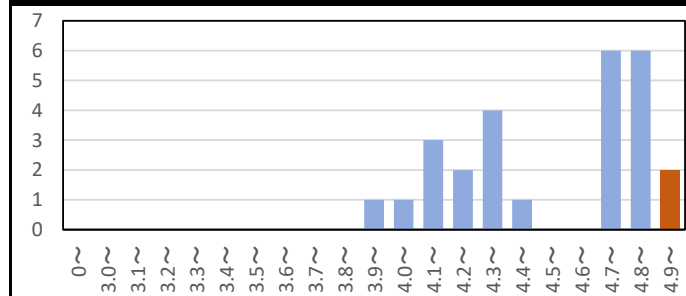
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 61 blue, 9 green]						4.87	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 64 blue, 6 green]						4.91	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 65 blue, 4 green]						4.91	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 64 blue, 6 green]						4.91	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 61 blue, 9 green]						4.87	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 64 blue, 6 green]						4.91	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 65 blue, 5 green]						4.93	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 63 blue, 6 green]						4.91	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 44 blue, 20 green, 5 yellow]						4.57	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 64 blue, 5 green]						4.93	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 62 blue, 7 green]						4.90	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 62 blue, 7 green]						4.90	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 55 blue, 11 green, 1 yellow, 1 orange]						4.74	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart: 44 blue, 17 green, 5 yellow, 3 orange]						4.48	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 48 blue, 17 green, 3 orange]						4.62	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.82</b>	<b>4.60</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



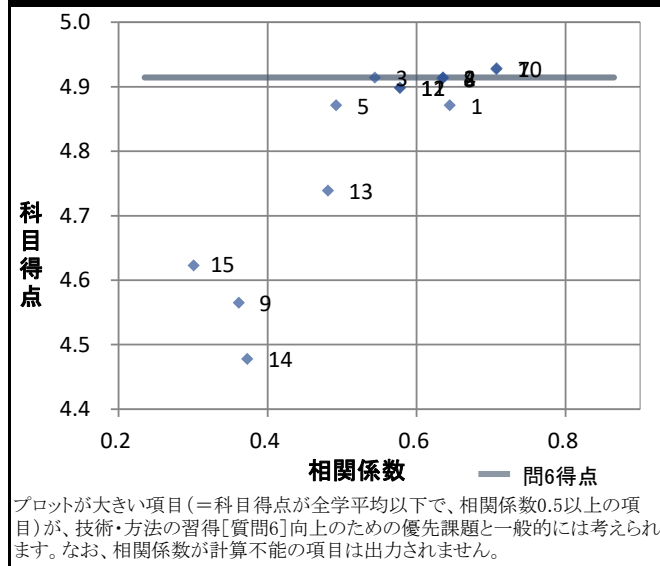
■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



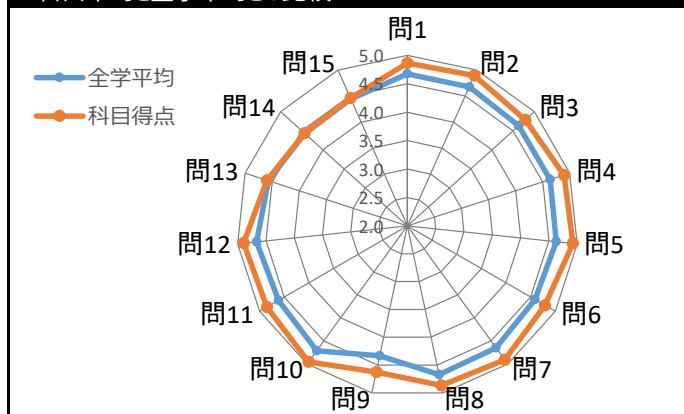
プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護技術論Ⅲ③	[1J0601]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	吉田みつ子		授業形態	演習	回答数	67	95.7%

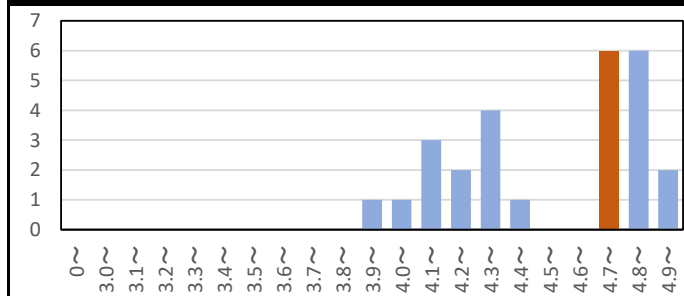
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 58% blue, 9% green]						4.87	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 60% blue, 7% green]						4.90	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 55% blue, 10% green]						4.79	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 60% blue, 7% green]						4.90	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 62% blue, 5% green]						4.93	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 54% blue, 12% green]						4.79	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 61% blue, 6% green]						4.91	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 58% blue, 9% green]						4.87	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 49% blue, 12% green, 5% orange]						4.63	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 64% blue, 3% green]						4.96	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 57% blue, 10% green]						4.85	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 60% blue, 7% green]						4.90	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 44% blue, 19% green, 4% orange]						4.60	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Bar chart: 38% blue, 21% green, 7% orange]						4.43	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 38% blue, 22% green, 7% orange]						4.46	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.78</b>	<b>4.60</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

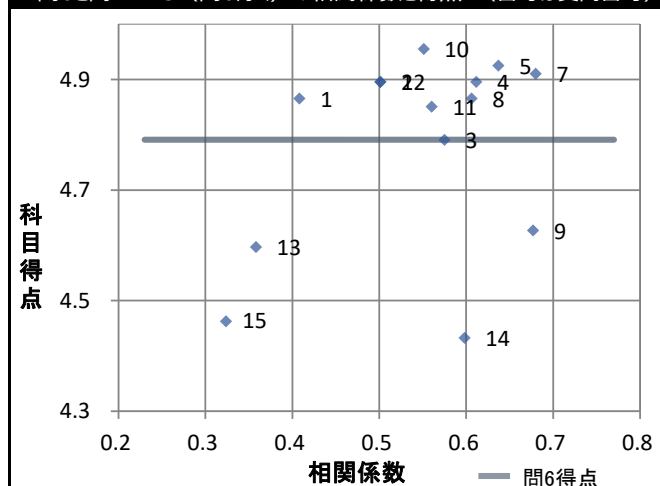


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



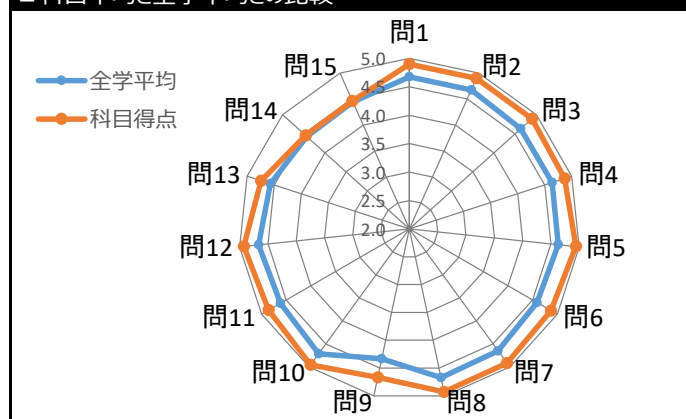
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護技術論Ⅲ③	[1J0602]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	吉田みつ子		授業形態	演習	回答数	69	95.8%

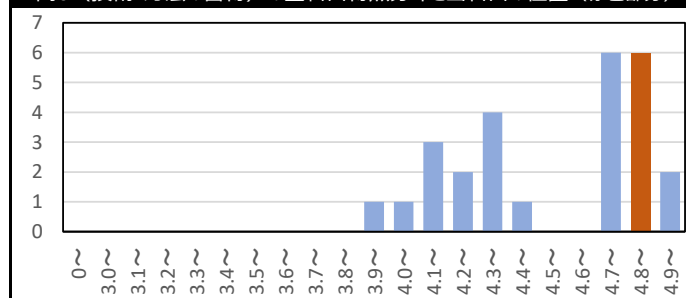
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	62						7	4.90	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	62						7	4.90	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	62						7	4.90	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	62						5	4.87	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	65						4	4.94	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	60						9	4.87	4.59	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	63						6	4.91	4.65	
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	64						5	4.93	4.67	
9	演習の時間配分は適切だった。	51						13	5	4.67	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	66						3	4.96	4.71	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	59						10	4.86	4.62	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	64						5	4.93	4.67	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	54						12	3	4.74	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	43						17	5	4.46	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	39						23	7	4.46	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.82</b>	<b>4.60</b>		

■ 科目平均と全学平均との比較



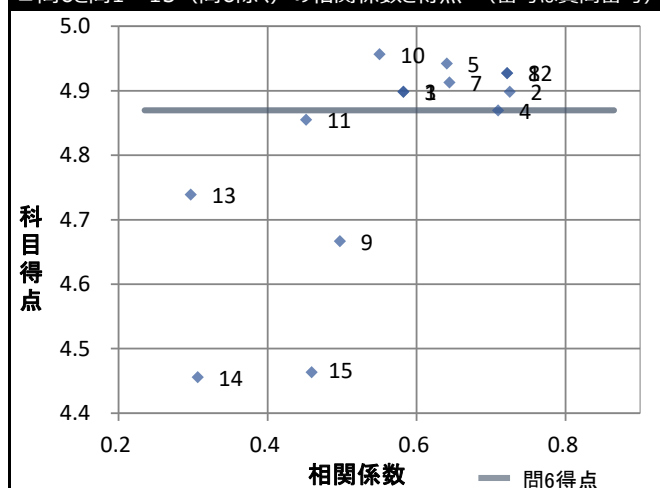
■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



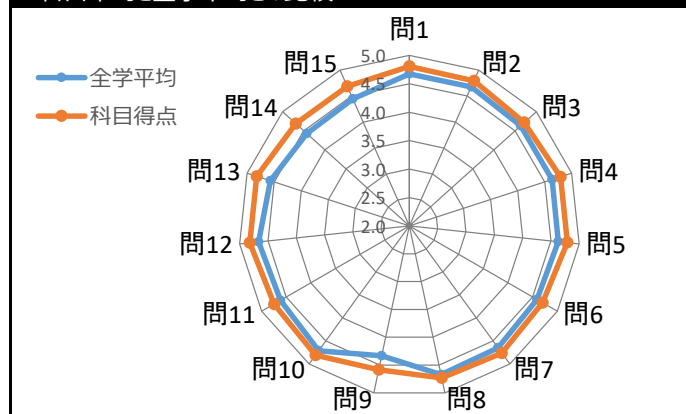
プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	健康レベル別看護学演習Ⅱ	[1N0601]	学部	看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	演習	回答数	67	97.1%

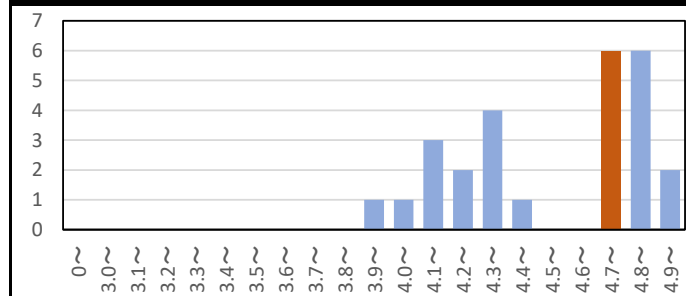
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	55						11	4.81	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	55						10	4.79	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	52						12	4.72	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	54						12	4.79	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	55						10	4.79	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	49						16	4.70	4.59	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	52						14	4.76	4.65	
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	51						14	4.73	4.67	
9	演習の時間配分は適切だった。	44						19	3	4.58	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	55						11	4.81	4.71	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	51						15	4.75	4.62	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	56						10	4.82	4.67	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	56						10	4.82	4.57	
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	50						14	4.69	4.43	
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	49						15	3	4.69	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.75</b>	<b>4.60</b>		

■科目平均と全学平均との比較



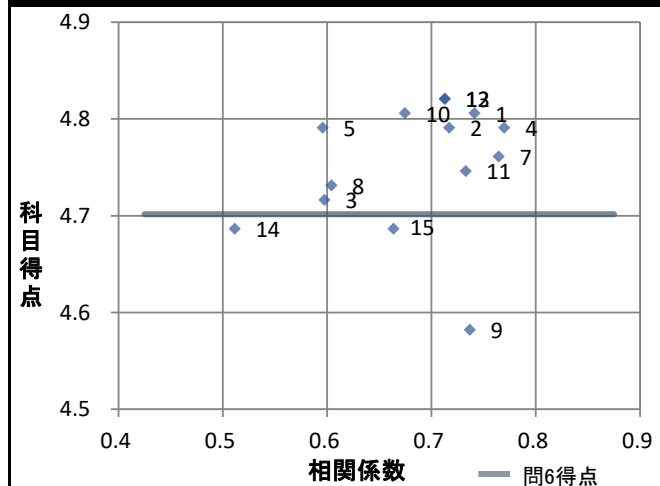
■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



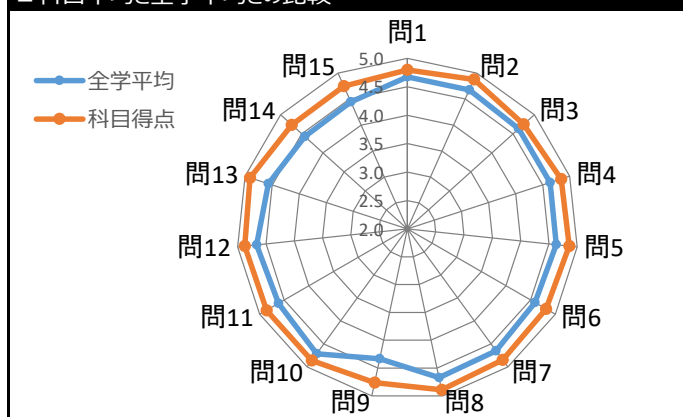
プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	健康レベル別看護学演習Ⅱ	[1N0602]	学部	看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	演習	回答数	64	92.8%

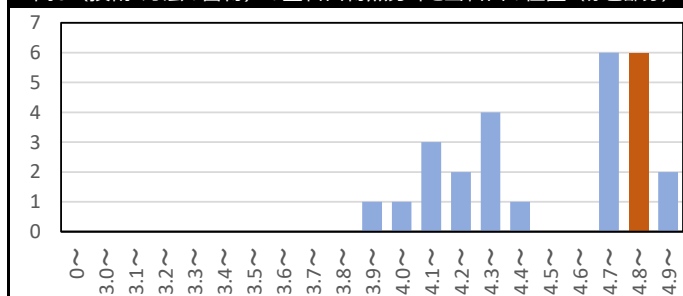
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 52 blue, 11 green]						4.80	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 56 blue, 8 green]						4.88	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 48 blue, 16 green]						4.75	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 54 blue, 10 green]						4.84	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 56 blue, 7 green]						4.86	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 52 blue, 12 green]						4.81	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 55 blue, 8 green]						4.84	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 57 blue, 7 green]						4.89	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 49 blue, 13 green]						4.76	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 55 blue, 9 green]						4.86	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 55 blue, 9 green]						4.86	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 56 blue, 8 green]						4.88	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 59 blue, 4 green]						4.91	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart: 50 blue, 11 green, 3 yellow]						4.73	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 49 blue, 14 green]						4.75	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.83</b>	<b>4.60</b>

■科目平均と全学平均との比較



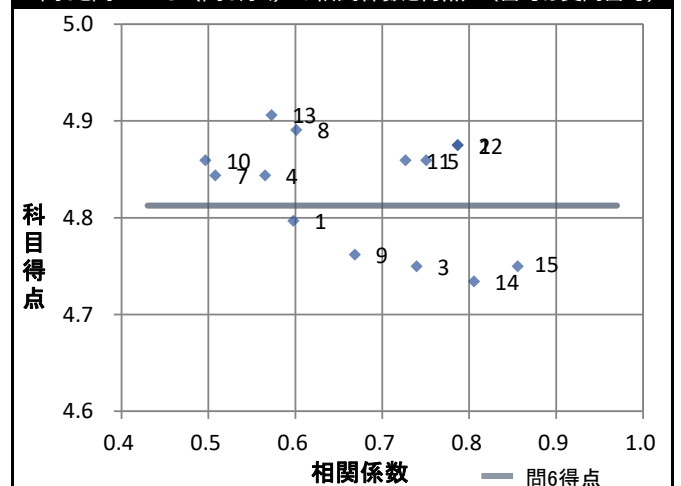
■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



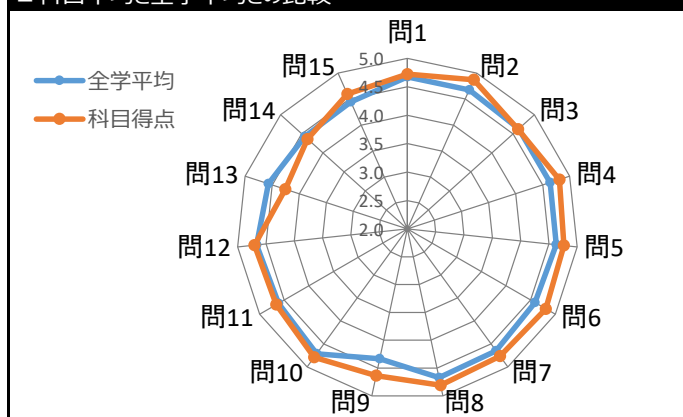
プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	災害看護活動論 I	[1R0600]	学部	看護学部	履修者数	65	回答率
教員名	内木美恵		授業形態	演習	回答数	47	72.3%

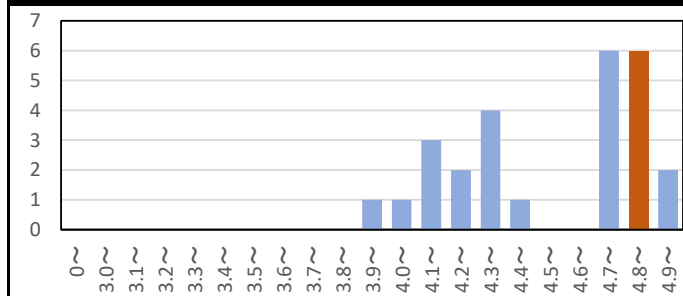
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.72	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。								4.87	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。								4.62	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。								4.81	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。								4.77	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。								4.81	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。								4.77	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。								4.81	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。								4.64	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.79	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。								4.66	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.70	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。								4.26	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。								4.36	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。								4.60	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.68</b>	<b>4.60</b>	

■ 科目平均と全学平均との比較



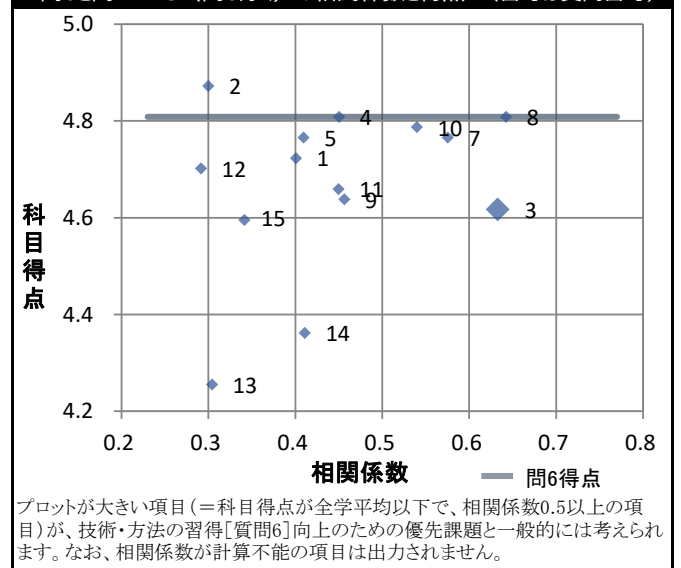
■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【演習】科目別集計

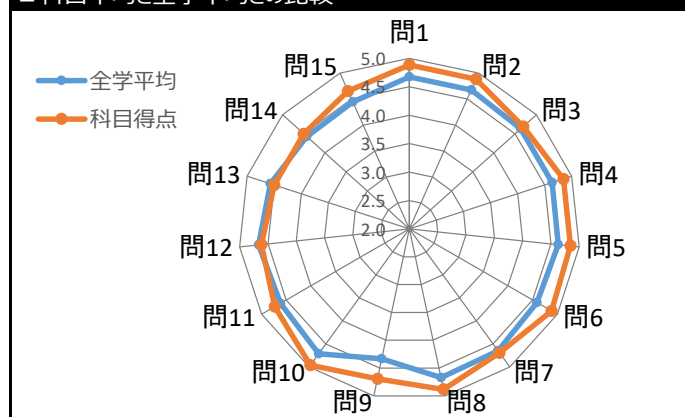
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	災害看護活動論Ⅲ	[1R0800]	学部	看護学部	履修者数	28	回答率
教員名	内木美恵		授業形態	演習	回答数	26	92.9%

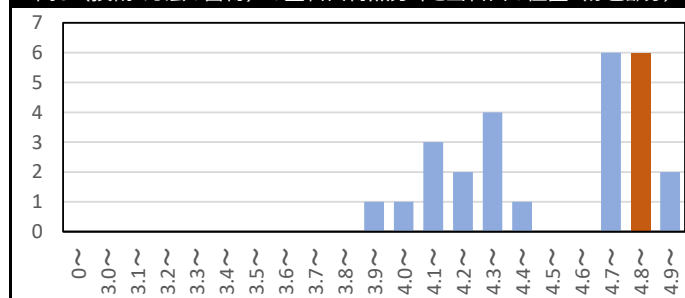
## ■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	23						3	4.88	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	23						3	4.88	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	21					3	1	4.69	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	22						4	4.85	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	24						2	4.85	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	23						3	4.88	4.59	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	20					5	1	4.69	4.65	
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	23						3	4.88	4.67	
9	演習の時間配分は適切だった。	19					6	1	4.69	4.34	
10	教員の熱意が伝わってきた。	25						1	4.96	4.71	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22						3	1	4.73	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	22					1	1	1	4.62	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	18					3	5	4.50	4.57	
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	18					3	5	4.50	4.43	
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	19					5	2	4.65	4.45	
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.75</b>	<b>4.60</b>		

## ■科目平均と全学平均との比較



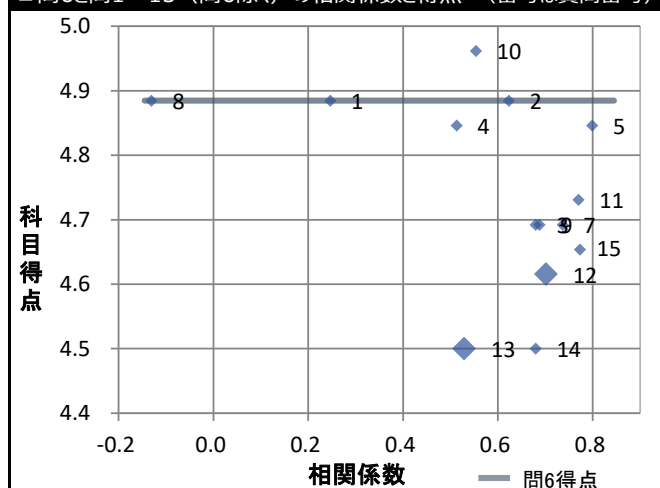
## ■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	該当なし

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

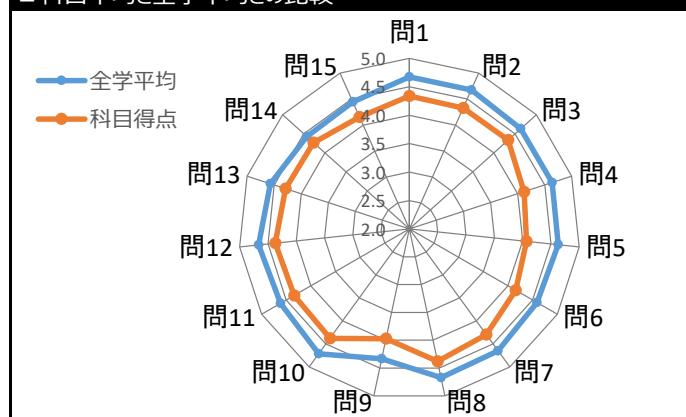


科目名	研究方法論 I	[1T0101]	学部	看護学部	履修者数	81	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	演習	回答数	72	88.9%

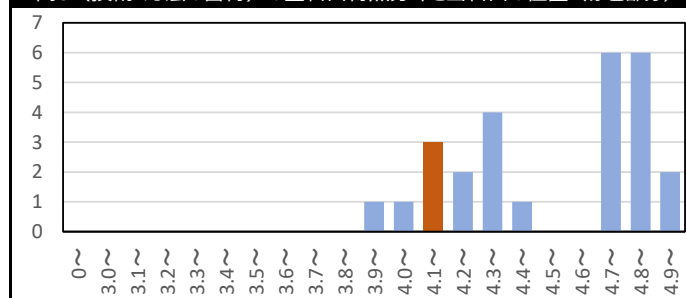
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	34	30	4	3			4.34	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	33	25	7	4			4.33	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	32	29	7				4.33	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	30	24	8	4	3		4.12	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	29	26	11	5			4.07	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	30	26	12				4.15	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	37	23	7	3			4.30	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	35	22	8	5			4.38	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	33	17	7	11			3.97	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	37	27	6				4.38	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	35	28	5	3			4.34	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	37	24	7				4.37	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	38	17	10	4	3		4.29	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	34	27	5				4.27	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	32	23	12	3			4.15	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.25</b>	<b>4.60</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



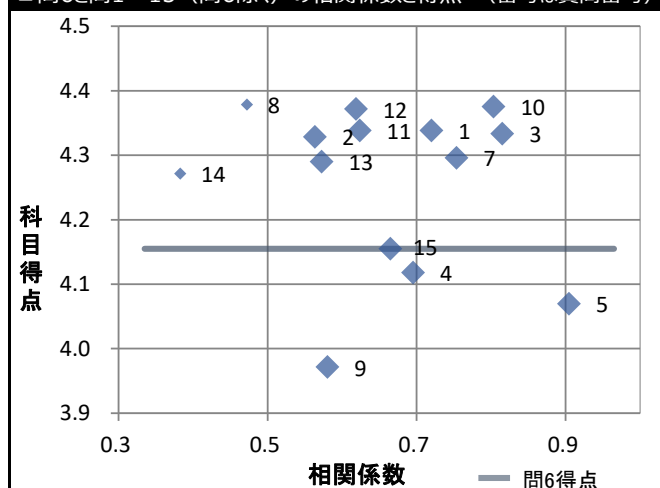
■ 問6 (技術・方法の習得) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 (3%未満は非表示)  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問6と問1～15 (問6除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



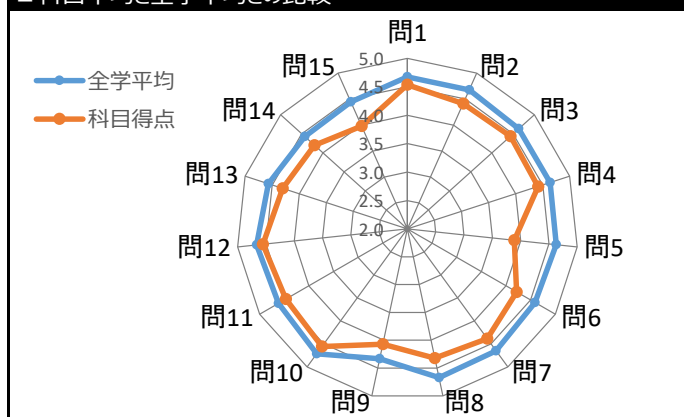
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	研究方法論 I	[1T0102]	学部	看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	江本リナ		授業形態	演習	回答数	56	81.2%

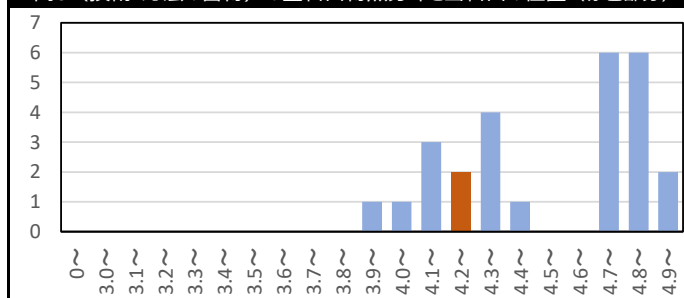
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 32% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						4.54	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Stacked bar chart showing 28% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 4% for 'Neither', and 3% for 'Disagree']						4.42	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Stacked bar chart showing 28% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						4.44	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Stacked bar chart showing 28% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4.42	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Stacked bar chart showing 18% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 7% for 'Neither', 4% for 'Disagree', and 3% for 'Strongly disagree']						3.89	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Stacked bar chart showing 23% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						4.22	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Stacked bar chart showing 26% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.38	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Stacked bar chart showing 27% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 5% for 'Neither', and 2% for 'Disagree']						4.32	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	[Stacked bar chart showing 24% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 5% for 'Neither', 3% for 'Disagree', and 3% for 'Strongly disagree']						4.07	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 34% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.55	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Stacked bar chart showing 32% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.46	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked bar chart showing 34% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.55	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Stacked bar chart showing 28% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 4% for 'Neither', and 2% for 'Disagree']						4.30	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Stacked bar chart showing 27% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 4% for 'Neither', 3% for 'Disagree', and 2% for 'Strongly disagree']						4.20	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Stacked bar chart showing 20% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 11% for 'Neither', and 2% for 'Disagree']						3.98	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.32</b>	<b>4.60</b>

■ 科目平均と全学平均との比較



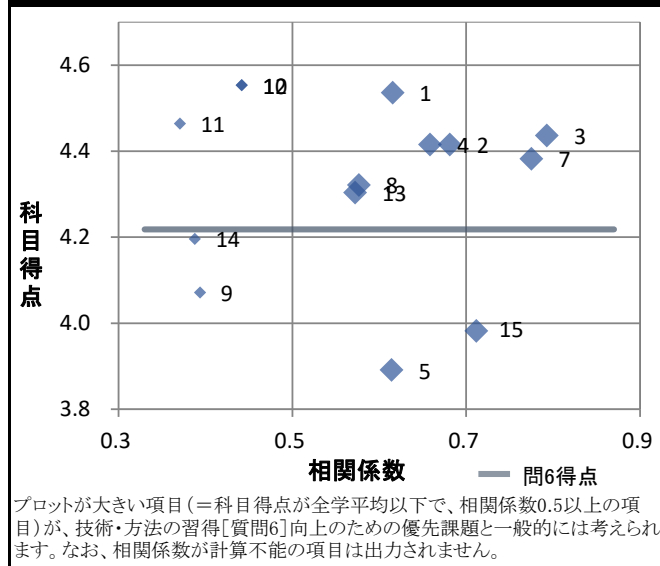
■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

# 授業改善アンケート【演習】科目別集計

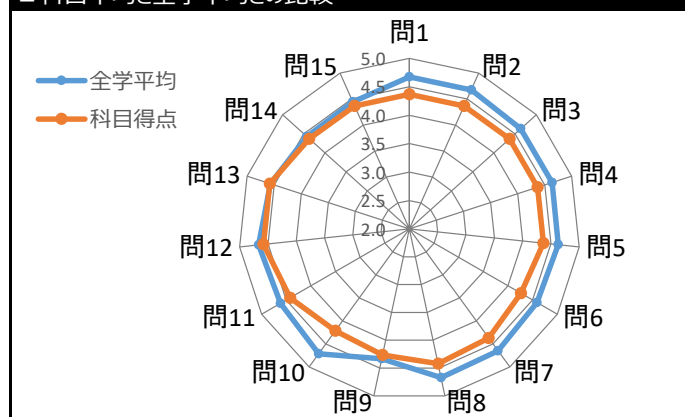
日本赤十字看護大学  
2021年度前期

科目名	公衆衛生看護活動論演習 I	[1U0400]	学部	看護学部	履修者数	19	回答率
教員名	井口理		授業形態	演習	回答数	19	100.0%

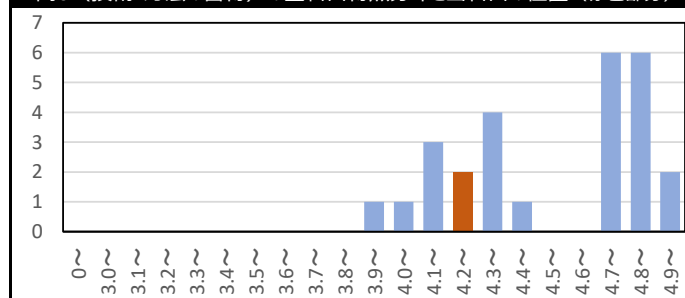
## ■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree', 8 'Agree', 2 'Disagree']						4.37	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree', 8 'Agree', 2 'Disagree']						4.37	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 6 'Agree', 3 'Disagree']						4.37	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 6 'Agree', 3 'Disagree']						4.37	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 7 'Agree', 1 'Disagree', 1 'Strongly disagree']						4.37	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 5 'Agree', 3 'Disagree', 1 'Strongly disagree']						4.26	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 6 'Agree', 3 'Disagree']						4.37	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 7 'Agree', 2 'Disagree']						4.42	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree', 6 'Agree', 4 'Disagree']						4.26	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 3 'Agree', 6 'Disagree']						4.21	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree', 5 'Agree', 3 'Disagree']						4.42	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree', 4 'Agree', 2 'Disagree']						4.58	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree', 4 'Agree', 2 'Disagree']						4.58	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 6 'Agree', 3 'Disagree']						4.37	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 6 'Agree', 3 'Disagree']						4.37	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.38</b>	<b>4.60</b>

## ■科目平均と全学平均との比較



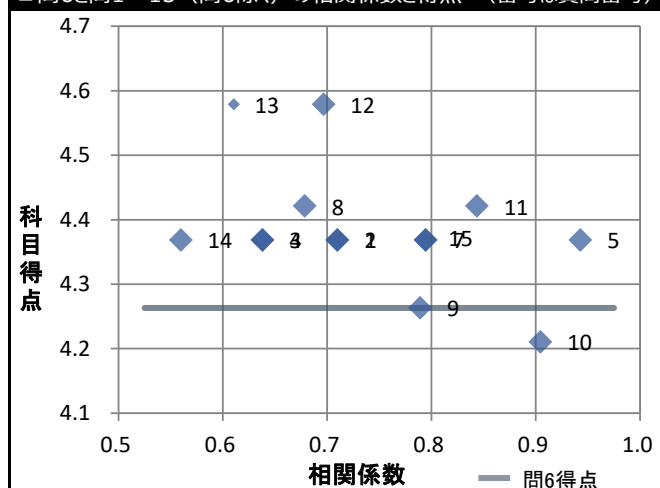
## ■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

## ■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



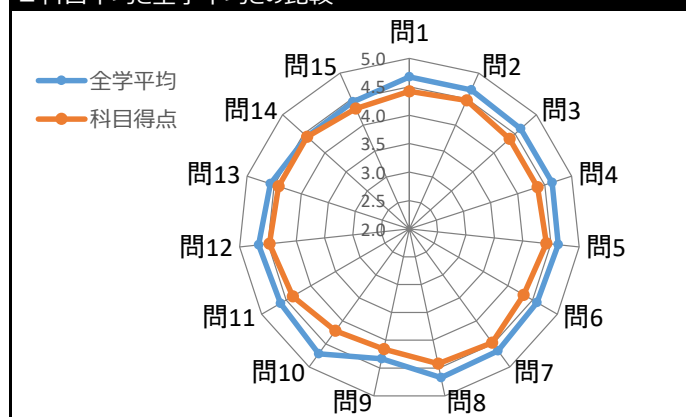
プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	公衆衛生看護活動論演習Ⅱ	[1U0500]	学部	看護学部	履修者数	19	回答率
教員名	吉川悦子		授業形態	演習	回答数	19	100.0%

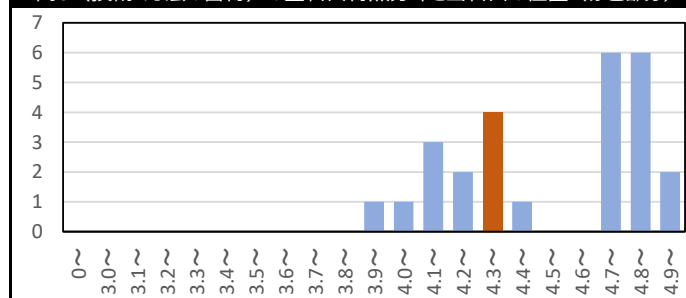
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9	9	1				4.42	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	10	8	1				4.47	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	10	6	3				4.37	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	10	6	3				4.37	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	9	9	1				4.42	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	9	7	3				4.32	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	10	8	1				4.47	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	10	7	2				4.42	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	9	5	4	1			4.16	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	9	5	5				4.21	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	6	3				4.37	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	12	4	3				4.47	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	11	5	3				4.42	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	11	5	3				4.42	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	10	5	4				4.32	4.45
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.38</b>	<b>4.60</b>

■科目平均と全学平均との比較



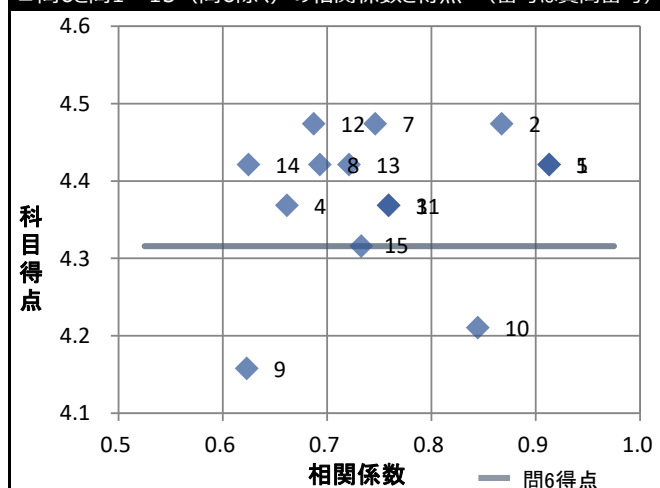
■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
1J0301	看護技術論Ⅱ②	樋口佳栄	皆さん、沢山のご意見ご感想をお寄せくださり大変ありがとうございました。具体的にどのようなことが学びにつながったのかをたくさん記してくださいましたので、私たちもはっとしたり励みになったりで、とてもうれしかったです。できるだけ演習の時間を確保してほしいというご意見をいただきました。ありがとうございました。皆さん自身が実施できる時間を創れるよう事前・事後課題なども含めて工夫していきたいと思いました。また手順なども全体で示したうえで各部屋の演習に入るとよいというご意見もいただきました。大いに参考にさせていただこうと思います。ありがとうございました。
1J0302	看護技術論Ⅱ②	樋口佳栄	皆さん、沢山のご意見ご感想をお寄せくださり大変ありがとうございました。具体的にどのようなことが学びにつながったのかをたくさん記してくださいましたので、私たちもはっとしたり励みになったりで、とてもうれしかったです。できるだけ演習の時間を確保してほしいというご意見をいただきました。ありがとうございました。皆さん自身が実施できる時間を創れるよう事前・事後課題なども含めて工夫していきたいと思いました。ありがとうございました。
1J0401	看護技術論Ⅲ①	樋口佳栄	皆さん、沢山のご意見ご感想をお寄せくださり大変ありがとうございました。「とても質問しやすかった」「先生陣の熱意が伝わった」など楽しみながら熱心に学んでくださったことが伺えて、とてもうれしかったです。一方で、問いかけにくく感じられた場面もあったようで、申し訳なかったなとも思いました。率直なご意見をお寄せくださって本当にありがとうございました。今後も皆さんと対話することを心掛けながら、楽しくわかりやすい授業になるよう教員全員で工夫を重ねたいと思いました。ありがとうございました。
1J0402	看護技術論Ⅲ①	樋口佳栄	皆さん、沢山のご意見ご感想をお寄せくださり大変ありがとうございました。「質問しやすかった」「説明がとてもわかりやすかった」「楽しくリラックスした気持ちで授業に参加できた」など楽しみながら熱心に学んでくださったことが伺えて、とてもうれしかったです。改善したほうがよい点も教えてくださいました。オンデマンド教材の声が小さいことや、オンラインの動画を2倍速でみることができたらよいというご希望、一つの演習項目の実施時間をもう少し長くしてほしいこと、時間に余裕をもったスケジュールだとよい、など率直なご意見をお寄せくださって本当にありがとうございました。今後も皆さんと対話することを心掛けながら、楽しくわかりやすい授業になるよう教員全員で工夫を重ねたいと思いました。ありがとうございました。
1J0601	看護技術論Ⅲ③	吉田みつ子	対面での演習をおこなうことができ、みなさんが楽しく、熱心に演習に取り組んでおられる姿をみて、教員一同、とてもうれしく感じた授業でした。3つの実習室を遠隔でつなぐことによってさまざまな音声トラブル、機材のトラブルなどが生じ、それによって授業が中断したりしたことをお詫びいたします。
1J0602	看護技術論Ⅲ③	吉田みつ子	対面での演習をおこなうことができ、みなさんが楽しく、熱心に演習に取り組んでおられる姿をみて、教員一同、とてもうれしく感じた授業でした。3つの実習室を遠隔でつなぐことによってさまざまな音声トラブル、機材のトラブルなどが生じ、それによって授業が中断したりしたことをお詫びいたします。
1N0601	健康レベル別看護学演習Ⅱ	江本 リナ	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。今年度は対面で演習を行うことができ、よりみなさんの理解や学びが深まったことがわかりました。担当教員一同、みなさんがこの授業で学んだことを今後の実習につなげていけるよう、一緒に取り組んでまいります。また、たくさんコメントをいただきましたので、それらを次年度に活かし、よりよい授業にしていきたいと思います。
1N0602	健康レベル別看護学演習Ⅱ	江本 リナ	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。今年度は対面で演習を行うことができ、よりみなさんの理解や学びが深まったことがわかりました。担当教員一同、みなさんがこの授業で学んだことを今後の実習につなげていけるよう、一緒に取り組んでまいります。また、たくさんコメントをいただきましたので、それらを次年度に活かし、よりよい授業にしていきたいと思います。

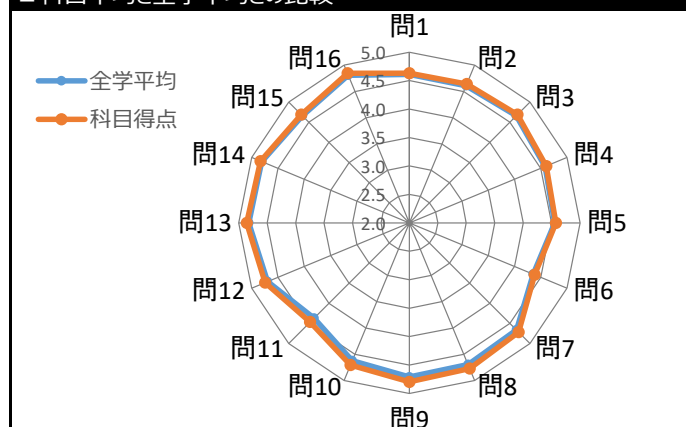
1R0600	災害看護活動論Ⅰ	内木 美恵	授業改善アンケートにご協力下さりありがとうございました。日本赤十字社東京都支部の方から、機材の展開、無線機の扱い等、実施に即した救護活動を学んでくださっていることが分かりました。一方で、炎天下でのマスクやフェースシード等の装備による体調への影響、グループ構成、演習時間等にご意見を頂きました。皆さんのご意見を参考により良い演習になるよう改善していきたいと思います。演習に関するコメントを下さりありがとうございました。
1R0800	災害看護活動論Ⅲ	内木 美恵	授業改善アンケートにご協力下さりありがとうございました。今年度初めて、日航123便墜落事故の体験に関して現地で活動をされた看護師さんをゲストスピーカーとして来ていただきました。当事者の体験談と演習から、多くのこと考え、学んで下さり、とてもうれしく思いました。一方で、講義内容、教員のフィードバックの方法と表現等にご意見を頂きました。皆さんにご指摘いただいた点を検討し、より良い演習になるよう改善していきたいと思います。コメントを下さりありがとうございました。皆さんがこの演習で良いと思った点をゲストスピーカーの方にお伝えしていきます。
1T0101	研究方法論Ⅰ	江本 リナ他	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。自由記載では、たくさんのコメントをいただきました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたこと、とても嬉しいです。良い点として講義資料の見やすさや演習のオフィスアワー時間があったこと、質問へのフィードバックをGlexaで共有したことなどが挙がっていました。改善点としては、文献検討やレポート課題の説明をより早い時期にしてもらいたい、レポート提出期日を延ばしてもらいたいといった意見が挙がっていました。貴重な意見をありがとうございます。次年度に活かしてまいります。本科目は、後期の研究方法論Ⅱや4年次の研究Ⅰ・Ⅱにつながる重要な内容です。今後もこの学びを復習してください。
1T0102	研究方法論Ⅰ	江本 リナ他	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。自由記載では、たくさんのコメントをいただきました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたこと、とても嬉しいです。良い点として講義資料の見やすさや演習のオフィスアワー時間があったこと、質問へのフィードバックをGlexaで共有したことなどが挙がっていました。改善点としては、文献検討やレポート課題の説明をより早い時期にしてもらいたい、レポート提出期日を延ばしてもらいたいといった意見が挙がっていました。貴重な意見をありがとうございます。次年度に活かしてまいります。本科目は、後期の研究方法論Ⅱや4年次の研究Ⅰ・Ⅱにつながる重要な内容です。今後もこの学びを復習してください。
1U0400	公衆衛生看護活動論演習Ⅰ	井口 理	「良いと思った点」も「改善した方が良いと思った点」も記載されていませんでした。地域の健康課題について根拠をもとに検討する思考プロセスの演習ですが、保健師コースの4年生が多重課題となる時期に、全員、グループで大変よく頑張ったと思います。実習で見聞きし参加した保健事業と関連させ、PDCAサイクルで課題解決に向けて既存の保健事業を展開していることを統合的に理解できると良いと考えます。
1U0500	公衆衛生看護活動論演習Ⅱ	吉川悦子	授業改善アンケートにご回答いただきありがとうございます。授業15回を通して健康教育の企画、立案、実施、評価のプロセスを学んでいただきました。その中でそれぞれが扱うテーマ、地域特性の違いによりアプローチの方法が異なることに気づいていただくなど、幅広い視点での学びにつながっていたと思います。問診に関するご意見が自由記載欄にありましたが、こちらは科目違いかと思います。今一度、シラバス等ご確認いただければと存じます。

科目名	健康レベル別看護学実習[レベルⅢ]	[1S0700]	学部	看護学部	履修者数	141	回答率
教員名	本庄 恵子 他		授業形態	実習	回答数	122	86.5%

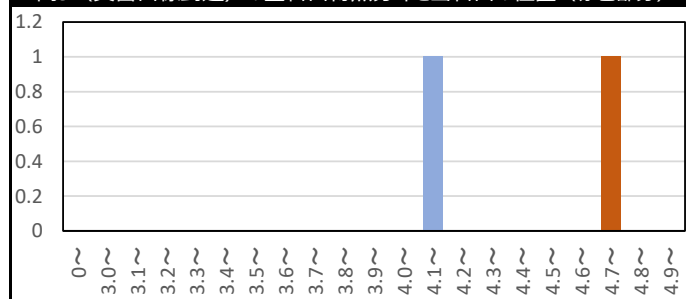
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 90% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 8% 'Neither']						4.63	4.61
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 90% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 6% 'Neither']						4.64	4.61
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 94% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 7% 'Neither']						4.69	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 93% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 7% 'Neither']						4.61	4.58
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 92% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 5% 'Neither', 4% 'Disagree']						4.57	4.55
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 7% 'Neither', 6% 'Disagree']						4.38	4.36
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 93% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 4% 'Neither']						4.72	4.66
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 100% 'Strongly agree', 19% 'Agree']						4.77	4.70
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 104% 'Strongly agree', 14% 'Agree']						4.80	4.71
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 94% 'Strongly agree', 23% 'Agree']						4.70	4.62
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 10% 'Neither']						4.47	4.37
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 95% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 5% 'Neither']						4.74	4.70
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 107% 'Strongly agree', 13% 'Agree']						4.86	4.82
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 104% 'Strongly agree', 16% 'Agree']						4.84	4.81
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 88% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 4% 'Neither']						4.69	4.66
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 106% 'Strongly agree', 13% 'Agree']						4.84	4.81
<b>問1～16全問平均</b>								<b>4.68</b>	<b>4.64</b>

■科目平均と全学平均との比較



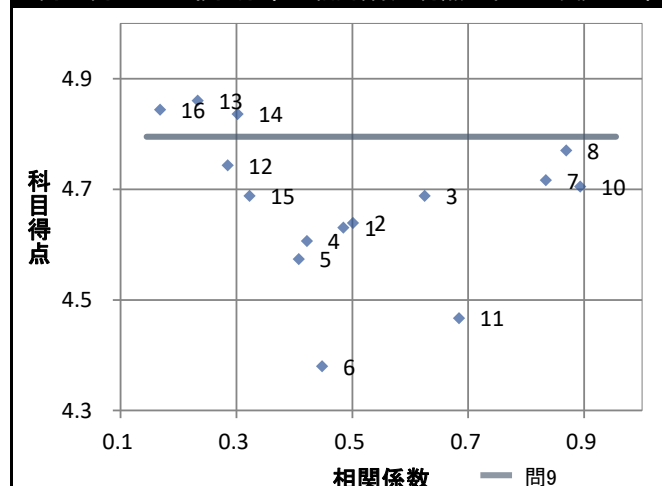
■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～16
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Light Blue]	2	そうは思わない
[Orange]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



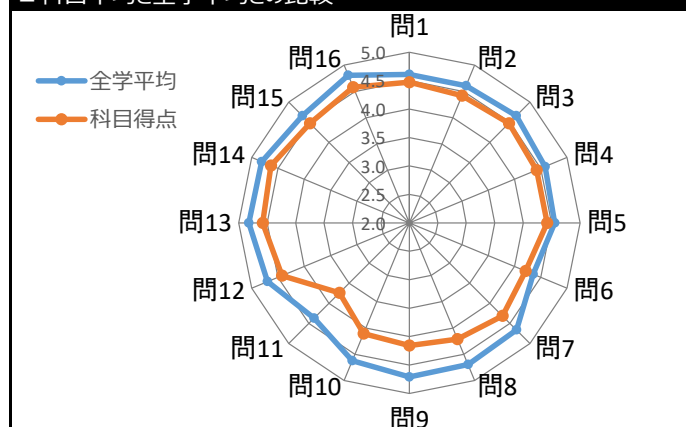
プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	公衆衛生看護学実習 [1U0600]	学部	看護学部	履修者数	19	回答率	
教員名	石田 千絵 他	授業形態	実習	回答数	19	100.0%	

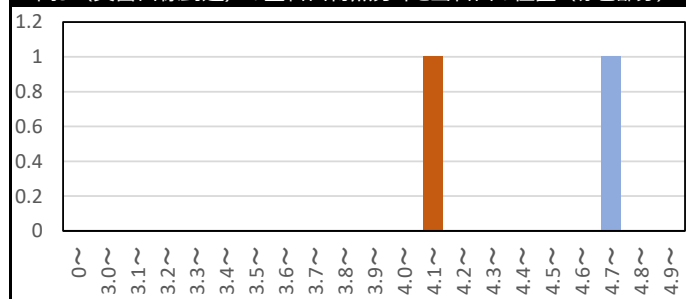
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	11	6	2				4.47	4.61
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	10	7	2				4.42	4.61
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	11	6	2				4.47	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	10	7	2				4.42	4.58
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	11	6	1	1			4.42	4.55
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	9	6	3	1			4.21	4.36
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	10	5	4				4.32	4.66
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	10	4	4	1			4.21	4.70
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	11	3	2	3			4.16	4.71
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	11	3	3	2			4.11	4.62
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	9	3	3	1	3		3.74	4.37
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	11	5	3				4.42	4.70
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	13	4	2				4.58	4.82
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	13	5	1				4.63	4.81
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	12	4	3				4.47	4.66
16	学生は、体調管理に努めた。	14	3	1	1			4.58	4.81
<b>問1～16全問平均</b>								<b>4.35</b>	<b>4.64</b>

■科目平均と全学平均との比較



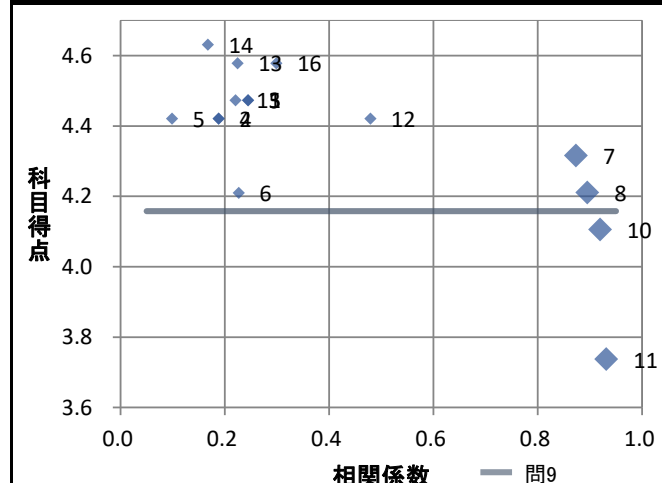
■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>  
 ・グラフ内数字は回答数  
 （3%未満は非表示）  
 ・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。



科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
1S0700	健康レベル別看護学実習 [レベルⅢ]	本庄恵子	実習改善アンケートのご協力をありがとうございました。お寄せいただいたコメントから、久しぶりの実習で不安があるなかでも主体的に取り組んでくださったことがよく分かりました。また、臨床のみなさまから温かいご指導、お声かけをいただき、臨地実習ができるよろこびを感じられたことも伝わってきました。教員や臨床指導者とより連携をはかれるように努力していきたいと思います。そして、みなさんが学びを深め、力をつけてゆけるよう、いただいたご意見を今後にかしてまいります。本庄恵子、三浦英恵、実習担当教員一同
1U0600	公衆衛生看護学実習	石田千絵	皆様お疲れ様でした。全体ではよく学べていたようで本当に嬉しいです。コロナ禍だからこその学びも多々あったと思います。皆様の未来に繋げていただけますと教員一同嬉しく思います。一方で、一部の学生さんが、実習指導者さんとの兼ね合いで大変苦勞をされたことを理解しました。不本意な大変も多々あったのだと思います。実習指導者の皆さんとの間を取り持てるように、今後、より一層気を配りたいと思います。